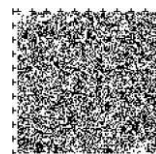


2章 調査の結果

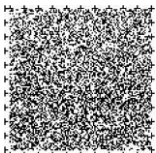


I 障害者・難病・児童の調査・・・・・・・・・・・・・・・・

1 回答者属性

まとめ 9～23 ページ

- 現在の生活場所は、全体の 77.9%が在宅で暮らしている。知的障害のかたは、施設入所が 11.6%、グループホームの入所が 9.2%。
- 調査票の記入者は、全体の 75.0%が本人。知的障害のかたは、本人以外が 60.5%。児童は父母のみ。
- 性別は、男性が 52.2%、女性が 46.7%。児童では 65.5%が男性。
- 年齢は、身体障害のかたは 50 歳以上が 76.5%、難病のかたは 50 歳以上が 60.3%。知的・精神障害のかたはそれぞれ 50 歳未満が 5 割以上を占める。児童は、6～12 歳が 50.8%。
- 同居家族がある場合は、全体では配偶者（パートナー）が多いが、知的障害のかたは父母との同居が多い。精神障害のかたはひとり暮らしが 59.1%、難病のかたは配偶者（パートナー）との同居が 48.1%。児童は母が 98.9%、父が 92.1%で父母との同居が多い。
- 主な収入は年金が最も多いが、難病のかたの 46.4%は給与（一般雇用又は障害者雇用）。精神障害のかたの 30.5%は生活保護を受給。
- 児童は、父母ともに養育している割合が 58.8%。
- 児童の親族・知人による育児支援の有無は、「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.9%、いないは 25.4%。
- 児童の父母等の就労状況は、週 5 日以上就労している父は 97.5%、母は 53.1%。就業していない母は 21.7%。
- 児童の父母等の 1 日の平均就業時間は、父は 8 時間以上が最も多く 87.7%、母は 4～8 時間未満が最も多く 43.4%。
- 居住地区に大きな偏りはみられない。



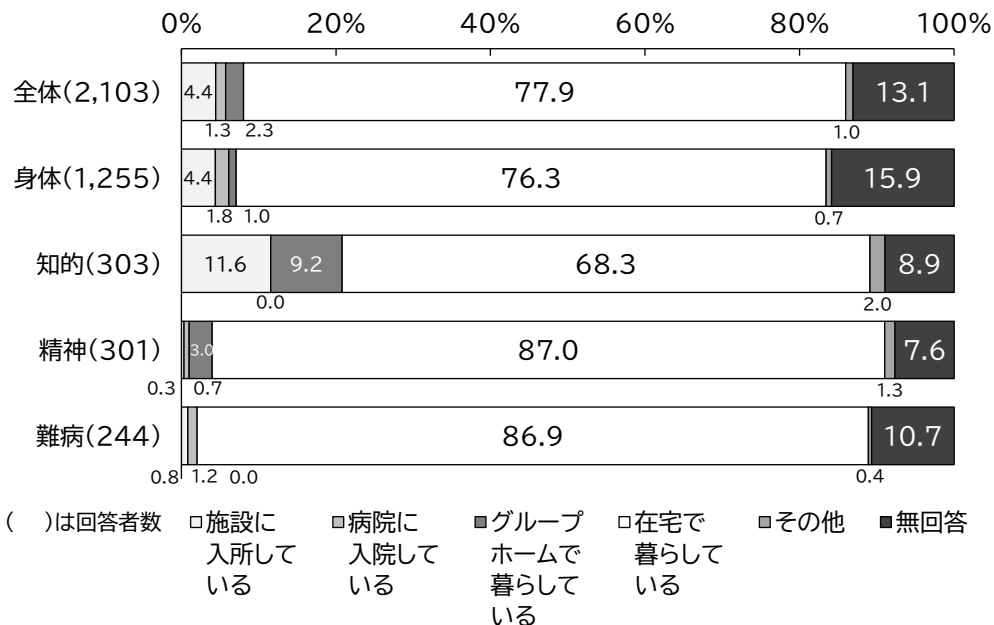
(1) 【身知精難】現在の生活場所

● あなたがいま、生活しているところは、どちらですか。(○は1つ)

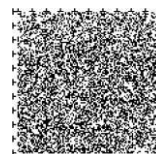
※「施設に入所している」「病院（介護医療院を含む）に入院している」と回答したかたは、調査はここで終了です。

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：2,103人のうち、「在宅で暮らしている」が77.9%と最も多く、次いで「施設に入所している」が4.4%となっています。
- 身体障害：1,255人のうち、「在宅で暮らしている」が76.3%と最も多く、次いで「施設に入所している」が4.4%となっています。
- 知的障害：303人のうち、「在宅で暮らしている」が68.3%と最も多く、次いで「施設に入所している」が11.6%となっています。
- 精神障害：301人のうち、「在宅で暮らしている」が87.0%と最も多く、次いで「グループホームで暮らしている」が3.0%となっています。
- 難病：244人のうち、「在宅で暮らしている」が86.9%と最も多く、次いで「病院に入院している」が1.2%となっています。

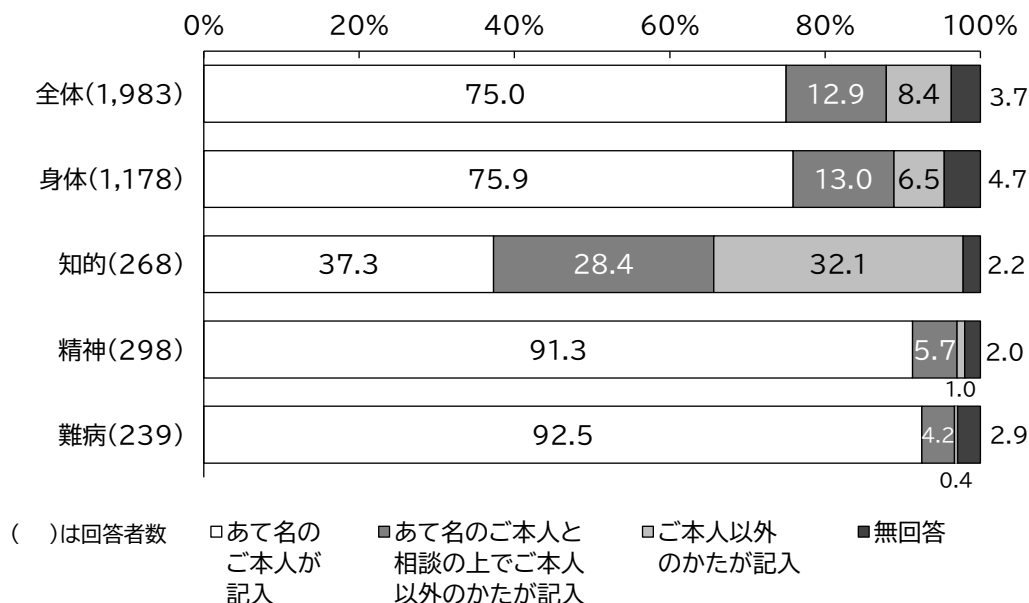


(2) 【身知精難】問1 記入者

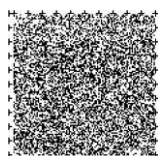
問 ご記入者は、調査票のあて名のかたからみて、どなたにあたりますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983人のうち、「あて名のご本人が記入」が75.0%と最も多く、次いで「あて名のご本人と相談の上でご本人以外のかたが記入」が12.9%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「あて名のご本人が記入」が75.9%と最も多く、次いで「あて名のご本人と相談の上でご本人以外のかたが記入」が13.0%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「あて名のご本人が記入」が37.3%と最も多く、次いで「ご本人以外のかたが記入」が32.1%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「あて名のご本人が記入」が91.3%と最も多く、次いで「あて名のご本人と相談の上でご本人以外のかたが記入」が5.7%となっています。
- 難病：239人のうち、「あて名のご本人が記入」が92.5%と最も多く、次いで「あて名のご本人と相談の上でご本人以外のかたが記入」が4.2%となっています。

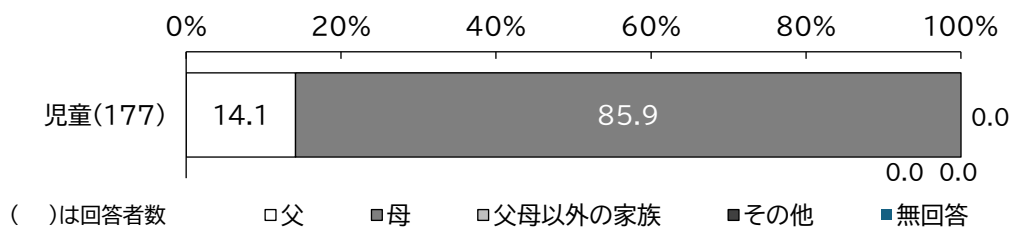


(3) 【児】 児童の調査の記入者

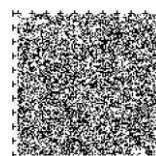
● この調査に回答していただくかたは、どなたですか。(○は1つ)

調査対象： 児童

単純集計：調査票種別



- 児童：177人のうち、「母」が85.9%と最も多く、次いで「父」が14.1%となっています。

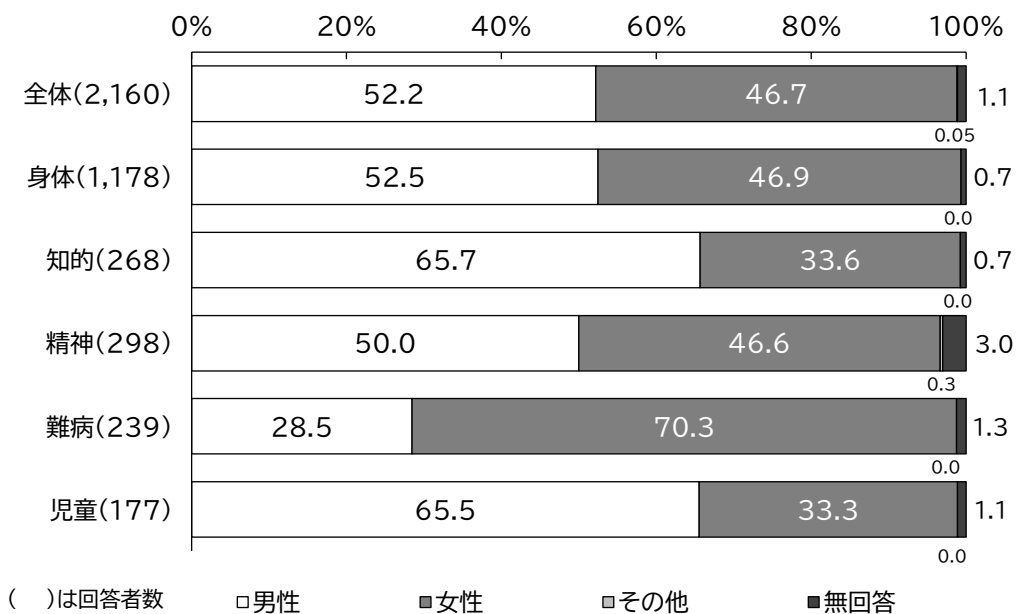


(4) 【身知精難児】問2 性別

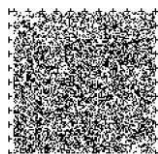
問 あなたの性別を教えてください。

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



- 全体：2,160人のうち、「男性」が52.2%、「女性」が46.7%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「男性」が52.5%、「女性」が46.9%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「男性」が65.7%、「女性」が33.6%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「男性」が50.0%、「女性」が46.6%となっています。
- 難病：239人のうち、「男性」が28.5%、「女性」が70.3%となっています。
- 児童：177人のうち、「男性」が65.5%、「女性」が33.3%となっています。

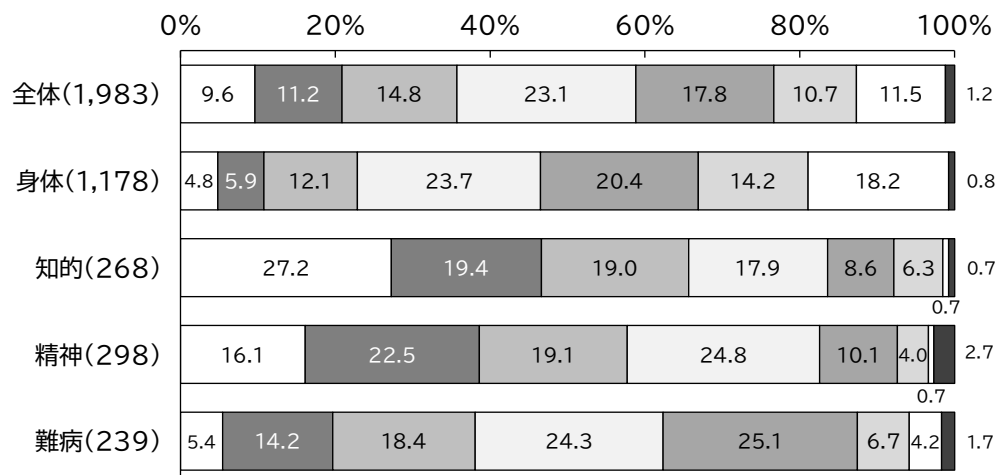


(5) 【身知精難】問2 年齢

問 あなたの年齢（本日の満年齢）を教えてください。

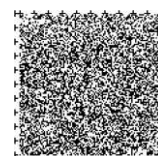
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



()は回答者数 □18~ 29歳 ■30~ 39歳 □40~ 49歳 □50~ 59歳 ■60~ 69歳 □70~ 79歳 □80歳以上 ■無回答

- 全体：1,983 人のうち、「50～59 歳」が 23.1%と最も多く、次いで「60～69 歳」が 17.8%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「50～59 歳」が 23.7%と最も多く、次いで「60～69 歳」が 20.4%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「18～29 歳」が 27.2%と最も多く、次いで「30～39 歳」が 19.4%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「50～59 歳」が 24.8%と最も多く、次いで「30～39 歳」が 22.5%となっています。
- 難病：239 人のうち、「60～69 歳」が 25.1%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 24.3%となっています。



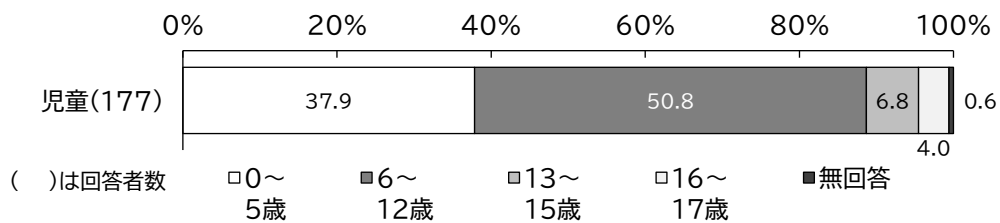
(6) 【児】問6 児童の年齢

問 あて名のお子さんの年齢（ご記入いただいた時点の年齢）を教えてください。

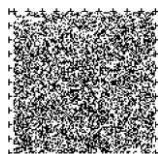
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別



- 児童：177人のうち、「6～12歳」が50.8%と最も多く、次いで「0～5歳」が37.9%となっています。



(7) 【身知精難】問3 同居家族

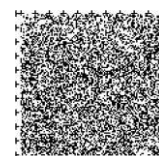
問 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	ひとり暮らし	配偶者 (パートナー)	父	母	子ども (子どもの 配偶者を含む)	きょうだい	その他	無回答
全体		1,983 100.0	<u>636</u> 32.1	604 30.5	302 15.2	491 24.8	404 20.4	196 9.9	83 4.2	16 0.8
調査票種別	身体	1,178 100.0	351 29.8	<u>462</u> 39.2	107 9.1	192 16.3	316 26.8	72 6.1	34 2.9	8 0.7
	知的	268 100.0	39 14.6	3 1.1	124 46.3	<u>181</u> 67.5	3 1.1	78 29.1	27 10.1	7 2.6
	精神	298 100.0	<u>176</u> 59.1	24 8.1	53 17.8	82 27.5	11 3.7	32 10.7	12 4.0	1 0.3
	難病	239 100.0	70 29.3	<u>115</u> 48.1	18 7.5	36 15.1	74 31.0	14 5.9	10 4.2	0 0.0

- 全体：1,983人のうち、「ひとり暮らし」が32.1%と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）」が30.5%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「配偶者（パートナー）」が39.2%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が29.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「母」が67.5%と最も多く、次いで「父」が46.3%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「ひとり暮らし」が59.1%と最も多く、次いで「母」が27.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「配偶者（パートナー）」が48.1%と最も多く、次いで「子ども（子どもの配偶者を含む）」が31.0%となっています。



(8) 【児】問2 児童の同居家族

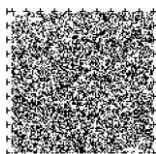
問 お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 児童

単純集計：調査票種別

	合計	父	母	祖父	祖母	きょうだい	その他	無回答
児童	177 100.0	163 92.1	<u>175</u> <u>98.9</u>	9 5.1	17 9.6	107 60.5	4 2.3	0 0.0

- 児童：177人のうち、「母」が98.9%と最も多く、次いで「父」が92.1%となっています。



(9) 【身知精難】問5 主な収入

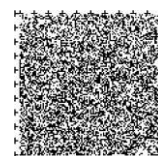
問 あなたの主な収入を教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	給与（一般雇用又は障害者雇用）	工賃（福祉サービスでの就労）	年金	手当（障害者手当、福祉手当等）	資産収入	ご家族の収入	生活保護	その他	特にない	無回答
全体		1,983 100.0	722 36.4	193 9.7	<u>911</u> 45.9	496 25.0	116 5.8	385 19.4	197 9.9	81 4.1	58 2.9	28 1.4
調査票種別	身体	1,178 100.0	416 35.3	38 3.2	<u>595</u> 50.5	287 24.4	93 7.9	216 18.3	83 7.0	52 4.4	30 2.5	17 1.4
	知的	268 100.0	104 38.8	74 27.6	<u>154</u> 57.5	117 43.7	2 0.7	50 18.7	15 5.6	2 0.7	3 1.1	5 1.9
	精神	298 100.0	91 30.5	79 26.5	<u>112</u> 37.6	39 13.1	14 4.7	49 16.4	91 30.5	17 5.7	12 4.0	1 0.3
	難病	239 100.0	<u>111</u> 46.4	2 0.8	50 20.9	53 22.2	7 2.9	70 29.3	8 3.3	10 4.2	13 5.4	5 2.1

- 全体：1,983人のうち、「年金」が45.9%と最も多く、次いで「給与（一般雇用又は障害者雇用）」が36.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「年金」が50.5%と最も多く、次いで「給与（一般雇用又は障害者雇用）」が35.3%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「年金」が57.5%と最も多く、次いで「手当（障害者手当、福祉手当等）」が43.7%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「年金」が37.6%と最も多く、次いで「給与（一般雇用又は障害者雇用）」「生活保護」がともに30.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「給与（一般雇用又は障害者雇用）」が46.4%と最も多く、次いで「ご家族の収入」が29.3%となっています。



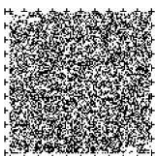
■クロス集計：主な収入／本人の年齢区分別

<身体障害>

		合計	給与（一般雇用又は障害者雇用）	工賃（福祉サービスでの就労）	年金	手当（障害者手当、福祉手当等）	資産収入	ご家族の収入	生活保護	その他	特にない	無回答
全体		1,178 100.0	416 35.3	38 3.2	<u>595</u> <u>50.5</u>	287 24.4	93 7.9	216 18.3	83 7.0	52 4.4	30 2.5	17 1.4
本人の年齢区分別	65歳未満	730 100.0	<u>371</u> <u>50.8</u>	37 5.1	222 30.4	239 32.7	32 4.4	149 20.4	58 7.9	34 4.7	22 3.0	6 0.8
	65歳以上	439 100.0	42 9.6	1 0.2	<u>372</u> <u>84.7</u>	47 10.7	61 13.9	64 14.6	25 5.7	17 3.9	8 1.8	8 1.8

<知的障害>

		合計	給与（一般雇用又は障害者雇用）	工賃（福祉サービスでの就労）	年金	手当（障害者手当、福祉手当等）	資産収入	ご家族の収入	生活保護	その他	特にない	無回答
全体		268 100.0	104 38.8	74 27.6	<u>154</u> <u>57.5</u>	117 43.7	2 0.7	50 18.7	15 5.6	2 0.7	3 1.1	5 1.9
本人の年齢区分別	65歳未満	237 100.0	100 42.2	65 27.4	<u>127</u> <u>53.6</u>	109 46.0	2 0.8	49 20.7	12 5.1	2 0.8	3 1.3	3 1.3
	65歳以上	29 100.0	4 13.8	8 27.6	<u>26</u> <u>89.7</u>	8 27.6	0 0.0	1 3.4	3 10.3	0 0.0	0 0.0	1 3.4

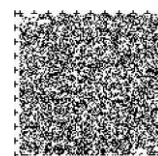


<精神障害>

		合計	給与(一般雇用又は障害者雇用)	工賃(福祉サービスでの就労)	年金	手当(障害者手当、福祉手当等)	資産収入	ご家族の収入	生活保護	その他	特にない	無回答
全体		298 100.0	91 30.5	79 26.5	<u>112</u> <u>37.6</u>	39 13.1	14 4.7	49 16.4	91 30.5	17 5.7	12 4.0	1 0.3
本人の年齢区分別	65歳未満	266 100.0	89 33.5	70 26.3	<u>96</u> <u>36.1</u>	36 13.5	13 4.9	44 16.5	78 29.3	15 5.6	9 3.4	1 0.4
	65歳以上	24 100.0	2 8.3	7 29.2	<u>16</u> <u>66.7</u>	2 8.3	1 4.2	4 16.7	10 41.7	2 8.3	0 0.0	0 0.0

<難病障害>

		合計	給与(一般雇用又は障害者雇用)	工賃(福祉サービスでの就労)	年金	手当(障害者手当、福祉手当等)	資産収入	ご家族の収入	生活保護	その他	特にない	無回答
全体		239 100.0	<u>111</u> <u>46.4</u>	2 0.8	50 20.9	53 22.2	7 2.9	70 29.3	8 3.3	10 4.2	13 5.4	5 2.1
本人の年齢区分別	65歳未満	181 100.0	<u>103</u> <u>56.9</u>	1 0.6	8 4.4	44 24.3	3 1.7	58 32.0	6 3.3	8 4.4	12 6.6	3 1.7
	65歳以上	54 100.0	8 14.8	0 0.0	<u>42</u> <u>77.8</u>	8 14.8	4 7.4	9 16.7	2 3.7	2 3.7	1 1.9	2 3.7



(10) 【児】問3 児童の養育者

問 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている人はどなたですか。（○は1つ）

調査対象： 児童

単純集計：調査票種別

	合計	父母ともに	父	母	祖父	祖母	その他	無回答
児童	177 100.0	<u>104</u> 58.8	0 0.0	70 39.5	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.1

- 児童：177人のうち、「父母ともに」が58.8%と最も多く、次いで「母」が39.5%となっています。

(11) 【児】問4 親族・知人による育児支援の有無

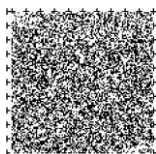
問 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

調査対象： 児童

単純集計：調査票種別

	合計	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	その他	いない	無回答
児童	177 100.0	26 14.7	<u>99</u> 55.9	1 0.6	22 12.4	7 4.0	45 25.4	0 0.0

- 児童：177人のうち、「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」が55.9%と最も多く、次いで「いない」が25.4%となっています。



(12) 【児】問5 (1) 1週間の平均就業日数

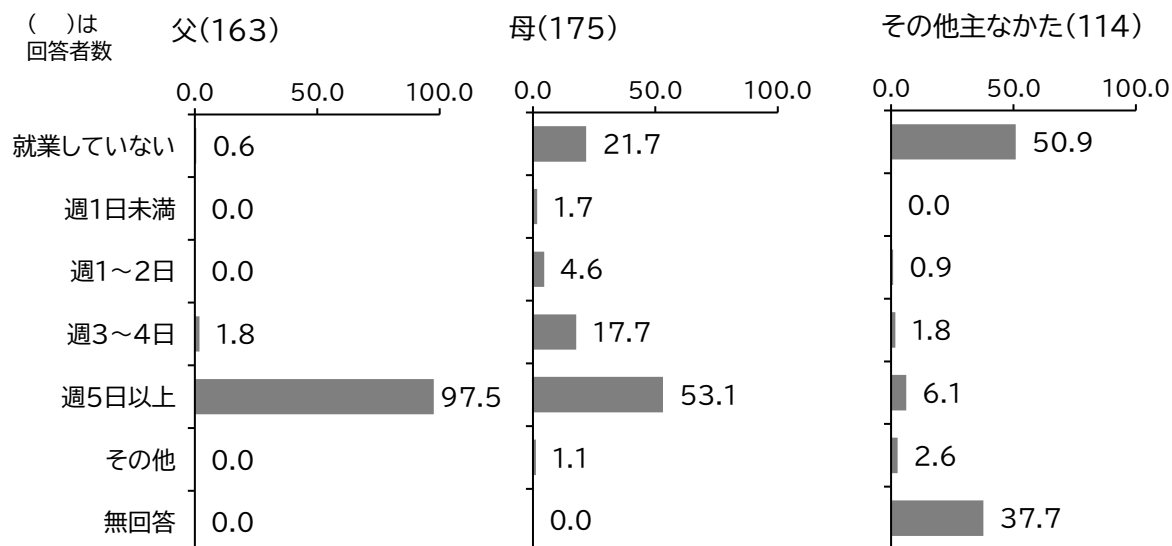
問 お子さんと同居のご家族の就業状況について、あてはまるところに○をしてください。

(1) 1週間の平均就業日数【父】【母】【その他主なかた一人】

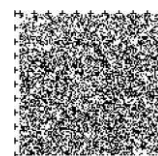
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別



- 父：163人のうち、「週5日以上」が97.5%と最も多く、次いで「週3～4日」が1.8%となっています。
- 母：175人のうち、「週5日以上」が53.1%と最も多く、次いで「就業していない」が21.7%となっています。
- その他主なかた：114人のうち、「就業していない」が50.9%と最も多く、次いで「週5日以上」が6.1%となっています。



(13) 【児】問5(2) 1日の平均就業時間

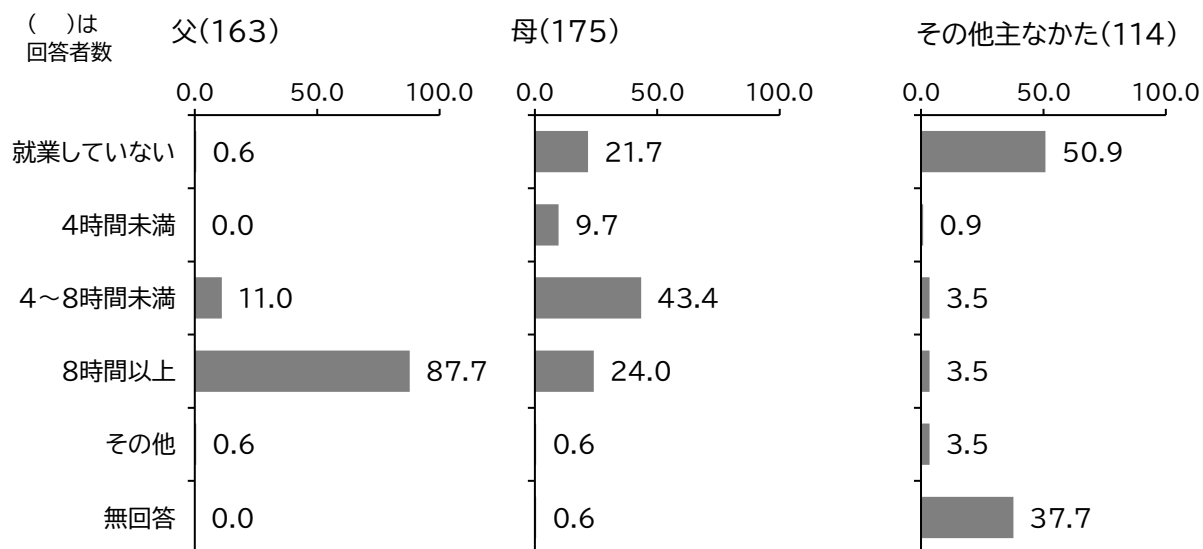
問 お子さんと同居のご家族の就業状況について、あてはまるところに○をしてください。

(2) 1日の平均就業時間【父】【母】【その他主なかた一人】

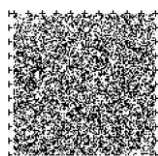
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別



- 父：163人のうち、「8時間以上」が87.7%と最も多く、次いで「4～8時間未満」が11.0%となっています。
- 母：175人のうち、「4～8時間未満」が43.4%と最も多く、次いで「8時間以上」が24.0%となっています。
- その他主なかた：114人のうち、「就業していない」が50.9%と最も多く、次いで「4～8時間未満」「8時間以上」「その他」がともに3.5%となっています。



(14) 【身知精難児】問4 お住まいの地区

問 あなたのお住まいの地区はどこですか。

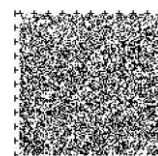
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



()は回答者数 □菊かおる園地区 □東部地区 □中央地区 □ふくろうの杜地区 □医師会地区 □いけよんの郷地区 □アトリエ村地区 □西部地区 ■無回答地区

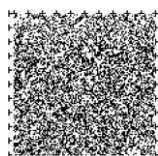
- 全体：2,160人のうち、「アトリエ村地区」が14.4%と最も多く、次いで「西部地区」が14.1%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「中央地区」が14.3%と最も多く、次いで「西部地区」が13.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「アトリエ村地区」が16.4%と最も多く、次いで「菊かおる園地区」が16.0%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「アトリエ村地区」が21.1%と最も多く、次いで「西部地区」が12.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「西部地区」が15.1%と最も多く、次いで「東部地区」が14.6%となっています。
- 児童：177人のうち、「西部地区」が19.2%と最も多く、次いで「中央地区」が16.4%となっています。



2 障害者手帳について

まとめ 25～37 ページ

- 2,160 人のうち、身体障害者手帳所持者が 56.7%と最も多く、愛の手帳（療育手帳）所持者は 18.1%、精神障害者保健福祉手帳所持者は 15.2%。
- 身体障害者手帳所持者 1,225 人のうち、肢体不自由が 46.5%と最も多く、次いで内部障害が 28.4%。
- 2,160 人のうち、他の障害等があるかたは、難病が 23.4%、発達障害が 17.6%、高次脳機能障害が 4.9%。特に児童は 177 人のうち、発達障害が 63.3%。
- サービス受給者証に重度支援の表記のあるかたは、知的障害が 12.7%、児童が 7.3%。



(1) 【身知精難児】問6 手帳の種類

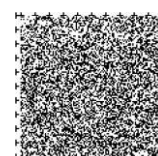
問 あなたは、障害者手帳を持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	持っていない(手帳の存在は知っている)	持っていない(手帳の存在は知らない)	無回答
全体		2,160 100.0	<u>1,225</u> <u>56.7</u>	391 18.1	328 15.2	318 14.7	38 1.8	22 1.0
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>1,178</u> <u>100.0</u>	69 5.9	41 3.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的	268 100.0	8 3.0	<u>268</u> <u>100.0</u>	21 7.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神	298 100.0	16 5.4	3 1.0	<u>252</u> <u>84.6</u>	35 11.7	5 1.7	1 0.3
	難病	239 100.0	7 2.9	0 0.0	8 3.3	<u>181</u> <u>75.7</u>	27 11.3	17 7.1
	児童	177 100.0	16 9.0	51 28.8	6 3.4	<u>102</u> <u>57.6</u>	6 3.4	4 2.3

- 全体：2,160人のうち、「身体障害者手帳を持っている」が56.7%と最も多く、次いで「愛の手帳(療育手帳)を持っている」が18.1%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「身体障害者手帳を持っている」が100.0%と最も多く、次いで「愛の手帳(療育手帳)を持っている」が5.9%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「愛の手帳(療育手帳)を持っている」が100.0%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が7.8%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が84.6%と最も多く、次いで「持っていない(手帳の存在は知っている)」が11.7%となっています。
- 難病：239人のうち、「持っていない(手帳の存在は知っている)」が75.7%と最も多く、次いで「持っていない(手帳の存在は知らない)」が11.3%となっています。
- 児童：177人のうち、「持っていない(手帳の存在は知っている)」が57.6%と最も多く、次いで「愛の手帳(療育手帳)を持っている」が28.8%となっています。



(2) 【身知精難児】問6-1 障害者手帳の障害部位、等級、程度

【問6で、「手帳を持っている」と答えたかたにおうかがいします。】

問6-1 手帳の等級、程度を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

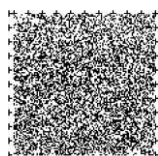
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

① 身体障害者手帳の障害部位

単純集計：調査票種別

		身体障害者手帳の障害部位							
		合計	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語・そしやく機能の障害	肢体不自由	内部障害	無回答
全体		1,225 100.0	112 9.1	132 10.8	20 1.6	25 2.0	<u>570</u> <u>46.5</u>	348 28.4	78 6.4
調査票種別	身体	1,178 100.0	110 9.3	129 11.0	18 1.5	23 2.0	<u>552</u> <u>46.9</u>	337 28.6	66 5.6
	知的	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	<u>3</u> <u>37.5</u>	1 12.5	3 37.5
	精神	16 100.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0	<u>4</u> <u>25.0</u>	9 56.3
	難病	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	<u>3</u> <u>42.9</u>	<u>3</u> <u>42.9</u>	0 0.0
	児童	16 100.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0	<u>12</u> <u>75.0</u>	3 18.8	0 0.0

- 全体：1,225 人のうち、「肢体不自由」が 46.5%と最も多く、次いで「内部障害」が 28.4%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「肢体不自由」が 46.9%と最も多く、次いで「内部障害」が 28.6%となっています。
- 知的障害：8 人のうち、「肢体不自由」が 3 人と最も多く、次いで「内部障害」「音声・言語・そしやく機能の障害」がともに 1 人ずつとなっています。
- 精神障害：16 人のうち、「内部障害」が 25.0%と最も多く、次いで「平衡機能障害」が 12.5%となっています。
- 難病：7 人のうち、「肢体不自由」「内部障害」がともに 3 人と最も多くなっています。
- 児童：16 人のうち、「肢体不自由」が 75.0%と最も多く、次いで「内部障害」が 18.8%となっています。

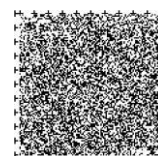


② 視覚障害の等級

単純集計：調査票種別

		視覚障害の等級							
		合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		112 100.0	31 27.7	<u>39</u> <u>34.8</u>	4 3.6	11 9.8	19 17.0	2 1.8	6 5.4
調査票種別	身体	110 100.0	29 26.4	<u>39</u> <u>35.5</u>	4 3.6	11 10.0	19 17.3	2 1.8	6 5.5
	知的	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 全体：112人のうち、「2級」が34.8%と最も多く、次いで「1級」が27.7%となっています。
- 身体障害：110人のうち、「2級」が35.5%と最も多く、次いで「1級」が26.4%となっています。
- 精神障害：1人が「1級」となっています。
- 児童：1人が「1級」となっています。

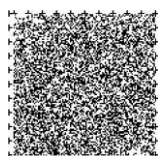


③ 聴覚障害の等級

単純集計：調査票種別

		聴覚障害の等級							
		合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		132 100.0	4 3.0	<u>49</u> <u>37.1</u>	22 16.7	20 15.2	0 0.0	31 23.5	6 4.5
調査票種別	身体	129 100.0	4 3.1	<u>48</u> <u>37.2</u>	21 16.3	20 15.5	0 0.0	31 24.0	5 3.9
	知的	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	難病	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 全体：132人のうち、「2級」が37.1%と最も多く、次いで「6級」が23.5%となっています。
- 身体障害：129人のうち、「2級」が37.2%と最も多く、次いで「6級」が24.0%となっています。
- 児童：2人のうち、「2級」が1人、「3級」が1人となっています。

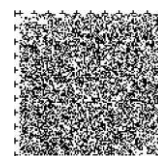


④ 平衡機能障害の等級

単純集計：調査票種別

		平衡機能障害の等級						
		合計	1級	2級	3級	4級	5級	無回答
全体		20 100.0	2 10.0	<u>7</u> <u>35.0</u>	4 20.0	1 5.0	2 10.0	4 20.0
調査票種別	身体	18 100.0	2 11.1	<u>6</u> <u>33.3</u>	4 22.2	1 5.6	2 11.1	3 16.7
	知的	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	難病	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 全体：20人のうち、「2級」が35.0%と最も多く、次いで「3級」が20.0%となっています。
- 身体障害：18人のうち、「2級」が33.3%と最も多く、次いで「3級」が22.2%となっています。
- 精神障害：2人のうち、「2級」が1人となっています。

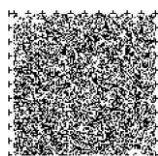


⑤ 音声・言語・そしゃく機能の障害の等級

単純集計：調査票種別

		音声・言語・そしゃく機能の障害の等級					
		合計	1級	2級	3級	4級	無回答
全体		25 100.0	2 8.0	1 4.0	4 16.0	<u>13</u> <u>52.0</u>	5 20.0
調査票種別	身体	23 100.0	2 8.7	1 4.3	4 17.4	<u>13</u> <u>56.5</u>	3 13.0
	知的	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	精神	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	児童	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 全体：25人のうち、「4級」が52.0%と最も多く、次いで「3級」が16.0%となっています。
- 身体障害：23人のうち、「4級」が56.5%と最も多く、次いで「3級」が17.4%となっています。

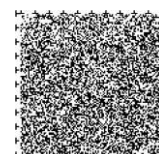


⑥ 肢体不自由の等級

単純集計：調査票種別

		肢体不自由の等級								
		合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	無回答
全体		570 100.0	103 18.1	123 21.6	96 16.8	128 22.5	47 8.2	46 8.1	2 0.4	25 4.4
調査票種別	身体	552 100.0	97 17.6	120 21.7	91 16.5	127 23.0	45 8.2	46 8.3	2 0.4	24 4.3
	知的	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童	12 100.0	5 41.7	3 25.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3

- 全体：570人のうち、「4級」が22.5%と最も多く、次いで「2級」が21.6%となっています。
- 身体障害：552人のうち、「4級」が23.0%と最も多く、次いで「2級」が21.7%となっています。
- 知的障害：3人が「1級」「3級」「4級」1人ずつとなっています。
- 難病：3人のうち、「5級」が2人、「3級」が1人となっています。
- 児童：12人のうち、「1級」が41.7%と最も多く、次いで「2級」「3級」がともに25.0%となっています。

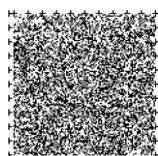


⑦ 内部障害の等級

単純集計：調査票種別

		内部障害の等級							
		合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		348 100.0	<u>235</u> <u>67.5</u>	4 1.1	42 12.1	54 15.5	1 0.3	1 0.3	11 3.2
調査票種別	身体	337 100.0	<u>233</u> <u>69.1</u>	2 0.6	39 11.6	52 15.4	0 0.0	1 0.3	10 3.0
	知的	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神	4 100.0	0 0.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	難病	3 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>33.3</u>	<u>1</u> <u>33.3</u>	<u>1</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0
	児童	3 100.0	<u>1</u> <u>33.3</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>33.3</u>	<u>1</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 全体：348人のうち、「1級」が67.5%と最も多く、次いで「4級」が15.5%となっています。
- 身体障害：337人のうち、「1級」が69.1%と最も多く、次いで「4級」が15.4%となっています。
- 知的障害：1人が「1級」となっています。
- 精神障害：4人のうち、「2級」が2人、「3級」が1人となっています。
- 難病：3人が「3級」「4級」「5級」1人ずつとなっています。
- 児童：3人が「1級」「3級」「4級」1人ずつとなっています。

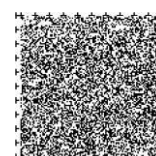


⑧ 愛の手帳（療育手帳）の程度

単純集計：調査票種別

		愛の手帳（療育手帳）の程度						
		合計	1度	2度	3度	4度	その他	無回答
全体		391 100.0	8 2.0	96 24.6	90 23.0	182 46.5	0 0.0	15 3.8
調査票種別	身体	69 100.0	8 11.6	24 34.8	12 17.4	24 34.8	0 0.0	1 1.4
	知的	268 100.0	0 0.0	57 21.3	58 21.6	140 52.2	0 0.0	13 4.9
	精神	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	難病	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	児童	51 100.0	0 0.0	14 27.5	20 39.2	16 31.4	0 0.0	1 2.0

- 全体：391人のうち、「4度」が46.5%と最も多く、次いで「2度」が24.6%となっています。
- 身体障害：69人のうち、「2度」「4度」がともに34.8%と最も多く、次いで「3度」が17.4%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「4度」が52.2%と最も多く、次いで「3度」が21.6%となっています。
- 精神障害：3人のうち、「4度」が2人、「2度」が1人となっています。
- 児童：51人のうち、「3度」が39.2%と最も多く、次いで「4度」が31.4%となっています。

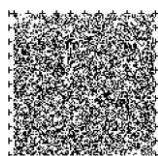


⑨ 精神障害者保健福祉手帳の等級

単純集計：調査票種別

		精神障害者保健福祉手帳の等級				
		合計	1級	2級	3級	無回答
全体		328 100.0	13 4.0	<u>174</u> <u>53.0</u>	139 42.4	2 0.6
調査票種別	身体	41 100.0	2 4.9	<u>23</u> <u>56.1</u>	15 36.6	1 2.4
	知的	21 100.0	2 9.5	<u>11</u> <u>52.4</u>	8 38.1	0 0.0
	精神	252 100.0	9 3.6	<u>130</u> <u>51.6</u>	112 44.4	1 0.4
	難病	8 100.0	0 0.0	<u>5</u> <u>62.5</u>	3 37.5	0 0.0
	児童	6 100.0	0 0.0	<u>5</u> <u>83.3</u>	1 16.7	0 0.0

- 全体：328人のうち、「2級」が53.0%と最も多く、次いで「3級」が42.4%となっています。
- 身体障害：41人のうち、「2級」が56.1%と最も多く、次いで「3級」が36.6%となっています。
- 知的障害：21人のうち、「2級」が52.4%と最も多く、次いで「3級」が38.1%となっています。
- 精神障害：252人のうち、「2級」が51.6%と最も多く、次いで「3級」が44.4%となっています。
- 難病：8人のうち、「2級」が5人、「3級」が3人となっています。
- 児童：6人のうち、「2級」が5人、「3級」が1人となっています。



(3) 【精】問6-2 手帳を持っていない理由

【問6で、「持っていない（手帳の存在は知っている）」と答えたかたのみにおうかがいします。
問6-2 手帳を持っていない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

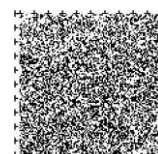
調査対象：

精神

単純集計：調査票種別

	合計	メリットを感じないため	障害者として知られたくないため	名前や住所を知られたくないため	申請に手間がかかるため	更新に手間がかかるため	申請したが受理されなかったため	その他	無回答
精神	35 100.0	5 14.3	1 2.9	0 0.0	7 20.0	1 2.9	2 5.7	22 62.9	2 5.7

- 精神障害：35人のうち、「その他」が62.9%と最も多く、次いで「申請に手間がかかるため」が20.0%となっています。
- その他には、「申請方法がわからない」「自分の障害程度は手帳をとるほどではないため」「現在申請中」などの回答があります。



(4) 【身知精難児】問7 他の障害等の有無

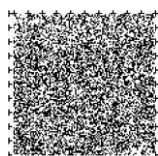
問 以下の障害等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	発達障害	高次脳機能障害	難病	どれも ない	無回 答
全体		2,160 100.0	381 17.6	105 4.9	506 23.4	<u>1,048</u> <u>48.5</u>	171 7.9
調査票種別	身体	1,178 100.0	47 4.0	92 7.8	243 20.6	<u>714</u> <u>60.6</u>	116 9.8
	知的	268 100.0	<u>127</u> <u>47.4</u>	2 0.7	11 4.1	110 41.0	23 8.6
	精神	298 100.0	90 30.2	9 3.0	7 2.3	<u>168</u> <u>56.4</u>	28 9.4
	難病	239 100.0	5 2.1	1 0.4	<u>239</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0
	児童	177 100.0	<u>112</u> <u>63.3</u>	1 0.6	6 3.4	56 31.6	4 2.3

- 全体：2,160人のうち、「どれもない」が48.5%と最も多く、次いで「難病」が23.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「どれもない」が60.6%と最も多く、次いで「難病」が20.6%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「発達障害」が47.4%と最も多く、次いで「どれもない」が41.0%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「どれもない」が56.4%と最も多く、次いで「発達障害」が30.2%となっています。
- 難病：239人のうち、「難病」が100.0%と最も多く、次いで「発達障害」が2.1%となっています。
- 児童：177人のうち、「発達障害」が63.3%と最も多く、次いで「どれもない」が31.6%となっています。



(5) 【知児】問8 重度支援の表記の有無（サービス受給者証）

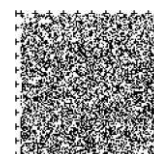
問 サービス受給者証に重度支援の表記がありますか。（○は1つ）

調査対象： 知的 児

単純集計：調査票種別

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		445 100.0	47 10.6	<u>379</u> <u>85.2</u>	19 4.3
調査票種別	知的	268 100.0	34 12.7	<u>218</u> <u>81.3</u>	16 6.0
	児	177 100.0	13 7.3	<u>161</u> <u>91.0</u>	3 1.7

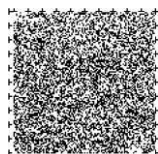
- 全体：445人のうち、「はい」が10.6%、「いいえ」が85.2%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「はい」が12.7%、「いいえ」が81.3%となっています。
- 児：177人のうち、「はい」が7.3%、「いいえ」が91.0%となっています。



3 病気や医療について

まとめ 39～55 ページ

- 通院、訪問診療・往診の状況は、いずれの障害も通院しているかたが多く、身体障害のかたは 80.0%、知的障害のかたは 64.6%、精神障害のかたは 96.0%、難病のかたは 96.7%が通院。知的障害のかたは医療を受けていないかたも多く、その割合は 30.6%。
- 健康診断の受診率は、『受けている』（「毎年受けている」＋「時々受けている」）が 73.0%、精神障害のかたは受診率が低く、『受けている』が 57.1%。
- がん検診の受診率は、『受けている』（「定期的に受けている」＋「時々受けている」）が 37.4%、『受けていない』（「ほとんど受けていない」＋「全く受けていない」）が 60.8%。特に知的障害のかたの受診率が低く、67.2%が全く受けていない。
- 生活習慣病の状況では、いずれの障害も高血圧が多いが、知的・精神障害のかたは肥満も多い。



(1) 【身知精難】問8 通院、訪問診療・往診の有無

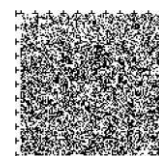
問 あなたは現在、通院したり訪問診療・往診を受けたりしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	通院している	訪問診療・往診を受けている	どちらもしない	無回答
全体		1,983 100.0	<u>1,632</u> <u>82.3</u>	164 8.3	239 12.1	33 1.7
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>942</u> <u>80.0</u>	117 9.9	153 13.0	20 1.7
	知的	268 100.0	<u>173</u> <u>64.6</u>	11 4.1	82 30.6	8 3.0
	精神	298 100.0	<u>286</u> <u>96.0</u>	28 9.4	4 1.3	2 0.7
	難病	239 100.0	<u>231</u> <u>96.7</u>	8 3.3	0 0.0	3 1.3

- 全体：1,983人のうち、「通院している」が82.3%と最も多く、次いで「どちらもしない」が12.1%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「通院している」が80.0%と最も多く、次いで「どちらもしない」が13.0%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「通院している」が64.6%と最も多く、次いで「どちらもしない」が30.6%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「通院している」が96.0%と最も多く、次いで「訪問診療・往診を受けている」が9.4%となっています。
- 難病：239人のうち、「通院している」が96.7%と最も多く、次いで「訪問診療・往診を受けている」が3.3%となっています。



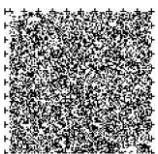
■クロス集計：通院、訪問診療・往診の有無／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	通院している	訪問診療・往診を受けている	どちらもしない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>942</u> <u>80.0</u>	117 9.9	153 13.0	20 1.7
本人の年齢別	18～29 歳	57 100.0	<u>38</u> <u>66.7</u>	10 17.5	15 26.3	0 0.0
	30～39 歳	70 100.0	<u>53</u> <u>75.7</u>	4 5.7	16 22.9	0 0.0
	40～49 歳	142 100.0	<u>103</u> <u>72.5</u>	13 9.2	30 21.1	1 0.7
	50～59 歳	279 100.0	<u>232</u> <u>83.2</u>	28 10.0	32 11.5	2 0.7
	60～69 歳	240 100.0	<u>206</u> <u>85.8</u>	19 7.9	22 9.2	5 2.1
	70～79 歳	167 100.0	<u>138</u> <u>82.6</u>	10 6.0	21 12.6	2 1.2
	80 歳以上	214 100.0	<u>166</u> <u>77.6</u>	33 15.4	17 7.9	7 3.3

<知的障害>

		合計	通院している	訪問診療・往診を受けている	どちらもしない	無回答
全体		268 100.0	<u>173</u> <u>64.6</u>	11 4.1	82 30.6	8 3.0
本人の年齢別	18～29 歳	73 100.0	<u>44</u> <u>60.3</u>	1 1.4	28 38.4	0 0.0
	30～39 歳	52 100.0	<u>30</u> <u>57.7</u>	1 1.9	20 38.5	2 3.8
	40～49 歳	51 100.0	<u>35</u> <u>68.6</u>	2 3.9	16 31.4	0 0.0
	50～59 歳	48 100.0	<u>32</u> <u>66.7</u>	0 0.0	13 27.1	3 6.3
	60～69 歳	23 100.0	<u>16</u> <u>69.6</u>	4 17.4	4 17.4	0 0.0
	70～79 歳	17 100.0	<u>14</u> <u>82.4</u>	2 11.8	1 5.9	1 5.9
	80 歳以上	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	1 50.0

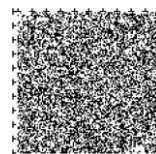


<精神障害>

		合計	通院している	訪問診療・往診を受けている	どちらもし ていない	無回答
全体		298 100.0	<u>286</u> <u>96.0</u>	28 9.4	4 1.3	2 0.7
本人の年齢別	18～29 歳	48 100.0	<u>46</u> <u>95.8</u>	3 6.3	1 2.1	0 0.0
	30～39 歳	67 100.0	<u>66</u> <u>98.5</u>	5 7.5	0 0.0	0 0.0
	40～49 歳	57 100.0	<u>55</u> <u>96.5</u>	5 8.8	1 1.8	0 0.0
	50～59 歳	74 100.0	<u>71</u> <u>95.9</u>	4 5.4	1 1.4	2 2.7
	60～69 歳	30 100.0	<u>26</u> <u>86.7</u>	7 23.3	1 3.3	0 0.0
	70～79 歳	12 100.0	<u>12</u> <u>100.0</u>	2 16.7	0 0.0	0 0.0
	80 歳以上	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0

<難病>

		合計	通院している	訪問診療・往診を受けている	どちらもし ていない	無回答
全体		239 100.0	<u>231</u> <u>96.7</u>	8 3.3	0 0.0	3 1.3
本人の年齢別	18～29 歳	13 100.0	<u>12</u> <u>92.3</u>	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	30～39 歳	34 100.0	<u>34</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40～49 歳	44 100.0	<u>43</u> <u>97.7</u>	0 0.0	0 0.0	1 2.3
	50～59 歳	58 100.0	<u>56</u> <u>96.6</u>	1 1.7	0 0.0	2 3.4
	60～69 歳	60 100.0	<u>60</u> <u>100.0</u>	1 1.7	0 0.0	0 0.0
	70～79 歳	16 100.0	<u>15</u> <u>93.8</u>	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	80 歳以上	10 100.0	<u>7</u> <u>70.0</u>	3 30.0	0 0.0	0 0.0

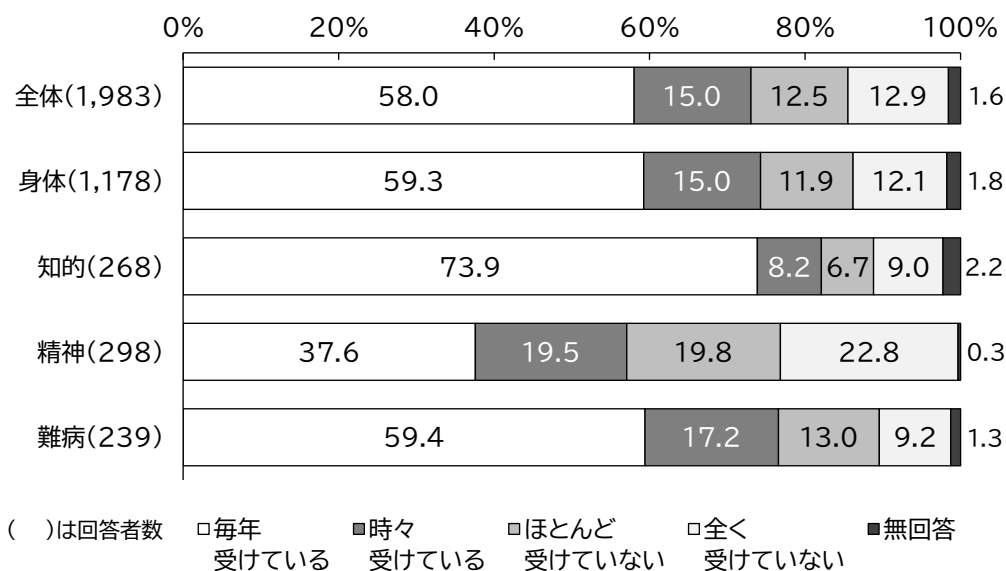


(2) 【身知精難】問9 健康診断受診の状況

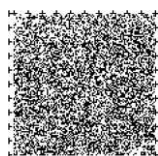
問 あなたは、毎年健康診断を受けていますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983人のうち、「毎年受けている」が58.0%と最も多く、次いで「時々受けている」が15.0%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「毎年受けている」が59.3%と最も多く、次いで「時々受けている」が15.0%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「毎年受けている」が73.9%と最も多く、次いで「全く受けていない」が9.0%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「毎年受けている」が37.6%と最も多く、次いで「全く受けていない」が22.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「毎年受けている」が59.4%と最も多く、次いで「時々受けている」が17.2%となっています。



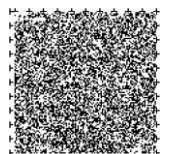
■クロス集計：健康診断受診の状況／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	いる 毎年受けて いる	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>698</u> <u>59.3</u>	177 15.0	140 11.9	142 12.1	21 1.8
本人の 年齢別	18～29 歳	57 100.0	<u>38</u> <u>66.7</u>	6 10.5	3 5.3	9 15.8	1 1.8
	30～39 歳	70 100.0	<u>54</u> <u>77.1</u>	7 10.0	3 4.3	5 7.1	1 1.4
	40～49 歳	142 100.0	<u>98</u> <u>69.0</u>	13 9.2	14 9.9	16 11.3	1 0.7
	50～59 歳	279 100.0	<u>158</u> <u>56.6</u>	35 12.5	40 14.3	44 15.8	2 0.7
	60～69 歳	240 100.0	<u>122</u> <u>50.8</u>	45 18.8	36 15.0	31 12.9	6 2.5
	70～79 歳	167 100.0	<u>90</u> <u>53.9</u>	26 15.6	28 16.8	18 10.8	5 3.0
	80 歳以上	214 100.0	<u>133</u> <u>62.1</u>	44 20.6	15 7.0	19 8.9	3 1.4

<知的障害>

		合計	いる 毎年受けて いる	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		268 100.0	<u>198</u> <u>73.9</u>	22 8.2	18 6.7	24 9.0	6 2.2
本人の 年齢別	18～29 歳	73 100.0	<u>53</u> <u>72.6</u>	7 9.6	4 5.5	9 12.3	0 0.0
	30～39 歳	52 100.0	<u>37</u> <u>71.2</u>	5 9.6	3 5.8	5 9.6	2 3.8
	40～49 歳	51 100.0	<u>41</u> <u>80.4</u>	3 5.9	3 5.9	4 7.8	0 0.0
	50～59 歳	48 100.0	<u>36</u> <u>75.0</u>	5 10.4	1 2.1	5 10.4	1 2.1
	60～69 歳	23 100.0	<u>15</u> <u>65.2</u>	2 8.7	5 21.7	1 4.3	0 0.0
	70～79 歳	17 100.0	<u>13</u> <u>76.5</u>	0 0.0	2 11.8	0 0.0	2 11.8
	80 歳以上	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

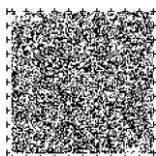


<精神障害>

		合計	毎年受けて いる	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		298 100.0	<u>112</u> <u>37.6</u>	58 19.5	59 19.8	68 22.8	1 0.3
本人の年齢別	18~29 歳	48 100.0	<u>18</u> <u>37.5</u>	6 12.5	11 22.9	13 27.1	0 0.0
	30~39 歳	67 100.0	24 35.8	6 9.0	11 16.4	<u>26</u> <u>38.8</u>	0 0.0
	40~49 歳	57 100.0	<u>21</u> <u>36.8</u>	15 26.3	12 21.1	9 15.8	0 0.0
	50~59 歳	74 100.0	<u>32</u> <u>43.2</u>	18 24.3	13 17.6	11 14.9	0 0.0
	60~69 歳	30 100.0	<u>10</u> <u>33.3</u>	7 23.3	9 30.0	4 13.3	0 0.0
	70~79 歳	12 100.0	<u>6</u> <u>50.0</u>	3 25.0	0 0.0	2 16.7	1 8.3
	80 歳以上	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0

<難病>

		合計	毎年受けて いる	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		239 100.0	<u>142</u> <u>59.4</u>	41 17.2	31 13.0	22 9.2	3 1.3
本人の年齢別	18~29 歳	13 100.0	<u>9</u> <u>69.2</u>	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0
	30~39 歳	34 100.0	<u>23</u> <u>67.6</u>	5 14.7	5 14.7	1 2.9	0 0.0
	40~49 歳	44 100.0	<u>28</u> <u>63.6</u>	8 18.2	6 13.6	1 2.3	1 2.3
	50~59 歳	58 100.0	<u>29</u> <u>50.0</u>	10 17.2	8 13.8	9 15.5	2 3.4
	60~69 歳	60 100.0	<u>39</u> <u>65.0</u>	8 13.3	6 10.0	7 11.7	0 0.0
	70~79 歳	16 100.0	<u>8</u> <u>50.0</u>	4 25.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0
	80 歳以上	10 100.0	3 30.0	<u>4</u> <u>40.0</u>	3 30.0	0 0.0	0 0.0



■クロス集計：健康診断受診の状況／かかりつけ医の有無別

<身体障害>

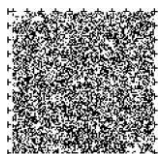
		合計	いる 毎年受けて	いる 時々受けて	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>698</u> <u>59.3</u>	177 15.0	140 11.9	142 12.1	21 1.8
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	272 100.0	<u>151</u> <u>55.5</u>	52 19.1	33 12.1	34 12.5	2 0.7
	持っている	889 100.0	<u>545</u> <u>61.3</u>	122 13.7	106 11.9	108 12.1	8 0.9

<知的障害>

		合計	いる 毎年受けて	いる 時々受けて	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		268 100.0	<u>198</u> <u>73.9</u>	22 8.2	18 6.7	24 9.0	6 2.2
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	76 100.0	<u>49</u> <u>64.5</u>	8 10.5	5 6.6	11 14.5	3 3.9
	持っている	186 100.0	<u>145</u> <u>78.0</u>	13 7.0	13 7.0	13 7.0	2 1.1

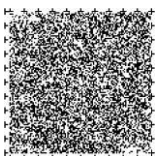
<精神障害>

		合計	いる 毎年受けて	いる 時々受けて	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		298 100.0	<u>112</u> <u>37.6</u>	58 19.5	59 19.8	68 22.8	1 0.3
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	91 100.0	<u>29</u> <u>31.9</u>	16 17.6	21 23.1	25 27.5	0 0.0
	持っている	206 100.0	<u>82</u> <u>39.8</u>	42 20.4	38 18.4	43 20.9	1 0.5



<難病>

		合計	毎年受けて いる	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		239 100.0	<u>142</u> <u>59.4</u>	41 17.2	31 13.0	22 9.2	3 1.3
かかりつけ の有無別	持っていない	43 100.0	<u>20</u> <u>46.5</u>	10 23.3	5 11.6	8 18.6	0 0.0
	持っている	191 100.0	<u>119</u> <u>62.3</u>	31 16.2	25 13.1	14 7.3	2 1.0

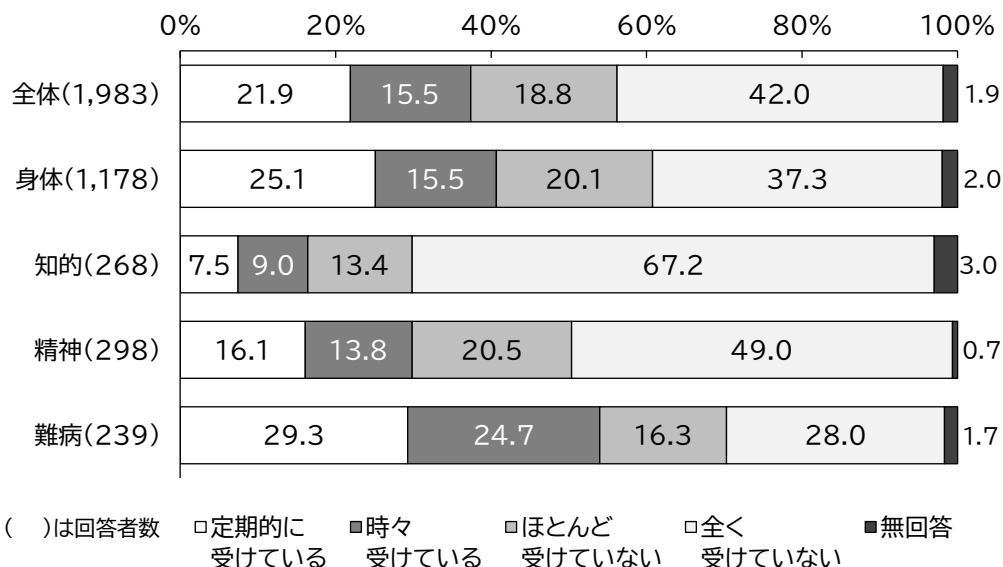


(3) 【身知精難】問10 がん検診受診の状況

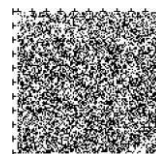
問 あなたは、がん検診を定期的に受けていますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983人のうち、「全く受けていない」が42.0%と最も多く、次いで「定期的に受けている」が21.9%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「全く受けていない」が37.3%と最も多く、次いで「定期的に受けている」が25.1%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「全く受けていない」が67.2%と最も多く、次いで「ほとんど受けていない」が13.4%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「全く受けていない」が49.0%と最も多く、次いで「ほとんど受けていない」が20.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「定期的に受けている」が29.3%と最も多く、次いで「全く受けていない」が28.0%となっています。



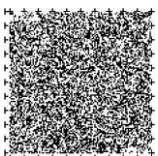
■クロス集計：がん検診受診の状況／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		1,178 100.0	296 25.1	183 15.5	237 20.1	<u>439</u> <u>37.3</u>	23 2.0
本人の 年齢別	18～29 歳	57 100.0	1 1.8	1 1.8	7 12.3	<u>48</u> <u>84.2</u>	0 0.0
	30～39 歳	70 100.0	15 21.4	8 11.4	10 14.3	<u>37</u> <u>52.9</u>	0 0.0
	40～49 歳	142 100.0	43 30.3	18 12.7	22 15.5	<u>57</u> <u>40.1</u>	2 1.4
	50～59 歳	279 100.0	77 27.6	38 13.6	52 18.6	<u>109</u> <u>39.1</u>	3 1.1
	60～69 歳	240 100.0	62 25.8	53 22.1	49 20.4	<u>69</u> <u>28.8</u>	7 2.9
	70～79 歳	167 100.0	<u>51</u> <u>30.5</u>	29 17.4	37 22.2	45 26.9	5 3.0
	80 歳以上	214 100.0	45 21.0	35 16.4	59 27.6	<u>72</u> <u>33.6</u>	3 1.4

<知的障害>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		268 100.0	20 7.5	24 9.0	36 13.4	<u>180</u> <u>67.2</u>	8 3.0
本人の 年齢別	18～29 歳	73 100.0	4 5.5	0 0.0	5 6.8	<u>64</u> <u>87.7</u>	0 0.0
	30～39 歳	52 100.0	1 1.9	3 5.8	0 0.0	<u>46</u> <u>88.5</u>	2 3.8
	40～49 歳	51 100.0	5 9.8	8 15.7	11 21.6	<u>27</u> <u>52.9</u>	0 0.0
	50～59 歳	48 100.0	9 18.8	5 10.4	9 18.8	<u>23</u> <u>47.9</u>	2 4.2
	60～69 歳	23 100.0	0 0.0	6 26.1	5 21.7	<u>12</u> <u>52.2</u>	0 0.0
	70～79 歳	17 100.0	1 5.9	2 11.8	6 35.3	<u>6</u> <u>35.3</u>	2 11.8
	80 歳以上	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	1 50.0

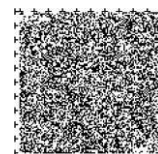


<精神障害>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		298 100.0	48 16.1	41 13.8	61 20.5	<u>146</u> <u>49.0</u>	2 0.7
本人の年齢別	18~29歳	48 100.0	3 6.3	1 2.1	6 12.5	<u>38</u> <u>79.2</u>	0 0.0
	30~39歳	67 100.0	6 9.0	7 10.4	11 16.4	<u>43</u> <u>64.2</u>	0 0.0
	40~49歳	57 100.0	8 14.0	14 24.6	12 21.1	<u>23</u> <u>40.4</u>	0 0.0
	50~59歳	74 100.0	20 27.0	12 16.2	19 25.7	<u>23</u> <u>31.1</u>	0 0.0
	60~69歳	30 100.0	5 16.7	6 20.0	8 26.7	<u>10</u> <u>33.3</u>	1 3.3
	70~79歳	12 100.0	<u>5</u> <u>41.7</u>	1 8.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0

<難病>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		239 100.0	<u>70</u> <u>29.3</u>	59 24.7	39 16.3	67 28.0	4 1.7
本人の年齢別	18~29歳	13 100.0	0 0.0	1 7.7	3 23.1	<u>9</u> <u>69.2</u>	0 0.0
	30~39歳	34 100.0	7 20.6	5 14.7	6 17.6	<u>15</u> <u>44.1</u>	1 2.9
	40~49歳	44 100.0	<u>16</u> <u>36.4</u>	13 29.5	7 15.9	7 15.9	1 2.3
	50~59歳	58 100.0	16 27.6	16 27.6	7 12.1	<u>17</u> <u>29.3</u>	2 3.4
	60~69歳	60 100.0	<u>26</u> <u>43.3</u>	13 21.7	11 18.3	10 16.7	0 0.0
	70~79歳	16 100.0	3 18.8	<u>6</u> <u>37.5</u>	2 12.5	5 31.3	0 0.0
	80歳以上	10 100.0	0 0.0	<u>4</u> <u>40.0</u>	3 30.0	3 30.0	0 0.0



■クロス集計：がん検診受診の状況／かかりつけ医の有無別

<身体障害>

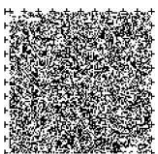
		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		1,178 100.0	296 25.1	183 15.5	237 20.1	<u>439</u> <u>37.3</u>	23 2.0
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	272 100.0	60 22.1	50 18.4	46 16.9	<u>114</u> <u>41.9</u>	2 0.7
	持っている	889 100.0	235 26.4	132 14.8	191 21.5	<u>321</u> <u>36.1</u>	10 1.1

<知的障害>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		268 100.0	20 7.5	24 9.0	36 13.4	<u>180</u> <u>67.2</u>	8 3.0
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	76 100.0	2 2.6	8 10.5	7 9.2	<u>56</u> <u>73.7</u>	3 3.9
	持っている	186 100.0	18 9.7	15 8.1	29 15.6	<u>122</u> <u>65.6</u>	2 1.1

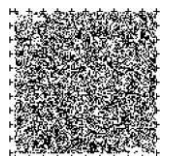
<精神障害>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		298 100.0	48 16.1	41 13.8	61 20.5	<u>146</u> <u>49.0</u>	2 0.7
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	91 100.0	11 12.1	11 12.1	18 19.8	<u>51</u> <u>56.0</u>	0 0.0
	持っている	206 100.0	36 17.5	30 14.6	43 20.9	<u>95</u> <u>46.1</u>	2 1.0



<難病>

		合計	定期的に受 けている	時々受けて いる	ほとんど受 けていない	全く受けて いない	無回答
全体		239 100.0	<u>70</u> <u>29.3</u>	59 24.7	39 16.3	67 28.0	4 1.7
かかりつけ の有無別	持っていない	43 100.0	7 16.3	11 25.6	10 23.3	<u>15</u> <u>34.9</u>	0 0.0
	持っている	191 100.0	<u>60</u> <u>31.4</u>	47 24.6	29 15.2	52 27.2	3 1.6



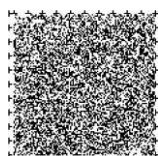
(4) 【身知精難】問11 生活習慣病の状況

問 あなたは、以下の生活習慣病がありますか。(あてはまるものすべてに○)

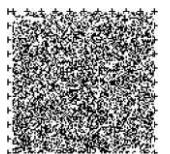
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肥満	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1,983 100.0	602 30.4	269 13.6	264 13.3	247 12.5	20 1.0	295 14.9	134 6.8	<u>837</u> <u>42.2</u>	54 2.7
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>458</u> <u>38.9</u>	174 14.8	198 16.8	216 18.3	18 1.5	137 11.6	81 6.9	396 33.6	38 3.2
	視覚障害	101 100.0	34 33.7	13 12.9	13 12.9	6 5.9	1 1.0	16 15.8	5 5.0	<u>49</u> <u>48.5</u>	5 5.0
	聴覚障害	120 100.0	45 37.5	13 10.8	17 14.2	9 7.5	3 2.5	11 9.2	4 3.3	<u>57</u> <u>47.5</u>	1 0.8
	平衡機能障害	16 100.0	3 18.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3	0 0.0	2 12.5	1 6.3	<u>8</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	音声・言語・そ しゃく機能の 障害	15 100.0	6 40.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	<u>8</u> <u>53.3</u>	0 0.0
	肢体不自由	529 100.0	<u>203</u> <u>38.4</u>	84 15.9	78 14.7	40 7.6	7 1.3	68 12.9	38 7.2	201 38.0	14 2.6
	内部障害	331 100.0	142 42.9	49 14.8	75 22.7	<u>145</u> <u>43.8</u>	7 2.1	33 10.0	31 9.4	58 17.5	7 2.1
	知的	268 100.0	50 18.7	24 9.0	17 6.3	10 3.7	0 0.0	41 15.3	17 6.3	<u>155</u> <u>57.8</u>	6 2.2
	精神	298 100.0	44 14.8	36 12.1	30 10.1	5 1.7	1 0.3	87 29.2	23 7.7	<u>154</u> <u>51.7</u>	2 0.7
	難病	239 100.0	50 20.9	35 14.6	19 7.9	16 6.7	1 0.4	30 12.6	13 5.4	<u>132</u> <u>55.2</u>	8 3.3



- 全体：1,983人のうち、「特にない」が42.2%と最も多く、次いで「高血圧」が30.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「高血圧」が38.9%と最も多く、次いで「特にない」が33.6%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「特にない」が57.8%と最も多く、次いで「高血圧」が18.7%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「特にない」が51.7%と最も多く、次いで「肥満」が29.2%となっています。
- 難病：239人のうち、「特にない」が55.2%と最も多く、次いで「高血圧」が20.9%となっています。



■クロス集計：生活習慣病の状況／かかりつけ医の有無別

<身体障害>

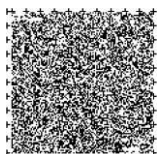
		合計	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肥満	その他	特にな い	無回 答
全体		1,178 100.0	<u>458</u> <u>38.9</u>	174 14.8	198 16.8	216 18.3	18 1.5	137 11.6	81 6.9	396 33.6	38 3.2
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	272 100.0	66 24.3	30 11.0	26 9.6	26 9.6	1 0.4	26 9.6	13 4.8	<u>144</u> <u>52.9</u>	11 4.0
	持っている	889 100.0	<u>388</u> <u>43.6</u>	144 16.2	171 19.2	188 21.1	17 1.9	109 12.3	68 7.6	251 28.2	16 1.8

<知的障害>

		合計	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肥満	その他	特にな い	無回 答
全体		268 100.0	50 18.7	24 9.0	17 6.3	10 3.7	0 0.0	41 15.3	17 6.3	<u>155</u> <u>57.8</u>	6 2.2
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	76 100.0	5 6.6	3 3.9	1 1.3	4 5.3	0 0.0	7 9.2	3 3.9	<u>57</u> <u>75.0</u>	3 3.9
	持っている	186 100.0	43 23.1	20 10.8	16 8.6	6 3.2	0 0.0	33 17.7	13 7.0	<u>98</u> <u>52.7</u>	1 0.5

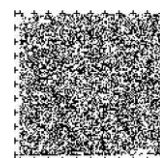
<精神障害>

		合計	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肥満	その他	特にな い	無回 答
全体		298 100.0	44 14.8	36 12.1	30 10.1	5 1.7	1 0.3	87 29.2	23 7.7	<u>154</u> <u>51.7</u>	2 0.7
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	91 100.0	12 13.2	13 14.3	5 5.5	1 1.1	0 0.0	24 26.4	8 8.8	<u>50</u> <u>54.9</u>	1 1.1
	持っている	206 100.0	31 15.0	23 11.2	25 12.1	3 1.5	1 0.5	63 30.6	15 7.3	<u>104</u> <u>50.5</u>	1 0.5



<難病>

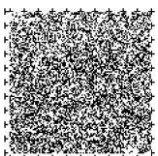
	合計	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肥満	その他	特 に な い	無 回 答
全体	239 100.0	50 20.9	35 14.6	19 7.9	16 6.7	1 0.4	30 12.6	13 5.4	<u>132</u> <u>55.2</u>	8 3.3
か か り つ け 医 の 有 無 別	持っていない	43 100.0	11 25.6	6 14.0	6 14.0	2 4.7	8 18.6	1 2.3	<u>23</u> <u>53.5</u>	0 0.0
	持っている	191 100.0	37 19.4	29 15.2	13 6.8	13 6.8	22 11.5	12 6.3	<u>108</u> <u>56.5</u>	7 3.7



4 児童の現状について

まとめ 57～64 ページ

- 児童で困っていることは、育児や教育のことが最も多く76.3%、次いで、子どもとのコミュニケーションがとりにくいことが26.0%。また、介護者が介護から離れる時間が十分に確保できないが6.2%。
- 児童の平日の日中の過ごし方は、「幼稚園・保育園・認定こども園」が最も多く43.5%、次いで「小学校（普通級・特別支援教室・特別支援学級・特別支援学校）」が39.5%。
- 今年度、利用した保育事業等で最も多いのは、一時保育で5.6%が利用。
- 今後、新たに利用したい保育事業等で最も多いのは、ファミリー・サポート・センター事業で16.9%が希望。



(1) 【児】問10 児童のことでの困りごと

問 お子さんのことで現在困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象：

児童

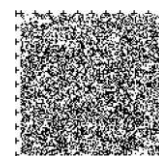
単純集計：調査票種別

	合計	特 に な い	育 児 や 教 育 の こ と	医 療 の こ と	リ ハ ビ リ の こ と	福 祉 サ ー ビ ス の こ と	生 活 費 、 医 療 費 等 経 済 的 な こ と	交 通 機 関 が 使 い づ ら い 等 、 外 出 が 困 難 な こ と	子 育 て や 障 害 に つ い て 必 要 な 情 報 を 得 ら れ な い 、 得 る の が 難 し い こ と	強 く 叱 責 し て し ま つ た り 、 手 を あ げ て し ま う こ と	相 談 す る 相 手 が い な い こ と	お 子 さ ん と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン が と り に く い こ と
児童	177 100.0	16 9.0	135 76.3	20 11.3	10 5.6	30 16.9	20 11.3	24 13.6	28 15.8	21 11.9	14 7.9	46 26.0

(下表へ続く)

	合計	お 子 さ ん の 性 の こ と	発 達 の 遅 れ や 障 害 、 病 気 等 に つ い て 周 り か ら の 理 解 が 得 ら れ な い こ と	き よ う だ い の 学 校 行 事 や 冠 婚 葬 祭 時 等 に 預 け 先 が 見 つ か ら な い こ と	近 く に 理 解 の あ る 医 療 機 関 が 見 つ か ら な い こ と	介 護 者 の 健 康 状 態	介 護 者 の 睡 眠 時 間	介 護 者 が 介 護 か ら 離 れ る 時 間 が 十 分 に 確 保 で き な い こ と	そ の 他	無 回 答
児童	177 100.0	10 5.6	24 13.6	24 13.6	13 7.3	14 7.9	13 7.3	11 6.2	8 4.5	1 0.6

- 児童：177人のうち、「育児や教育のこと」が76.3%と最も多く、次いで「お子さんとのコミュニケーションがとりにくいこと」が26.0%となっています。



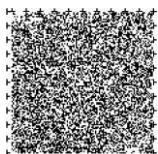
■クロス集計：児童のことでの困りごと／手帳の種類別

<児童>

	合計	特 に な い	育 児 や 教 育 の こ と	医 療 の こ と	リ ハ ビ リ の こ と	福 祉 サ ー ビ ス の こ と	生 活 費 、 医 療 費 等 経 済 的 な こ と	交 通 機 関 が 使 い づ ら い 等 、 外 出 が 困 難 な こ と	子 育 て や 障 害 に つ い て 必 要 な 情 報 を 得 ら れ な い 、 得 る の が 難 し い	強 く 叱 責 し て し ま つ た り 、 手 を あ げ て し ま う こ と	相 談 す る 相 手 が い な い こ と	
全体	177 100.0	16 9.0	<u>135</u> <u>76.3</u>	20 11.3	10 5.6	30 16.9	20 11.3	24 13.6	28 15.8	21 11.9	14 7.9	
手 帳 の 種 類 別	身体障害者手帳を持つ ている	16 100.0	2 12.5	<u>7</u> <u>43.8</u>	3 18.8	4 25.0	5 31.3	3 18.8	6 37.5	3 18.8	2 12.5	0 0.0
	愛の手帳（療育手帳） を持つている	51 100.0	6 11.8	<u>36</u> <u>70.6</u>	7 13.7	4 7.8	12 23.5	5 9.8	11 21.6	4 7.8	5 9.8	2 3.9
	精神障害者保健福祉手 帳を持つている	6 100.0	0 0.0	<u>5</u> <u>83.3</u>	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7
	持っていない（手帳の 存在は知っている）	102 100.0	9 8.8	<u>84</u> <u>82.4</u>	8 7.8	4 3.9	14 13.7	11 10.8	9 8.8	20 19.6	12 11.8	10 9.8
	持っていない（手帳の 存在は知らない）	6 100.0	0 0.0	<u>6</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7

(下表に続く)

	合計	お 子 さ ん と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン が と り こ ぐ ら い の こ と	お 子 さ ん の 性 の こ と	発 達 の 遅 れ や 障 害 、 痲 痺 等 に つ い て 周 り か ら の 理 解 が 得 ら れ な い こ と	き ょう だ い の 学 校 行 事 や 冠 婚 葬 祭 時 等 に 預 け 先 が 見 つ か ら な い こ と	近 く に 理 解 の あ る 医 療 機 関 が 見 つ か ら な い こ と	介 護 者 の 健 康 状 態	介 護 者 の 睡 眠 時 間	介 護 者 が 介 護 か ら 離 れ る 時 間 が 十 分 に 確 保 で き な い こ と	そ の 他	無 回 答	
全体	177 100.0	46 26.0	10 5.6	24 13.6	24 13.6	13 7.3	14 7.9	13 7.3	11 6.2	8 4.5	1 0.6	
手 帳 の 種 類 別	身体障害者手帳を持つ ている	16 100.0	3 18.8	3 18.8	1 6.3	6 37.5	1 6.3	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳（療育手帳） を持つている	51 100.0	20 39.2	7 13.7	6 11.8	11 21.6	3 5.9	6 11.8	4 9.8	5 5.9	0 0.0	
	精神障害者保健福祉手 帳を持つている	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	
	持っていない（手帳の 存在は知っている）	102 100.0	21 20.6	1 1.0	17 16.7	8 7.8	9 8.8	7 6.9	9 8.8	5 4.9	5 4.9	0 0.0
	持っていない（手帳の 存在は知らない）	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	



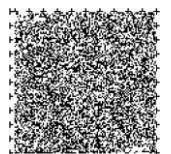
■クロス集計：児童のことでの困りごと／医療的ケアの状況別

<児童>

	合計	特 に な い	育 児 や 教 育 の こ と	医 療 の こ と	リ ハ ビ リ の こ と	福 祉 サ ー ビ ス の こ と	生 活 費 、 医 療 費 等 の こ と	交 通 機 関 が 使 い づ ら い 等 、 外 出 が 困 難 な こ と	子 育 て や 障 害 に つ い て 必 要 な 情 報 を 得 ら れ な い こ と	強 く 叱 責 し て し ま つ た り 、 手 を あ げ て し ま つ た こ と	相 談 す る 相 手 が い な い こ と
全体	177 100.0	16 9.0	135 76.3	20 11.3	10 5.6	30 16.9	20 11.3	24 13.6	28 15.8	21 11.9	14 7.9
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
	痰（たん）の吸引	2 100.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	吸入（ネブライザー）	3 100.0	0 0.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	酸素療法	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	経管栄養・胃ろう	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	受けていない	167 100.0	15 9.0	129 77.2	16 9.6	9 5.4	29 17.4	20 12.0	24 14.4	27 16.2	19 11.4

(下表に続く)

	合計	お 子 さ ん と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン が と り に く ら い と	お 子 さ ん の 性 の こ と	発 達 の 遅 れ や 障 害 等 に つ い て 周 り か ら の 理 解 が 得 ら れ な い こ と	き よ う だ い の 学 校 等 に 預 け 先 が 見 つ か ら な い こ と	近 く に 理 解 の あ る 医 療 機 関 が 見 つ か ら な い こ と	介 護 者 の 健 康 状 態	介 護 者 の 睡 眠 時 間	介 護 者 が 介 護 か ら 離 れ る 時 間 が 十 分 に 確 保 で き な い こ と	そ の 他	無 回 答
全体	177 100.0	46 26.0	10 5.6	24 13.6	24 13.6	13 7.3	14 7.9	13 7.3	11 6.2	8 4.5	1 0.6
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	痰（たん）の吸引	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	吸入（ネブライザー）	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	酸素療法	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	経管栄養・胃ろう	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	受けていない	167 100.0	45 26.9	8 4.8	23 13.8	22 13.2	12 7.2	14 8.4	12 7.2	11 6.6	7 4.2



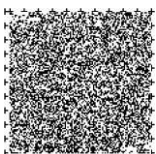
■クロス集計：児童のことでの困りごと／重度支援の表記の有無別

<児童>

		合計	特 に な い	育 児 や 教 育 の こ と	医 療 の こ と	リ ハ ビ リ の こ と	福 祉 サ ー ビ ス の こ と	生 活 費 、 医 療 費 等 経 済 的 な こ と	交 通 機 関 が 使 い づ ら い 等 、 外 出 が 困 難 な こ と	子 育 て や 障 害 に つ い て 必 要 な 情 報 を 得 ら れ な い 、 得 る の が 難 し い こ と	強 く 叱 責 し て し ま つ た り 、 手 を あ げ て し ま う こ と	相 談 す る 相 手 が い な い こ と
全体		177 100.0	16 9.0	<u>135</u> <u>76.3</u>	20 11.3	10 5.6	30 16.9	20 11.3	24 13.6	28 15.8	21 11.9	14 7.9
表 記 の 有 無 別 の 重 度 支 援	はい	13 100.0	2 15.4	<u>8</u> <u>61.5</u>	4 30.8	3 23.1	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7	2 15.4	0 0.0
	いいえ	161 100.0	14 8.7	<u>126</u> <u>78.3</u>	16 9.9	6 3.7	27 16.8	17 10.6	22 13.7	26 16.1	18 11.2	13 8.1

(下表に続く)

		合計	お 子 さ ん と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン が と り に く い こ と	お 子 さ ん の 性 の こ と	発 達 の 遅 れ や 障 害 、 病 気 等 に つ い て 周 り か ら の 理 解 が 得 ら れ な い こ と	き よ う だ い の 学 校 行 事 や 冠 婚 葬 祭 時 等 に 預 け 先 が 見 つ か ら な い こ と	近 く に 理 解 の あ る 医 療 機 関 が 見 つ か ら な い こ と	介 護 者 の 健 康 状 態	介 護 者 の 睡 眠 時 間	介 護 者 が 介 護 か ら 離 れ る 時 間 が 十 分 に 確 保 で き な い こ と	そ の 他	無 回 答
全体		177 100.0	46 26.0	10 5.6	24 13.6	24 13.6	13 7.3	14 7.9	13 7.3	11 6.2	8 4.5	1 0.6
表 記 の 有 無 別 の 重 度 支 援	はい	13 100.0	6 46.2	2 15.4	4 30.8	4 30.8	1 7.7	2 15.4	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	いいえ	161 100.0	39 24.2	8 5.0	20 12.4	20 12.4	12 7.5	11 6.8	10 6.2	9 5.6	8 5.0	0 0.0



(2) 【児】問 11 児童の平日の日中の過ごし方

問 お子さんは、平日の日中、どこで過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

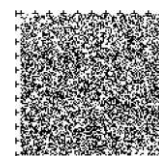
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

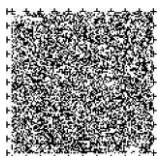
	合計	幼稚園・保育園・認定こども園	小学校(普通級・特別支援教室・特別支援学級・特別支援学校)	中学校(普通級・特別支援教室・特別支援学級・特別支援学校)	高校(普通高校・通信制・定時制・特別支援学校)	児童発達支援事業所	放課後等デイサービス	家にいる、通園先・通所先はない	入院中	その他	無回答
児童	177 100.0	77 43.5	70 39.5	14 7.9	7 4.0	29 16.4	60 33.9	9 5.1	0 0.0	5 2.8	1 0.6

- 児童：177人のうち、「幼稚園・保育園・認定こども園」が43.5%と最も多く、次いで「小学校(普通級・特別支援教室・特別支援学級・特別支援学校)」が39.5%となっています。



■クロス集計：児童の平日の日中の過ごし方／児童のことでの困りごと別<児童>

		合計	幼稚園・保育園・認定 こども園	小学校(普通級・特別支援教 室・特別支援学級・特別支援 学校)	中学校(普通級・特別支援教 室・特別支援学級・特別支援 学校)	高校(普通高校・通信制・定 時制・特別支援学校)	児童発達支援事業所	放課後等デイサービス	家にいる、通園先・通 所先はない	入院中	その他	無回答
全体		177 100.0	<u>77</u> 43.5	70 39.5	14 7.9	7 4.0	29 16.4	60 33.9	9 5.1	0 0.0	5 2.8	1 0.6
児童のことでの困りごと別	特になし	16 100.0	7 43.8	<u>8</u> 50.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	6 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	育児や教育のこと	135 100.0	<u>61</u> 45.2	51 37.8	13 9.6	4 3.0	26 19.3	46 34.1	9 6.7	0 0.0	4 3.0	0 0.0
	医療のこと	20 100.0	7 35.0	<u>11</u> 55.0	0 0.0	2 10.0	4 20.0	9 45.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	リハビリのこと	10 100.0	4 40.0	<u>5</u> 50.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	福祉サービスのこと	30 100.0	11 36.7	<u>15</u> 50.0	2 6.7	1 3.3	4 13.3	14 46.7	2 6.7	0 0.0	2 6.7	0 0.0
	生活費、医療費等経済的な こと	20 100.0	7 35.0	<u>10</u> 50.0	2 10.0	0 0.0	2 10.0	9 45.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
	交通機関が使いづらい等、 外出が困難なこと	24 100.0	11 45.8	<u>12</u> 50.0	1 4.2	0 0.0	5 20.8	10 41.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子育てや障害について必要な 情報を得られない、得るのが難 しいこと	28 100.0	<u>15</u> 53.6	9 32.1	2 7.1	0 0.0	5 17.9	8 28.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0
	強く叱責してしまったり、 手をあげてしまうこと	21 100.0	<u>10</u> 47.6	7 33.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	5 23.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	相談する相手がないこと	14 100.0	<u>5</u> 35.7	3 21.4	3 21.4	1 7.1	3 21.4	4 28.6	2 14.3	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	お子さんとのコミュニケー ションがとりにくいこと	46 100.0	<u>23</u> 50.0	14 30.4	3 6.5	2 4.3	14 30.4	14 30.4	1 2.2	0 0.0	1 2.2	0 0.0
	お子さんの性のこと	10 100.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	<u>6</u> 60.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	発達の遅れや障害、病気等につ いて周りからの理解が得られ ないこと	24 100.0	<u>12</u> 50.0	8 33.3	2 8.3	1 4.2	5 20.8	9 37.5	2 8.3	0 0.0	1 4.2	0 0.0
	きょうだいの学校行事や冠婚 葬祭等に預け先が見つから ないこと	24 100.0	9 37.5	<u>12</u> 50.0	1 4.2	1 4.2	5 20.8	11 45.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	近くに理解のある医療機関 が見つからないこと	13 100.0	<u>7</u> 53.8	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	介護者の健康状態	14 100.0	5 35.7	<u>6</u> 42.9	1 7.1	1 7.1	3 21.4	<u>6</u> 42.9	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	介護者の睡眠時間	13 100.0	<u>6</u> 46.2	<u>6</u> 46.2	0 0.0	1 7.7	3 23.1	5 38.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	介護者が介護から離れる時間 が十分に確保できないこと	11 100.0	<u>7</u> 63.6	4 36.4	0 0.0	0 0.0	3 27.3	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	8 100.0	<u>5</u> 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	



(3) 【児】問12 今年度、利用した保育事業等

問 今年度、利用した保育事業等を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： **児童**

単純集計：調査票種別

	合計	利用していない	短期特例保育	一時保育	ファミリー・サポート・センター事業	子どもショートステイ事業	病児・病後児保育	定期利用保育	休日保育	マイほいくえん事業	子どもつながる定期預かり事業	その他	無回答
児童	177 100.0	129 72.9	1 0.6	10 5.6	6 3.4	3 1.7	0 0.0	8 4.5	0 0.0	0 0.0	2 1.1	6 3.4	17 9.6

- 児童：177人のうち、「利用していない」が72.9%と最も多く、次いで「一時保育」が5.6%となっています。

(4) 【児】問13 今後、新たに利用したい保育事業等

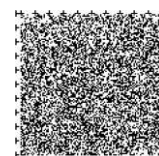
問 今後、新たに利用したい保育事業等を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： **児童**

単純集計：調査票種別

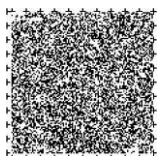
	合計	特にない	短期特例保育	一時保育	ファミリー・サポート・センター事業	子どもショートステイ事業	病児・病後児保育	定期利用保育	休日保育	マイほいくえん事業	子どもつながる定期預かり事業	その他	無回答
児童	177 100.0	87 49.2	1 0.6	15 8.5	30 16.9	25 14.1	12 6.8	5 2.8	15 8.5	1 0.6	6 3.4	6 3.4	16 9.0

- 児童：177人のうち、「特にない」が49.2%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター事業」が16.9%となっています。



■クロス集計：今後、新たに利用したい保育事業等／児童のことでの困りごと別<児童>

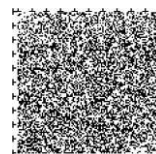
	合計	特 に ない	短 期 特 例 保 育	一 時 保 育	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー 事 業	子 ど も シ ョ ー ト ス テ イ 事 業	病 児 ・ 病 後 児 保 育	定 期 利 用 保 育	休 日 保 育	マ イ ほ い く え ん 事 業	子 ど も つ な が る 定 期 預 かり 事 業	そ の 他	無 回 答
全体	177 100.0	87 49.2	1 0.6	15 8.5	30 16.9	25 14.1	12 6.8	5 2.8	15 8.5	1 0.6	6 3.4	6 3.4	16 9.0
児童のことでの困りごと別	特にない	16 100.0	11 68.8	0 0.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	育児や教育のこと	135 100.0	64 47.4	1 0.7	11 8.1	23 17.0	22 16.3	9 6.7	5 3.7	11 8.1	1 0.7	6 4.4	11 8.1
	医療のこと	20 100.0	10 50.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	5 25.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0
	リハビリのこと	10 100.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	福祉サービスのこと	30 100.0	13 43.3	1 3.3	3 10.0	7 23.3	9 30.0	2 6.7	2 6.7	3 10.0	0 0.0	1 3.3	2 6.7
	生活費、医療費等経済的なこと	20 100.0	6 30.0	1 5.0	3 15.0	7 35.0	6 30.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0
	交通機関が使いづらい等、外出が困難なこと	24 100.0	10 41.7	0 0.0	3 12.5	3 12.5	6 25.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	1 4.2	2 8.3
	子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	28 100.0	17 60.7	0 0.0	1 3.6	4 14.3	3 10.7	4 14.3	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	3 10.7
	強く叱責してしまったり、手をあげてしまうこと	21 100.0	11 52.4	0 0.0	3 14.3	3 14.3	4 19.0	0 0.0	0 0.0	2 9.5	0 0.0	0 0.0	2 9.5
	相談する相手がいないこと	14 100.0	8 57.1	0 0.0	1 7.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3
	お子さんとのコミュニケーションがとりにくいこと	46 100.0	24 52.2	0 0.0	4 8.7	10 21.7	14 30.4	3 6.5	2 4.3	6 13.0	1 2.2	2 4.3	1 2.2
	お子さんの性のこと	10 100.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	発達の遅れや障害、病気等について周りからの理解が得られないこと	24 100.0	12 50.0	0 0.0	3 12.5	5 20.8	5 20.8	0 0.0	1 4.2	1 4.2	1 4.2	0 0.0	1 4.2
	きょうだいの学校行事や冠婚葬祭等に預け先が見つからないこと	24 100.0	8 33.3	0 0.0	5 20.8	6 25.0	8 33.3	1 4.2	0 0.0	2 8.3	0 0.0	1 4.2	2 8.3
	近くに理解のある医療機関が見つからないこと	13 100.0	9 69.2	0 0.0	0 0.0	2 15.4	2 15.4	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	1 7.7
	介護者の健康状態	14 100.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	2 14.3	8 57.1	1 7.1	1 7.1	3 21.4	0 0.0	0 0.0	2 14.3
	介護者の睡眠時間	13 100.0	5 38.5	0 0.0	1 7.7	1 7.7	5 38.5	1 7.7	1 7.7	3 23.1	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	介護者が介護から離れる時間が十分に確保できないこと	11 100.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	1 9.1	4 36.4	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	その他	8 100.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5



5 就学前、就学中の児童について

まとめ 66～69 ページ

- 就学前の児童について、幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度は、週5日が87.0%。
- 幼稚園・保育園・認定こども園のことでの困りごとは、発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じるが51.9%、周りの子どもと馴染めるか不安があるが40.3%。
- 就学中の児童について、児童の放課後や休日の過ごし方は、放課後等デイサービスが75.8%、家族と過ごしているが73.6%。
- 小学校、中学校、高校での困りごとは、発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じるが44.0%、周りの子どもと馴染めるか不安があるが35.2%。



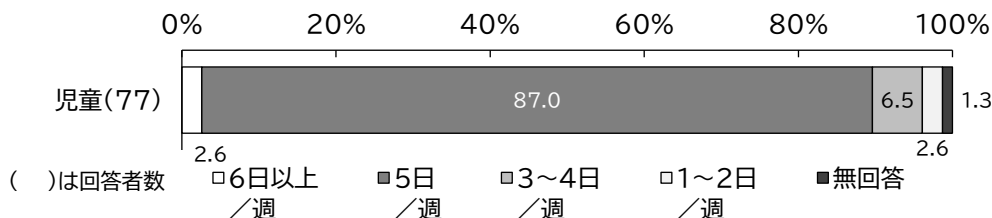
(1) 【児】 問 14 幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度【就学前児童】

【【児】の問 11 で「幼稚園・保育園・認定こども園」と答えたかたのみにおうかがいします。】
 問 幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

調査対象：

児童

単純集計：調査票種別



- 児童:77人のうち、「5日/週」が87.0%と最も多く、次いで「3～4日/週」が6.5%となっています。

(2) 【児】 問 15 幼稚園・保育園・認定こども園での困りごと【就学前児童】

【【児】の問 11 で「幼稚園・保育園・認定こども園」と答えたかたのみにおうかがいします。】
 問 幼稚園・保育園・認定こども園のことで困ったことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

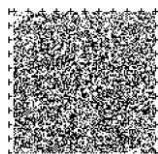
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

	合計	特 に な い	周 り の 子 ど も と 馴 染 め る か 不 安 が あ る	発 達 ・ 発 育 面 で ほ か の 子 ど も た ち と の ギ ャ ッ プ を 感 じ る	周 り の 保 護 者 の 目 が 気 に な る	希 望 の 園 に 行 け な か っ た	園 を 選 ぶ 情 報 が 少 な か っ た	そ の 他	無 回 答
児童	77 100.0	23 29.9	31 40.3	40 51.9	13 16.9	5 6.5	4 5.2	10 13.0	0 0.0

- 児童:77人のうち、「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が51.9%と最も多く、次いで「周りの子どもと馴染めるか不安がある」が40.3%となっています。



(3) 【児】問 16 児童の放課後や休日の過ごし方【就学中児童】

【【児】の問 11 で「小学校」「中学校」「高校」と答えたかたにおうかがいします。】

問 お子さんは放課後や休日はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

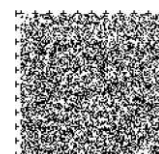
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

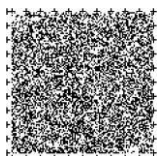
	合計	子どもスキップ	学童クラブ	中高生センター ジャンプ	学校のクラブ活動・部 活動	公園・図書館	習い事	放課後等 デイサービス	友人と遊ぶ	一人で過ごす	家族と過 ごしている	祖父母と過 ごしている	その他	無回答
児童	91 100.0	17 18.7	9 9.9	0 0.0	6 6.6	9 9.9	28 30.8	69 75.8	16 17.6	14 15.4	67 73.6	7 7.7	2 2.2	4 4.4

- 児童：91 人のうち、「放課後等デイサービス」が 75.8%と最も多く、次いで「家族と過ごしている」が 73.6%となっています。



■クロス集計：児童の放課後や休日の過ごし方【就学中児童】／児童のことでの困りごと別<児童>

	合計	子どもスキップ	学童クラブ	中高生センター ヤング	学校のクラブ活動・ 部活動	公園・図書館	習い事	放課後等 デイサー	友人と遊ぶ	一人で過ごす	家族と過ごしている	祖父母と過ごしている	その他	無回答	
全体	91 100.0	17 18.7	9 9.9	0 0.0	6 6.6	9 9.9	28 30.8	69 75.8	16 17.6	14 15.4	67 73.6	7 7.7	2 2.2	4 4.4	
児童のよべの困りごと別	特にない	9 100.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 66.7	1 11.1	0 0.0	4 44.4	1 11.1	0 0.0	1 11.1	
	育児や教育のこと	68 100.0	13 19.1	8 11.8	0 0.0	5 7.4	7 10.3	25 36.8	14 20.6	14 20.6	55 80.9	5 7.4	2 2.9	1 1.5	
	医療のこと	13 100.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	9 69.2	2 15.4	1 7.7	11 84.6	0 0.0	1 7.7	2 15.4
	リハビリのこと	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	福祉サービスのこと	18 100.0	3 16.7	2 11.1	0 0.0	1 5.6	2 11.1	2 11.1	14 77.8	1 5.6	0 0.0	13 72.2	1 5.6	1 5.6	2 11.1
	生活費、医療費等経済的なこと	12 100.0	3 25.0	2 16.7	0 0.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	9 75.0	1 8.3	1 8.3	12 100.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0
	交通機関が使づらい等、外出が困難なこと	13 100.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	10 76.9	0 0.0	0 0.0	12 92.3	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	11 100.0	2 18.2	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	10 90.9	0 0.0	1 9.1	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	強く叱責してしまったり、手をあげてしまうこと	9 100.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	4 44.4	5 55.6	2 22.2	2 22.2	7 77.8	0 0.0	0 0.0	1 11.1
	相談する相手がいないこと	7 100.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9	5 71.4	4 57.1	1 14.3	4 57.1	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0
	お子さんとのコミュニケーションがとりにくいこと	19 100.0	1 5.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	1 5.3	8 42.1	16 84.2	0 0.0	3 15.8	14 73.7	0 0.0	1 5.3	1 5.3
	お子さんの性のこと	8 100.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	7 87.5	0 0.0	0 0.0	7 87.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5
	発達の遅れや障害、病気等について周りからの理解が得られないこと	11 100.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	3 27.3	10 90.9	1 9.1	1 9.1	7 63.6	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	きょうだいの学校行事や冠婚葬祭等に預け先が見つからないこと	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	3 21.4	10 71.4	1 7.1	1 7.1	13 92.9	0 0.0	1 7.1	1 7.1
	近くに理解のある医療機関が見つからないこと	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
	介護者の健康状態	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	7 87.5	0 0.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5
	介護者の睡眠時間	7 100.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1	7 100.0	1 14.3	2 28.6	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	介護者が介護から離れる時間が十分に確保できないこと	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



(4) 【児】問 17 小学校、中学校、高校での困りごと【就学中児童】

【【児】の問 11 で「小学校」「中学校」「高校」と答えたかたにおうかがいします。】

問 小学校、中学校、高校のことで困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

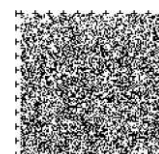
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

	合計	特 に ない	周 り の 子 ど も と 馴 染 め る か 不 安 が あ る	発 達 ・ 発 育 面 で ほ か の 子 ど も た ち と の ギ ャ ッ プ を 感 じ る	周 り の 保 護 者 の 目 が 気 に な る	希 望 の 学 級 ・ 学 校 に 行 け な か っ た	学 級 ・ 学 校 を 選 ぶ 情 報 が 少 な か っ た	そ の 他	無 回 答
児童	91 100.0	30 33.0	32 35.2	40 44.0	7 7.7	4 4.4	5 5.5	9 9.9	4 4.4

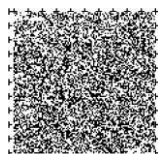
- 児童:91人のうち、「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が44.0%と最も多く、次いで「周りの子どもと馴染めるか不安がある」が35.2%となっています。



6 医療的ケア・かかりつけ医について

まとめ 71～74 ページ

- 日常的な医療的ケアは、全体の 9.1%が『受けている』（100%－「受けていない」－「無回答」）。
- かかりつけ医を持っているかたは全体の 74.0%、持っていないかたが 24.4%。
- 持たない理由としては、かかりつけ医を見つけられないという回答が多いが、知的障害のかたは（今は）必要としていないかたが多い。



(1) 【身知精難児】問12 医療的ケアの状況

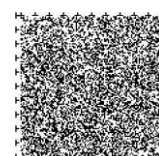
問 あなたは、日常的に医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	人工呼吸器の使用	痰(たん)の吸引	吸入(ネブライザー)	酸素療法	経管栄養・胃ろう	その他	受けていない	無回答
全体		2,160 100.0	9 0.4	18 0.8	21 1.0	21 1.0	23 1.1	143 6.6	<u>1,862</u> <u>86.2</u>	101 4.7
調査票種別	身体	1,178 100.0	8 0.7	16 1.4	10 0.8	18 1.5	21 1.8	116 9.8	<u>965</u> <u>81.9</u>	59 5.0
	知的	268 100.0	0 0.0	0 0.0	3 1.1	0 0.0	0 0.0	6 2.2	<u>249</u> <u>92.9</u>	10 3.7
	精神	298 100.0	0 0.0	0 0.0	3 1.0	0 0.0	0 0.0	16 5.4	<u>262</u> <u>87.9</u>	17 5.7
	難病	239 100.0	0 0.0	0 0.0	2 0.8	2 0.8	0 0.0	5 2.1	<u>219</u> <u>91.6</u>	11 4.6
	児童	177 100.0	1 0.6	2 1.1	3 1.7	1 0.6	2 1.1	0 0.0	<u>167</u> <u>94.4</u>	4 2.3

- 全体：2,160人のうち、「受けていない」が86.2%と最も多く、次いで「その他」が6.6%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「受けていない」が81.9%と最も多く、次いで「その他」が9.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「受けていない」が92.9%と最も多く、次いで「その他」が2.2%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「受けていない」が87.9%と最も多く、次いで「その他」が5.4%となっています。
- 難病：239人のうち、「受けていない」が91.6%と最も多く、次いで「その他」が2.1%となっています。
- 児童：177人のうち、「受けていない」が94.4%と最も多く、次いで「吸入(ネブライザー)」が1.7%となっています。
- その他には、「人工透析」「導尿」「ストマ」などの回答があります。

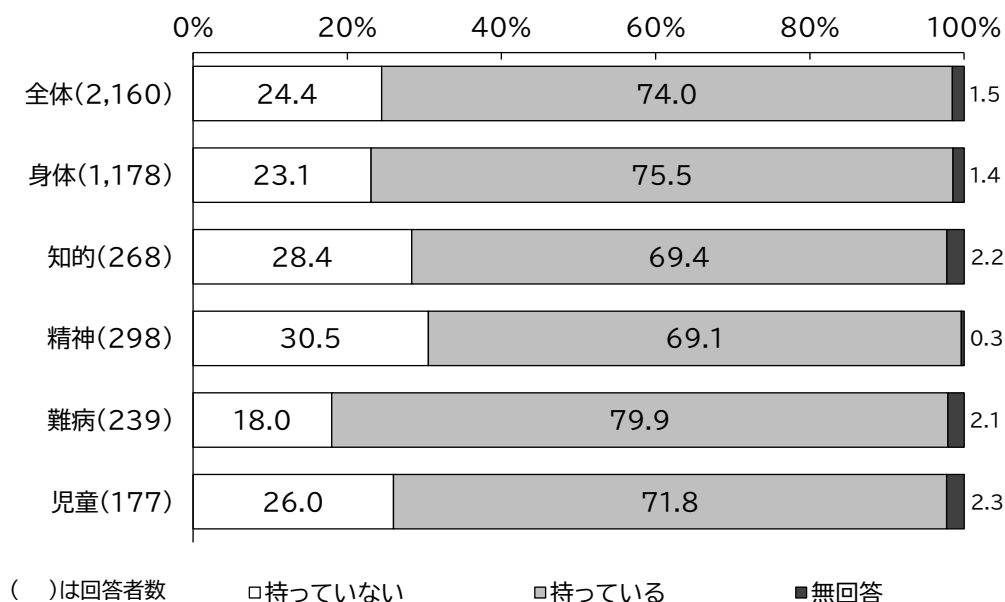


(2) 【身知精難児】問13 かかりつけ医の有無

問 あなたはかかりつけ医（※）をお持ちですか。（○は1つ）

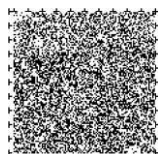
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



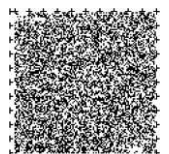
※『かかりつけ医』とは、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師をいいます。

- 全体：2,160人のうち、「持っている」が74.0%、「持っていない」が24.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「持っている」が75.5%、「持っていない」が23.1%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「持っている」が69.4%、「持っていない」が28.4%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「持っている」が69.1%、「持っていない」が30.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「持っている」が79.9%、「持っていない」が18.0%となっています。
- 児童：177人のうち、「持っている」が71.8%、「持っていない」が26.0%となっています。



単純集計：かかりつけ医の有無／身体障害 障害部位別

		合計	持っていない	持っている	無回答
全体		1,178 100.0	272 23.1	<u>889</u> <u>75.5</u>	17 1.4
障害部位別	視覚障害	101 100.0	30 29.7	<u>71</u> <u>70.3</u>	0 0.0
	聴覚障害	120 100.0	38 31.7	<u>79</u> <u>65.8</u>	3 2.5
	平衡機能障害	16 100.0	2 12.5	<u>14</u> <u>87.5</u>	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	5 33.3	<u>9</u> <u>60.0</u>	1 6.7
	肢体不自由	529 100.0	128 24.2	<u>400</u> <u>75.6</u>	1 0.2
	内部障害	331 100.0	60 18.1	<u>271</u> <u>81.9</u>	0 0.0



(3) 【身知精難児】問 13-1 かかりつけ医を持っていない理由

【問 13 で、「持っていない」と答えたかたのみにおうかがいします。】

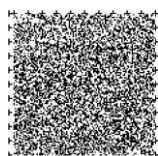
問 13-1 持っていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	必要でない	今後必要と思うが今は必要でない	必要と思うが見つけられない	その他	無回答
全体		528 100.0	63 11.9	153 29.0	<u>189</u> <u>35.8</u>	43 8.1	92 17.4
調査票種別	身体	272 100.0	32 11.8	79 29.0	<u>90</u> <u>33.1</u>	29 10.7	49 18.0
	知的	76 100.0	11 14.5	<u>32</u> <u>42.1</u>	18 23.7	4 5.3	12 15.8
	精神	91 100.0	12 13.2	28 30.8	<u>41</u> <u>45.1</u>	5 5.5	9 9.9
	難病	43 100.0	4 9.3	7 16.3	<u>21</u> <u>48.8</u>	2 4.7	9 20.9
	児童	46 100.0	4 8.7	7 15.2	<u>19</u> <u>41.3</u>	3 6.5	13 28.3

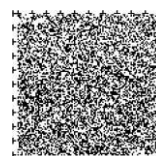
- 全体：528 人のうち、「必要と思うが見つけられない」が 35.8%と最も多く、次いで「今後必要と思うが今は必要でない」が 29.0%となっています。
- 身体障害：272 人のうち、「必要と思うが見つけられない」が 33.1%と最も多く、次いで「今後必要と思うが今は必要でない」が 29.0%となっています。
- 知的障害：76 人のうち、「今後必要と思うが今は必要でない」が 42.1%と最も多く、次いで「必要と思うが見つけられない」が 23.7%となっています。
- 精神障害：91 人のうち、「必要と思うが見つけられない」が 45.1%と最も多く、次いで「今後必要と思うが今は必要でない」が 30.8%となっています。
- 難病：43 人のうち、「必要と思うが見つけられない」が 48.8%と最も多く、次いで「今後必要と思うが今は必要でない」が 16.3%となっています。
- 児童：46 人のうち、「必要と思うが見つけられない」が 41.3%と最も多く、次いで「今後必要と思うが今は必要でない」が 15.2%となっています。



7 福祉に関する情報や相談について

まとめ 76～98 ページ

- 福祉に関する情報の入手先は、いずれの障害も広報誌、行政の窓口等で入手しているかたが多く、次いでホームページ、インターネットの順だが、児童はホームページ、インターネットから入手しているかたが多い。
- よく利用する相談窓口は、いずれの障害も区の障害福祉課が多いが、精神障害、難病のかたは病院・診療所、保健所・健康相談所もよく利用。児童は、「西部子ども家庭支援センター」が33.3%、「学校・幼稚園・保育園・認定こども園」が26.6%。
- 相談窓口については、いずれの障害も6～7割台は満足しているが、児童の21.5%は不満。
- オンライン申請の利用は、全体の18.0%の利用にとどまり、80.6%のかたが利用していない。知的障害のかたの利用は8.2%と少なく、児童の利用は45.2%と多い。
- 利用したことがない理由は、全体の33.3%がオンラインで申請できることを知らなかった。
- デバイスの使用状況は、スマートフォンが64.4%、パソコンが33.8%、タブレットが21.3%。児童ではタブレットが51.4%と多い。



(1) 【身知精難児】問 14 情報の入手先

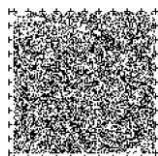
問 福祉に関する情報をどこで知りますか。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

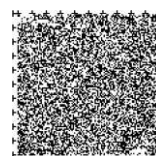
		合計	広報紙 (東京都・豊島区)	ホームページ (東京都・豊島区)	インターネット (東京都・豊島区以外の ホームページ以外)	区役所窓口(障害福祉課、 障害支援センター、保健所、 健康相談所等)	障害者福祉のしおり	一般の新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	SNS	家族・親戚	友人・知人
全体		2,160 100.0	<u>625</u> <u>28.9</u>	595 27.5	499 23.1	617 28.6	264 12.2	120 5.6	194 9.0	184 8.5	223 10.3	222 10.3
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>397</u> <u>33.7</u>	307 26.1	235 19.9	308 26.1	168 14.3	86 7.3	126 10.7	74 6.3	105 8.9	94 8.0
	視覚障害	101 100.0	24 23.8	24 23.8	21 20.8	<u>32</u> <u>31.7</u>	20 19.8	10 9.9	10 9.9	8 7.9	9 8.9	12 11.9
	聴覚障害	120 100.0	<u>52</u> <u>43.3</u>	31 25.8	16 13.3	34 28.3	16 13.3	18 15.0	16 13.3	8 6.7	14 11.7	11 9.2
	平衡機能 障害	16 100.0	<u>5</u> <u>31.3</u>	3 18.8	<u>5</u> <u>31.3</u>	4 25.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	2 12.5
	音声・言語・ そしゃく機能 の障害	15 100.0	<u>6</u> <u>40.0</u>	2 13.3	2 13.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0
	肢体不自由	529 100.0	<u>186</u> <u>35.2</u>	152 28.7	101 19.1	137 25.9	78 14.7	35 6.6	57 10.8	36 6.8	45 8.5	44 8.3
	内部障害	331 100.0	<u>106</u> <u>32.0</u>	91 27.5	87 26.3	82 24.8	45 13.6	19 5.7	37 11.2	19 5.7	30 9.1	19 5.7
	知的	268 100.0	<u>83</u> <u>31.0</u>	37 13.8	26 9.7	79 29.5	57 21.3	14 5.2	16 6.0	11 4.1	59 22.0	28 10.4
	精神	298 100.0	52 17.4	78 26.2	80 26.8	<u>96</u> <u>32.2</u>	15 5.0	6 2.0	25 8.4	42 14.1	31 10.4	27 9.1
	難病	239 100.0	66 27.6	<u>91</u> <u>38.1</u>	80 33.5	83 34.7	5 2.1	9 3.8	23 9.6	18 7.5	12 5.0	15 6.3
	児童	177 100.0	27 15.3	<u>82</u> <u>46.3</u>	78 44.1	51 28.8	19 10.7	5 2.8	4 2.3	39 22.0	16 9.0	58 32.8

(次ページへ続く)

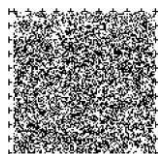


(前ページから続く)

		合計	豊島区民社会福祉協議会	民生委員・児童委員	事業所・施設	病院・診療所	回覧板・掲示板	障害者団体(発行物を含む)	ホームヘルパー・相談支援専門員等	その他	情報を得る手段がない	無回答
全体		2,160 100.0	69 3.2	14 0.6	200 9.3	346 16.0	51 2.4	57 2.6	141 6.5	65 3.0	90 4.2	44 2.0
調査票種別	身体	1,178 100.0	43 3.7	9 0.8	57 4.8	184 15.6	37 3.1	28 2.4	80 6.8	28 2.4	42 3.6	28 2.4
	視覚障害	101 100.0	4 4.0	1 1.0	9 8.9	13 12.9	2 2.0	1 1.0	6 5.9	2 2.0	3 3.0	0 0.0
	聴覚障害	120 100.0	6 5.0	1 0.8	4 3.3	9 7.5	4 3.3	4 3.3	3 2.5	3 2.5	1 0.8	4 3.3
	平衡機能障害	16 100.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	1 6.3	3 18.8	0 0.0	2 12.5	1 6.3
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7
	肢体不自由	529 100.0	18 3.4	3 0.6	33 6.2	75 14.2	8 1.5	16 3.0	50 9.5	13 2.5	21 4.0	7 1.3
	内部障害	331 100.0	8 2.4	4 1.2	4 1.2	75 22.7	15 4.5	5 1.5	10 3.0	7 2.1	9 2.7	6 1.8
	知的	268 100.0	8 3.0	1 0.4	58 21.6	8 3.0	8 3.0	17 6.3	22 8.2	12 4.5	13 4.9	6 2.2
	精神	298 100.0	10 3.4	1 0.3	61 20.5	71 23.8	3 1.0	8 2.7	26 8.7	12 4.0	23 7.7	1 0.3
	難病	239 100.0	5 2.1	0 0.0	4 1.7	63 26.4	3 1.3	1 0.4	8 3.3	3 1.3	6 2.5	7 2.9
	児童	177 100.0	3 1.7	3 1.7	20 11.3	20 11.3	0 0.0	3 1.7	5 2.8	10 5.6	6 3.4	2 1.1



- 全体：2,160人のうち、「広報紙（東京都・豊島区）」が28.9%と最も多く、次いで「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所等）」が28.6%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「広報紙（東京都・豊島区）」が33.7%と最も多く、次いで「ホームページ（東京都・豊島区）」「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所等）」がともに26.1%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「広報紙（東京都・豊島区）」が31.0%と最も多く、次いで「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所等）」が29.5%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所等）」が32.2%と最も多く、次いで「インターネット（東京都・豊島区のホームページ以外）」が26.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「ホームページ（東京都・豊島区）」が38.1%と最も多く、次いで「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所等）」が34.7%となっています。
- 児童：177人のうち、「ホームページ（東京都・豊島区）」が46.3%と最も多く、次いで「インターネット（東京都・豊島区のホームページ以外）」が44.1%となっています。



(2) 【身知精難】問 15 相談窓口

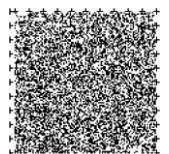
問 よく利用する相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

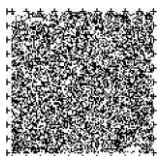
	合計	区の障害福祉課	豊島区立心身障害者福祉センター	東部・西部障害支援センター	保健所・健康相談所	左記4か所以外の区役所窓口	豊島区民社会福祉協議会(福祉なんでも相談窓口を含む)	学校	事業所・施設(相談支援事業所は含まない)	相談支援事業所	
全体	1,983 100.0	<u>623</u> 31.4	97 4.9	258 13.0	216 10.9	43 2.2	50 2.5	11 0.6	170 8.6	146 7.4	
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>377</u> 32.0	64 5.4	205 17.4	62 5.3	29 2.5	1 0.1	47 4.0	50 4.2	
	視覚障害	101 100.0	<u>38</u> 37.6	7 6.9	18 17.8	3 3.0	3 3.0	0 0.0	6 5.9	3 3.0	
	聴覚障害	120 100.0	35 29.2	10 8.3	16 13.3	4 3.3	2 1.7	3 2.5	0 0.0	5 4.2	1 0.8
	平衡機能障害	16 100.0	<u>7</u> 43.8	0 0.0	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	1 6.3
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	3 20.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0
	肢体不自由	529 100.0	<u>177</u> 33.5	31 5.9	93 17.6	23 4.3	9 1.7	13 2.5	0 0.0	29 5.5	39 7.4
	内部障害	331 100.0	104 31.4	11 3.3	67 20.2	26 7.9	5 1.5	6 1.8	1 0.3	0 0.0	1 0.3
	知的	268 100.0	<u>106</u> 39.6	21 7.8	21 7.8	7 2.6	2 0.7	9 3.4	9 3.4	56 20.9	42 15.7
	精神	298 100.0	102 34.2	10 3.4	18 6.0	74 24.8	15 5.0	10 3.4	0 0.0	67 22.5	52 17.4
	難病	239 100.0	38 15.9	2 0.8	14 5.9	73 30.5	6 2.5	2 0.8	1 0.4	0 0.0	2 0.8

(次ページへ続く)

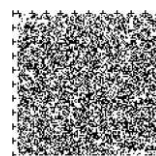


(前ページから続く)

	合計	民生委員・児童委員	病院・診療所	障害者団体(当事者団体、親の会、家族会など)	その他	特にない	無回答	
全体	1,983 100.0	7 0.4	495 25.0	55 2.8	58 2.9	559 28.2	36 1.8	
調査票種別	身体	1,178 100.0	6 0.5	276 23.4	26 2.2	28 2.4	375 31.8	23 2.0
	視覚障害	101 100.0	1 1.0	18 17.8	3 3.0	2 2.0	33 32.7	0 0.0
	聴覚障害	120 100.0	0 0.0	24 20.0	2 1.7	1 0.8	<u>42</u> <u>35.0</u>	3 2.5
	平衡機能障害	16 100.0	0 0.0	4 25.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	0 0.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	<u>7</u> <u>46.7</u>	1 6.7
	肢体不自由	529 100.0	4 0.8	112 21.2	15 2.8	17 3.2	164 31.0	10 1.9
	内部障害	331 100.0	1 0.3	103 31.1	3 0.9	3 0.9	<u>107</u> <u>32.3</u>	3 0.9
	知的	268 100.0	0 0.0	29 10.8	20 7.5	10 3.7	69 25.7	6 2.2
	精神	298 100.0	1 0.3	<u>106</u> <u>35.6</u>	9 3.0	16 5.4	42 14.1	1 0.3
	難病	239 100.0	0 0.0	<u>84</u> <u>35.1</u>	0 0.0	4 1.7	73 30.5	6 2.5



- 全体：1,983人のうち、「区の障害福祉課」が31.4%と最も多く、次いで「特にな
い」が28.2%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「区の障害福祉課」が32.0%と最も多く、次いで「特にな
い」が31.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「区の障害福祉課」が39.6%と最も多く、次いで「特にな
い」が25.7%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「病院・診療所」が35.6%と最も多く、次いで「区の障害福
祉課」が34.2%となっています。
- 難病：239人のうち、「病院・診療所」が35.1%と最も多く、次いで「保健所・健康相
談所」「特にない」がともに30.5%となっています。



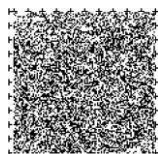
— 経年変化：調査票種別・身体障害 障害部位別 —

		合計		区の障害福祉課			豊島区立心身障害者福祉センター			東部・西部障害支援センター		
		R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比
全体		1,835 100.0	1,983 100.0	474 25.8	<u>623</u> <u>31.4</u>	21.7%	64 3.5	97 4.9	40.0%	183 10.0	258 13.0	30.0%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	315 27.1	<u>377</u> <u>32.0</u>	18.1%	43 3.7	64 5.4	45.9%	158 13.6	205 17.4	27.9%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	38 42.2	<u>38</u> <u>37.6</u>	-10.9%	2 2.2	7 6.9	213.6%	5 5.6	18 17.8	217.9%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	31 33.3	35 29.2	-12.3%	1 1.1	10 8.3	654.5%	9 9.7	16 13.3	37.1%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	4 19.0	<u>7</u> <u>43.8</u>	130.5%	1 4.8	0 0.0	-100.0%	5 23.8	2 12.5	-47.5%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	3 15.8	3 20.0	26.6%	2 10.5	1 6.7	-36.2%	1 5.3	0 0	-100.0%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	126 26.0	<u>177</u> <u>33.5</u>	28.8%	28 5.8	31 5.9	1.7%	74 15.3	93 17.6	15.0%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	92 28.4	104 31.4	10.6%	3 0.9	11 3.3	266.7%	53 16.4	67 20.2	23.2%
	知的	272 100.0	268 100.0	80 29.4	<u>106</u> <u>39.6</u>	34.7%	16 5.9	21 7.8	32.2%	10 3.7	21 7.8	110.8%
	精神	191 100.0	298 100.0	51 26.7	102 34.2	28.1%	4 2.1	10 3.4	61.9%	7 3.7	18 6.0	62.2%
	難病	211 100.0	239 100.0	28 13.3	38 15.9	19.5%	1 0.5	2 0.8	60.0%	8 3.8	14 5.9	55.3%

※身体障害の部位は、身体調査票のかたのみ障害の主たる部位等を優先し単数回答として集計

※前回比（比率の増減率・変化率）＝（今回比率÷前回比率－1）を％表示している

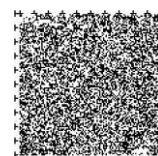
（次ページへ続く）



(前ページから続く)

	合計		保健所・健康相談所			左記4か所以外の 区役所窓口			豊島区民社会福祉協議会 (福祉なんでも相談窓口 を含む)			
	R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	
全体	1,835 100.0	1,983 100.0	102 5.6	216 10.9	94.6%	27 1.5	43 2.2	46.7%	25 1.4	50 2.5	78.6%	
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	30 2.6	62 5.3	103.8%	15 1.3	20 1.7	30.8%	18 1.6	29 2.5	56.3%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	2 2.2	3 3.0	36.4%	2 2.2	2 2.0	-9.1%	1 1.1	3 3.0	172.7%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	1 1.1	4 3.3	200.0%	1 1.1	2 1.7	54.5%	1 1.1	3 2.5	127.3%
	平衡機能 障害	21 100.0	16 100.0	2 9.5	2 12.5	31.6%	- -	1 6.3		- -	1 6.3	
	音声・言語・ そしゃく機 能の障害	19 100.0	15 100.0	- -	0 0.0		- -	0 0.0		- -	0 0.0	
	肢体 不自由	484 100.0	529 100.0	11 2.3	23 4.3	87.0%	5 1.0	9 1.7	70.0%	6 1.2	13 2.5	108.3%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	9 2.8	26 7.9	182.1%	7 2.2	5 1.5	-31.8%	3 0.9	6 1.8	100.0%
	知的	272 100.0	268 100.0	7 2.6	7 2.6	0.0%	5 1.8	2 0.7	-61.1%	2 0.7	9 3.4	385.7%
	精神	191 100.0	298 100.0	23 12.0	74 24.8	106.7%	6 3.1	15 5.0	61.3%	3 1.6	10 3.4	112.5%
	難病	211 100.0	239 100.0	42 19.9	73 30.5	53.3%	1 0.5	6 2.5	400.0%	2 0.9	2 0.8	-11.1%

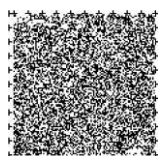
(次ページへ続く)



(前ページから続く)

	合計		学校			事業所・施設（相談支援事業所は含まない）			相談支援事業所			
	R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	
全体	1,835 100.0	1,983 100.0	8 0.4	11 0.6	50.0%	133 7.2	170 8.6	19.4%		146 7.4		
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	3 0.3	1 0.1	-66.7%	32 2.8	47 4.0	42.9%		50 4.2	
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	1 1.1	0 0.0	-100.0%	5 5.6	6 5.9	5.4%		3 3.0	
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	1 1.1	0 0.0	-100.0%	4 4.3	5 4.2	-2.3%		1 0.8	
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	- -	0 0.0		- -	3 18.8			1 6.3	
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	- -	0 0.0		- -	1 6.7			0 0.0	
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	- -	0 0.0		23 4.8	29 5.5	14.6%		39 7.4	
	内部障害	324 100.0	331 100.0	1 0.3	1 0.3	0.0%	3 0.9	0 0.0	-100.0%		1 0.3	
	知的	272 100.0	268 100.0	5 1.8	9 3.4	88.9%	49 18.0	56 20.9	16.1%		42 15.7	
	精神	191 100.0	298 100.0	- -	0 0.0		51 26.7	67 22.5	-15.7%		52 17.4	
	難病	211 100.0	239 100.0	- -	1 0.4		1 0.5	0 0.0	-100.0%		2 0.8	

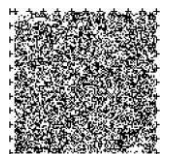
(次ページへ続く)



(前ページから続く)

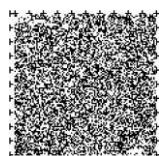
	合計		民生委員・児童委員			病院・診療所			障害者団体（当事者団体、親の会、家族会など）			
	R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	
全体	1,835 100.0	1,983 100.0	5 0.3	7 0.4	33.3%	242 13.2	495 25.0	89.4%		55 2.8		
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	5 0.4	6 0.5	25.0%	151 13.0	276 23.4	80.0%		26 2.2	
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	- -	1 1.0		7 7.8	18 17.8	128.2%		3 3.0	
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	- -	0 0.0		9 9.7	24 20.0	106.2%		2 1.7	
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	- -	0 0.0		3 14.3	4 25.0	74.8%		0 0.0	
	音声・言語・そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	- -	0 0.0		2 10.5	3 20.0	90.5%		1 6.7	
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	4 0.8	4 0.8	0.0%	57 11.8	112 21.2	79.7%		15 2.8	
	内部障害	324 100.0	331 100.0	- -	1 0.3		60 18.5	103 31.1	68.1%		3 0.9	
	知的	272 100.0	268 100.0	- -	0 0.0		9 3.3	29 10.8	227.3%		20 7.5	
	精神	191 100.0	298 100.0	- -	1 0.3		44 23.0	<u>106</u> <u>35.6</u>	54.8%		9 3.0	
	難病	211 100.0	239 100.0	- -	0 0.0		38 18.0	<u>84</u> <u>35.1</u>	95.0%		0 0.0	

(次ページへ続く)



(前ページから続く)

		合計		その他			特にない			無回答		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		1,835 100.0	1,983 100.0		58 2.9		523 28.5	559 28.2	-1.1%	159 8.7	36 1.8	-79.3%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0		28 2.4		354 30.5	375 31.8	4.3%	102 8.8	23 2.0	-77.3%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0		2 2.0		31 34.4	33 32.7	-4.9%	2 2.2	0 0.0	-100.0%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0		1 0.8		36 38.7	<u>42</u> <u>35.0</u>	-9.6%	3 3.2	3 2.5	-21.9%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0		2 12.5		7 33.3	1 6.3	-81.1%	1 4.8	0 0.0	-100.0%
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0		1 6.7		10 52.6	<u>7</u> <u>46.7</u>	-11.2%	2 10.5	1 6.7	-36.2%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0		17 3.2		146 30.2	164 31.0	2.6%	32 6.6	10 1.9	-71.2%
	内部障害	324 100.0	331 100.0		3 0.9		103 31.8	<u>107</u> <u>32.3</u>	1.6%	9 2.8	3 0.9	-67.9%
	知的	272 100.0	268 100.0		10 3.7		68 25.0	69 25.7	2.8%	31 11.4	6 2.2	-80.7%
	精神	191 100.0	298 100.0		16 5.4		19 9.9	42 14.1	42.4%	13 6.8	1 0.3	-95.6%
	難病	211 100.0	239 100.0		4 1.7		82 38.9	73 30.5	-21.6%	13 6.2	6 2.5	-59.7%



(3) 【児】問 21 児童の相談窓口

問 よく利用する相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象：

児童

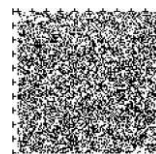
単純集計：調査票種別

	合計	特 に な い	区 の 障 害 福 祉 課	豊 島 区 立 心 身 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー	東 部 ・ 西 部 障 害 支 援 セ ン タ ー	西 部 子 ど も 家 庭 支 援 セ ン タ ー	東 部 子 ど も 家 庭 支 援 セ ン タ ー	保 健 所 ・ 健 康 相 談 所	左 記 6 か 所 以 外 の 区 役 所 窓 口	豊 島 区 民 社 会 福 祉 協 議 会 (福 祉 な ん ど も 相 談 窓 口 を 含 む)	学 校 ・ 幼 稚 園 ・ 保 育 園 ・ 認 定 こ ど も 園	事 業 所 ・ 施 設 (相 談 支 援 事 業 所 は 含 ま な い)
児童	177 100.0	44 24.9	32 18.1	1 0.6	5 2.8	59 33.3	7 4.0	3 1.7	3 1.7	2 1.1	47 26.6	27 15.3

(下表へ続く)

	合計	相 談 支 援 事 業 所	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	病 院 ・ 診 療 所	障 害 者 団 体 (当 事 者 団 体 、 親 の 会 、 家 族 会 等)	そ の 他	無 回 答
児童	177 100.0	18 10.2	1 0.6	26 14.7	2 1.1	17 9.6	2 1.1

- 児童：177人のうち、「西部子ども家庭支援センター」が33.3%と最も多く、次いで「学校・幼稚園・保育園・認定こども園」が26.6%となっています。

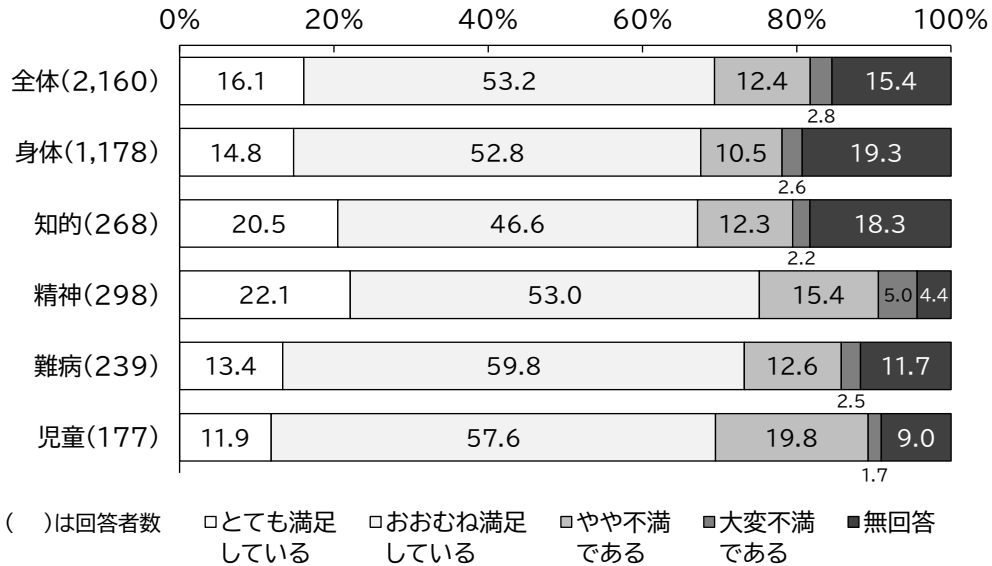


(4) 【身知精難児】問 16 相談窓口の満足度

問 相談窓口について満足していますか。(○は1つ)

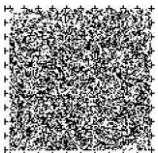
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

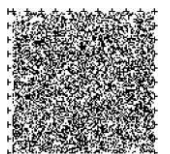


単純集計：相談窓口の満足度／身体障害 障害部位別

		合計	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	大変不満である	無回答
全体		1,178	174	<u>622</u>	124	31	227
		100.0	14.8	<u>52.8</u>	10.5	2.6	19.3
障害部位別	視覚障害	101	14	<u>48</u>	17	2	20
		100.0	13.9	<u>47.5</u>	16.8	2.0	19.8
	聴覚障害	120	18	<u>62</u>	12	3	25
		100.0	15.0	<u>51.7</u>	10.0	2.5	20.8
	平衡機能障害	16	5	<u>8</u>	1	1	1
		100.0	31.3	<u>50.0</u>	6.3	6.3	6.3
音声・言語・そしゃく機能の障害	15	2	<u>5</u>	3	1	4	
	100.0	13.3	<u>33.3</u>	20.0	6.7	26.7	
肢体不自由	529	67	<u>293</u>	60	15	94	
	100.0	12.7	<u>55.4</u>	11.3	2.8	17.8	
内部障害	331	55	<u>181</u>	28	9	58	
	100.0	16.6	<u>54.7</u>	8.5	2.7	17.5	



- 全体：2,160人のうち、「おおむね満足している」が53.2%と最も多く、次いで「とても満足している」が16.1%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「おおむね満足している」が52.8%と最も多く、次いで「とても満足している」が14.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「おおむね満足している」が46.6%と最も多く、次いで「とても満足している」が20.5%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「おおむね満足している」が53.0%と最も多く、次いで「とても満足している」が22.1%となっています。
- 難病：239人のうち、「おおむね満足している」が59.8%と最も多く、次いで「とても満足している」が13.4%となっています。
- 児童：177人のうち、「おおむね満足している」が57.6%と最も多く、次いで「やや不満である」が19.8%となっています。

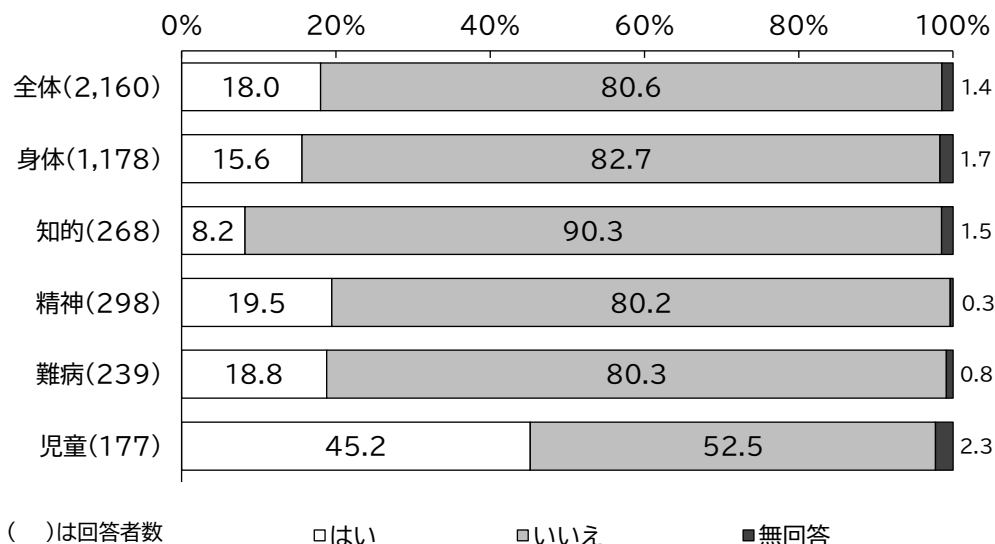


(5) 【身知精難児】問 17 オンライン申請利用の有無

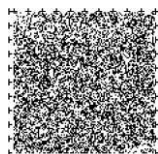
問 豊島区役所での手続きでオンライン申請を利用したことはありますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



- 全体：2,160人のうち、「いいえ」が80.6%、「はい」が18.0%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「いいえ」が82.7%、「はい」が15.6%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「いいえ」が90.3%、「はい」が8.2%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「いいえ」が80.2%、「はい」が19.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「いいえ」が80.3%、「はい」が18.8%となっています。
- 児童：177人のうち、「いいえ」が52.5%、「はい」が45.2%となっています。



(6) 【身知精難児】問 17-1 オンライン申請を利用したことがない理由

【問 17 で「いいえ」と答えたかたのみにおうかがいします。】

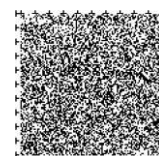
問 17-1 利用したことがない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	利用したいが方法がわからない	窓口で職員と直接話したい	オンライン申請ができることを知らなかった	希望の手続きがオンライン化されていなかった	その他	無回答
全体		1,740 100.0	515 29.6	530 30.5	<u>579</u> <u>33.3</u>	206 11.8	210 12.1	45 2.6
調査票種別	身体	974 100.0	297 30.5	299 30.7	<u>318</u> <u>32.6</u>	100 10.3	129 13.2	29 3.0
	知的	242 100.0	84 34.7	<u>86</u> <u>35.5</u>	57 23.6	14 5.8	42 17.4	12 5.0
	精神	239 100.0	85 35.6	75 31.4	<u>91</u> <u>38.1</u>	28 11.7	19 7.9	0 0.0
	難病	192 100.0	31 16.1	46 24.0	<u>65</u> <u>33.9</u>	49 25.5	15 7.8	4 2.1
	児童	93 100.0	18 19.4	24 25.8	<u>48</u> <u>51.6</u>	15 16.1	5 5.4	0 0.0

- 全体：1,740 人のうち、「オンライン申請ができることを知らなかった」が 33.3%と最も多く、次いで「窓口で職員と直接話したい」が 30.5%となっています。
- 身体障害：974 人のうち、「オンライン申請ができることを知らなかった」が 32.6%と最も多く、次いで「窓口で職員と直接話したい」が 30.7%となっています。
- 知的障害：242 人のうち、「窓口で職員と直接話したい」が 35.5%と最も多く、次いで「利用したいが方法がわからない」が 34.7%となっています。
- 精神障害：239 人のうち、「オンライン申請ができることを知らなかった」が 38.1%と最も多く、次いで「利用したいが方法がわからない」が 35.6%となっています。
- 難病：192 人のうち、「オンライン申請ができることを知らなかった」が 33.9%と最も多く、次いで「希望の手続きがオンライン化されていなかった」が 25.5%となっています。
- 児童：93 人のうち、「オンライン申請ができることを知らなかった」が 51.6%と最も多く、次いで「窓口で職員と直接話したい」が 25.8%となっています。



(7) 【身知精難児】問 29 デバイスの使用状況

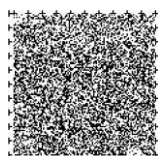
問 携帯電話・スマートフォン・タブレット・パソコン（インターネット接続できるもの）を日常的に使用していますか。（あてはまるものすべてに○）

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	携帯電話（スマートフォンを除く）	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答
全体		2,160 100.0	327 15.1	<u>1,391</u> <u>64.4</u>	460 21.3	731 33.8	324 15.0	111 5.1
調査票種別	身体	1,178 100.0	203 17.2	<u>737</u> <u>62.6</u>	226 19.2	439 37.3	175 14.9	103 8.7
	知的	268 100.0	53 19.8	<u>140</u> <u>52.2</u>	35 13.1	42 15.7	69 25.7	2 0.7
	精神	298 100.0	36 12.1	<u>255</u> <u>85.6</u>	55 18.5	127 42.6	13 4.4	0 0.0
	難病	239 100.0	28 11.7	<u>202</u> <u>84.5</u>	53 22.2	103 43.1	11 4.6	3 1.3
	児童	177 100.0	7 4.0	57 32.2	<u>91</u> <u>51.4</u>	20 11.3	56 31.6	3 1.7

- 全体：2,160人のうち、「スマートフォン」が64.4%と最も多く、次いで「パソコン」が33.8%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「スマートフォン」が62.6%と最も多く、次いで「パソコン」が37.3%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「スマートフォン」が52.2%と最も多く、次いで「どれも使用していない」が25.7%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「スマートフォン」が85.6%と最も多く、次いで「パソコン」が42.6%となっています。
- 難病：239人のうち、「スマートフォン」が84.5%と最も多く、次いで「パソコン」が43.1%となっています。
- 児童：177人のうち、「タブレット」が51.4%と最も多く、次いで「スマートフォン」が32.2%となっています。



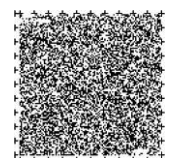
■クロス集計：デバイスの使用状況／本人の年齢別

<身体障害者手帳所持者【視覚障害（児童含む）】>

		合計	除く携帯 スマートフォン マホ電 を話	オス マー トフ	タブ レ ット	パソ コン	しど れも 使 用 し て い な い	無 回 答
全体		112 100.0	18 16.1	<u>77</u> <u>68.8</u>	33 29.5	41 36.6	19 17.0	5 4.5
本人の 年齢別	0～17歳	1 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	18～29歳	6 100.0	0 0.0	<u>4</u> <u>66.7</u>	2 33.3	1 16.7	2 33.3	0 0.0
	30～39歳	14 100.0	1 7.1	<u>12</u> <u>85.7</u>	5 35.7	8 57.1	1 7.1	0 0.0
	40～49歳	18 100.0	3 16.7	<u>16</u> <u>88.9</u>	7 38.9	10 55.6	1 5.6	0 0.0
	50～59歳	30 100.0	7 23.3	<u>24</u> <u>80.0</u>	10 33.3	18 60.0	3 10.0	0 0.0
	60～69歳	20 100.0	2 10.0	<u>15</u> <u>75.0</u>	6 30.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0
	70～79歳	5 100.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0
	80歳以上	18 100.0	3 16.7	4 22.2	3 16.7	1 5.6	<u>8</u> <u>44.4</u>	3 16.7

<身体障害者手帳所持者【聴覚障害（児童含む）】>

		合計	除く携帯 スマートフォン マホ電 を話	オス マー トフ	タブ レ ット	パソ コン	しど れも 使 用 し て い な い	無 回 答
全体		132 100.0	21 15.9	<u>84</u> <u>63.6</u>	25 18.9	52 39.4	22 16.7	9 6.8
本人の 年齢別	0～17歳	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	18～29歳	15 100.0	3 20.0	<u>14</u> <u>93.3</u>	6 40.0	10 66.7	1 6.7	0 0.0
	30～39歳	10 100.0	1 10.0	<u>10</u> <u>100.0</u>	2 20.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	21 100.0	3 14.3	<u>16</u> <u>76.2</u>	3 14.3	15 71.4	2 9.5	1 4.8
	50～59歳	11 100.0	1 9.1	<u>9</u> <u>81.8</u>	6 54.5	5 45.5	0 0.0	1 9.1
	60～69歳	18 100.0	1 5.6	<u>13</u> <u>72.2</u>	3 16.7	6 33.3	2 11.1	2 11.1
	70～79歳	19 100.0	5 26.3	<u>10</u> <u>52.6</u>	3 15.8	4 21.1	3 15.8	2 10.5
	80歳以上	36 100.0	7 19.4	11 30.6	1 2.8	6 16.7	<u>14</u> <u>38.9</u>	3 8.3

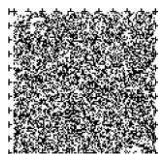


<身体障害者手帳所持者【平衡機能障害（児童含む）】>

		合計	携帯電話（スマホを除く）	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答
全体		20 100.0	3 15.0	<u>12</u> <u>60.0</u>	3 15.0	3 15.0	6 30.0	0 0.0
本人の年齢別	0～17歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	18～29歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0
	30～39歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	4 100.0	0 0.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	<u>2</u> <u>50.0</u>	1 25.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	50～59歳	9 100.0	1 11.1	<u>7</u> <u>77.8</u>	1 11.1	2 22.2	2 22.2	0 0.0
	60～69歳	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～79歳	2 100.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0

<身体障害者手帳所持者【音声・言語・そしゃく機能の障害（児童含む）】>

		合計	携帯電話（スマホを除く）	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答
全体		25 100.0	5 20.0	<u>10</u> <u>40.0</u>	2 8.0	7 28.0	8 32.0	2 8.0
本人の年齢別	0～17歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	18～29歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	1 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	5 100.0	0 0.0	<u>3</u> <u>60.0</u>	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0
	50～59歳	7 100.0	<u>2</u> <u>28.6</u>	<u>2</u> <u>28.6</u>	1 14.3	<u>2</u> <u>28.6</u>	<u>2</u> <u>28.6</u>	0 0.0
	60～69歳	3 100.0	0 0.0	<u>3</u> <u>100.0</u>	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	70～79歳	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>75.0</u>	1 25.0
	80歳以上	4 100.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0

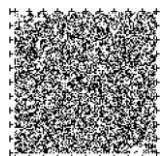


<身体障害者手帳所持者【肢体不自由（児童含む）】>

		合計	携帯電話（スマホを除く）	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答
全体		570 100.0	96 16.8	<u>340</u> <u>59.6</u>	106 18.6	195 34.2	96 16.8	49 8.6
本人の年齢別	0～17歳	12 100.0	1 8.3	5 41.7	<u>9</u> <u>75.0</u>	0 0.0	1 8.3	0 0.0
	18～29歳	32 100.0	4 12.5	<u>15</u> <u>46.9</u>	12 37.5	10 31.3	12 37.5	3 9.4
	30～39歳	36 100.0	4 11.1	<u>24</u> <u>66.7</u>	14 38.9	17 47.2	8 22.2	1 2.8
	40～49歳	64 100.0	10 15.6	<u>44</u> <u>68.8</u>	13 20.3	29 45.3	12 18.8	1 1.6
	50～59歳	144 100.0	15 10.4	<u>111</u> <u>77.1</u>	26 18.1	61 42.4	12 8.3	12 8.3
	60～69歳	121 100.0	20 16.5	<u>76</u> <u>62.8</u>	18 14.9	47 38.8	11 9.1	15 12.4
	70～79歳	79 100.0	23 29.1	<u>39</u> <u>49.4</u>	9 11.4	20 25.3	10 12.7	10 12.7
	80歳以上	82 100.0	19 23.2	26 31.7	5 6.1	11 13.4	<u>30</u> <u>36.6</u>	7 8.5

<身体障害者手帳所持者【内部障害（児童含む）】>

		合計	携帯電話（スマホを除く）	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答
全体		348 100.0	56 16.1	<u>235</u> <u>67.5</u>	78 22.4	151 43.4	34 9.8	30 8.6
本人の年齢別	0～17歳	3 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>66.7</u>	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	18～29歳	6 100.0	0 0.0	<u>6</u> <u>100.0</u>	3 50.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	10 100.0	1 10.0	<u>8</u> <u>80.0</u>	3 30.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0
	40～49歳	34 100.0	0 0.0	<u>29</u> <u>85.3</u>	9 26.5	19 55.9	1 2.9	4 11.8
	50～59歳	86 100.0	11 12.8	<u>70</u> <u>81.4</u>	29 33.7	46 53.5	4 4.7	7 8.1
	60～69歳	86 100.0	12 14.0	<u>66</u> <u>76.7</u>	18 20.9	41 47.7	2 2.3	8 9.3
	70～79歳	58 100.0	20 34.5	<u>30</u> <u>51.7</u>	11 19.0	23 39.7	4 6.9	6 10.3
	80歳以上	61 100.0	12 19.7	<u>22</u> <u>36.1</u>	2 3.3	8 13.1	21 34.4	5 8.2

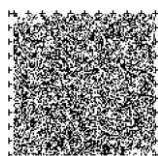


<知的障害>

	合計	携帯電話(スマホを除く)	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答	
全体	268 100.0	53 19.8	<u>140</u> <u>52.2</u>	35 13.1	42 15.7	69 25.7	2 0.7	
本人の年齢別	18~29歳	73 100.0	13 17.8	<u>55</u> <u>75.3</u>	24 32.9	19 26.0	5 6.8	0 0.0
	30~39歳	52 100.0	9 17.3	<u>30</u> <u>57.7</u>	3 5.8	10 19.2	13 25.0	1 1.9
	40~49歳	51 100.0	8 15.7	<u>24</u> <u>47.1</u>	3 5.9	7 13.7	17 33.3	0 0.0
	50~59歳	48 100.0	14 29.2	<u>17</u> <u>35.4</u>	2 4.2	4 8.3	16 33.3	0 0.0
	60~69歳	23 100.0	4 17.4	<u>9</u> <u>39.1</u>	2 8.7	1 4.3	8 34.8	0 0.0
	70~79歳	17 100.0	4 23.5	<u>4</u> <u>23.5</u>	1 5.9	1 5.9	<u>8</u> <u>47.1</u>	1 5.9
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0

<精神障害>

	合計	携帯電話(スマホを除く)	スマートフォン	タブレット	パソコン	どれも使用していない	無回答	
全体	298 100.0	36 12.1	<u>255</u> <u>85.6</u>	55 18.5	127 42.6	13 4.4	0 0.0	
本人の年齢別	18~29歳	48 100.0	4 8.3	<u>45</u> <u>93.8</u>	11 22.9	30 62.5	1 2.1	0 0.0
	30~39歳	67 100.0	8 11.9	<u>62</u> <u>92.5</u>	15 22.4	40 59.7	0 0.0	0 0.0
	40~49歳	57 100.0	5 8.8	<u>53</u> <u>93.0</u>	17 29.8	30 52.6	1 1.8	0 0.0
	50~59歳	74 100.0	9 12.2	<u>57</u> <u>77.0</u>	9 12.2	17 23.0	6 8.1	0 0.0
	60~69歳	30 100.0	8 26.7	<u>19</u> <u>63.3</u>	1 3.3	8 26.7	4 13.3	0 0.0
	70~79歳	12 100.0	1 8.3	<u>10</u> <u>83.3</u>	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

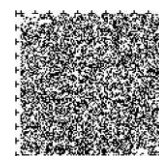


<難病>

	合計	携帯電話 (スマ ホを除く)	スマ ートフ ォン	タブ レット	パソ コン	ど れも 使用 し て い な い	無 回 答	
全体	239 100.0	28 11.7	<u>202</u> <u>84.5</u>	53 22.2	103 43.1	11 4.6	3 1.3	
本人の年齢別	18~29 歳	13 100.0	2 15.4	<u>12</u> <u>92.3</u>	5 38.5	9 69.2	0 0.0	0 0.0
	30~39 歳	34 100.0	1 2.9	<u>33</u> <u>97.1</u>	12 35.3	19 55.9	0 0.0	0 0.0
	40~49 歳	44 100.0	1 2.3	<u>42</u> <u>95.5</u>	8 18.2	22 50.0	0 0.0	2 4.5
	50~59 歳	58 100.0	8 13.8	<u>50</u> <u>86.2</u>	13 22.4	26 44.8	1 1.7	0 0.0
	60~69 歳	60 100.0	7 11.7	<u>53</u> <u>88.3</u>	9 15.0	23 38.3	2 3.3	0 0.0
	70~79 歳	16 100.0	5 31.3	<u>9</u> <u>56.3</u>	5 31.3	3 18.8	2 12.5	0 0.0
	80 歳以上	10 100.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	<u>5</u> <u>50.0</u>	1 10.0

<児童>

	合計	携帯電話 (スマ ホを除く)	スマ ートフ ォン	タブ レット	パソ コン	ど れも 使用 し て い な い	無 回 答	
全体	177 100.0	7 4.0	57 32.2	<u>91</u> <u>51.4</u>	20 11.3	56 31.6	3 1.7	
本人の年齢別	0~5 歳	67 100.0	2 3.0	10 14.9	23 34.3	1 1.5	<u>38</u> <u>56.7</u>	0 0.0
	6~12 歳	90 100.0	3 3.3	34 37.8	<u>56</u> <u>62.2</u>	12 13.3	17 18.9	1 1.1
	13~15 歳	12 100.0	1 8.3	<u>8</u> <u>66.7</u>	7 58.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0
	16~17 歳	7 100.0	1 14.3	<u>5</u> <u>71.4</u>	<u>5</u> <u>71.4</u>	3 42.9	0 0.0	1 14.3



(8) 【身児】問 29-1 使用しているアプリケーション

【視覚障害、聴覚障害のかたのうち、携帯電話・スマートフォン・タブレット・パソコン（インターネット接続できるもの）を日常的に使用していると答えたかたにおうかがいします。】

問 29-1 意思疎通支援手段で使用しているアプリケーション名を教えてください。（自由記載）

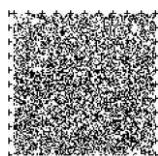
調査対象：

身体

児童

主に利用されているアプリケーションは以下の通り。

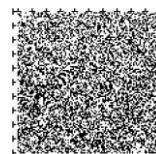
特 徴	アプリケーション名
コミュニケーション支援系	LINE、メール、こえとら
ナビゲーション・情報取得系	ミライロ
音声・読み上げ支援系	Voice Over、Voice Expert
視覚支援・画像認識系	Seeing AI、Be My Eyes
音声認識・テキスト系	UD トーク、YY Probe



8 日常生活について

まとめ 100~111 ページ

- 日常生活や社会生活の中で困難を感じることは、全体では経済的なことが 28.8% で最も多く、身体障害のかたは生活全般（家事や身の回りのこと等）、知的障害のかたはコミュニケーション、精神障害・難病のかたは経済的なことが多い。
- 普段の助けの必要性は、身体障害と知的障害のかたで家の中、外出時ともに多い。
- いちばん手助けしてくれる人は、身体障害と難病のかたは配偶者（パートナー）が最も多い。知的障害のかたは父・母の割合が 72.8%。
- 介助者の年齢は、いずれの障害も 55～64 歳、65～74 歳の順に多い。
- 50～69 歳の知的障害のかたを手助けしているのは、80～84 歳が最も多く、介護者が高齢化している。
- どのように暮らしていきたいかについて、グループホームの割合が高いのは知的障害のかたで 22.8%、一人暮らしの割合が高いのは精神障害のかたで 42.3%、家族と暮らしたい割合が高いのは難病のかたで 30.1%。
- 希望する暮らし方で不安に感じることにについて、全体では生活費が最も多く 46.8%。知的障害のかたの第 1 位は、困った時の相談相手で 51.3%。



(1) 【身知精難】問 18 日常生活や社会生活の中で困難を感じること

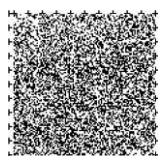
問 あなたは日常生活や社会生活の中で困難を感じることはありますか。
 (あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

	合計	医療・受診	仕事・就労	経済的なこと	生活全般(家事や身の回りのこと等)	家族関係	人間関係	コミュニケーション	地域生活や近所付き合い	諸手続き	その他	特にない	無回答	
全体	1,983 100.0	408 20.6	467 23.6	571 28.8	477 24.1	112 5.6	197 9.9	279 14.1	138 7.0	377 19.0	73 3.7	604 30.5	44 2.2	
調査票種別	身体	1,178 100.0	257 21.8	233 19.8	279 23.7	304 25.8	51 4.3	59 5.0	116 9.8	68 5.8	216 18.3	51 4.3	400 34.0	28 2.4
	知的	268 100.0	54 20.1	39 14.6	41 15.3	58 21.6	6 2.2	45 16.8	84 31.3	22 8.2	68 25.4	9 3.4	75 28.0	8 3.0
	精神	298 100.0	49 16.4	137 46.0	170 57.0	88 29.5	45 15.1	79 26.5	67 22.5	40 13.4	57 19.1	7 2.3	36 12.1	4 1.3
	難病	239 100.0	48 20.1	58 24.3	81 33.9	27 11.3	10 4.2	14 5.9	12 5.0	8 3.3	36 15.1	6 2.5	93 38.9	4 1.7

- 全体：1,983人のうち、「特にない」が30.5%と最も多く、次いで「経済的なこと」が28.8%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「特にない」が34.0%と最も多く、次いで「生活全般(家事や身の回りのこと等)」が25.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「コミュニケーション」が31.3%と最も多く、次いで「特にない」が28.0%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「経済的なこと」が57.0%と最も多く、次いで「仕事・就労」が46.0%となっています。
- 難病：239人のうち、「特にない」が38.9%と最も多く、次いで「仕事・就労」が33.9%となっています。



(2) 【身知難】問19 普段の助けの必要性

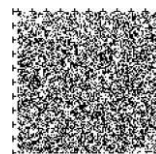
問 あなたは、普段、手助けが必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 難病

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	ある 家 の中 で 必要 で ある	ある 外 出 時 に 必要 で ある	必要 で ない	無 回 答
全体		1,685 100.0	406 24.1	535 31.8	<u>967</u> <u>57.4</u>	45 2.7
調査票種別	身体	1,178 100.0	287 24.4	392 33.3	<u>665</u> <u>56.5</u>	29 2.5
	視覚障害	101 100.0	26 25.7	<u>58</u> <u>57.4</u>	41 40.6	0 0.0
	聴覚障害	120 100.0	13 10.8	27 22.5	<u>81</u> <u>67.5</u>	4 3.3
	平衡機能障害	16 100.0	8 50.0	<u>10</u> <u>62.5</u>	5 31.3	0 0.0
	音声・言語・そしゃく 機能の障害	15 100.0	2 13.3	3 20.0	<u>8</u> <u>53.3</u>	3 20.0
	肢体不自由	529 100.0	181 34.2	214 40.5	<u>240</u> <u>45.4</u>	16 3.0
	内部障害	331 100.0	44 13.3	59 17.8	<u>256</u> <u>77.3</u>	1 0.3
	知的	268 100.0	100 37.3	<u>113</u> <u>42.2</u>	106 39.6	11 4.1
	難病	239 100.0	19 7.9	30 12.6	<u>196</u> <u>82.0</u>	5 2.1

- 全体：1,685人のうち、「必要でない」が57.4%と最も多く、次いで「外出時に必要である」が31.8%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「必要でない」が56.5%と最も多く、次いで「外出時に必要である」が33.3%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「外出時に必要である」が42.2%と最も多く、次いで「必要でない」が39.6%となっています。
- 難病：239人のうち、「必要でない」が82.0%と最も多く、次いで「外出時に必要である」が12.6%となっています。



(3) 【身知難】問 19-1 いちばん手助けしてくれる人

【問 19 で、「必要である」と答えたかたにおうかがいします。】

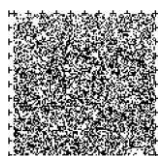
問 19-1 あなたをいちばん手助けしてくれる人はどなたですか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 難病

単純集計：調査票種別

		合計	配偶者 (パートナー)	父・母	子ども (子どもとの配 偶者含む)	その他の家族・親戚	ボランティア	ホームヘルパー	その他	無回答
全体		676 100.0	158 23.4	227 33.6	92 13.6	42 6.2	5 0.7	75 11.1	72 10.7	5 0.7
調査票種別	身体	487 100.0	141 29.0	108 22.2	86 17.7	28 5.7	4 0.8	66 13.6	49 10.1	5 1.0
	知的	151 100.0	4 2.6	110 72.8	0 0.0	11 7.3	1 0.7	5 3.3	20 13.2	0 0.0
	難病	38 100.0	13 34.2	9 23.7	6 15.8	3 7.9	0 0.0	4 10.5	3 7.9	0 0.0

- 全体：676人のうち、「父・母」が33.6%と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）」が23.4%となっています。
- 身体障害：487人のうち、「配偶者（パートナー）」が29.0%と最も多く、次いで「父・母」が22.2%となっています。
- 知的障害：151人のうち、「父・母」が72.8%と最も多く、次いで「その他」が13.2%となっています。
- 難病：38人のうち、「配偶者（パートナー）」が34.2%と最も多く、次いで「父・母」が23.7%となっています。



(4) 【身知難】問 19-2 手助けしてくれる人の年齢

【102 ページの問 19-1 で、「配偶者、父母、子ども、その他の家族・親戚」と答えたかたにおうかがいします。】

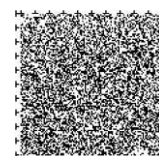
問 19-2 問 19-1 で回答した手助けしてくれる人の年齢はいくつですか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 難病

単純集計：調査票種別

		合計	18歳未満	18歳～39歳	40歳～54歳	55歳～64歳	65歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
全体		519 100.0	0 0.0	26 5.0	78 15.0	173 33.3	120 23.1	51 9.8	36 6.9	25 4.8	10 1.9
調査票種別	身体	363 100.0	0 0.0	22 6.1	60 16.5	121 33.3	73 20.1	36 9.9	25 6.9	20 5.5	6 1.7
	知的	125 100.0	0 0.0	3 2.4	13 10.4	43 34.4	39 31.2	13 10.4	8 6.4	3 2.4	3 2.4
	難病	31 100.0	0 0.0	1 3.2	5 16.1	9 29.0	8 25.8	2 6.5	3 9.7	2 6.5	1 3.2

- 全体：519人のうち、「55～64歳」が33.3%と最も多く、次いで「65～74歳」が23.1%となっています。
- 身体障害：363人のうち、「55～64歳」が33.3%と最も多く、次いで「65～74歳」が20.1%となっています。
- 知的障害：125人のうち、「55～64歳」が34.4%と最も多く、次いで「65～74歳」が31.2%となっています。
- 難病：31人のうち、「55～64歳」が29.0%と最も多く、次いで「65～74歳」が25.8%となっています。



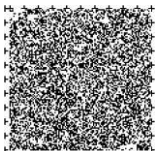
■クロス集計：手助けしてくれる人の年齢／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	18歳未満	18歳～39歳	40歳～54歳	55歳～64歳	65歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
全体		363 100.0	0 0.0	22 6.1	60 16.5	<u>121</u> <u>33.3</u>	73 20.1	36 9.9	25 6.9	20 5.5	6 1.7
本人の年齢別	18～29歳	30 100.0	0 0.0	2 6.7	9 30.0	<u>18</u> <u>60.0</u>	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	26 100.0	0 0.0	3 11.5	1 3.8	9 34.6	<u>12</u> <u>46.2</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8
	40～49歳	47 100.0	0 0.0	1 2.1	7 14.9	6 12.8	<u>14</u> <u>29.8</u>	11 23.4	5 10.6	1 2.1	2 4.3
	50～59歳	67 100.0	0 0.0	7 10.4	17 25.4	<u>21</u> <u>31.3</u>	4 6.0	6 9.0	7 10.4	5 7.5	0 0.0
	60～69歳	62 100.0	0 0.0	5 8.1	5 8.1	<u>32</u> <u>51.6</u>	14 22.6	1 1.6	2 3.2	2 3.2	1 1.6
	70～79歳	46 100.0	0 0.0	4 8.7	9 19.6	1 2.2	<u>15</u> <u>32.6</u>	13 28.3	3 6.5	0 0.0	1 2.2
	80歳以上	84 100.0	0 0.0	0 0.0	12 14.3	<u>33</u> <u>39.3</u>	13 15.5	5 6.0	8 9.5	12 14.3	1 1.2

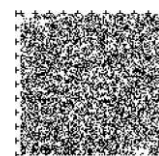
<知的障害>

		合計	18歳未満	18歳～39歳	40歳～54歳	55歳～64歳	65歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
全体		125 100.0	0 0.0	3 2.4	13 10.4	<u>43</u> <u>34.4</u>	39 31.2	13 10.4	8 6.4	3 2.4	3 2.4
本人の年齢別	18～29歳	46 100.0	0 0.0	2 4.3	11 23.9	<u>28</u> <u>60.9</u>	4 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.2
	30～39歳	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 30.0	<u>19</u> <u>63.3</u>	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3
	40～49歳	21 100.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	<u>10</u> <u>47.6</u>	6 28.6	3 14.3	0 0.0	0 0.0
	50～59歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	3 23.1	<u>4</u> <u>30.8</u>	3 23.1	1 7.7
	60～69歳	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>42.9</u>	<u>3</u> <u>42.9</u>	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	70～79歳	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	<u>3</u> <u>60.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



<難病>

	合計	18歳未満	18～39歳	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答	
全体	31 100.0	0 0.0	1 3.2	5 16.1	<u>9</u> <u>29.0</u>	8 25.8	2 6.5	3 9.7	2 6.5	1 3.2	
本人の年齢別	18～29歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	30～39歳	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	
	40～49歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	50～59歳	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	
	60～69歳	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	<u>3</u> <u>42.9</u>	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3
	70～79歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>50.0</u>	0 0.0	<u>3</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	80歳以上	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	1 20.0	0 0.0

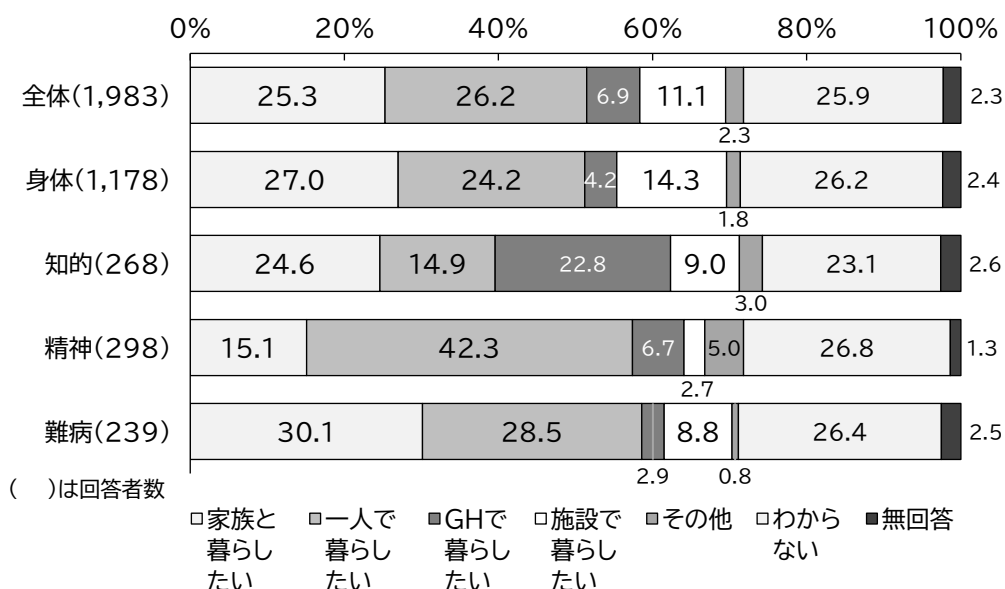


(5) 【身知精難】問 20 希望する暮らし方

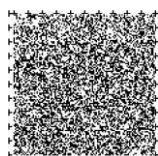
問 家族構成の変化等により、今の暮らしができなくなった場合に、あなたはどのように暮らしていきたいと考えていますか。(〇は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983人のうち、「一人で暮らしたい」が26.2%と最も多く、次いで「わからない」が25.9%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「家族と暮らしたい」が27.0%と最も多く、次いで「わからない」が26.2%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「家族と暮らしたい」が24.6%と最も多く、次いで「わからない」が23.1%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「一人で暮らしたい」が42.3%と最も多く、次いで「わからない」が26.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「家族と暮らしたい」が30.1%と最も多く、次いで「一人で暮らしたい」が28.5%となっています。



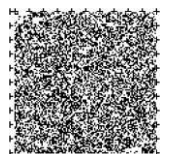
■クロス集計：希望する暮らし方／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>318</u> 27.0	285 24.2	49 4.2	168 14.3	21 1.8	309 26.2	28 2.4
本人の年齢別	18～29歳	57 100.0	<u>18</u> 31.6	16 28.1	4 7.0	6 10.5	0 0.0	13 22.8	0 0.0
	30～39歳	70 100.0	<u>22</u> 31.4	19 27.1	6 8.6	9 12.9	1 1.4	13 18.6	0 0.0
	40～49歳	142 100.0	36 25.4	<u>39</u> 27.5	13 9.2	15 10.6	3 2.1	33 23.2	3 2.1
	50～59歳	279 100.0	78 28.0	74 26.5	4 1.4	26 9.3	6 2.2	<u>84</u> 30.1	7 2.5
	60～69歳	240 100.0	53 22.1	68 28.3	6 2.5	34 14.2	4 1.7	<u>73</u> 30.4	2 0.8
	70～79歳	167 100.0	<u>40</u> 24.0	39 23.4	4 2.4	34 20.4	4 2.4	39 23.4	7 4.2
	80歳以上	214 100.0	<u>69</u> 32.2	28 13.1	12 5.6	44 20.6	2 0.9	53 24.8	6 2.8

<知的障害>

		合計	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		268 100.0	<u>66</u> 24.6	40 14.9	61 22.8	24 9.0	8 3.0	62 23.1	7 2.6
本人の年齢別	18～29歳	73 100.0	<u>22</u> 30.1	14 19.2	12 16.4	3 4.1	4 5.5	16 21.9	2 2.7
	30～39歳	52 100.0	<u>13</u> 25.0	6 11.5	12 23.1	8 15.4	0 0.0	11 21.2	2 3.8
	40～49歳	51 100.0	15 29.4	5 9.8	<u>16</u> 31.4	6 11.8	1 2.0	8 15.7	0 0.0
	50～59歳	48 100.0	10 20.8	7 14.6	<u>12</u> 25.0	4 8.3	2 4.2	<u>12</u> 25.0	1 2.1
	60～69歳	23 100.0	4 17.4	3 13.0	<u>7</u> 30.4	3 13.0	0 0.0	6 26.1	0 0.0
	70～79歳	17 100.0	2 11.8	3 17.6	2 11.8	0 0.0	1 5.9	<u>8</u> 47.1	1 5.9
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0

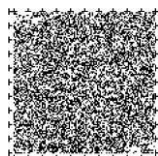


<精神障害>

		合計	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		298 100.0	45 15.1	<u>126</u> <u>42.3</u>	20 6.7	8 2.7	15 5.0	80 26.8	4 1.3
本人の年齢別	18～29歳	48 100.0	12 25.0	<u>22</u> <u>45.8</u>	2 4.2	1 2.1	1 2.1	10 20.8	0 0.0
	30～39歳	67 100.0	15 22.4	<u>26</u> <u>38.8</u>	2 3.0	1 1.5	6 9.0	17 25.4	0 0.0
	40～49歳	57 100.0	6 10.5	<u>20</u> <u>35.1</u>	8 14.0	2 3.5	1 1.8	19 33.3	1 1.8
	50～59歳	74 100.0	6 8.1	<u>39</u> <u>52.7</u>	3 4.1	3 4.1	3 4.1	18 24.3	2 2.7
	60～69歳	30 100.0	3 10.0	<u>10</u> <u>33.3</u>	4 13.3	1 3.3	1 3.3	<u>10</u> <u>33.3</u>	1 3.3
	70～79歳	12 100.0	2 16.7	<u>4</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	3 25.0	3 25.0	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

<難病>

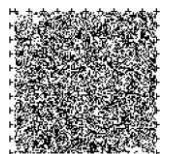
		合計	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		239 100.0	<u>72</u> <u>30.1</u>	68 28.5	7 2.9	21 8.8	2 0.8	63 26.4	6 2.5
本人の年齢別	18～29歳	13 100.0	<u>9</u> <u>69.2</u>	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0
	30～39歳	34 100.0	<u>13</u> <u>38.2</u>	9 26.5	2 5.9	0 0.0	0 0.0	9 26.5	1 2.9
	40～49歳	44 100.0	<u>19</u> <u>43.2</u>	9 20.5	1 2.3	1 2.3	1 2.3	12 27.3	1 2.3
	50～59歳	58 100.0	<u>17</u> <u>29.3</u>	<u>17</u> <u>29.3</u>	0 0.0	7 12.1	0 0.0	<u>17</u> <u>29.3</u>	0 0.0
	60～69歳	60 100.0	8 13.3	<u>27</u> <u>45.0</u>	3 5.0	6 10.0	0 0.0	15 25.0	1 1.7
	70～79歳	16 100.0	3 18.8	2 12.5	0 0.0	4 25.0	0 0.0	<u>5</u> <u>31.3</u>	2 12.5
	80歳以上	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	<u>3</u> <u>30.0</u>	1 10.0	<u>3</u> <u>30.0</u>	1 10.0



■クロス集計：希望する暮らし方／手帳の等級・程度別

<全体>

		合計	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームで暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		1,983 100.0	501 25.3	<u>519</u> <u>26.2</u>	137 6.9	221 11.1	46 2.3	514 25.9	45 2.3
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	365 100.0	<u>106</u> <u>29.0</u>	90 24.7	19 5.2	54 14.8	10 2.7	81 22.2	5 1.4
	身体障害者手帳 2級	209 100.0	52 24.9	51 24.4	9 4.3	28 13.4	3 1.4	<u>60</u> <u>28.7</u>	6 2.9
	身体障害者手帳 3級	159 100.0	40 25.2	35 22.0	8 5.0	21 13.2	2 1.3	<u>47</u> <u>29.6</u>	6 3.8
	身体障害者手帳 4級	218 100.0	49 22.5	<u>70</u> <u>32.1</u>	6 2.8	25 11.5	1 0.5	63 28.9	4 1.8
	身体障害者手帳 5級	66 100.0	<u>19</u> <u>28.8</u>	17 25.8	2 3.0	14 21.2	2 3.0	12 18.2	0 0.0
	身体障害者手帳 6級	75 100.0	20 26.7	10 13.3	3 4.0	15 20.0	1 1.3	<u>24</u> <u>32.0</u>	2 2.7
	身体障害者手帳 7級	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	8 100.0	<u>3</u> <u>37.5</u>	0 0.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
	愛の手帳 2度	82 100.0	17 20.7	4 4.9	<u>26</u> <u>31.7</u>	18 22.0	2 2.4	13 15.9	2 2.4
	愛の手帳 3度	70 100.0	18 25.7	5 7.1	<u>25</u> <u>35.7</u>	6 8.6	2 2.9	12 17.1	2 2.9
	愛の手帳 4度	166 100.0	41 24.7	36 21.7	22 13.3	8 4.8	5 3.0	<u>50</u> <u>30.1</u>	4 2.4
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳1級	13 100.0	1 7.7	<u>6</u> <u>46.2</u>	1 7.7	1 7.7	0 0.0	3 23.1	1 7.7
	精神障害者保健 福祉手帳2級	169 100.0	32 18.9	<u>65</u> <u>38.5</u>	18 10.7	5 3.0	8 4.7	38 22.5	3 1.8
	精神障害者保健 福祉手帳3級	138 100.0	18 13.0	<u>59</u> <u>42.8</u>	6 4.3	7 5.1	7 5.1	40 29.0	1 0.7



(6) 【身知精難】問 20-1 希望する暮らし方で不安に感じること

【問 20 で、暮らしたい希望を答えたかたにおうかがいします。】

問 20-1 希望する暮らし方を実現する上で、どのようなことに不安を感じますか。

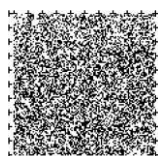
(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

	合計	介助してくれる人がいるか	困った時に相談できる人がいるか	一緒に暮らす人がいるか	住まいがあるか	働く場所や仕事があるか	日中の行き場があるか	生活費が足りるか	必要な医療が受けられるか	隣近所や地域の人と良好な関係を築けるか	その他	特にない	無回答	
全体	1,424 100.0	435 30.5	556 39.0	222 15.6	336 23.6	293 20.6	112 7.9	<u>667</u> <u>46.8</u>	328 23.0	85 6.0	38 2.7	176 12.4	34 2.4	
調査票種別	身体	841 100.0	291 34.6	280 33.3	130 15.5	173 20.6	129 15.3	50 5.9	<u>346</u> <u>41.1</u>	200 23.8	42 5.0	25 3.0	131 15.6	24 2.9
	知的	199 100.0	68 34.2	<u>102</u> <u>51.3</u>	41 20.6	39 19.6	40 20.1	27 13.6	82 41.2	37 18.6	15 7.5	5 2.5	17 8.5	7 3.5
	精神	214 100.0	39 18.2	114 53.3	27 12.6	75 35.0	75 35.0	27 12.6	<u>140</u> <u>65.4</u>	45 21.0	21 9.8	5 2.3	10 4.7	3 1.4
	難病	170 100.0	37 21.8	60 35.3	24 14.1	49 28.8	49 28.8	8 4.7	<u>99</u> <u>58.2</u>	46 27.1	7 4.1	3 1.8	18 10.6	0 0.0

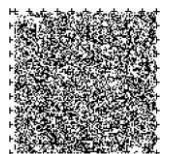
- 全体：1,424人のうち、「生活費が足りるか」が46.8%と最も多く、次いで「困った時に相談できる人がいるか」が39.0%となっています。
- 身体障害：841人のうち、「生活費が足りるか」が41.1%と最も多く、次いで「介助してくれる人がいるか」が34.6%となっています。
- 知的障害：199人のうち、「困った時に相談できる人がいるか」が51.3%と最も多く、次いで「生活費が足りるか」が41.2%となっています。
- 精神障害：214人のうち、「生活費が足りるか」が65.4%と最も多く、次いで「困った時に相談できる人がいるか」が53.3%となっています。
- 難病：170人のうち、「生活費が足りるか」が58.2%と最も多く、次いで「困った時に相談できる人がいるか」が35.3%となっています。



■クロス集計：希望する暮らし方で不安に感じること／希望する暮らし方別

<全体>

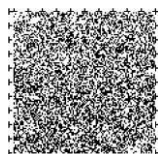
		合計	か 介助してく れる人がい るか	困 った時に相 談できる人 がいるか	一 緒に暮らす 人がいるか	住 まいがある か	働 く場所や仕 事があるか	日 中の行き場 があるか	生 活費が足り るか	か 必要なが 医療が受け られる	隣 近所や地域 の人と良好 な関係を築 けるか	そ の他	特 にない	無 回答
全体		1,424 100.0	435 30.5	556 39.0	222 15.6	336 23.6	293 20.6	112 7.9	<u>667</u> <u>46.8</u>	328 23.0	85 6.0	38 2.7	176 12.4	34 2.4
希望する暮らし方別	家族と暮ら したい	501 100.0	143 28.5	171 34.1	153 30.5	83 16.6	102 20.4	27 5.4	<u>217</u> <u>43.3</u>	108 21.6	20 4.0	8 1.6	76 15.2	11 2.2
	一人で暮ら したい	519 100.0	109 21.0	204 39.3	27 5.2	152 29.3	141 27.2	35 6.7	<u>274</u> <u>52.8</u>	99 19.1	38 7.3	15 2.9	72 13.9	14 2.7
	グループホ ームで暮ら したい	137 100.0	60 43.8	<u>80</u> <u>58.4</u>	11 8.0	41 29.9	22 16.1	21 15.3	56 40.9	36 26.3	11 8.0	4 2.9	10 7.3	3 2.2
	施設で暮ら したい	221 100.0	<u>110</u> <u>49.8</u>	86 38.9	22 10.0	48 21.7	20 9.0	21 9.5	104 47.1	77 34.8	12 5.4	5 2.3	12 5.4	4 1.8
	その他	46 100.0	13 28.3	15 32.6	9 19.6	12 26.1	8 17.4	8 17.4	<u>16</u> <u>34.8</u>	8 17.4	4 8.7	6 13.0	6 13.0	2 4.3
	わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



9 仕事の状況について

まとめ 113~130 ページ

- 仕事の状況について、身体障害のかたの 37.7%、知的障害のかたの 63.1%、精神障害のかたの 50.7%は仕事をしており、今後も継続を希望。一方、全体の 43.3%は『今、仕事をしていない』（「今、仕事をしていないが、今後やってみたい」+「今、仕事をしていないが、今後もしない」）。精神障害のかたの 28.9%が、今はしていないが今後希望している。
- 難病のかたの日常生活の過ごし方は、51.0%が仕事をしている。
- 仕事の種類は、身体障害・難病のかたは正規の社員としての就労が多く、知的・精神障害のかたは福祉作業所・就労支援B型・地域活動支援センターでの就労が多い。障害者雇用による就労は知的障害のかたが 29.3%、精神障害のかたが 23.8%。
- 仕事で得る1か月の収入は、身体障害・難病のかたは 20 万円以上、知的障害のかたは 10 万円以上 20 万円未満が多い。精神障害のかたの第1位は 1 万円未満で 28.7%。
- 今の仕事をどこで見つけたかについて、知的障害のかたは学校、病院の紹介が 39.1%と多い。
- 今後どのような仕事がしたいかについて、全体では障害者雇用が 39.4%と最も高い。身体障害のかたは、パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労、知的障害のかたは福祉作業所・就労支援B型・地域活動支援センター、精神障害のかたは障害者雇用による就労が多い。
- 難病のかたの通院や体調不良による欠勤について、67.2%のかたが休むことがある。
- 仕事を始める・続ける上で困っていることは、精神障害のかたは多項目にわたって困りごとがあると回答しており、特に職場の人間関係が 41.6%と多い。



(1) 【身知精】問 21 仕事の状況

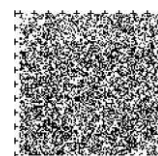
問 あなたは今、仕事〈※〉をしていますか。また、これからはどうしたいとお考えですか。
 (○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神

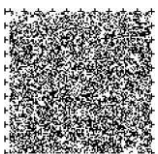
単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	今、仕事をしております、 今後も続けたい	今、仕事をしておりますが、 仕事を変えたい	今、仕事をしておりますが、 やめたい	今、仕事をしていないが、 今後やってみよう	今、仕事をしていないが、 今後もしない	無回答
全体		1,744 100.0	<u>764</u> <u>43.8</u>	74 4.2	38 2.2	253 14.5	503 28.8	112 6.4
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>444</u> <u>37.7</u>	41 3.5	26 2.2	142 12.1	432 36.7	93 7.9
	視覚障害	101 100.0	<u>48</u> <u>47.5</u>	7 6.9	4 4.0	15 14.9	24 23.8	3 3.0
	聴覚障害	120 100.0	<u>47</u> <u>39.2</u>	3 2.5	1 0.8	15 12.5	41 34.2	13 10.8
	平衡機能障害	16 100.0	4 25.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	<u>10</u> <u>62.5</u>	0 0.0
	音声・言語・そしゃく 機能の障害	15 100.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	<u>8</u> <u>53.3</u>	2 13.3
	肢体不自由	529 100.0	183 34.6	20 3.8	11 2.1	62 11.7	<u>214</u> <u>40.5</u>	39 7.4
	内部障害	331 100.0	<u>145</u> <u>43.8</u>	9 2.7	10 3.0	41 12.4	107 32.3	19 5.7
	知的	268 100.0	<u>169</u> <u>63.1</u>	11 4.1	4 1.5	25 9.3	46 17.2	13 4.9
	精神	298 100.0	<u>151</u> <u>50.7</u>	22 7.4	8 2.7	86 28.9	25 8.4	6 2.0

※『仕事』とは、就労継続支援A型／B型・地域活動支援センターでの作業も含まれます。
 休職中のかたは含まれますが、家事は含まれません。



- 全体：1,744 人のうち、「今、仕事をしており、今後も続けたい」が 43.8%と最も多く、次いで「今、仕事をしていないが、今後もしない」が 28.8%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「今、仕事をしており、今後も続けたい」が 37.7%と最も多く、次いで「今、仕事をしていないが、今後もしない」が 36.7%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「今、仕事をしており、今後も続けたい」が 63.1%と最も多く、次いで「今、仕事をしていないが、今後もしない」が 17.2%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「今、仕事をしており、今後も続けたい」が 50.7%と最も多く、次いで「今、仕事をしていないが、今後やってみたい」が 28.9%となっています。



■クロス集計：仕事の状況／本人の年齢区分別

<身体障害>

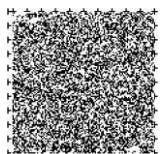
		合計	今、仕事をしております、 今後も続けたい	今、仕事をしておりますが、 仕事を変えたい	今、仕事をしておりますが、 やめたい	今、仕事をしていない が、今後やってみたい	今、仕事をしていない が、今後もしない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>444</u> <u>37.7</u>	41 3.5	26 2.2	142 12.1	432 36.7	93 7.9
本人の 年齢区分	65歳未満	730 100.0	<u>369</u> <u>50.5</u>	38 5.2	22 3.0	117 16.0	156 21.4	28 3.8
	65歳以上	439 100.0	72 16.4	2 0.5	4 0.9	25 5.7	<u>273</u> <u>62.2</u>	63 14.4

<知的障害>

		合計	今、仕事をしております、 今後も続けたい	今、仕事をしておりますが、 仕事を変えたい	今、仕事をしておりますが、 やめたい	今、仕事をしていない が、今後やってみたい	今、仕事をしていない が、今後もしない	無回答
全体		268 100.0	<u>169</u> <u>63.1</u>	11 4.1	4 1.5	25 9.3	46 17.2	13 4.9
本人の 年齢区分	65歳未満	237 100.0	<u>158</u> <u>66.7</u>	10 4.2	3 1.3	24 10.1	33 13.9	9 3.8
	65歳以上	29 100.0	11 37.9	1 3.4	1 3.4	0 0.0	<u>12</u> <u>41.4</u>	4 13.8

<精神障害>

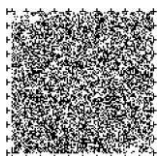
		合計	今、仕事をしております、 今後も続けたい	今、仕事をしておりますが、 仕事を変えたい	今、仕事をしておりますが、 やめたい	今、仕事をしていない が、今後やってみたい	今、仕事をしていない が、今後もしない	無回答
全体		298 100.0	<u>151</u> <u>50.7</u>	22 7.4	8 2.7	86 28.9	25 8.4	6 2.0
本人の 年齢区分	65歳未満	266 100.0	<u>140</u> <u>52.6</u>	21 7.9	7 2.6	78 29.3	17 6.4	3 1.1
	65歳以上	24 100.0	<u>10</u> <u>41.7</u>	1 4.2	1 4.2	4 16.7	5 20.8	3 12.5



■クロス集計：仕事の状況／手帳の等級・程度別

<全体>

	合計	今、仕事をしており、 今後も続けたい	今、仕事をしているが、 仕事を変えたい	今、仕事をしているが、 やめたい	今、仕事をしていない が、今後やってみたい	今、仕事をしていない が、今後もしない	無回答	
全体	1,744 100.0	<u>764</u> <u>43.8</u>	74 4.2	38 2.2	253 14.5	503 28.8	112 6.4	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳1級	365 100.0	<u>145</u> <u>39.7</u>	9 2.5	10 2.7	41 11.2	139 38.1	21 5.8
	身体障害者手帳2級	209 100.0	<u>85</u> <u>40.7</u>	7 3.3	5 2.4	33 15.8	65 31.1	14 6.7
	身体障害者手帳3級	157 100.0	53 33.8	5 3.2	5 3.2	20 12.7	<u>60</u> <u>38.2</u>	14 8.9
	身体障害者手帳4級	217 100.0	<u>91</u> <u>41.9</u>	9 4.1	5 2.3	20 9.2	77 35.5	15 6.9
	身体障害者手帳5級	63 100.0	<u>25</u> <u>39.7</u>	6 9.5	1 1.6	8 12.7	21 33.3	2 3.2
	身体障害者手帳6級	75 100.0	25 33.3	3 4.0	0 0.0	11 14.7	<u>30</u> <u>40.0</u>	6 8.0
	身体障害者手帳7級	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳1度	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>6</u> <u>75.0</u>	1 12.5
	愛の手帳2度	82 100.0	26 31.7	1 1.2	1 1.2	8 9.8	<u>36</u> <u>43.9</u>	10 12.2
	愛の手帳3度	70 100.0	<u>46</u> <u>65.7</u>	4 5.7	1 1.4	8 11.4	8 11.4	3 4.3
	愛の手帳4度	166 100.0	<u>112</u> <u>67.5</u>	8 4.8	3 1.8	14 8.4	21 12.7	8 4.8
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	13 100.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0	<u>5</u> <u>38.5</u>	<u>5</u> <u>38.5</u>	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳2級	164 100.0	<u>70</u> <u>42.7</u>	13 7.9	7 4.3	50 30.5	19 11.6	5 3.0
	精神障害者保健福祉手帳3級	135 100.0	<u>83</u> <u>61.5</u>	6 4.4	3 2.2	31 23.0	10 7.4	2 1.5



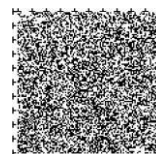
(2) 【難】問 22 主な日常生活の過ごし方

問 あなたは、日常生活を主にどのようにお過ごしですか。(○は1つ)	
調査対象：	難病

単純集計：調査票種別

	合計	仕事をしている	通学・通園している	家事をしている	療養をしている	その他	無回答
難病	239 100.0	122 51.0	2 0.8	66 27.6	37 15.5	8 3.3	4 1.7

- 難病：239人のうち、「仕事をしている」が51.0%と最も多く、次いで「家事をしている」が27.6%となっています。



(3) 【身知精難】問 21-1 仕事の種類

【113 ページの問 21 で、「仕事をしている」又は、117 ページの問 22 で、「仕事をしている」と答え
たかたにおうかがいします。】

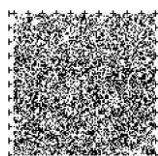
問 21-1 あなたは、どのような仕事をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

	合計	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	派遣社員等の非正規雇用	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	自営業	特例子会社	障害者雇用による就労	就労継続支援A型(雇用契約を結んでいる)	福祉作業所・就労継続支援B型(雇用契約を結んでいない)・地域活動支援センター	その他	無回答	
全体	998 100.0	341 34.2	60 6.0	158 15.8	107 10.7	28 2.8	174 17.4	22 2.2	179 17.9	22 2.2	14 1.4	
調査票種別	身体	511 100.0	243 47.6	28 5.5	75 14.7	85 16.6	6 1.2	75 14.7	8 1.6	33 6.5	10 2.0	7 1.4
	知的	184 100.0	11 6.0	6 3.3	31 16.8	1 0.5	17 9.2	54 29.3	2 1.1	67 36.4	6 3.3	5 2.7
	精神	181 100.0	28 15.5	10 5.5	24 13.3	5 2.8	5 2.8	43 23.8	12 6.6	78 43.1	3 1.7	1 0.6
	難病	122 100.0	59 48.4	16 13.1	28 23.0	16 13.1	0 0.0	2 1.6	0 0.0	1 0.8	3 2.5	1 0.8

- 全体：998 人のうち、「会社員・公務員・団体職員等の正規雇用」が 34.2%と最も多く、次いで「福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター」が 17.9%となっています。
- 身体障害：511 人のうち、「会社員・公務員・団体職員等の正規雇用」が 47.6%と最も多く、次いで「自営業」が 16.6%となっています。
- 知的障害：184 人のうち、「福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター」が 36.4%と最も多く、次いで「障害者雇用による就労」が 29.3%となっています。
- 精神障害：181 人のうち、「福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター」が 43.1%と最も多く、次いで「障害者雇用による就労」が 23.8%となっています。
- 難病：122 人のうち、「会社員・公務員・団体職員等の正規雇用」が 48.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労」が 23.0%となっています。



(4) 【身知精難】問 21-2 仕事で得る1か月の収入

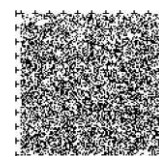
【113 ページの問 21 で、「仕事をしている」又は、117 ページの問 22 で、「仕事をしている」と答えたかたにおうかがいします。】

問 21-2 仕事で得る1か月の収入はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

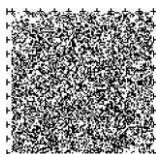
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上	収入はない	無回答
全体		998 100.0	97 9.7	77 7.7	25 2.5	30 3.0	107 10.7	260 26.1	<u>367</u> <u>36.8</u>	11 1.1	24 2.4
調査票種別	身体	511 100.0	20 3.9	19 3.7	7 1.4	11 2.2	56 11.0	114 22.3	<u>264</u> <u>51.7</u>	6 1.2	14 2.7
	視覚障害	59 100.0	3 5.1	6 10.2	0 0.0	4 6.8	7 11.9	12 20.3	<u>24</u> <u>40.7</u>	0 0.0	3 5.1
	聴覚障害	51 100.0	3 5.9	0 0.0	1 2.0	2 3.9	5 9.8	11 21.6	<u>25</u> <u>49.0</u>	2 3.9	2 3.9
	平衡機能障害	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>75.0</u>	0 0.0	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0
	肢体不自由	214 100.0	8 3.7	7 3.3	3 1.4	2 0.9	22 10.3	57 26.6	<u>110</u> <u>51.4</u>	3 1.4	2 0.9
	内部障害	164 100.0	1 0.6	3 1.8	3 1.8	3 1.8	19 11.6	30 18.3	<u>98</u> <u>59.8</u>	1 0.6	6 3.7
	知的	184 100.0	25 13.6	40 21.7	7 3.8	5 2.7	16 8.7	<u>71</u> <u>38.6</u>	11 6.0	2 1.1	7 3.8
	精神	181 100.0	<u>52</u> <u>28.7</u>	18 9.9	11 6.1	8 4.4	18 9.9	44 24.3	26 14.4	3 1.7	1 0.6
	難病	122 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 4.9	17 13.9	31 25.4	<u>66</u> <u>54.1</u>	0 0.0	2 1.6



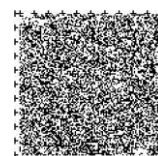
- 全体：998人のうち、「20万円以上」が36.8%と最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」が26.1%となっています。
- 身体障害：511人のうち、「20万円以上」が51.7%と最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」が22.3%となっています。
- 知的障害：184人のうち、「10万円以上20万円未満」が38.6%と最も多く、次いで「1万円以上2万円未満」が21.7%となっています。
- 精神障害：181人のうち、「1万円未満」が28.7%と最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」が24.3%となっています。
- 難病：122人のうち、「20万円以上」が54.1%と最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」が25.4%となっています。



■クロス集計：仕事で得る1か月の収入／仕事の種類別

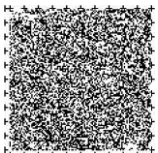
<身体障害>

		合計	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上	収入はない	無回答
全体		511 100.0	20 3.9	19 3.7	7 1.4	11 2.2	56 11.0	114 22.3	<u>264</u> <u>51.7</u>	6 1.2	14 2.7
仕事の種類別	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	243 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	4 1.6	34 14.0	<u>202</u> <u>83.1</u>	0 0.0	2 0.8
	派遣社員等の非正規雇用	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	3 10.7	11 39.3	<u>12</u> <u>42.9</u>	1 3.6	0 0.0
	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	75 100.0	2 2.7	3 4.0	4 5.3	2 2.7	28 37.3	<u>29</u> <u>38.7</u>	6 8.0	0 0.0	1 1.3
	自営業	85 100.0	1 1.2	3 3.5	0 0.0	4 4.7	18 21.2	15 17.6	<u>35</u> <u>41.2</u>	3 3.5	6 7.1
	特例子会社	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>50.0</u>	<u>3</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0
	障害者雇用による就労	75 100.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	1 1.3	5 6.7	<u>38</u> <u>50.7</u>	28 37.3	1 1.3	1 1.3
	就労継続支援A型（雇用契約を結んでいる）	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	<u>3</u> <u>37.5</u>	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5
	福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター	33 100.0	<u>15</u> <u>45.5</u>	13 39.4	3 9.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0
	その他	10 100.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	<u>4</u> <u>40.0</u>	0 0.0	0 0.0



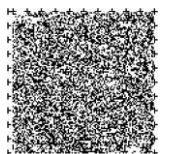
<知的障害>

		合計	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上	収入はない	無回答
全体		184 100.0	25 13.6	40 21.7	7 3.8	5 2.7	16 8.7	71 38.6	11 6.0	2 1.1	7 3.8
仕事の種類別	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	8 72.7	2 18.2	0 0.0	0 0.0
	派遣社員等の非正規雇用	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	31 100.0	0 0.0	1 3.2	2 6.5	3 9.7	5 16.1	18 58.1	2 6.5	0 0.0	0 0.0
	自営業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	特例子会社	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 88.2	1 5.9	0 0.0	1 5.9
	障害者雇用による就労	54 100.0	1 1.9	2 3.7	0 0.0	1 1.9	8 14.8	38 70.4	2 3.7	1 1.9	1 1.9
	就労継続支援A型（雇用契約を結んでいる）	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター	67 100.0	20 29.9	37 55.2	5 7.5	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.5
	その他	6 100.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0



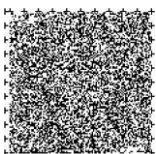
<精神障害>

		合計	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上	収入はない	無回答
全体		181 100.0	<u>52</u> <u>28.7</u>	18 9.9	11 6.1	8 4.4	18 9.9	44 24.3	26 14.4	3 1.7	1 0.6
仕事の種類別	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	28 100.0	2 7.1	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4 14.3	<u>19</u> <u>67.9</u>	2 7.1	0 0.0
	派遣社員等の非正規雇用	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	<u>7</u> <u>70.0</u>	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	24 100.0	2 8.3	0 0.0	1 4.2	4 16.7	6 25.0	<u>10</u> <u>41.7</u>	1 4.2	0 0.0	0 0.0
	自営業	5 100.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	0 0.0	0 0.0
	特例子会社	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>5</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	障害者雇用による就労	43 100.0	3 7.0	1 2.3	0 0.0	2 4.7	9 20.9	<u>23</u> <u>53.5</u>	4 9.3	1 2.3	0 0.0
	就労継続支援A型（雇用契約を結んでいる）	12 100.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	2 16.7	<u>4</u> <u>33.3</u>	<u>4</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター	78 100.0	<u>46</u> <u>59.0</u>	17 21.8	10 12.8	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	0 0.0
	その他	3 100.0	<u>2</u> <u>66.7</u>	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



<難病>

		合計	1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上20万円未満	20万円以上	収入はない	無回答
全体		122 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 4.9	17 13.9	31 25.4	<u>66</u> <u>54.1</u>	0 0.0	2 1.6
仕事の種類別	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	59 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 10.2	<u>53</u> <u>89.8</u>	0 0.0	0 0.0
	派遣社員等の非正規雇用	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>9</u> <u>56.3</u>	7 43.8	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 17.9	10 35.7	<u>11</u> <u>39.3</u>	2 7.1	0 0.0	0 0.0
	自営業	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	<u>6</u> <u>37.5</u>	5 31.3	4 25.0	0 0.0	0 0.0
	特例子会社	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	障害者雇用による就労	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	1 50.0
	就労継続支援A型（雇用契約を結んでいる）	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>33.3</u>	<u>1</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	1 33.3



(5) 【身知精難】問 21-3 今の仕事の見つけ方

【113 ページの問 21 で、「仕事をしている」又は、117 ページの問 22 で、「仕事をしている」と答えたかたにおうかがいします。】

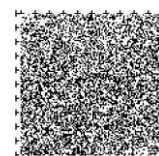
問 21-3 今の仕事は、どこで見つけましたか。(〇は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

	合計	公共職業安定所（ハローワーク）	区の機関（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、施設・就労支援グループ等）	家族、知人の紹介	情報誌や情報サイト、チラシ、ポスター	学校、病院等の紹介	福祉施設・就労移行支援事業所からの紹介	障害認定を受ける以前から働いている会社	その他	無回答	
全体	998 100.0	106 10.6	77 7.7	147 14.7	133 13.3	122 12.2	87 8.7	93 9.3	<u>203</u> <u>20.3</u>	30 3.0	
調査票種別	身体	511 100.0	59 11.5	11 2.2	93 18.2	87 17.0	29 5.7	16 3.1	73 14.3	<u>128</u> <u>25.0</u>	15 2.9
	知的	184 100.0	17 9.2	34 18.5	12 6.5	3 1.6	<u>72</u> <u>39.1</u>	24 13.0	1 0.5	11 6.0	10 5.4
	精神	181 100.0	21 11.6	31 17.1	10 5.5	15 8.3	16 8.8	<u>47</u> <u>26.0</u>	6 3.3	33 18.2	2 1.1
	難病	122 100.0	9 7.4	1 0.8	<u>32</u> <u>26.2</u>	28 23.0	5 4.1	0 0.0	13 10.7	31 25.4	3 2.5

- 全体：998 人のうち、「その他」が 20.3%と最も多く、次いで「家族、知人の紹介」が 14.7%となっています。
- 身体障害：511 人のうち、「その他」が 25.0%と最も多く、次いで「家族、知人の紹介」が 18.2%となっています。
- 知的障害：184 人のうち、「学校、病院等の紹介」が 39.1%と最も多く、次いで「区の機関（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、施設・就労支援グループ等）」が 18.5%となっています。
- 精神障害：181 人のうち、「福祉施設・就労移行支援事業所からの紹介」が 26.0%と最も多く、次いで「その他」が 18.2%となっています。
- 難病：122 人のうち、「家族、知人の紹介」が 26.2%と最も多く、次いで「その他」が 25.4%となっています。
- その他には、「自営業」「就職エージェント」などの回答があります。



(6) 【身知精】問 22 今後どのような仕事がしたいか

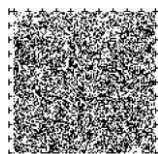
【113 ページの問 21 で、「仕事を変えたい」「今後仕事をやってみたい」と答えたかたにおうかがいします。】

問 あなたは、今後どのような仕事をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

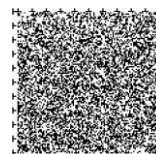
調査対象： 身体 知的 精神

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	正社員・公務員・団体職員等の 正規雇用	派遣社員等の非正規雇用	パート・アルバイト等の非正規 雇用かつ短時間就労	自営業	特例子会社	障害者雇用による就労	就労継続支援 A 型(雇用契約を 結んでいる)	福祉作業所・就労継続支援 B 型 (雇用契約を結んでいない)・ 地域活動支援センター	その他	無回答
全体		327 100.0	89 27.2	29 8.9	115 35.2	39 11.9	21 6.4	129 39.4	26 8.0	51 15.6	37 11.3	17 5.2
調査票種別	身体	183 100.0	49 26.8	14 7.7	68 37.2	27 14.8	7 3.8	66 36.1	11 6.0	18 9.8	20 10.9	13 7.1
	視覚障害	22 100.0	7 31.8	3 13.6	6 27.3	4 18.2	3 13.6	13 59.1	1 4.5	4 18.2	0 0.0	0 0.0
	聴覚障害	18 100.0	8 44.4	2 11.1	2 11.1	1 5.6	0 0.0	4 22.2	2 11.1	4 22.2	1 5.6	2 11.1
	平衡機能障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	音声・言語・そし やく機能の障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	肢体不自由	82 100.0	17 20.7	4 4.9	31 37.8	9 11.0	2 2.4	27 32.9	5 6.1	4 4.9	15 18.3	5 6.1
	内部障害	50 100.0	16 32.0	5 10.0	25 50.0	10 20.0	2 4.0	19 38.0	2 4.0	4 8.0	3 6.0	5 10.0
	知的	36 100.0	7 19.4	3 8.3	9 25.0	3 8.3	2 5.6	14 38.9	4 11.1	15 41.7	3 8.3	1 2.8
	精神	108 100.0	33 30.6	12 11.1	38 35.2	9 8.3	12 11.1	49 45.4	11 10.2	18 16.7	14 13.0	3 2.8



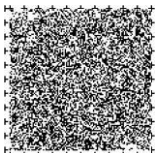
- 全体：327 人のうち、「障害者雇用による就労」が 39.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労」が 35.2%となっています。
- 身体障害：183 人のうち、「パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労」が 37.2%と最も多く、次いで「障害者雇用による就労」が 36.1%となっています。
- 知的障害：36 人のうち、「福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター」が 41.7%と最も多く、次いで「障害者雇用による就労」が 38.9%となっています。
- 精神障害：108 人のうち、「障害者雇用による就労」が 45.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労」が 35.2%となっています。



■クロス集計：今後どのような仕事がしたいか／仕事の種類別

<全体>

		合計	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	派遣社員等の非正規雇用	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	自営業	特例子会社	障害者雇用による就労	就労継続支援A型（雇用契約を結んでいる）	福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター	その他	無回答
全体		327 100.0	89 27.2	29 8.9	115 35.2	39 11.9	21 6.4	<u>129</u> <u>39.4</u>	26 8.0	51 15.6	37 11.3	17 5.2
仕事の種類別	会社員・公務員・団体職員等の正規雇用	24 100.0	<u>17</u> <u>70.8</u>	1 4.2	4 16.7	3 12.5	0 0.0	5 20.8	1 4.2	0 0.0	4 16.7	0 0.0
	派遣社員等の非正規雇用	9 100.0	<u>6</u> <u>66.7</u>	1 11.1	3 33.3	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト等の非正規雇用かつ短時間就労	9 100.0	<u>5</u> <u>55.6</u>	0 0.0	3 33.3	2 22.2	0 0.0	3 33.3	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0
	自営業	5 100.0	<u>4</u> <u>80.0</u>	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	特例子会社	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	障害者雇用による就労	16 100.0	10 62.5	1 6.3	1 6.3	5 31.3	1 6.3	<u>11</u> <u>68.8</u>	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	就労継続支援A型（雇用契約を結んでいる）	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	<u>3</u> <u>100.0</u>	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	福祉作業所・就労継続支援B型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター	17 100.0	2 11.8	1 5.9	5 29.4	0 0.0	5 29.4	<u>9</u> <u>52.9</u>	3 17.6	8 47.1	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



(7) 【難】問 22-4 通院体調不良による欠勤の有無

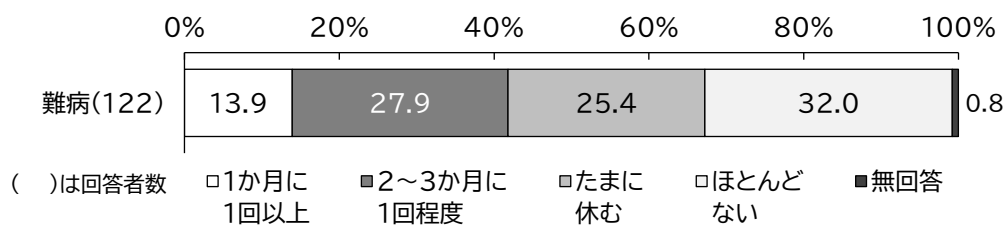
【117 ページの問 22 で、「仕事をしている」と答えたかたにおうかがいします。】

問 22-4 通院や体調不良で仕事を休むことはありますか。(○は1つ)

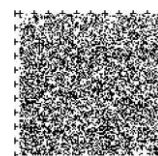
調査対象：

難病

単純集計：調査票種別



- 難病：122 人のうち、「ほとんどない」が 32.0% と最も多く、次いで「2～3 か月に 1 回程度」が 27.9% となっています。



(8) 【身知精難】問 23 仕事を始める・続ける上での困りごと

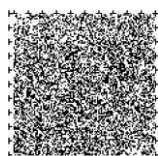
問 仕事を始める・続ける上で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	職場の人間関係(理解・協力が得られない等)	通勤手段や通勤距離に不安がある	仕事の内容が自分に合わない	自分が必要とする配慮が職場に伝わらない	その他	特にない	無回答
全体		1,983 100.0	370 18.7	351 17.7	192 9.7	223 11.2	276 13.9	896 45.2	224 11.3
調査票種別	身体	1,178 100.0	153 13.0	208 17.7	96 8.1	111 9.4	167 14.2	541 45.9	165 14.0
	知的	268 100.0	50 18.7	23 8.6	20 7.5	27 10.1	30 11.2	149 55.6	27 10.1
	精神	298 100.0	124 41.6	85 28.5	57 19.1	63 21.1	42 14.1	87 29.2	13 4.4
	難病	239 100.0	43 18.0	35 14.6	19 7.9	22 9.2	37 15.5	119 49.8	19 7.9

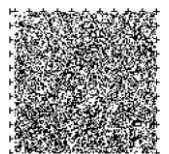
- 全体：1,983 人のうち、「特にない」が 45.2%と最も多く、次いで「職場の人間関係（理解・協力が得られない等）」が 18.7%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「特にない」が 45.9%と最も多く、次いで「通勤手段や通勤距離に不安がある」が 17.7%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「特にない」が 55.6%と最も多く、次いで「職場の人間関係（理解・協力が得られない等）」が 18.7%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「職場の人間関係（理解・協力が得られない等）」が 41.6%と最も多く、次いで「特にない」が 29.2%となっています。
- 難病：239 人のうち、「特にない」が 49.8%と最も多く、次いで「職場の人間関係（理解・協力が得られない等）」が 18.0%となっています。



10 サービスの利用や今後の利用について

まとめ 132~164 ページ

- 身体障害のかたでは、福祉タクシー券、補装具費の給付、通所サービスを利用しているかたが多い。今後の利用意向としては、日常生活用具、移動支援も多く選ばれている。
- 知的障害のかたでは、計画相談支援、通所サービス、移動支援などを利用しているかたが多い。今後の利用意向としては、共同生活援助（グループホーム）、短期入所（ショートステイ）なども多く選ばれている。
- 精神障害のかたでは、自立支援医療（医療費の公費負担）を利用しているかたが63.1%と最も多い。今後の利用意向としては、福祉タクシー券、通所サービス、就労選択支援などが多く選ばれている。
- 難病のかたでは、自立支援医療（医療費の公費負担）を利用しているかたが7.5%と最も多い。今後の利用意向としては、福祉タクシー券が多く選ばれている。
- 児童では、放課後等デイサービスが47.5%、児童発達支援が43.5%と利用が多い。今後の利用意向としては、放課後等デイサービス、移動支援、短期入所（ショートステイ）などが多く選ばれている。
- サービスを利用してよかったと思うことは、身体・知的・精神障害のかたは、生活リズムが整った、行き場所・居場所・住居ができたなどが多く、児童では、楽しんで通っている、発達に良い変化があった、スタッフからの専門的な支援・助言、コミュニケーション力の向上が多い。
- サービスに対する要望は、身体障害のかたでは回数や時間を増やしてほしい、体調に配慮してほしいが多く、知的・精神障害のかたでは相談にのってほしいが多い。
- 障害児通所支援事業を必要とする理由は、対人関係等コミュニケーションや言語発達が多く選ばれている。
- 障害児通所支援事業に対する要望は、利用枠の拡大、スタッフや内容の充実、学校や園との連携強化などが望まれている。重度支援表記のある児童では、利用できる日数・時間を増やしてほしいが76.9%と多い。
- 介護保険の要介護認定等を『受けている』（100% - 「認定は受けていない（あるいは自立）」 - 「無回答」）割合は、全体では16.2%、身体障害のかたで23.2%と多い。
- 介護認定を受けているかたが利用している介護保険サービスは、身体障害のかたは福祉用具、知的障害のかたは通所介護、精神障害のかたは訪問看護、難病のかたは訪問リハビリテーションが多い。



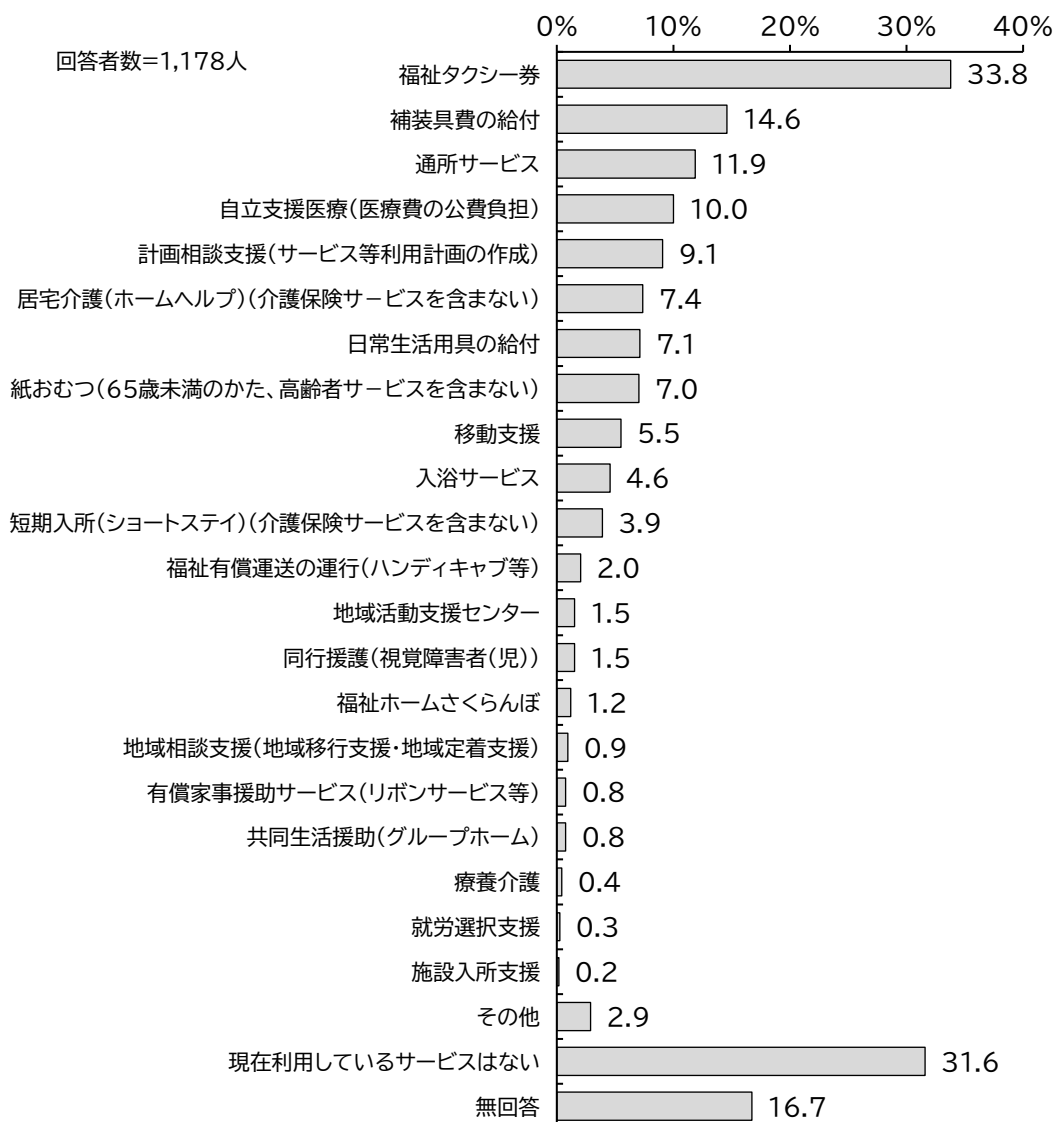
(1) 【身知精難児】問 24 A：現在利用している・B：新たに今後利用したいサービス

問 あなたがA：現在利用しているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)
 問 あなたがB：新たに今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

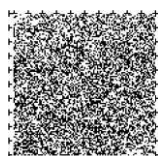
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

① 身体障害

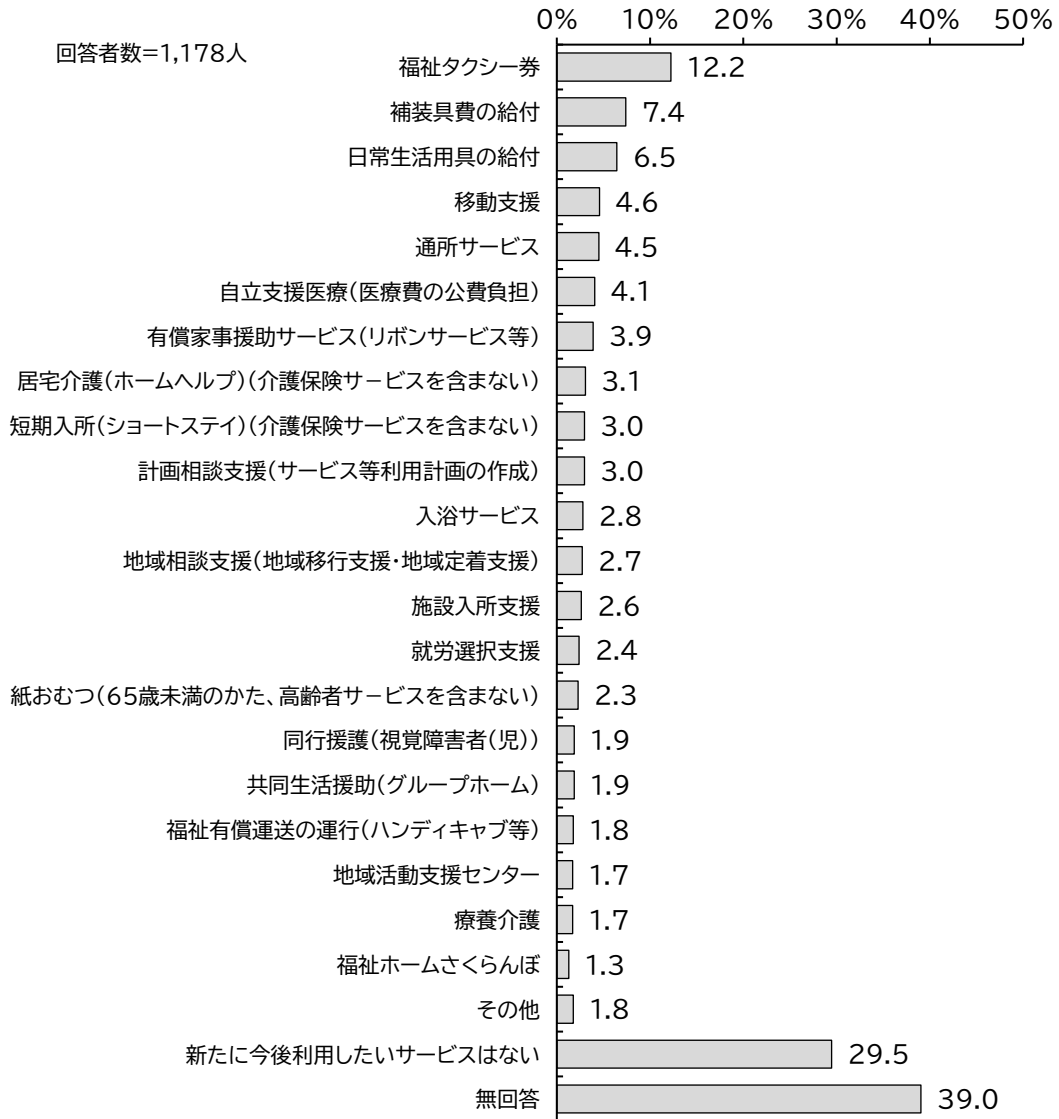
〈A：現在利用しているサービス〉



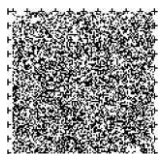
- 身体障害：1,178人のうち、「福祉タクシー券」が33.8%と最も多く、次いで「補装具費の給付」が14.6%、「通所サービス」が11.9%となっています。
- 「現在利用しているサービスはない」は31.6%となっています。



〈B：新たに今後利用したいサービス〉

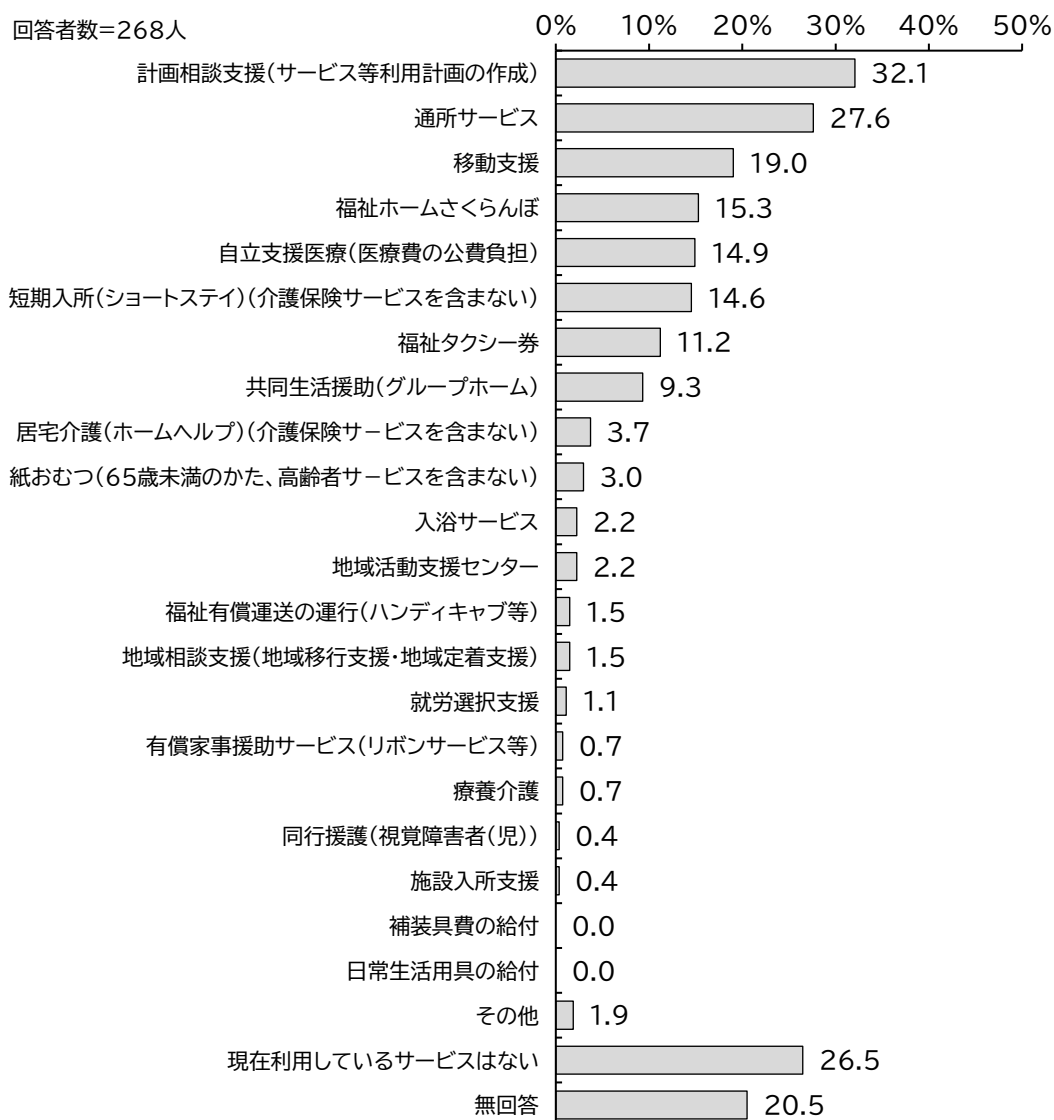


- 身体障害：1,178人のうち、「福祉タクシー券」が12.2%と最も多く、次いで「補装具費の給付」が7.4%、「日常生活用具の給付」が6.5%となっています。
- 「新たに今後利用したいサービスはない」は29.5%となっています。

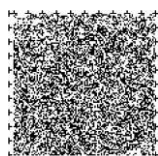


② 知的障害

〈A：現在利用しているサービス〉



- 知的障害：268人のうち、「計画相談支援（サービス等利用計画の作成）」が32.1%と最も多く、次いで「通所サービス」が27.6%、「移動支援」が19.0%となっています。
- 「現在利用しているサービスはない」は26.5%となっています。



■クロス集計：A：現在利用しているサービス／重度支援の表記の有無別

<知的障害>

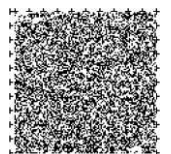
		合計	計画相談支援(サービス等利用計画の作成)	通所サービス	移動支援	福祉ホーム さくらんぼ	自立支援医療(医療費の公費負担)	短期入所(ショートステイ)(介護保険サービスを含まない)	福祉タクシー券	共同生活援助(グループホーム)	居宅介護(ホームヘルプ)(介護保険サービスを含まない)	紙おむつ(65歳未満のかた、高齢者サービスを含まない)
全体		268 100.0	86 32.1	74 27.6	51 19.0	41 15.3	40 14.9	39 14.6	30 11.2	25 9.3	10 3.7	8 3.0
重度支援の表記の有無別	はい	34 100.0	20 58.8	17 50.0	16 47.1	10 29.4	13 38.2	14 41.2	17 50.0	4 11.8	3 8.8	5 14.7
	いいえ	218 100.0	59 27.1	51 23.4	33 15.1	27 12.4	25 11.5	22 10.1	11 5.0	19 8.7	6 2.8	3 1.4

(下表へ続く)

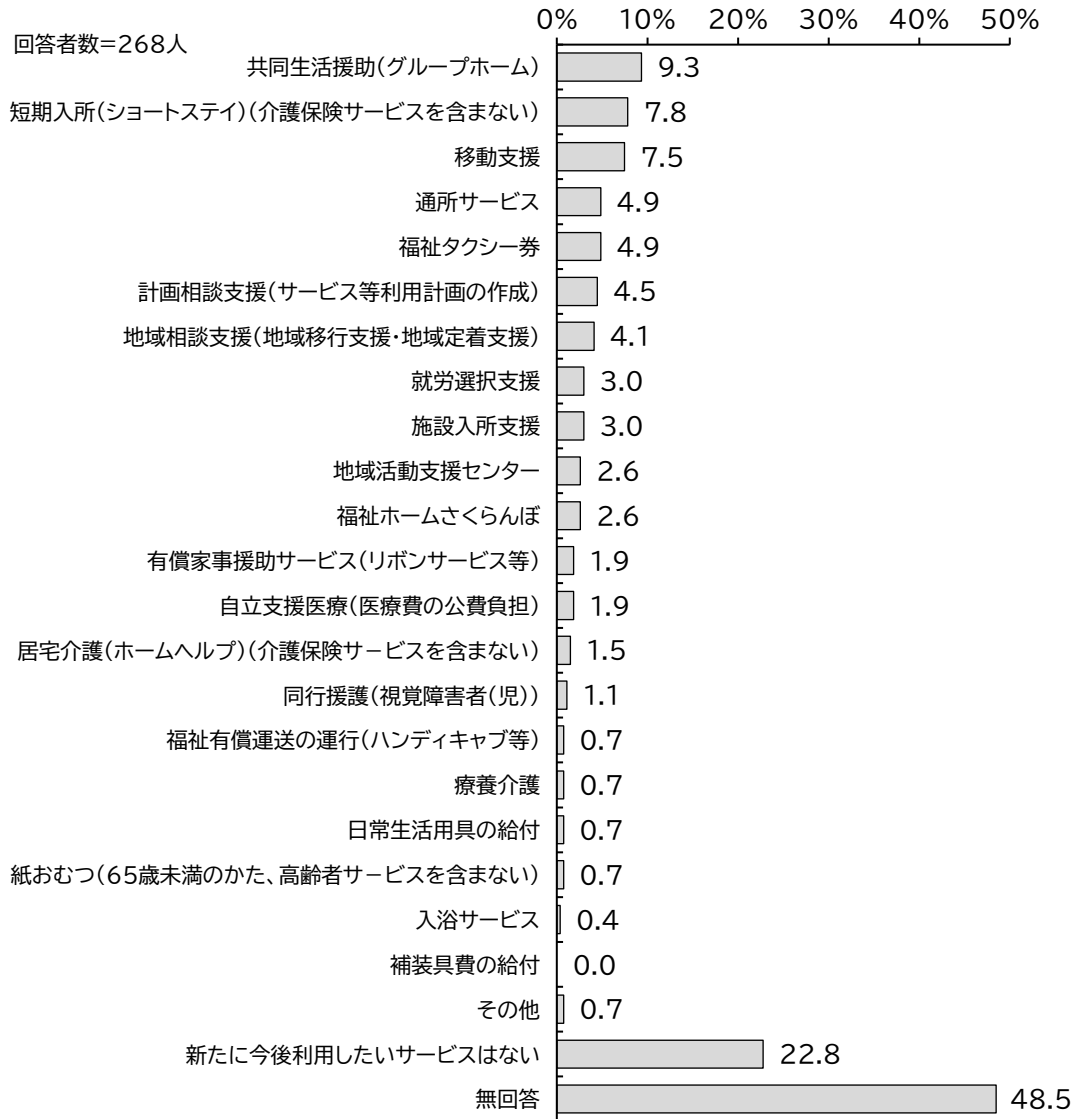
		合計	入浴サービス	地域活動支援センター	福祉有償運送の運行(ハンディキャブ等)	地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)	就労選択支援	有償家事援助サービス(リボンサービス等)	療養介護	同行援護(視覚障害者(児))	施設入所支援	補装具費の給付
全体		268 100.0	6 2.2	6 2.2	4 1.5	4 1.5	3 1.1	2 0.7	2 0.7	1 0.4	1 0.4	0 0.0
重度支援の表記の有無別	はい	34 100.0	1 2.9	2 5.9	3 8.8	1 2.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	いいえ	218 100.0	3 1.4	3 1.4	0 0.0	3 1.4	2 0.9	1 0.5	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(下表へ続く)

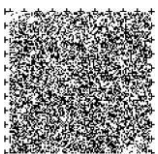
		合計	日常生活用具の給付	その他	現在利用しているサービスはない	無回答
全体		268 100.0	0 0.0	5 1.9	71 26.5	55 20.5
重度支援の表記の有無別	はい	34 100.0	0 0.0	1 2.9	1 2.9	3 8.8
	いいえ	218 100.0	0 0.0	4 1.8	68 31.2	48 22.0



〈B：新たに今後利用したいサービス〉



- 知的障害：268人のうち、「共同生活援助（グループホーム）」が9.3%と最も多く、次いで「短期入所（ショートステイ）（介護保険サービスを含まない）」が7.8%、「移動支援」が7.5%となっています。
- 「新たに今後利用したいサービスはない」は22.8%となっています。



■クロス集計：B：新たに今後利用したいサービス／重度支援の表記の有無別

<知的障害>

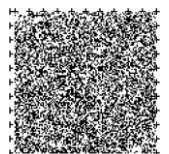
		合計	共同生活援助（グループホーム）	短期入所（ショートステイ）（介護保険サービスを含まない）	移動支援	通所サービス	福祉タクシー券	計画相談支援（サービス等利用計画の作成）	地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）	就労選択支援	施設入所支援	地域活動支援センター
全体		268 100.0	25 9.3	21 7.8	20 7.5	13 4.9	13 4.9	12 4.5	11 4.1	8 3.0	8 3.0	7 2.6
重度支援の表記の有無別	はい	34 100.0	5 14.7	4 11.8	4 11.8	2 5.9	0 0.0	2 5.9	2 5.9	1 2.9	2 5.9	1 2.9
	いいえ	218 100.0	20 9.2	14 6.4	12 5.5	10 4.6	13 6.0	9 4.1	9 4.1	6 2.8	4 1.8	5 2.3

(下表へ続く)

		合計	福祉ホーム さくらんぼ	有償家事援助サービス（リボンサービス等）	自立支援医療（医療費の公費負担）	居宅介護（ホームヘルプ）（介護保険サービスを含まない）	同行援護（視覚障害者（児））	福祉有償運送の運行（ハンディキャブ等）	療養介護	日常生活用具の給付	紙おむつ（65歳未満のかた、高齢者サービスを含まない）	入浴サービス
全体		268 100.0	7 2.6	5 1.9	5 1.9	4 1.5	3 1.1	2 0.7	2 0.7	2 0.7	2 0.7	1 0.4
重度支援の表記の有無別	はい	34 100.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	2 5.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	いいえ	218 100.0	4 1.8	5 2.3	5 2.3	2 0.9	1 0.5	0 0.0	1 0.5	2 0.9	2 0.9	0 0.0

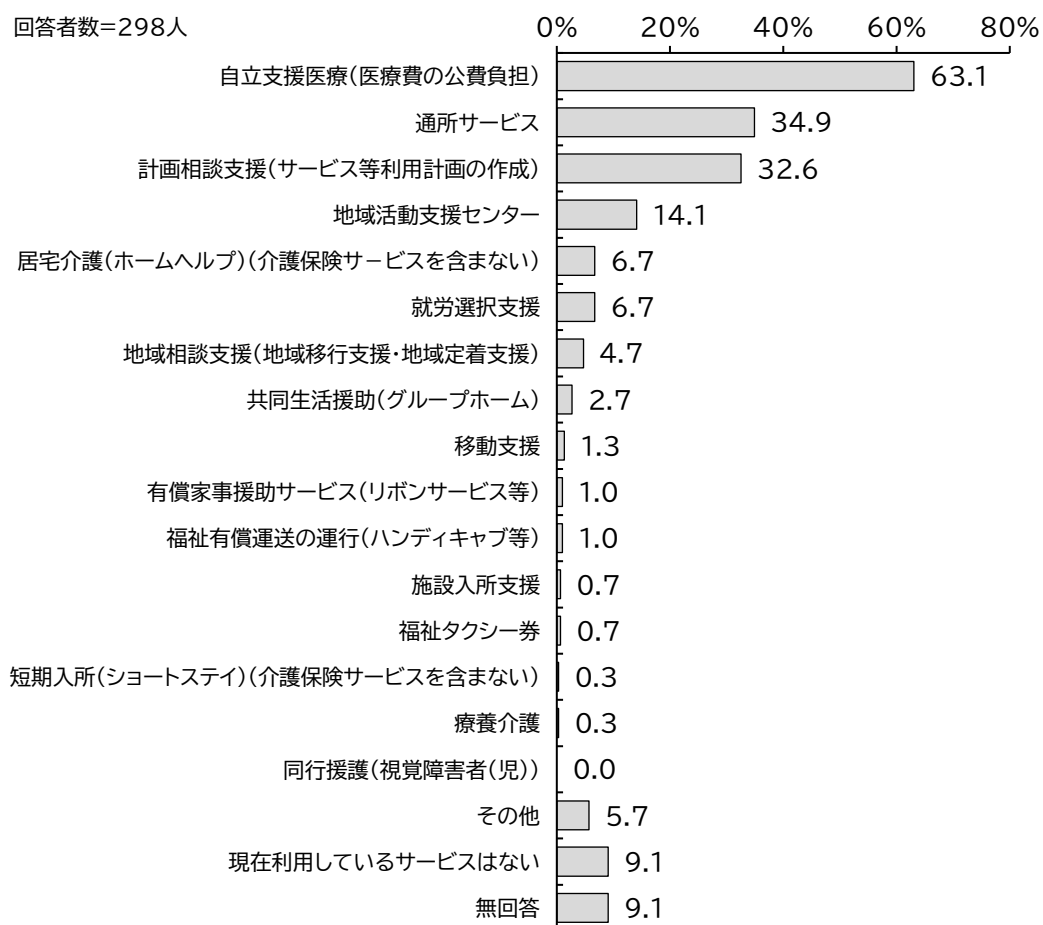
(下表へ続く)

		合計	補装具費の給付	その他	新たに今後利用したいサービスはない	無回答
全体		268 100.0	0 0.0	2 0.7	61 22.8	130 48.5
重度支援の表記の有無別	はい	34 100.0	0 0.0	0 0.0	3 8.8	17 50.0
	いいえ	218 100.0	0 0.0	2 0.9	56 25.7	104 47.7

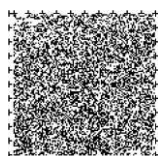


③ 精神障害

〈A：現在利用しているサービス〉

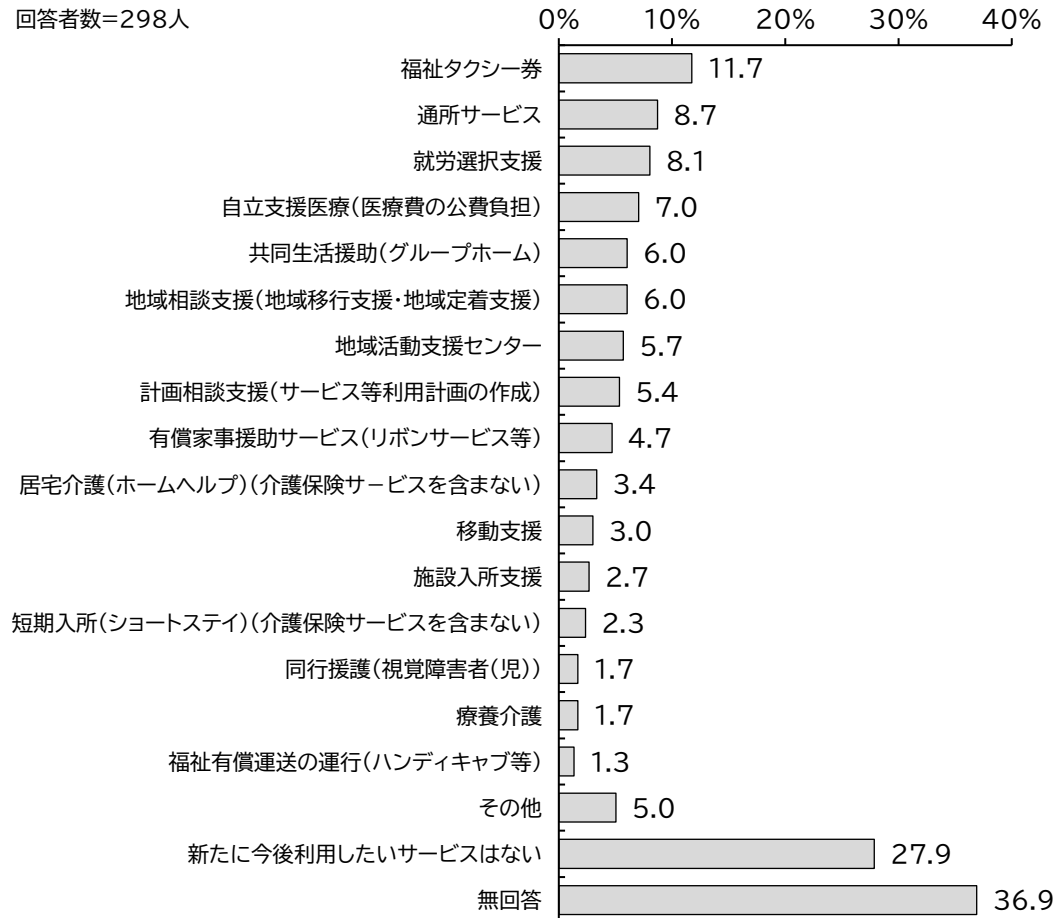


- 精神障害：298人のうち、「自立支援医療(医療費の公費負担)」が63.1%と最も多く、次いで「通所サービス」が34.9%、「計画相談支援(サービス等利用計画の作成)」が32.6%となっています。
- 「現在利用しているサービスはない」は9.1%となっています。

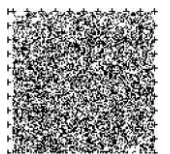


〈B：新たに今後利用したいサービス〉

回答者数=298人

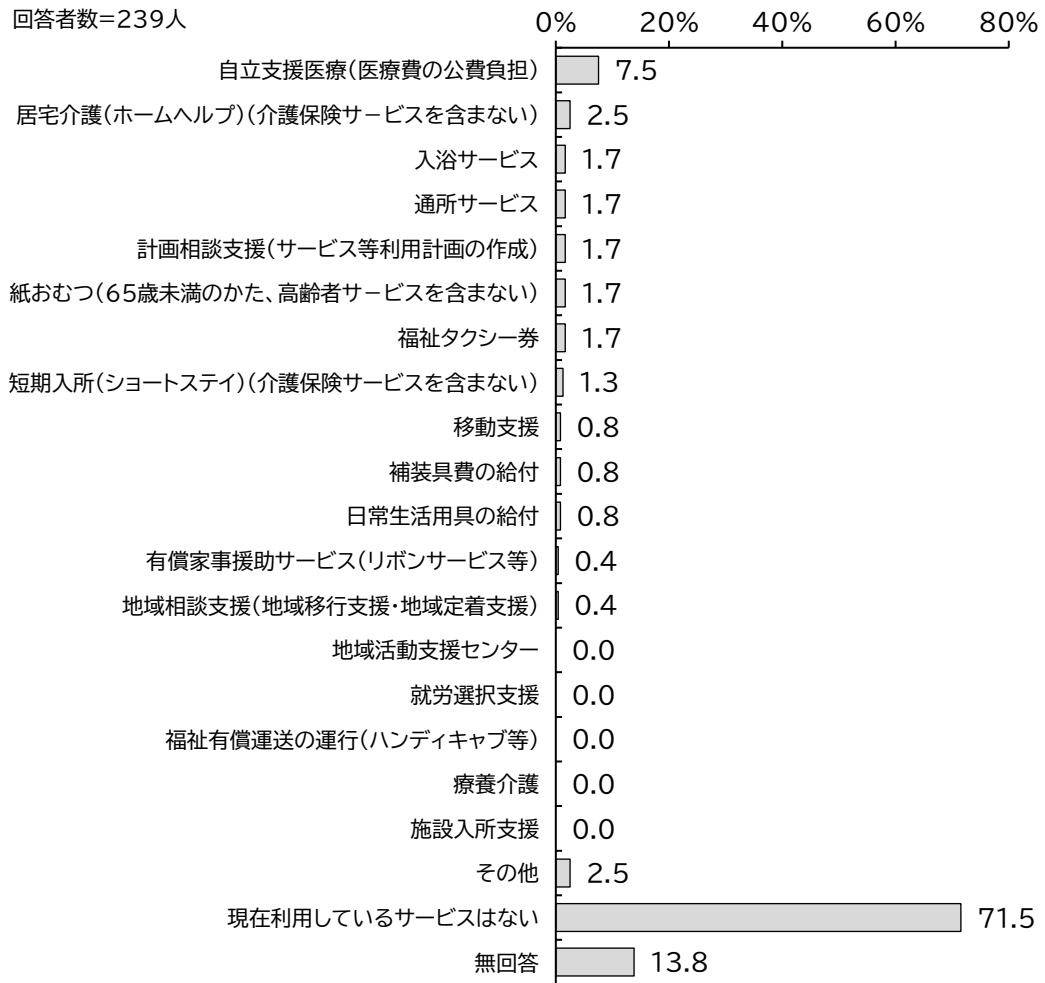


- 精神障害：298人のうち、「福祉タクシー券」が11.7%と最も多く、次いで「通所サービス」が8.7%、「就労選択支援」が8.1%となっています。
- 「新たに今後利用したいサービスはない」は27.9%となっています。

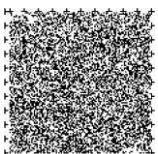


④ 難病

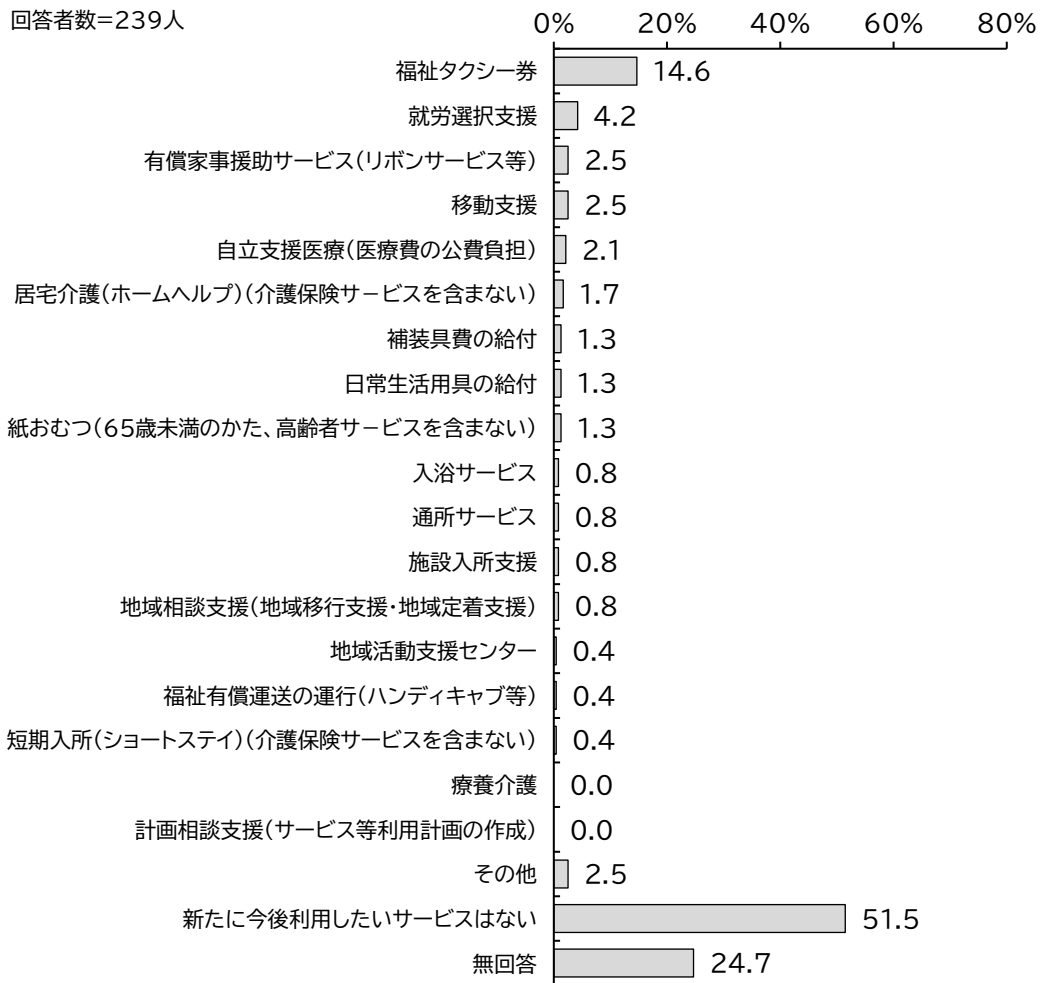
〈A：現在利用しているサービス〉



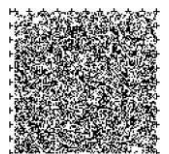
- 難病：239人のうち、「自立支援医療（医療費の公費負担）」が7.5%と最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）（介護保険サービスを含まない）」が2.5%となっています。
- 「現在利用しているサービスはない」は71.5%となっています。



〈B：新たに今後利用したいサービス〉

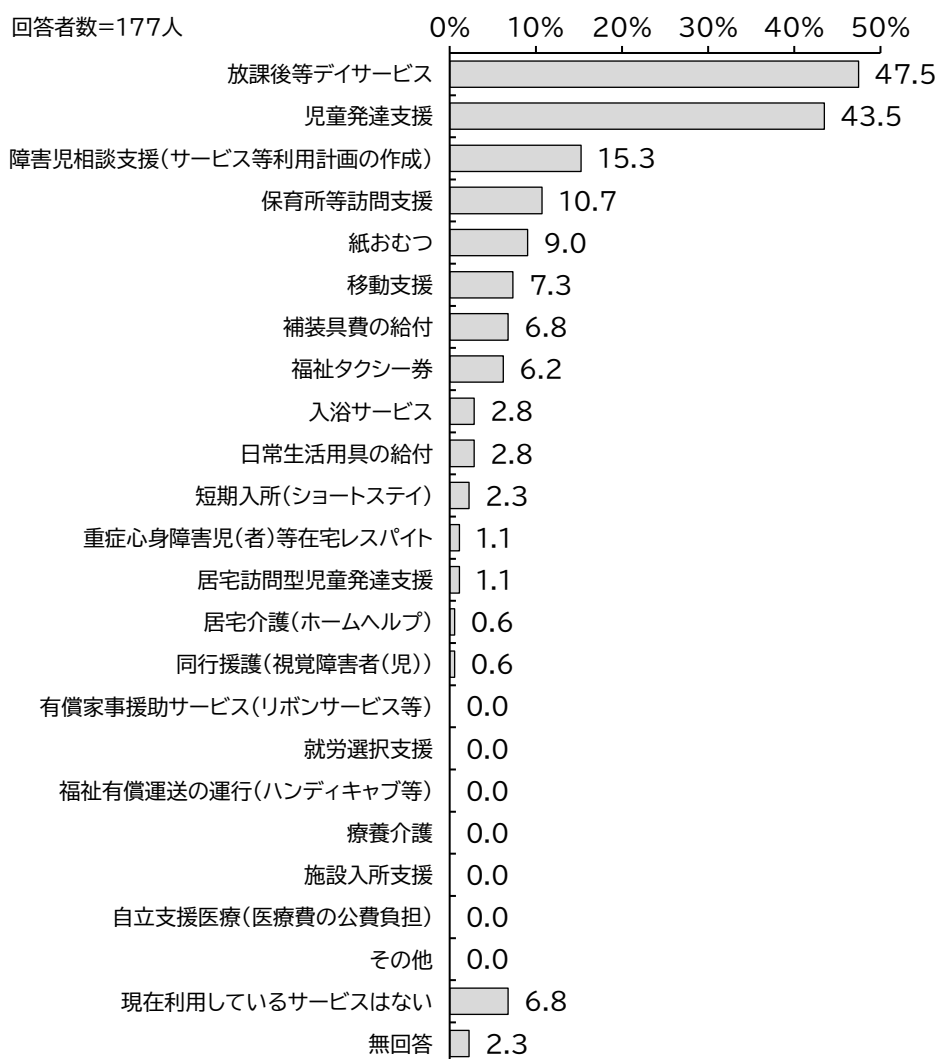


- 難病：239 人のうち、「福祉タクシー券」が 14.6%と最も多く、次いで「就労選択支援」が 4.2%となっています。
- 「新たに今後利用したいサービスはない」は 51.5%となっています。

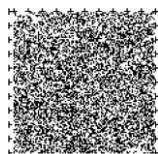


⑤ 児童

〈A：現在利用しているサービス〉



- 児童：177人のうち、「放課後等デイサービス」が47.5%と最も多く、次いで「児童発達支援」が43.5%、「障害児相談支援（サービス等利用計画の作成）」が15.3%となっています。
- 「現在利用しているサービスはない」は6.8%となっています。



■クロス集計：A：現在利用しているサービス／重度支援の表記の有無別

<児童>

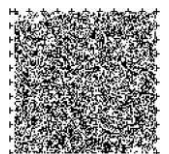
	合計	放課後等 デイサービス	児童発達支援	障害児相談支援 （サービス等利用計画の作成）	保育所等訪問支援	紙おむつ	移動支援	補装具費の給付	福祉タクシー券	入浴サービス	日常生活用具の給付
全体	177 100.0	84 47.5	77 43.5	27 15.3	19 10.7	16 9.0	13 7.3	12 6.8	11 6.2	5 2.8	5 2.8
重度支援の 表記の有無別	はい	13 100.0	10 76.9	3 23.1	6 46.2	0 0.0	6 46.2	3 23.1	3 23.1	4 30.8	4 30.8
	いいえ	161 100.0	73 45.3	73 45.3	21 13.0	19 11.8	10 6.2	9 5.6	9 5.6	6 3.7	1 0.6

(下表へ続く)

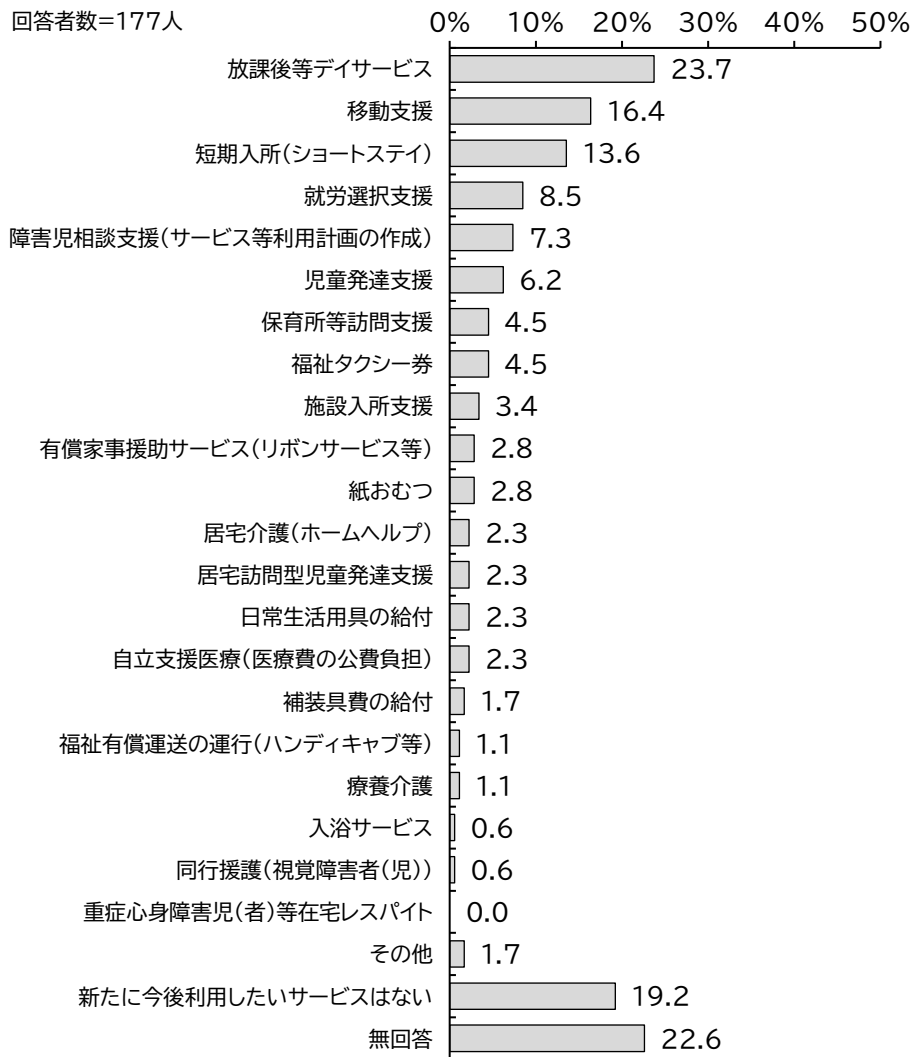
	合計	短期入所 （ショートステイ）	重症心身障害児（者） 等在宅レスパイト	居宅訪問型児童発達 支援	居宅介護 （ホームヘルプ）	同行援護 （視覚障害者（児））	有償家事援助サービス （リボンサービス等）	就労選択支援	福祉有償運送の運行 （ハンディキャブ等）	療養介護	施設入所支援
全体	177 100.0	4 2.3	2 1.1	2 1.1	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
重度支援の 表記の有無別	はい	13 100.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	いいえ	161 100.0	2 1.2	1 0.6	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(下表へ続く)

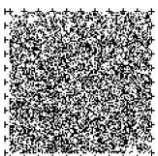
	合計	自立支援医療（医療 費の公費負担）	その他	現在利用している サービスはない	無回答
全体	177 100.0	0 0.0	0 0.0	12 6.8	4 2.3
重度支援の 表記の有無別	はい	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	いいえ	161 100.0	0 0.0	12 7.5	3 1.9



〈B：新たに今後利用したいサービス〉



- 児童：177人のうち、「放課後等デイサービス」が23.7%と最も多く、次いで「移動支援」が16.4%、「短期入所（ショートステイ）」が13.6%となっています。
- 「新たに今後利用したいサービスはない」は19.2%となっています。



■クロス集計：B：新たに今後利用したいサービス／重度支援の表記の有無別

<児童>

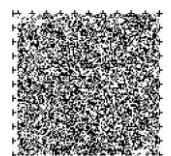
	合計	放課後等 デイサービス	移動支援	短期入所 (ショートステイ)	就労選択支援	障害児相談支援 (サービス等利用計画 の作成)	児童発達支援	保育所等訪問支援	福祉タクシー券	施設入所支援	有償家事援助サービス (リボンサービス等)
全体	177 100.0	42 23.7	29 16.4	24 13.6	15 8.5	13 7.3	11 6.2	8 4.5	8 4.5	6 3.4	5 2.8
重度支援の 表記の有無別	はい	13 100.0	3 23.1	3 23.1	4 30.8	3 23.1	1 7.7	2 15.4	0 0.0	2 15.4	2 7.7
	いいえ	161 100.0	39 24.2	26 16.1	20 12.4	12 7.5	12 7.5	9 5.6	8 5.0	4 2.5	4 2.5

(下表へ続く)

	合計	紙おむつ	居宅介護 (ホームヘルプ)	居宅訪問型児童発達 支援	日常生活用具の給付	自立支援医療(医療 費の公費負担)	補装具費の給付	福祉有償運送の運行 (ハンディキャブ等)	療養介護	入浴サービス	同行援護 (視覚障害者(児))
全体	177 100.0	5 2.8	4 2.3	4 2.3	4 2.3	4 2.3	3 1.7	2 1.1	2 1.1	1 0.6	1 0.6
重度支援の 表記の有無別	はい	13 100.0	2 15.4	2 15.4	0 0.0	3 23.1	1 7.7	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0
	いいえ	161 100.0	3 1.9	2 1.2	4 2.5	1 0.6	3 1.9	3 1.9	0 0.0	1 0.6	1 0.6

(下表へ続く)

	合計	重症心身障害児(者) 等在宅レスパイト	その他	新たに今後利用した いサービスはない	無回答
全体	177 100.0	0 0.0	3 1.7	34 19.2	40 22.6
重度支援の 表記の有無別	はい	13 100.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	いいえ	161 100.0	0 0.0	3 1.9	33 20.5



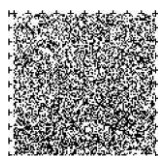
(2) 【身知精難児】問 24 A：現在利用しているサービスについて、困っていること、改善してほしいこと等

問 A：現在利用しているサービスについて、困っていること、改善してほしいこと等（自由意見）

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。文末は、ご意見をいただいたかたの調査票種別を表しています。

サービス種別	ご意見
通所サービス	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 昼が苦手なため、夜に通えるB型作業所があると行きやすい。(精神障害) ▪ 21歳まで専攻科に通学するが、20歳の誕生日以降、放課後の居場所がないため困っている。また、就労等の後も帰宅が16時前であるが、一人で留守番することができない。(知的障害)
地域活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 夜おそくまで利用できるると助かる。(精神障害)
同行援護 (視覚障害者(児))	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 1か月の利用可能時間数を増やしてほしい。(身体障害) ▪ 長距離(東京以外の地域)での利用が難しい。(身体障害) ▪ ガイドヘルパーが高齢化しており、情報伝達に支障がある。(身体障害)
児童発達支援	<ul style="list-style-type: none"> ▪ OT・ST等の専門家が少ない。(児童) ▪ 空いている利用枠が少ない。(児童)
放課後等デイサービス	<ul style="list-style-type: none"> ▪ どこも満員で平日は1日しか預けられないため、数を増やしてほしい。(児童) ▪ 各事業所の特徴などの情報がなく、見学しないとわからないため、時間と手間がかかる。(児童)
福祉有償運送の運行 (ハンディキャブ等)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ドライバーが少なく、お願いしてもなかなか運送してもらえない。(身体障害)
短期入所(ショートステイ) (介護保険サービスを含まない)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ショートステイを希望しても、なかなか短期入所できる事業所がない。(身体障害) ▪ 利用していた施設が入所人数を減らすため、新たな入所先を確保したいが、医ケアの成人は新規で受付けてもらえない。(身体障害)
自立支援医療 (医療費の公費負担)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自立支援医療の更新のための診断書が高額であり、家計に苦しい。(精神障害)
補装具費の給付	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 酸素ボンベや吸引器などいざという時のバッテリーを購入するための補助金が欲しい。(身体障害)
福祉タクシー券	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 枚数が少ない。(身体障害) ▪ 300円チケットは利用しにくいので500円にしてほしい。(身体障害) ▪ キャッシュレスの時代に紙媒体は利用が難しいため、新しい給付の仕組みを考えてほしい。(身体障害)



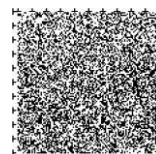
(3) 【身知精難児】問 24 B：新たに今後利用したいサービスについて、困っていること、改善してほしいこと等

問 B：新たに今後利用したいサービスについて、困っていること、改善してほしいこと等
(自由意見)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。文末は、ご意見をいただいたかたの調査票種別を表しています。

サービス種別	ご意見
移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ガイドヘルパーが少ないため、利用したくてもできない。(身体障害) ▪ 必要ではあるが、他人と一緒にだとパニックを起こしやすく、利用しづらい。(知的障害)
就労選択支援	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自分にあう仕事を探して、長く働きたい。(知的障害)
共同生活援助 (グループホーム)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 重度障害者が入れるグループホームがない。(知的障害) ▪ グループホームを利用したいが、知り合いではない人と共同で生活したくない。(精神障害)
移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ファミサポも移動支援もうまく利用できず、両親が時差通勤で登校の付き添いをしている状態である。(児童)
日常生活用具の給付	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ストマ給付は受けているが、その他に使用する物が多く、経費がかかる。(身体障害)
福祉タクシー券	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本当に具合が悪く動けない時に、生活保護でタクシーを乗れるようにしてほしい。(身体障害)



(4) 【身知精】問 25 利用してよかったと思うこと

【問 24 で「A：現在利用しているサービス」に○をつけたかたにおうかがいします。】

問 ○をつけたサービスを利用してよかったと思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

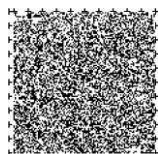
調査対象： 身体 知的 精神

単純集計：調査票種別

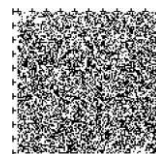
		合計	友人ができた	家族関係がよくなった	居場所・居場所・住居ができた	生活リズムが整った	就職する意欲ができた	いろいろな知識・情報が得られる	作業による収入ができた	困ったこと等の話ができるようになった	健康状態がよくなった	一人で生活する練習ができた
全体		995 100.0	119 12.0	44 4.4	263 26.4	<u>265</u> <u>26.6</u>	67 6.7	167 16.8	113 11.4	226 22.7	146 14.7	87 8.7
調査票種別	身体	609 100.0	45 7.4	23 3.8	100 16.4	114 18.7	14 2.3	64 10.5	19 3.1	74 12.2	76 12.5	42 6.9
	知的	142 100.0	30 21.1	8 5.6	<u>66</u> <u>46.5</u>	53 37.3	7 4.9	25 17.6	28 19.7	38 26.8	16 11.3	20 14.1
	精神	244 100.0	44 18.0	13 5.3	97 39.8	98 40.2	46 18.9	78 32.0	66 27.0	<u>114</u> <u>46.7</u>	54 22.1	25 10.2

(下表へ続く)

		合計	その他	特にない	無回答
全体		995 100.0	140 14.1	216 21.7	84 8.4
調査票種別	身体	609 100.0	114 18.7	<u>174</u> <u>28.6</u>	68 11.2
	知的	142 100.0	5 3.5	18 12.7	8 5.6
	精神	244 100.0	21 8.6	24 9.8	8 3.3



- 全体：995 人のうち、「生活リズムが整った」が 26.6%と最も多く、次いで「行き場所・居場所・住居ができた」が 26.4%となっています。
- 身体障害：609 人のうち、「特にない」が 28.6%と最も多く、次いで「生活リズムが整った」「その他」がともに 18.7%となっています。
- 知的障害：142 人のうち、「行き場所・居場所・住居ができた」が 46.5%と最も多く、次いで「生活リズムが整った」が 37.3%となっています。
- 精神障害：244 人のうち、「困ったこと等の話ができるようになった」が 46.7%と最も多く、次いで「生活リズムが整った」が 40.2%となっています。



(5) 【身知精】問 26 サービスに対する要望

【問 24 で【「A：現在利用しているサービス」もしくは「B：新たに今後利用したいサービス」に○をつけたかたにおうかがいします。】

問 ○をつけたサービスに対する要望はありますか。(あてはまるものすべてに○)

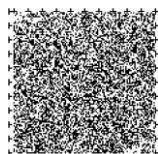
調査対象： 身体 知的 精神

単純集計：調査票種別

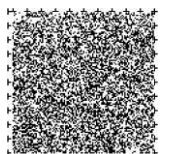
		合計	作業・プログラムを 簡単にしてほしい	作業・プログラムを 充実させてほしい	回数や時間を増やし てほしい	近いところにはしい	場所を広くしてほし い	レクリエーションを 増やしてほしい	スタッフが積極的に 関わってほしい	相談のつてほしい	体調に配慮してほし い	自由な雰囲気場に してほしい
全体		1,149 100.0	40 3.5	81 7.0	108 9.4	120 10.4	40 3.5	73 6.4	82 7.1	151 13.1	134 11.7	67 5.8
調査票種別	身体	732 100.0	18 2.5	33 4.5	70 9.6	61 8.3	18 2.5	32 4.4	36 4.9	59 8.1	70 9.6	28 3.8
	知的	163 100.0	6 3.7	18 11.0	15 9.2	20 12.3	8 4.9	24 14.7	16 9.8	33 20.2	20 12.3	16 9.8
	精神	254 100.0	16 6.3	30 11.8	23 9.1	39 15.4	14 5.5	17 6.7	30 11.8	59 23.2	44 17.3	23 9.1

(下表へ続く)

		合計	自主性を尊重してほしい	仕事を面白くしてほしい (回数を増やしてほしい)	就業の手伝いをしてほし い	工賃を上げてほしい	その他	特にな い	無回 答
全体		1,149 100.0	66 5.7	58 5.0	44 3.8	96 8.4	72 6.3	474 41.3	168 14.6
調査票種別	身体	732 100.0	35 4.8	23 3.1	15 2.0	21 2.9	45 6.1	340 46.4	127 17.3
	知的	163 100.0	7 4.3	21 12.9	6 3.7	27 16.6	6 3.7	43 26.4	17 10.4
	精神	254 100.0	24 9.4	14 5.5	23 9.1	48 18.9	21 8.3	91 35.8	24 9.4



- 全体：1,149人のうち、「特にない」が41.3%と最も多く、次いで「相談にのってほしい」が13.1%となっています。
- 身体障害：732人のうち、「特にない」が46.4%と最も多く、次いで「回数や時間を増やしてほしい」「体調に配慮してほしい」がともに9.6%となっています。
- 知的障害：163人のうち、「特にない」が26.4%と最も多く、次いで「相談にのってほしい」が20.2%となっています。
- 精神障害：254人のうち、「特にない」が35.8%と最も多く、次いで「相談にのってほしい」が23.2%となっています。



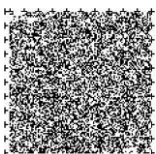
■クロス集計：サービスに対する要望／医療的ケアの状況別

<身体障害>

	合計	作業・プログラムを簡単にしてほしい	作業・プログラムを充実させてほしい	回数や時間を増やしてほしい	近いところにほしい	場所を広くしてほしい	レクリエーションを増やしてほしい	スタッフが積極的に関わってほしい	相談のつてほしい	体調に配慮してほしい	自由な雰囲気のある場にしたい
全体	732 100.0	18 2.5	33 4.5	70 9.6	61 8.3	18 2.5	32 4.4	36 4.9	59 8.1	70 9.6	28 3.8
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	8 100.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	痰（たん）の吸引	15 100.0	0 0.0	1 6.7	5 33.3	1 6.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	2 13.3
	吸入（ネブライザー）	9 100.0	0 0.0	1 11.1	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1
	酸素療法	17 100.0	1 5.9	0 0.0	4 23.5	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9
	経管栄養・胃ろう	18 100.0	0 0.0	1 5.6	5 27.8	2 11.1	1 5.6	2 11.1	2 11.1	2 11.1	2 11.1
	その他	70 100.0	3 4.3	1 1.4	13 18.6	3 4.3	0 0.0	1 1.4	0 0.0	3 4.3	7 10.0
	受けていない	594 100.0	14 2.4	30 5.1	47 7.9	57 9.6	17 2.9	28 4.7	33 5.6	53 8.9	58 9.8

(下表へ続く)

	合計	自主性を尊重してほしい	行事を面白くしてほしい(回数を増やしてほしい)	就業の手伝いをしてほしい	工賃を上げてほしい	その他	特にない	無回答	
全体	732 100.0	35 4.8	23 3.1	15 2.0	21 2.9	45 6.1	<u>340</u> <u>46.4</u>	127 17.3	
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>5</u> <u>62.5</u>	1 12.5	
	痰（たん）の吸引	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	<u>7</u> <u>46.7</u>	0 0.0	
	吸入（ネブライザー）	9 100.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	<u>2</u> <u>22.2</u>	2 22.2	
	酸素療法	17 100.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	<u>7</u> <u>41.2</u>	3 17.6	
	経管栄養・胃ろう	18 100.0	1 5.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0	<u>6</u> <u>33.3</u>	0 0.0	
	その他	70 100.0	1 1.4	2 2.9	2 2.9	1 1.4	7 10.0	<u>31</u> <u>44.3</u>	11 15.7
	受けていない	594 100.0	31 5.2	20 3.4	12 2.0	18 3.0	35 5.9	<u>280</u> <u>47.1</u>	103 17.3

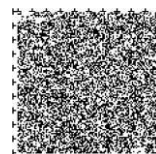


<知的障害>

	合計	作業・プログラムを簡単にしている	作業・プログラムを充実させている	回数や時間を増やしている	近いところにしている	場所を広くしている	レクリエーションを増やしている	スタッフが積極的に関わっている	相談ののって	体調に配慮している	自由な雰囲気にしてほ
全体	163 100.0	6 3.7	18 11.0	15 9.2	20 12.3	8 4.9	24 14.7	16 9.8	33 20.2	20 12.3	16 9.8
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	痰（たん）の吸引	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	吸入（ネブライザー）	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0
	酸素療法	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	経管栄養・胃ろう	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	受けていない	153 100.0	5 3.3	18 11.8	13 8.5	19 12.4	7 4.6	23 15.0	14 9.2	32 20.9	18 11.8

(下表へ続く)

	合計	自主性を尊重している	行事を面白くしてほし(回数を増やしてほし)	就業の手伝いをしている	工賃を上げてほし	その他	特にな	無回答	
全体	163 100.0	7 4.3	21 12.9	6 3.7	27 16.6	6 3.7	43 26.4	17 10.4	
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	痰（たん）の吸引	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	吸入（ネブライザー）	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	酸素療法	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	経管栄養・胃ろう	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	その他	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0
	受けていない	153 100.0	7 4.6	19 12.4	5 3.3	26 17.0	5 3.3	41 26.8	14 9.2

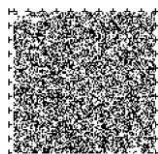


<精神障害>

	合計	作業・プログラムを簡単にしている	作業・プログラムを充実させている	回数や時間を増やしている	近いところにしている	場所を広くしている	レクリエーションを増やしている	スタッフが積極的に関わっている	相談ののって	体調に配慮している	自由な雰囲気にしてほ	
全体	254 100.0	16 6.3	30 11.8	23 9.1	39 15.4	14 5.5	17 6.7	30 11.8	59 23.2	44 17.3	23 9.1	
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	痰（たん）の吸引	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	吸入（ネブライザー）	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3
	酸素療法	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	経管栄養・胃ろう	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	その他	14 100.0	0 0.0	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	1 7.1	2 14.3	2 14.3	2 14.3	1 7.1
	受けていない	224 100.0	15 6.7	26 11.6	20 8.9	35 15.6	13 5.8	14 6.3	28 12.5	54 24.1	39 17.4	21 9.4

(下表へ続く)

	合計	自主性を尊重している	行事を面白くしてほし(回数を増やしてほし)	就業の手伝いをしている	工賃を上げてほし	その他	特にな	無回答	
全体	254 100.0	24 9.4	14 5.5	23 9.1	48 18.9	21 8.3	91 35.8	24 9.4	
医療的ケアの状況別	人工呼吸器の使用	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	痰（たん）の吸引	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	吸入（ネブライザー）	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	0 0.0	
	酸素療法	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	経管栄養・胃ろう	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	その他	14 100.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	1 7.1	2 14.3	9 64.3	0 0.0
	受けていない	224 100.0	19 8.5	11 4.9	19 8.5	41 18.3	17 7.6	80 35.7	20 8.9



(6) 【児】問 26 利用してよかったと思うこと

【問 24 で【居宅訪問型児童発達支援、児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービス
「A：現在利用している」と答えたかたにおうかがいします。】

問 障害児通所支援事業（居宅訪問型児童発達支援・児童発達支援・保育所等訪問支援・放課後等
デイサービス）を利用して良かったと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

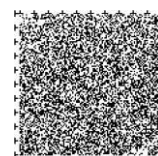
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

	合計	特 に な い	子 ど も が 楽 し ん で 通 っ て い る	子 ど も の 発 達 に 良 い 変 化 が あ っ た	子 ど も の 発 達 に 良 い 変 化 が あ っ た	子 ど も の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力 が 向 上 し た	集 団 生 活 に 慣 れ る こ と が で き た	子 ど も に 友 達 が で き た	子 ど も の 学 習 能 力 が 向 上 し た	日 常 生 活 の ス キ ル が 向 上 し た (着 替 え、食 事、ト イ レ 等)	ス タ ッ フ か ら 専 門 的 な 支 援・助 言 を 受 け ら れ た	そ の 他	無 回 答
児童	157 100.0	1 0.6	122 77.7	103 65.6	81 51.6	56 35.7	38 24.2	28 17.8	33 21.0	94 59.9	8 5.1	1 0.6	

- 児童：157 人のうち、「子どもが楽しんで通っている」が 77.7%と最も多く、次いで「子どもの発達に良い変化があった」が 65.6%となっています。



(7) 【児】 問 27 必要とする理由

【問 24 で【居宅訪問型児童発達支援、児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービス
「A：現在利用している」「B：新たに今後利用したい」と答えたかたにおうかがいします。】

問 障害児通所支援事業（居宅訪問型児童発達支援・児童発達支援・保育所等訪問支援・放課後等
デイサービス）を必要とする理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

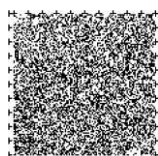
調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

	合計	言語発達に関すること	運動発達に関すること	多動や衝動性等行動に関すること	対人関係等コミュニケーションに関すること	その他	無回答
児童	165 100.0	100 60.6	67 40.6	53 32.1	126 76.4	18 10.9	2 1.2

- 児童：165 人のうち、「対人関係等コミュニケーションに関すること」が 76.4%と最も多く、次いで「言語発達に関すること」が 60.6%となっています。



(8) 【児】問 28 サービスに対する要望

【問 24 で【居宅訪問型児童発達支援、児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービス】
「A：現在利用している」「B：新たに今後利用したい」と答えたかたにおうかがいします。】
問 障害児通所支援事業（居宅訪問型児童発達支援・児童発達支援・保育所等訪問支援・放課後等
デイサービス）にはどのような要望をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

調査対象：

児童

単純集計：調査票種別

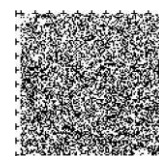
	合計	特 に な い	利 用 可 能 な 日 数 ・ 時 間 を 増 や し て ほ し い	支 援 内 容 を 充 実 し て ほ し い	保 護 者 へ の 相 談 ・ 支 援 の 機 会 を 増 や し て ほ し い	学 校 や 保 育 園 と の 連 携 を 強 化 し て ほ し い	ス タ フ の 人 数 や 専 門 性 を も っ と 充 実 さ せ て ほ し い	利 用 料 や 負 担 を も っ と 軽 減 し て ほ し い	利 用 枠 の 空 き が 少 な い の で 拡 大 し て ほ し い	保 護 者 同 士 の 交 流 の 場 を 増 や し て ほ し い	そ の 他	無 回 答
児童	165 100.0	25 15.2	49 29.7	53 32.1	31 18.8	50 30.3	54 32.7	37 22.4	68 41.2	19 11.5	14 8.5	3 1.8

- 児童：165 人のうち、「利用枠の空きが少ないので拡大してほしい」が 41.2%と最も多く、次いで「スタッフの人数や専門性をもっと充実させてほしい」が 32.7%となっています。

■クロス集計：サービスに対する要望／重度支援の表記の有無別

<児童>

	合計	特 に な い	利 用 可 能 な 日 数 ・ 時 間 を 増 や し て ほ し い	支 援 内 容 を 充 実 し て ほ し い	保 護 者 へ の 相 談 ・ 支 援 の 機 会 を 増 や し て ほ し い	学 校 や 保 育 園 と の 連 携 を 強 化 し て ほ し い	ス タ フ の 人 数 や 専 門 性 を も っ と 充 実 さ せ て ほ し い	利 用 料 や 負 担 を も っ と 軽 減 し て ほ し い	利 用 枠 の 空 き が 少 な い の で 拡 大 し て ほ し い	保 護 者 同 士 の 交 流 の 場 を 増 や し て ほ し い	そ の 他	無 回 答	
全体	165 100.0	25 15.2	49 29.7	53 32.1	31 18.8	50 30.3	54 32.7	37 22.4	68 41.2	19 11.5	14 8.5	3 1.8	
表 記 の 有 無 別 の 重 度 支 援	はい	13 100.0	1 7.7	10 76.9	6 46.2	4 30.8	6 46.2	4 30.8	6 46.2	7 53.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	いいえ	150 100.0	23 15.3	39 26.0	47 31.3	27 18.0	44 29.3	50 33.3	30 20.0	61 40.7	18 12.0	14 9.3	3 2.0



(9) 【身知精難】問 27 介護保険の要介護度

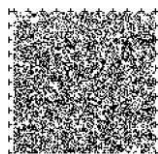
問 介護保険の要介護度を教えてください。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

	合計	認定は受けていない (あるいは自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
全体	1,983 100.0	1408 71.0	58 2.9	68 3.4	42 2.1	52 2.6	35 1.8	37 1.9	29 1.5	254 12.8	
調査票種別	身体	1,178 100.0	742 63.0	53 4.5	58 4.9	34 2.9	44 3.7	30 2.5	29 2.5	26 2.2	162 13.8
	知的	268 100.0	195 72.8	2 0.7	4 1.5	4 1.5	2 0.7	1 0.4	4 1.5	2 0.7	54 20.1
	精神	298 100.0	258 86.6	1 0.3	5 1.7	4 1.3	2 0.7	1 0.3	1 0.3	1 0.3	25 8.4
	難病	239 100.0	213 89.1	2 0.8	1 0.4	0 0.0	4 1.7	3 1.3	3 1.3	0 0.0	13 5.4

- 全体：1,983人のうち、「認定は受けていない(あるいは自立)」が71.0%と最も多く、次いで「要支援2」が3.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「認定は受けていない(あるいは自立)」が63.0%と最も多く、次いで「要支援2」が4.9%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「認定は受けていない(あるいは自立)」が72.8%と最も多く、次いで「要支援2」「要介護1」「要介護4」がともに1.5%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「認定は受けていない(あるいは自立)」が86.6%と最も多く、次いで「要支援2」が1.7%となっています。
- 難病：239人のうち、「認定は受けていない(あるいは自立)」が89.1%と最も多く、次いで「要介護2」が1.7%となっています。



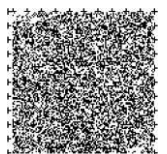
■クロス集計：介護保険の要介護度／本人の年齢区分別

<身体障害>

		合計	認定は受けていない (あるいは自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体		1,178 100.0	<u>742</u> <u>63.0</u>	53 4.5	58 4.9	34 2.9	44 3.7	30 2.5	29 2.5	26 2.2	162 13.8
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	127 100.0	<u>110</u> <u>86.6</u>	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	2 1.6	3 2.4	11 8.7
	40歳以上 65歳未満	603 100.0	<u>444</u> <u>73.6</u>	9 1.5	18 3.0	6 1.0	19 3.2	13 2.2	12 2.0	15 2.5	67 11.1
	65歳以上	439 100.0	<u>182</u> <u>41.5</u>	44 10.0	40 9.1	27 6.2	25 5.7	17 3.9	15 3.4	8 1.8	81 18.5

<知的障害>

		合計	認定は受けていない (あるいは自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体		268 100.0	<u>195</u> <u>72.8</u>	2 0.7	4 1.5	4 1.5	2 0.7	1 0.4	4 1.5	2 0.7	54 20.1
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	125 100.0	<u>99</u> <u>79.2</u>	1 0.8	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	22 17.6
	40歳以上 65歳未満	112 100.0	<u>82</u> <u>73.2</u>	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.8	1 0.9	26 23.2
	65歳以上	29 100.0	<u>13</u> <u>44.8</u>	0 0.0	2 6.9	4 13.8	2 6.9	1 3.4	1 3.4	1 3.4	5 17.2

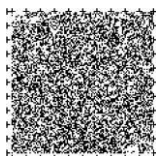


<精神障害>

		合計	認定は受けていない (あるいは自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体		298 100.0	<u>258</u> <u>86.6</u>	1 0.3	5 1.7	4 1.3	2 0.7	1 0.3	1 0.3	1 0.3	25 8.4
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	115 100.0	<u>108</u> <u>93.9</u>	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	5 4.3
	40歳以上 65歳未満	151 100.0	<u>134</u> <u>88.7</u>	0 0.0	2 1.3	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	13 8.6
	65歳以上	24 100.0	<u>11</u> <u>45.8</u>	1 4.2	1 4.2	4 16.7	1 4.2	0 0.0	1 4.2	0 0.0	5 20.8

<難病>

		合計	認定は受けていない (あるいは自立)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体		239 100.0	<u>213</u> <u>89.1</u>	2 0.8	1 0.4	0 0.0	4 1.7	3 1.3	3 1.3	0 0.0	13 5.4
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	47 100.0	<u>46</u> <u>97.9</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1
	40歳以上 65歳未満	134 100.0	<u>128</u> <u>95.5</u>	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	4 3.0
	65歳以上	54 100.0	<u>36</u> <u>66.7</u>	1 1.9	1 1.9	0 0.0	4 7.4	2 3.7	3 5.6	0 0.0	7 13.0



(10) 【身知精難】問 27-1 利用している介護保険サービス

【問 27 で、「要支援・要介護度認定を受けている」と答えたかたにおうかがいします。】

問 27-1 利用している介護保険サービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

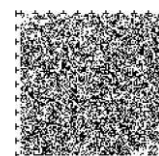
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

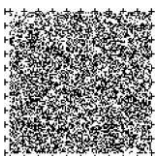
		合計	訪問介護 (ホームヘル プサービス)	訪問入浴介護	訪問リハビリテーシ ョン	訪問看護	通所介護(デイサービ ス)	通所リハビリテーシ ョン(デイケア)	短期入所(ショート ステイ)	介護予防サービス	福祉用具レンタル・購 入
全体		321 100.0	93 29.0	28 8.7	55 17.1	71 22.1	64 19.9	43 13.4	25 7.8	3 0.9	<u>140</u> <u>43.6</u>
調査票種別	身体	274 100.0	76 27.7	27 9.9	46 16.8	54 19.7	52 19.0	40 14.6	20 7.3	3 1.1	<u>126</u> <u>46.0</u>
	知的	19 100.0	4 21.1	0 0.0	1 5.3	4 21.1	<u>7</u> <u>36.8</u>	1 5.3	2 10.5	0 0.0	5 26.3
	精神	15 100.0	9 60.0	0 0.0	1 6.7	<u>10</u> <u>66.7</u>	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0
	難病	13 100.0	4 30.8	1 7.7	<u>7</u> <u>53.8</u>	3 23.1	4 30.8	1 7.7	3 23.1	0 0.0	6 46.2

(下表へ続く)

		合計	その他	認定は受けているが、 介護保険サービスは利 用していない	無回答
全体		321 100.0	10 3.1	55 17.1	21 6.5
調査票種別	身体	274 100.0	10 3.6	47 17.2	19 6.9
	知的	19 100.0	0 0.0	3 15.8	1 5.3
	精神	15 100.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0
	難病	13 100.0	0 0.0	2 15.4	1 7.7



- 全体：321人のうち、「福祉用具レンタル・購入」が43.6%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が29.0%となっています。
- 身体障害：274人のうち、「福祉用具レンタル・購入」が46.0%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が27.7%となっています。
- 知的障害：19人のうち、「通所介護（デイサービス）」が36.8%と最も多く、次いで「福祉用具レンタル・購入」が26.3%となっています。
- 精神障害：15人のうち、「訪問看護」が66.7%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が60.0%となっています。
- 難病：13人のうち、「訪問リハビリテーション」が53.8%と最も多く、次いで「福祉用具レンタル・購入」が46.2%となっています。



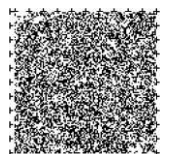
■クロス集計：利用している介護保険サービス／本人の年齢区分別

<身体障害>

		合計	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	短期入所(ショートステイ)	介護予防サービス	福祉用具レンタル・購入	その他	認定は受けているが、介護保険サービスは利用していない	無回答
全体		274 100.0	76 27.7	27 9.9	46 16.8	54 19.7	52 19.0	40 14.6	20 7.3	3 1.1	<u>126</u> <u>46.0</u>	10 3.6	47 17.2	19 6.9
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	<u>3</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3
	40歳以上 65歳未満	92 100.0	25 27.2	13 14.1	31 33.7	25 27.2	12 13.0	11 12.0	3 3.3	1 1.1	<u>59</u> <u>64.1</u>	5 5.4	10 10.9	4 4.3
	65歳以上	176 100.0	50 28.4	13 7.4	15 8.5	29 16.5	38 21.6	28 15.9	14 8.0	2 1.1	<u>67</u> <u>38.1</u>	5 2.8	36 20.5	13 7.4

<知的障害>

		合計	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	短期入所(ショートステイ)	介護予防サービス	福祉用具レンタル・購入	その他	認定は受けているが、介護保険サービスは利用していない	無回答
全体		19 100.0	4 21.1	0 0.0	1 5.3	4 21.1	<u>7</u> <u>36.8</u>	1 5.3	2 10.5	0 0.0	5 26.3	0 0.0	3 15.8	1 5.3
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	4 100.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	40歳以上 65歳未満	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	<u>2</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	65歳以上	11 100.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	4 36.4	<u>6</u> <u>54.5</u>	1 9.1	1 9.1	0 0.0	4 36.4	0 0.0	1 9.1	0 0.0

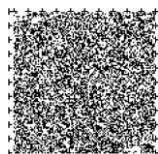


<精神障害>

		合計	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	短期入所(ショートステイ)	介護予防サービス	福祉用具レンタル・購入	その他	認定は受けているが、介護保険サービスは利用していない	無回答
全体		15 100.0	9 60.0	0 0.0	1 6.7	<u>10</u> <u>66.7</u>	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0
人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	40歳以上 65歳未満	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>75.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	65歳以上	8 100.0	<u>6</u> <u>75.0</u>	0 0.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0

<難病>

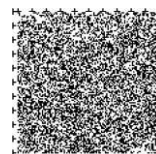
		合計	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	短期入所(ショートステイ)	介護予防サービス	福祉用具レンタル・購入	その他	認定は受けているが、介護保険サービスは利用していない	無回答
全体		13 100.0	4 30.8	1 7.7	<u>7</u> <u>53.8</u>	3 23.1	4 30.8	1 7.7	3 23.1	0 0.0	6 46.2	0 0.0	2 15.4	1 7.7
本人の年齢区分別	18歳以上 40歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳以上 65歳未満	2 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	65歳以上	11 100.0	4 36.4	1 9.1	<u>6</u> <u>54.5</u>	2 18.2	4 36.4	1 9.1	3 27.3	0 0.0	<u>6</u> <u>54.5</u>	0 0.0	2 18.2	0 0.0



11 意思疎通の状況について

まとめ 166～169 ページ

- 身体障害のかたで意思疎通に困難を感じているのは15.2%。
- 意思疎通に困難を感じているかたが日常的に使う意思疎通の手段としては、携帯・スマホが最も多く、次いでパソコン、口話、筆談と続いている。支援者としては家族が多い。

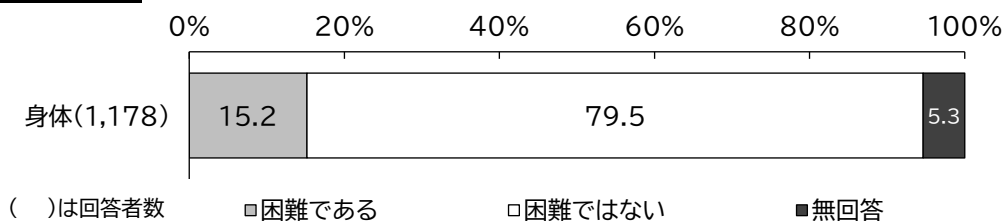


(1) 【身】問 28 意思疎通困難の有無

問 意思疎通についておうかがいします。日常生活において、意思疎通が困難と感じていますか。
(○は1つ)

調査対象： 身体

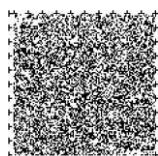
単純集計：調査票種別



単純集計：意思疎通困難の有無／身体障害 障害部位別

		合計	困難である	困難ではない	無回答
全体		1,178 100.0	179 15.2	936 79.5	63 5.3
障害部位別	視覚障害	101 100.0	13 12.9	83 82.2	5 5.0
	聴覚障害	120 100.0	49 40.8	64 53.3	7 5.8
	平衡機能障害	16 100.0	7 43.8	9 56.3	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	4 26.7	8 53.3	3 20.0
	肢体不自由	529 100.0	75 14.2	433 81.9	21 4.0
	内部障害	331 100.0	20 6.0	299 90.3	12 3.6

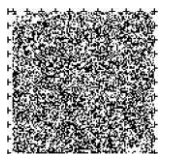
- 身体障害：1,178人のうち、「困難ではない」が79.5%、「困難である」が15.2%となっています。



■クロス集計：意思疎通困難の有無／手帳の等級・程度別

<身体障害>

		合計	困難である	困難でない	無回答
全体		1,178 100.0	179 15.2	<u>936</u> <u>79.5</u>	63 5.3
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳1級	362 100.0	52 14.4	<u>292</u> <u>80.7</u>	18 5.0
	身体障害者手帳2級	206 100.0	48 23.3	<u>151</u> <u>73.3</u>	7 3.4
	身体障害者手帳3級	155 100.0	20 12.9	<u>128</u> <u>82.6</u>	7 4.5
	身体障害者手帳4級	216 100.0	26 12.0	<u>177</u> <u>81.9</u>	13 6.0
	身体障害者手帳5級	63 100.0	2 3.2	<u>61</u> <u>96.8</u>	0 0.0
	身体障害者手帳6級	75 100.0	11 14.7	<u>62</u> <u>82.7</u>	2 2.7
	身体障害者手帳7級	2 100.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0
	愛の手帳1度	8 100.0	<u>6</u> <u>75.0</u>	2 25.0	0 0.0
	愛の手帳2度	24 100.0	<u>16</u> <u>66.7</u>	6 25.0	2 8.3
	愛の手帳3度	12 100.0	5 41.7	<u>7</u> <u>58.3</u>	0 0.0
	愛の手帳4度	24 100.0	8 33.3	<u>13</u> <u>54.2</u>	3 12.5
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳2級	23 100.0	9 39.1	<u>13</u> <u>56.5</u>	1 4.3
	精神障害者保健福祉手帳3級	15 100.0	4 26.7	<u>11</u> <u>73.3</u>	0 0.0



(2) 【身】問 28-1 意思疎通の手段、支援者

【問 28 で、「困難である」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問 28-1 日常的に使っている意思疎通の手段、支援者を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

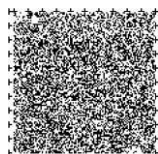
調査対象： 身体

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

	合計	携帯・スマホ	パソコン	ポータブルレコーダー	会話補助装置	意思伝達装置	FAX	筆談	点字	イラスト	口話
身体	179 100.0	<u>83</u> <u>46.4</u>	35 19.6	1 0.6	11 6.1	1 0.6	6 3.4	33 18.4	2 1.1	8 4.5	35 19.6
視覚障害	13 100.0	7 53.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	4 30.8
聴覚障害	49 100.0	<u>32</u> <u>65.3</u>	16 32.7	0 0.0	7 14.3	1 2.0	5 10.2	24 49.0	0 0.0	2 4.1	13 26.5
平衡機能障害	7 100.0	<u>4</u> <u>57.1</u>	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
音声・言語・そしゃく機能の障害	4 100.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
肢体不自由	75 100.0	23 30.7	8 10.7	0 0.0	3 4.0	0 0.0	1 1.3	5 6.7	0 0.0	5 6.7	15 20.0
内部障害	20 100.0	<u>12</u> <u>60.0</u>	5 25.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0

(次ページへ続く)

- 身体障害：179 人のうち、「携帯・スマホ」が 46.4%と最も多く、次いで「家族」が 41.9%となっています。

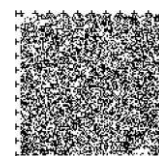


(前ページから続く)

	合計	手話	指文字	指点字	ジェスチャー	SNS	家族	友人・知人	ガイドヘルパー	手話通訳者	失語症意思疎通 支援者
身体	179 100.0	23 12.8	17 9.5	0 0.0	26 14.5	18 10.1	75 41.9	24 13.4	3 1.7	12 6.7	2 1.1
視覚障害	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	2 15.4	<u>9</u> <u>69.2</u>	4 30.8	3 23.1	0 0.0	0 0.0
聴覚障害	49 100.0	22 44.9	16 32.7	0 0.0	11 22.4	7 14.3	17 34.7	10 20.4	0 0.0	12 24.5	0 0.0
平衡機能障害	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>4</u> <u>57.1</u>	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
音声・言語・そしゃ く機能の障害	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>
肢体不自由	75 100.0	1 1.3	1 1.3	0 0.0	12 16.0	4 5.3	<u>29</u> <u>38.7</u>	4 5.3	0 0.0	0 0.0	1 1.3
内部障害	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	4 20.0	9 45.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(下表へ続く)

	合計	ボランティア	その他	特 に ない	無 回 答
身体	179 100.0	1 0.6	20 11.2	16 8.9	4 2.2
視覚障害	13 100.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0
聴覚障害	49 100.0	0 0.0	4 8.2	2 4.1	1 2.0
平衡機能障害	7 100.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0
音声・言語・そしゃ く機能の障害	4 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>25.0</u>	0 0.0	0 0.0
肢体不自由	75 100.0	1 1.3	8 10.7	12 16.0	2 2.7
内部障害	20 100.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0



12 視覚障害のかたについて

まとめ 170~172 ページ

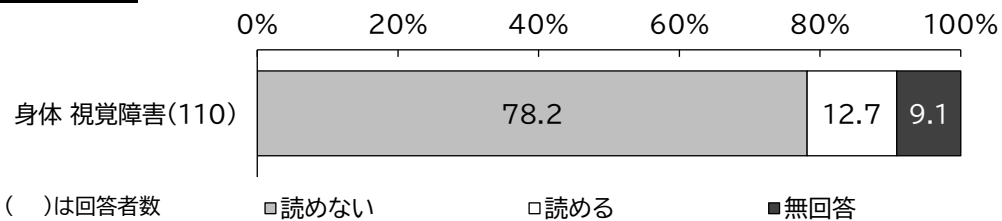
- 視覚障害のかたのうち、点字を読めるかたは12.7%、読めないかたは78.2%。
- 点字が読めないかたが不便に思うことは、点字が読めない人のためのサービスが少ないことが16.3%あげられているが、特に不便に思うことはないが64.0%と最も多い。
- 視覚障害のかたのうち、音声コード（ユニボイス等）を利用したことがあるかたは11.8%、利用したことがないかたは75.5%。
- 音声コードを利用しない理由として、必要でないが最も多く56.6%、次いで使い方がわからないが24.1%、機器を持っていないが19.3%。
- 音声コードを今後利用したいかたは16.9%。

(1) 【身】問30 点字を読むこと

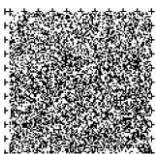
問 あなたは、点字が読めますか。(○は1つ)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別



- 身体 視覚障害：110人のうち、「読めない」が78.2%、「読める」が12.7%となっています。



(2) 【身】問 30-1 点字が読めないことによる不便

【問 30 で、「読めない」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問 30-1 点字が読めないことで、不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	点字が読める場合に比べて、 情報が入ってくるのが遅い	点字が読めない人のための サービスが少ない	その他	特に不便に思うことはない	無回答
身体 視覚障害	86 100.0	6 7.0	14 16.3	4 4.7	55 64.0	12 14.0

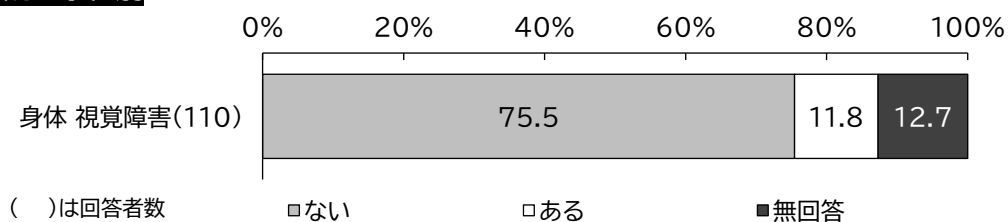
- 身体 視覚障害：86 人のうち、「特に不便に思うことはない」が 64.0%と最も多く、次いで「点字が読めない人のためのサービスが少ない」が 16.3%となっています。

(3) 【身】問 31 音声コード（ユニボイス等）利用の有無

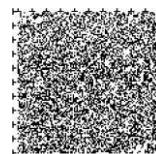
問 あなたは、音声コード（ユニボイス等）を利用したことがありますか。(○は1つ)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別



- 身体 視覚障害：110 人のうち、「ない」が 75.5%、「ある」が 11.8%となっています。



(4) 【身】問 31-1 音声コードを利用しない理由

【問 31 で、「ない」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問 31-1 音声コードを利用しない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	必要でない	利用するための機器を持っていない	使い方がわからない	その他	無回答
身体 視覚障害	83 100.0	47 56.6	16 19.3	20 24.1	13 15.7	2 2.4

- 身体 視覚障害：83 人のうち、「必要でない」が 56.6%と最も多く、次いで「使い方がわからない」が 24.1%となっています。

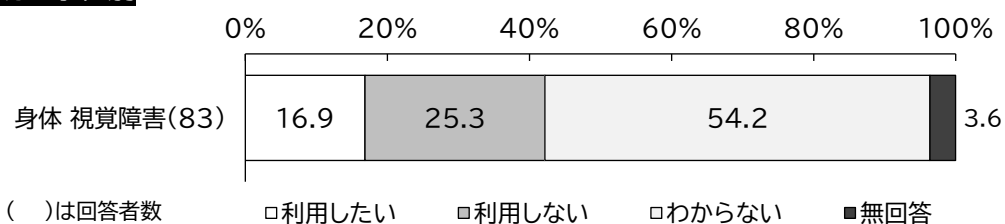
(5) 【身】問 31-2 音声コードの今後の利用意向

【問 31 で、「ない」と答えたかたのみにおうかがいします。】

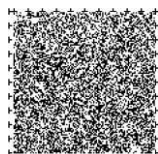
問 31-2 音声コードを今後利用したいですか。(○は1つ)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別



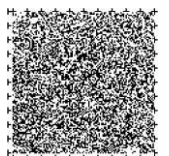
- 身体 視覚障害：83 人のうち、「わからない」が 54.2%と最も多く、次いで「利用しない」が 25.3%となっています。



13 聴覚障害のかたについて

まとめ 174~182 ページ

- 聴覚障害のかたのうち、手話通訳者派遣を利用しているかたは 14.7%。
- 利用していないかたの理由は、筆談、口話で対応できるが最も多く 62.4%。
- 今後、手話通訳者派遣を利用したいかたは 7.9%、利用しないが最も多く 45.5%。
- 聴覚障害のかたのうち、要約筆記者派遣を利用しているかたは 4.7%。
- 要約筆記者派遣を今後利用したいかたは 8.9%、わからないが 45.5%。
- 聴覚障害のかたのうち、手話ができるかたは 31.0%、できないかたは 58.9%。
- 手話ができないことの不便さとしては、特にないが 68.4%で最も多いが、手話ができない人のためのサービスが少ないこと、周囲の理解が足りないこと、コミュニケーションが難しいことがあげられた。
- 聴覚障害のかたのうち、電話リレーサービスを利用したことがあるかたは 13.2%、ヨメテルを利用したことがあるかたは 1.6%。電話リレーサービスは 50~59 歳のかた、手話のできないかたで利用割合が多い。
- 電話リレーサービスを利用しない理由は、必要ないが最も多く 39.4%、ヨメテルを利用しない理由は、制度を知らないが最も多く 39.5%。
- 今後、電話リレーサービスを利用したいかたは 19.4%、今後ヨメテルを利用したいかたは 23.1%。

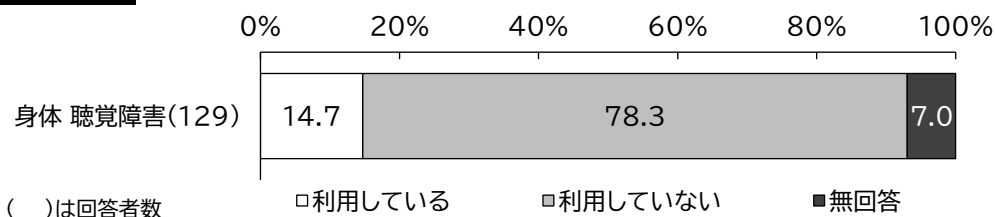


(1) 【身】問 32 手話通訳者派遣の利用状況

問 あなたは、手話通訳者派遣を現在利用していますか。(○は1つ)

調査対象： **身体**

単純集計：調査票種別



- 身体 聴覚障害：129 人のうち、「利用していない」が 78.3%、「利用している」が 14.7%となっています。

(2) 【身】問 32-1 利用していない理由

【問 32 で、「利用していない」と答えたかたにおうかがいします。】

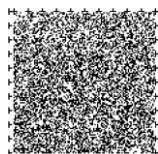
問 32-1 利用していない理由を教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： **身体**

単純集計：調査票種別

	合計	筆談、口話で対応できる	依頼する連絡手段がない	通訳者の技術に不安がある	派遣制度があることを知らない	家族(身内)と同行するため必要ない	プライバシーの面で不安がある	通訳者が顔見知りのため、依頼しづらい	その他	無回答
身体 聴覚障害	101 100.0	63 62.4	6 5.9	0 0.0	7 6.9	18 17.8	5 5.0	0 0.0	22 21.8	13 12.9

- 身体 聴覚障害：101 人のうち、「筆談、口話で対応できる」が 62.4%と最も多く、次いで「家族(身内)と同行するため必要ない」が 17.8%となっています。



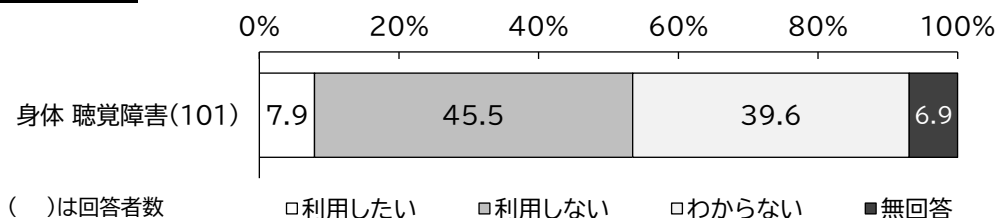
(3) 【身】問 32-2 手話通訳者派遣の今後の利用意向

【問 32 で、「利用していない」と答えたかたにおうかがいします。】

問 32-2 手話通訳者派遣を今後利用したいですか。(○は1つ)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別



- 身体 聴覚障害：101 人のうち、「利用しない」が 45.5%と最も多く、次いで「わからない」が 39.6%となっています。

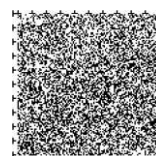
(4) 【身】問 33 手話通訳者派遣について感じていること

問 手話通訳者派遣について、感じていることがあればご記入ください。

調査対象： 身体

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。

- 人によって表現方法が異なるため、わかりやすい人もいれば、わかりづらい人もいる。
- とても助かっている。
- 通訳者によって読取力や技能の差が見られる。
- 手話通訳者に顔見知りのかたが多いため、用件によっては頼みづらい。
- オンラインで手話通訳者派遣依頼が完結できると便利。

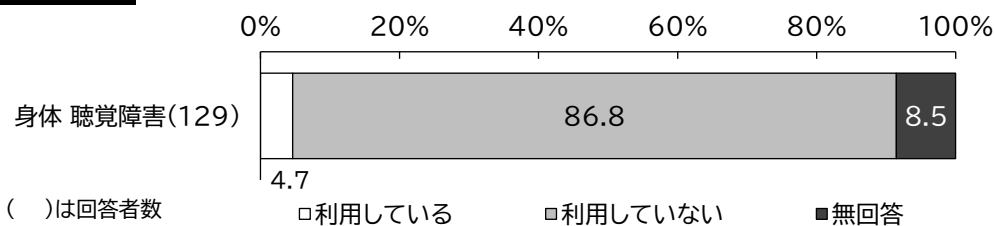


(5) 【身】問 34 要約筆記者派遣の利用状況

問 あなたは、要約筆記者派遣を現在利用していますか。(○は1つ)

調査対象： **身体**

単純集計：調査票種別



- 身体 聴覚障害：129人のうち、「利用していない」が86.8%、「利用している」が4.7%となっています。

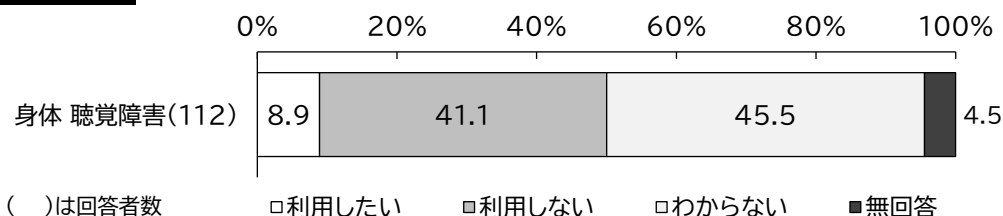
(6) 【身】問 34 要約筆記者派遣の今後の利用意向

【問 34 で、「利用していない」と答えたかたにおうかがいします。】

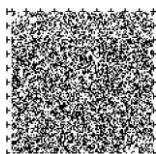
問 34-1 要約筆記者派遣を今後利用したいですか。(○は1つ)

調査対象： **身体**

単純集計：調査票種別



- 身体 聴覚障害：112人のうち、「わからない」が45.5%と最も多く、次いで「利用しない」が41.1%となっています。



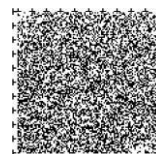
(7) 【身】問 35 要約筆記者派遣について感じていること

問 要約筆記者派遣について、感じていることがあればご記入ください。

調査対象： 身体

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。

- 聴覚障害というと、手話がわかりますかと聞かれるが、手話がわからない聴覚障害者もいる。要約筆記の存在を世間にもっと知らせてほしい。
- 現在のところ派遣が必要と感じていない。
- 派遣制度があることを知らなかった。

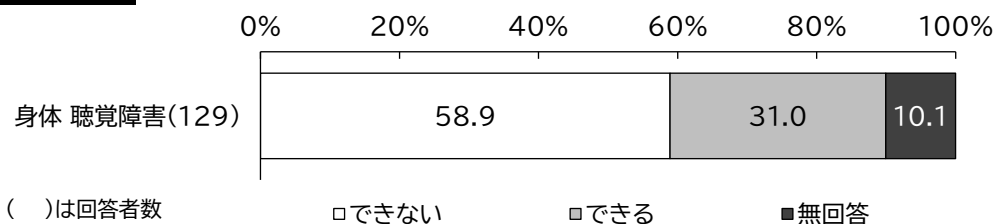


(8) 【身】問 36 手話をすること

問 あなたは、手話ができますか。(○は1つ)

調査対象： **身体**

単純集計：調査票種別



- 身体 聴覚障害：129人のうち、「できない」が58.9%、「できる」が31.0%となっています。

(9) 【身】問 36-1 手話ができないことによる不便

【問 36 で、「できない」と答えたかたのみにおうかがいします。】

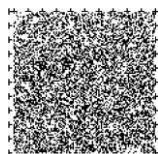
問 36-1 手話ができないことで、不便に思うことはありますか。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： **身体**

単純集計：調査票種別

	合計	がの手話ができない人のためのサービスが少ない	情報が入ってくるのが遅い	周囲の理解が足りない	コミュニケーションが難しい	その他	特にない	無回答
身体 聴覚障害	76	11	5	10	10	7	52	3
	100.0	14.5	6.6	13.2	13.2	9.2	68.4	3.9

- 身体 聴覚障害：76人のうち、「特にない」が68.4%と最も多く、次いで「手話ができない人のためのサービスが少ない」が14.5%となっています。



(10) 【身】問37 電話リレーサービスやヨメテルの利用状況

問 あなたは、電話リレーサービス〈※〉やヨメテル〈※〉を利用したことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

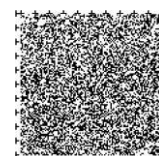
単純集計：調査票種別

	合計	電話リレーサービスを利用したことがある	電話リレーサービスを利用したことがない	ヨメテルを利用したことがある	ヨメテルを利用したことがない	無回答
身体	129	17	94	2	86	13
聴覚障害	100.0	13.2	72.9	1.6	66.7	10.1

※『電話リレーサービス』とは、聴覚や発話に障害のあるかたが通訳オペレータ等を介して電話をかけるサービスです。令和3年7月から公共サービスとなりました。(1) 24時間365日対応、(2) 緊急通報、(3) 通話の相手方との双方向での発信が可能です。

※『ヨメテル』とは、電話で相手先の声が聞こえにくいことがある人(以下、聞こえにくい人)へのサービスとして、通話相手の声を文字にする電話アプリです。令和7年1月より開始されています。

- 身体 聴覚障害:129人のうち、「電話リレーサービスを利用したことがない」が72.9%と最も多く、次いで「ヨメテルを利用したことがない」が66.7%となっています。



■クロス集計：電話リレーサービスやヨメテルの利用状況／本人の年齢別

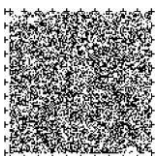
<身体 聴覚障害>

		合計	電話リレーサービスを利用したことがある	電話リレーサービスを利用したことがない	ヨメテルを利用したことがある	ヨメテルを利用したことがない	無回答
全体		129 100.0	17 13.2	<u>94</u> <u>72.9</u>	2 1.6	86 66.7	13 10.1
本人の年齢別	18～29歳	15 100.0	2 13.3	10 66.7	0 0.0	<u>11</u> <u>73.3</u>	2 13.3
	30～39歳	10 100.0	1 10.0	8 80.0	0 0.0	<u>9</u> <u>90.0</u>	0 0.0
	40～49歳	21 100.0	6 28.6	<u>14</u> <u>66.7</u>	1 4.8	<u>14</u> <u>66.7</u>	1 4.8
	50～59歳	11 100.0	4 36.4	<u>5</u> <u>45.5</u>	0 0.0	4 36.4	2 18.2
	60～69歳	17 100.0	4 23.5	<u>10</u> <u>58.8</u>	1 5.9	9 52.9	2 11.8
	70～79歳	19 100.0	0 0.0	<u>17</u> <u>89.5</u>	0 0.0	13 68.4	2 10.5
	80歳以上	36 100.0	0 0.0	<u>30</u> <u>83.3</u>	0 0.0	26 72.2	4 11.1

■クロス集計：電話リレーサービスやヨメテルの利用状況／手話ができるか別

<身体 聴覚障害>

		合計	電話リレーサービスを利用したことがある	電話リレーサービスを利用したことがない	ヨメテルを利用したことがある	ヨメテルを利用したことがない	無回答
全体		129 100.0	17 13.2	<u>94</u> <u>72.9</u>	2 1.6	86 66.7	13 10.1
手話ができるか別	できる	76 100.0	2 2.6	<u>67</u> <u>88.2</u>	1 1.3	60 78.9	3 3.9
	できない	40 100.0	15 37.5	24 60.0	1 2.5	<u>25</u> <u>62.5</u>	0 0.0



(11) 【身】問37-1 電話リレーサービスを利用しない理由

【問37で、「電話リレーサービスを利用したことがない」と答えたかたのみにおうかがいします。】
 問37-1 電話リレーサービスを利用しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	必要でない	利用するための機器を持っていない	使い方がわからない	制度について知らない	登録が面倒である	電話の相手に迷惑をかけそう	手話やチャットができない・苦手	その他	無回答
身体 聴覚障害	94 100.0	<u>37</u> 39.4	10 10.6	19 20.2	30 31.9	11 11.7	4 4.3	6 6.4	6 6.4	13 13.8

- 身体 聴覚障害：94人のうち、「必要でない」が39.4%と最も多く、次いで「制度について知らない」が31.9%となっています。

(12) 【身】問37-2 ヨメテルを利用しない理由

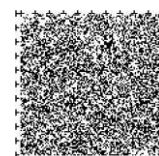
【問37で、「ヨメテルを利用したことがない」と答えたかたのみにおうかがいします。】
 問37-2 ヨメテルを利用しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	必要でない	利用するための機器を持っていない	使い方がわからない	制度について知らない	登録が面倒である	文字が読めない	その他	無回答
身体 聴覚障害	86 100.0	33 38.4	11 12.8	20 23.3	<u>34</u> 39.5	14 16.3	2 2.3	7 8.1	6 7.0

- 身体 聴覚障害：86人のうち、「制度について知らない」が39.5%と最も多く、次いで「必要でない」が38.4%となっています。



(13) 【身】問 37-3 電話リレーサービスとヨメテルの今後の利用意向

【問 37 で、「電話リレーサービスを利用したことがない」又は「ヨメテルを利用したことがない」と答えたかたにおうかがいします。】

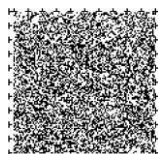
問 37-3 電話リレーサービスとヨメテルを今後利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	電話リレーサービスを利用したい	ヨメテルを利用したい	どちらも利用しない	無回答
身体	108	21	25	65	10
聴覚障害	100.0	19.4	23.1	60.2	9.3

- 身体 聴覚障害：108 人のうち、「どちらも利用しない」が 60.2%と最も多く、次いで「ヨメテルを利用したい」が 23.1%となっています。



14 高次脳機能障害について

まとめ 183～185 ページ

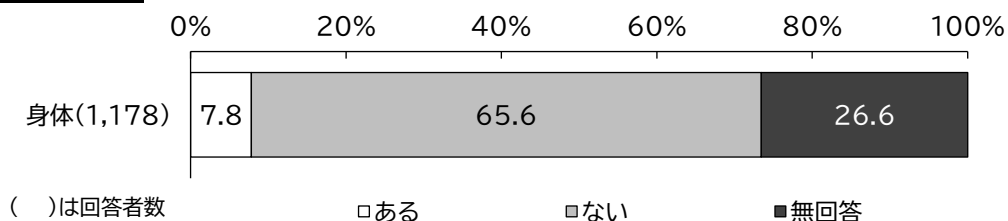
- 身体障害の調査の中で、高次脳機能障害のあるかたは7.8%。
- 原因となった病気やけがで最も多いのは、脳血管障害（脳出血・脳梗塞・くも膜下出血）で73.9%。
- 具体的な症状で最も多いのは記憶障害45.7%、次いで注意障害、失語症などが続いている。
- 高次脳機能障害のリハビリテーションを受けたことがあるかたは70.7%。
- 高次脳機能障害による困りごとで最も多いのは、銀行や病院等の手続きができないことで37.0%、次いで人とのコミュニケーションのこと、家事ができないこと、仕事ができないこと、周りの理解が得られないことなどが続いている。

(1) 【身】問38 高次脳機能障害の状況

問 あなたは、高次脳機能障害〈※〉と医師から診断や説明を受けたことがありますか。(○は1つ)

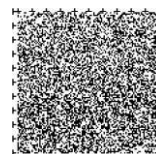
調査対象： 身体

単純集計：調査票種別



※『高次脳機能障害』とは、脳血管障害や頭部外傷等の原因により脳に傷がつくことにより、言語や記憶、注意、遂行機能（段取り良くものごとをすすめること）、感情や行動のコントロール等の機能に支障をきたします。症状は脳の障害部位や程度により、人それぞれです。日常生活や社会生活に制約が出る脳の認知機能の後天的な障害です。退院後の社会生活や人との関わりで明らかになることが多く、体のまひがないと一見しただけでは分かりにくい特徴があります。

- 身体：1,178人のうち、「ない」が65.6%、「ある」が7.8%となっています。



(2) 【身】問 38-1 原因となった病気やけが

【問 38 で、「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問 38-1 原因となった病気やけがを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	脳血管障害(脳出血・ 脳梗塞・くも膜下出血)	脳外傷	脳炎	低酸素脳症	一酸化炭素中毒	脳腫瘍	てんかん	その他	無回答
身体 高次脳 機能障害	92 100.0	<u>68</u> <u>73.9</u>	13 14.1	5 5.4	2 2.2	0 0.0	2 2.2	9 9.8	7 7.6	0 0.0

- 身体 高次脳機能障害：92 人のうち、「脳血管障害(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)」が 73.9%と最も多く、次いで「脳外傷」が 14.1%となっています。

(3) 【身】問 38-2 具体的な症状

【問 38 で、「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】

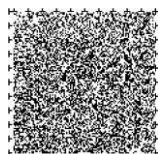
問 38-2 具体的にどの症状があるといわれましたか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別

	合計	注意障害	記憶障害	遂行機能障害	感情と行動の障害	失語症	その他	特にいわれていない	よくわからない	無回答
身体 高次脳 機能障害	92 100.0	32 34.8	<u>42</u> <u>45.7</u>	20 21.7	19 20.7	29 31.5	7 7.6	4 4.3	10 10.9	4 4.3

- 身体 高次脳機能障害：92 人のうち、「記憶障害」が 45.7%と最も多く、次いで「注意障害」が 34.8%となっています。



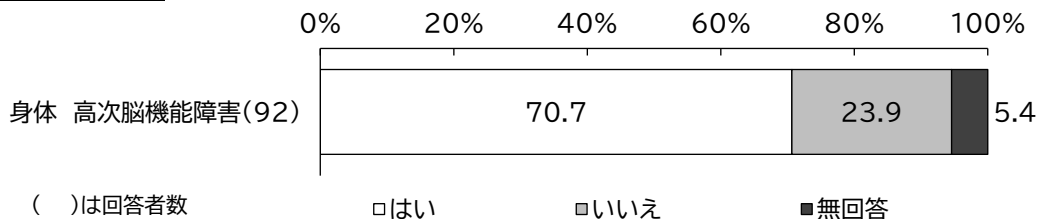
(4) 【身】問 38-3 リハビリテーション受診の有無

【問 38 で、「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問 38-3 「高次脳機能障害」のリハビリテーションを受けましたか。(○は1つ)

調査対象： 身体

単純集計：調査票種別



- 身体 高次脳機能障害：92 人のうち、「はい」が 70.7%、「いいえ」が 23.9%となっています。

(5) 【身】問 38-4 高次脳機能障害による困りごと

【問 38 で、「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問 38-4 「高次脳機能障害」でどのようなことにお困りですか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体

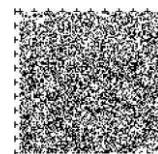
単純集計：調査票種別

	合計	銀行や病院、役所等で手続きができない	調理や片付け等の家事ができない	育児ができない	仕事ができない	経済面	相談場所がわからない	利用できるサービスがわからない	人とのコミュニケーション	自分の症状がわからない	周りに理解が得られない
身体 高次脳機能障害	92 100.0	34 37.0	27 29.3	4 4.3	27 29.3	19 20.7	13 14.1	17 18.5	29 31.5	19 20.7	25 27.2

(下表に続く)

	合計	その他	特に困らない	無回答
身体 高次脳機能障害	92 100.0	15 16.3	14 15.2	4 4.3

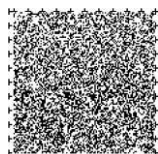
- 身体 高次脳機能障害：92 人のうち、「銀行や病院、役所等で手続きができない」が 37.0%と最も多く、次いで「人とのコミュニケーション」が 31.5%となっています。



15 外出の状況について

まとめ 187~216 ページ

- 全体では、ほぼ毎日外出しているかたが 53.2%と最も多く、児童では 77.4%がほぼ毎日外出。
- 外出しない（しにくい）理由は、身体障害のかたは障害が重いため 31.6%、知的障害・精神障害のかたは外に出たくないため、それぞれ 38.5%、42.1%と多い。
- 外出の方法は、全体では電車・地下鉄が 66.7%と最も多く、次いで徒歩が 57.7%。バス・タクシーの利用も多いが、精神障害・難病のかたは自転車もよく利用。
- 児童が普段移動に使っているものは、ベビーカーが 14.7%と最も多く、次いで手動車椅子が 3.4%、バギーが 2.3%。
- 児童の移動手段は、徒歩が 78.5%と最も多く、次いで電車・地下鉄が 73.4%。
- 1年以内に、外出時にけがの経験があるかたは全体の 16.0%。その理由としては歩道の段差・雨天時のすべりやすさが多い。視覚障害のかたでは、けがの経験が 32.7%と多い。
- 外出時に危険を感じたことは、いずれの障害においても歩きスマホをしている人が多く、全体では 46.3%。児童では自転車の通行が 45.8%で最も多い。
- 1年以内に、自宅内でけがの経験があるかたは全体の 14.4%で外出時より低い。けがをした場所は居間・台所・階段が多い。
- まちのバリアフリーに対する満足度は、全体で『満足』（「とても満足している」＋「おおむね満足している」）が 56.3%、『不満』（「やや不満である」＋「とても不満である」）が 33.7%。身体障害のかたの満足は 48.7%で5割を下回っている。
- 外出時にあると安心な手助け・配慮として、知的障害のかたは同行支援、精神障害のかたは緊張した時に安心できる場所が多い。



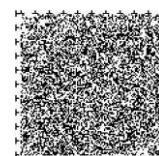
(1) 【身知精難児】問 39 外出の頻度

問 通院を含め、外出の頻度は、どのくらいですか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	ほぼ毎日	週に3〜4回	週に1〜2回	月に2〜3回	年に数回	しまったく外出しない	無回答
全体		2,160 100.0	<u>1,150</u> <u>53.2</u>	446 20.6	240 11.1	99 4.6	34 1.6	27 1.3	164 7.6
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>510</u> <u>43.3</u>	266 22.6	143 12.1	67 5.7	28 2.4	19 1.6	145 12.3
	視覚障害	101 100.0	<u>53</u> <u>52.5</u>	16 15.8	9 8.9	7 6.9	2 2.0	1 1.0	13 12.9
	聴覚障害	120 100.0	<u>56</u> <u>46.7</u>	24 20.0	11 9.2	6 5.0	0 0.0	0 0.0	23 19.2
	平衡機能障害	16 100.0	1 6.3	<u>7</u> <u>43.8</u>	3 18.8	0 0.0	4 25.0	0 0.0	1 6.3
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	<u>6</u> <u>40.0</u>	3 20.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7
	肢体不自由	529 100.0	<u>217</u> <u>41.0</u>	120 22.7	74 14.0	39 7.4	11 2.1	14 2.6	54 10.2
	内部障害	331 100.0	<u>161</u> <u>48.6</u>	82 24.8	32 9.7	10 3.0	7 2.1	0 0.0	39 11.8
	知的	268 100.0	<u>198</u> <u>73.9</u>	28 10.4	20 7.5	6 2.2	1 0.4	6 2.2	9 3.4
	精神	298 100.0	<u>168</u> <u>56.4</u>	78 26.2	32 10.7	17 5.7	1 0.3	1 0.3	1 0.3
	難病	239 100.0	<u>137</u> <u>57.3</u>	58 24.3	27 11.3	6 2.5	4 1.7	1 0.4	6 2.5
	児童	177 100.0	<u>137</u> <u>77.4</u>	16 9.0	18 10.2	3 1.7	0 0.0	0 0.0	3 1.7



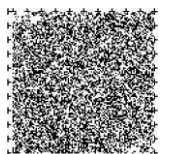
- 全体：2,160 人のうち、「ほぼ毎日」が 53.2%と最も多く、次いで「週に 3～4 回」が 20.6%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「ほぼ毎日」が 43.3%と最も多く、次いで「週に 3～4 回」が 22.6%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「ほぼ毎日」が 73.9%と最も多く、次いで「週に 3～4 回」が 10.4%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「ほぼ毎日」が 56.4%と最も多く、次いで「週に 3～4 回」が 26.2%となっています。
- 難病：239 人のうち、「ほぼ毎日」が 57.3%と最も多く、次いで「週に 3～4 回」が 24.3%となっています。
- 児童：177 人のうち、「ほぼ毎日」が 77.4%と最も多く、次いで「週に 1～2 回」が 10.2%となっています。



■クロス集計：外出の頻度／手帳の等級・程度別

<全体>

		合計	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に2～3回	年に数回	まったく外出しない	無回答
全体		2,160 100.0	<u>1,150</u> <u>53.2</u>	446 20.6	240 11.1	99 4.6	34 1.6	27 1.3	164 7.6
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳1級	372 100.0	<u>173</u> <u>46.5</u>	95 25.5	36 9.7	20 5.4	9 2.4	5 1.3	34 9.1
	身体障害者手帳2級	212 100.0	<u>88</u> <u>41.5</u>	44 20.8	38 17.9	11 5.2	6 2.8	4 1.9	21 9.9
	身体障害者手帳3級	163 100.0	<u>75</u> <u>46.0</u>	29 17.8	22 13.5	13 8.0	3 1.8	2 1.2	19 11.7
	身体障害者手帳4級	219 100.0	<u>104</u> <u>47.5</u>	44 20.1	23 10.5	11 5.0	3 1.4	1 0.5	33 15.1
	身体障害者手帳5級	66 100.0	<u>26</u> <u>39.4</u>	23 34.8	6 9.1	3 4.5	0 0.0	0 0.0	8 12.1
	身体障害者手帳6級	75 100.0	<u>34</u> <u>45.3</u>	10 13.3	8 10.7	5 6.7	3 4.0	1 1.3	14 18.7
	身体障害者手帳7級	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳1度	8 100.0	<u>3</u> <u>37.5</u>	<u>3</u> <u>37.5</u>	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳2度	96 100.0	<u>66</u> <u>68.8</u>	10 10.4	7 7.3	6 6.3	0 0.0	1 1.0	6 6.3
	愛の手帳3度	90 100.0	<u>61</u> <u>67.8</u>	10 11.1	10 11.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	6 6.7
	愛の手帳4度	182 100.0	<u>126</u> <u>69.2</u>	20 11.0	16 8.8	7 3.8	2 1.1	4 2.2	7 3.8
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	13 100.0	<u>8</u> <u>61.5</u>	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7
	精神障害者保健福祉手帳2級	174 100.0	<u>83</u> <u>47.7</u>	45 25.9	24 13.8	18 10.3	1 0.6	1 0.6	2 1.1
	精神障害者保健福祉手帳3級	139 100.0	<u>86</u> <u>61.9</u>	32 23.0	13 9.4	5 3.6	0 0.0	1 0.7	2 1.4

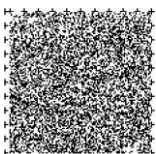


— 経年変化：調査票種別・身体障害 障害部位別 —

		合計		ほぼ毎日			週に3～4回			週に1～2回		
		R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比
全体		2,140 100.0	2,160 100.0	1,144 53.5	<u>1,150</u> <u>53.2</u>	-0.6%	410 19.2	446 20.6	7.3%	237 11.1	240 11.1	0.0%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	515 44.4	<u>510</u> <u>43.3</u>	-2.5%	267 23.0	266 22.6	-1.7%	147 12.7	143 12.1	-4.7%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	47 52.2	<u>53</u> <u>52.5</u>	0.5%	16 17.8	16 15.8	-11.0%	10 11.1	9 8.9	-19.7%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	37 39.8	<u>56</u> <u>46.7</u>	17.3%	19 20.4	24 20.0	-2.0%	15 16.1	11 9.2	-43.1%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	6 28.6	1 6.3	-78.1%	2 9.5	<u>7</u> <u>43.8</u>	360.5%	2 9.5	3 18.8	97.4%
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	6 31.6	<u>6</u> <u>40.0</u>	26.6%	5 26.3	3 20.0	-24.0%	1 5.3	3 20.0	277.4%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	208 43.0	<u>217</u> <u>41.0</u>	-4.6%	103 21.3	120 22.7	6.5%	73 15.1	74 14.0	-7.4%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	164 50.6	<u>161</u> <u>48.6</u>	-3.9%	96 29.6	82 24.8	-16.3%	25 7.7	32 9.7	25.6%
	知的	272 100.0	268 100.0	162 59.6	<u>198</u> <u>73.9</u>	24.0%	30 11.0	28 10.4	-5.5%	27 9.9	20 7.5	-24.2%
	精神	191 100.0	298 100.0	110 57.6	<u>168</u> <u>56.4</u>	-2.1%	48 25.1	78 26.2	4.4%	18 9.4	32 10.7	13.8%
	難病	211 100.0	239 100.0	116 55.0	<u>137</u> <u>57.3</u>	4.2%	43 20.4	58 24.3	19.1%	20 9.5	27 11.3	18.9%
	児童	305 100.0	177 100.0	241 79.0	<u>137</u> <u>77.4</u>	-2.0%	22 7.2	16 9.0	25.0%	25 8.2	18 10.2	24.4%

※身体障害の部位は、身体調査票のかたのみ障害の主たる部位等を優先し単数回答として集計
 ※前回比（比率の増減率・変化率）＝（今回比率÷前回比率－1）を％表示している

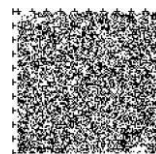
（次ページへ続く）



(前ページから続く)

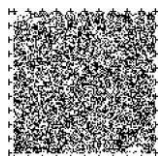
	合計		月に2～3回			年に数回			まったく外出しない			
	R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	
全体	2,140 100.0	2,160 100.0	148 6.9	99 4.6	-33.3%	36 1.7	34 1.6	-5.9%	32 1.5	27 1.3	-13.3%	
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	108 9.3	67 5.7	-38.7%	26 2.2	28 2.4	9.1%	22 1.9	19 1.6	-15.8%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	8 8.9	7 6.9	-22.1%	2 2.2	2 2.0	-10.0%	4 4.4	1 1.0	-77.5%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	10 10.8	6 5.0	-53.7%	2 2.2	0 0.0	-100.0%	2 2.2	0 0.0	-100.0%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	4 19.0	0 0.0	-100.0%	3 14.3	4 25.0	74.8%	3 14.3	0 0.0	-100.0%
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	2 10.5	1 6.7	-36.5%	2 10.5	1 6.7	-36.5%	2 10.5	0 0.0	-100.0%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	60 12.4	39 7.4	-40.5%	13 2.7	11 2.1	-23.0%	14 2.9	14 2.6	-8.7%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	21 6.5	10 3.0	-53.5%	6 1.9	7 2.1	11.3%	3 0.9	0 0.0	-100.0%
	知的	272 100.0	268 100.0	7 2.6	6 2.2	-15.4%	6 2.2	1 0.4	-81.8%	4 1.5	6 2.2	46.7%
	精神	191 100.0	298 100.0	9 4.7	17 5.7	21.3%	- -	1 0.3		1 0.5	1 0.3	-40.0%
	難病	211 100.0	239 100.0	16 7.6	6 2.5	-67.1%	2 0.9	4 1.7	88.9%	4 1.9	1 0.4	-78.9%
	児童	305 100.0	177 100.0	8 2.6	3 1.7	-34.6%	2 0.7	0 0.0	-100.0%	1 0.3	0 0.0	-100.0%

(次ページへ続く)



(前ページから続く)

		合計		無回答		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		2,140 100.0	2,160 100.0	133 6.2	164 7.6	22.6%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	76 6.5	145 12.3	89.2%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	3 3.3	13 12.9	290.0%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	8 8.6	23 19.2	122.9%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	1 4.8	1 6.3	30.2%
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	1 5.3	1 6.7	25.8%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	13 2.7	54 10.2	278.1%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	9 2.8	39 11.8	320.8%
	知的	272 100.0	268 100.0	36 13.2	9 3.4	-74.2%
	精神	191 100.0	298 100.0	5 2.6	1 0.3	-88.5%
	難病	211 100.0	239 100.0	10 4.7	6 2.5	-46.8%
	児童	305 100.0	177 100.0	6 2.0	3 1.7	-15.0%



(2) 【身知精難児】問 39-1 外出しない(しにくい)理由

【問 39 で、「月に2～3回」「年に数回」「まったく外出しない」と答えたかたにおうかがいします。】
 問 39-1 外出しない(しにくい)理由を教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

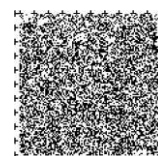
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

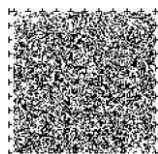
		合計	つき添って くれる人 がないため	移動の手段 がないため	道路が歩き にくい	バスや電車 が利用し にくい	建物・施設 が利用し にくい	障害が重 いため	興味がない ため	外に出たく ないため	感染症防 止のため	困った時 に人に助け を求められ ないため
全体		160 100.0	31 19.4	16 10.0	19 11.9	30 18.8	13 8.1	42 26.3	10 6.3	28 17.5	10 6.3	14 8.8
調査票種別	身体	114 100.0	22 19.3	12 10.5	16 14.0	26 22.8	12 10.5	36 31.6	4 3.5	14 12.3	7 6.1	8 7.0
	知的	13 100.0	3 23.1	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	5 38.5	1 7.7	1 7.7
	精神	19 100.0	4 21.1	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	4 21.1	3 15.8	8 42.1	1 5.3	3 15.8
	難病	11 100.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	児童	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

(下表へ続く)

		合計	特に外出 する用 事がない ため	その他	無回答
全体		160 100.0	52 32.5	30 18.8	11 6.9
調査票種別	身体	114 100.0	40 35.1	20 17.5	7 6.1
	知的	13 100.0	4 30.8	3 23.1	0 0.0
	精神	19 100.0	5 26.3	5 26.3	1 5.3
	難病	11 100.0	2 18.2	2 18.2	2 18.2
	児童	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3



- 全体：160 人のうち、「特に外出する用事がないため」が 32.5%と最も多く、次いで「障害が重いため」が 26.3%となっています。
- 身体障害：114 人のうち、「特に外出する用事がないため」が 35.1%と最も多く、次いで「障害が重いため」が 31.6%となっています。
- 知的障害：13 人のうち、「外に出たくないため」が 38.5%と最も多く、次いで「特に外出する用事がないため」が 30.8%となっています。
- 精神障害：19 人のうち、「外に出たくないため」が 42.1%と最も多く、次いで「特に外出する用事がないため」「その他」がともに 26.3%となっています。
- 難病：11 人のうち、「移動の手段がないため」が 3 人、「バスや電車が利用しにくい」「特に外出する用事がないため」「その他」がそれぞれ 2 人となっています。
- 児童：3 人のうち、「つき添ってくれる人がいないため」、「困った時に人に助けを求められないため」、「特に外出する用事がないため」がそれぞれ 1 人となっています。



(3) 【身知精難】問 40 外出の方法

問 あなたがよく利用する外出の方法を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

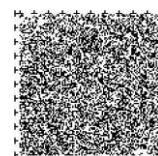
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

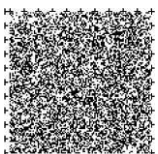
		合計	電車・地下鉄	バス	タクシー	自分で運転する自動車	家族等が運転する自動車	電動車椅子	手動車椅子	バギー	自転車	オートバイ
全体		1,983 100.0	<u>1,322</u> <u>66.7</u>	867 43.7	550 27.7	146 7.4	241 12.2	43 2.2	86 4.3	11 0.6	383 19.3	21 1.1
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>684</u> <u>58.1</u>	500 42.4	431 36.6	106 9.0	150 12.7	41 3.5	79 6.7	11 0.9	193 16.4	13 1.1
	知的	268 100.0	<u>203</u> <u>75.7</u>	138 51.5	41 15.3	1 0.4	46 17.2	0 0.0	4 1.5	0 0.0	37 13.8	2 0.7
	精神	298 100.0	<u>248</u> <u>83.2</u>	138 46.3	35 11.7	6 2.0	11 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	68 22.8	0 0.0
	難病	239 100.0	<u>187</u> <u>78.2</u>	91 38.1	43 18.0	33 13.8	34 14.2	2 0.8	3 1.3	0 0.0	85 35.6	6 2.5

(下表へ続く)

		合計	徒歩(歩行器・杖を含む)	その他	まったく外出しない	無回答
全体		1,983 100.0	1,145 57.7	37 1.9	17 0.9	139 7.0
調査票種別	身体	1,178 100.0	629 53.4	29 2.5	13 1.1	124 10.5
	知的	268 100.0	168 62.7	3 1.1	4 1.5	5 1.9
	精神	298 100.0	199 66.8	5 1.7	0 0.0	5 1.7
	難病	239 100.0	149 62.3	0 0.0	0 0.0	5 2.1



- 全体：1,983 人のうち、「電車・地下鉄」が 66.7%と最も多く、次いで「徒歩（歩行器・杖を含む）」が 57.7%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「電車・地下鉄」が 58.1%と最も多く、次いで「徒歩（歩行器・杖を含む）」が 53.4%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「電車・地下鉄」が 75.7%と最も多く、次いで「徒歩（歩行器・杖を含む）」が 62.7%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「電車・地下鉄」が 83.2%と最も多く、次いで「徒歩（歩行器・杖を含む）」が 66.8%となっています。
- 難病：239 人のうち、「電車・地下鉄」が 78.2%と最も多く、次いで「徒歩（歩行器・杖を含む）」が 62.3%となっています。

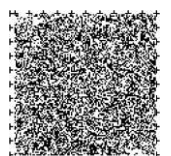


■クロス集計：外出の方法／手帳の等級・程度別

<身体障害>

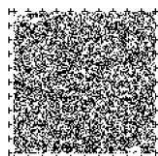
	合計	電車・地下鉄	バス	タクシー	自分で運転する自動車	家族等が運転する自動車	電動車椅子	手動車椅子	バギー	自転車	オートバイ	
全体	1,178 100.0	684 58.1	500 42.4	431 36.6	106 9.0	150 12.7	41 3.5	79 6.7	11 0.9	193 16.4	13 1.1	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	362 100.0	206 56.9	139 38.4	152 42.0	44 12.2	53 14.6	16 4.4	41 11.3	7 1.9	63 17.4	5 1.4
	身体障害者手帳 2級	206 100.0	122 59.2	87 42.2	77 37.4	17 8.3	30 14.6	16 7.8	22 10.7	1 0.5	15 7.3	0 0.0
	身体障害者手帳 3級	155 100.0	90 58.1	65 41.9	69 44.5	15 9.7	17 11.0	4 2.6	3 1.9	0 0.0	31 20.0	2 1.3
	身体障害者手帳 4級	216 100.0	133 61.6	103 47.7	75 34.7	14 6.5	26 12.0	2 0.9	6 2.8	2 0.9	46 21.3	6 2.8
	身体障害者手帳 5級	63 100.0	43 68.3	30 47.6	12 19.0	5 7.9	3 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 19.0	0 0.0
	身体障害者手帳 6級	75 100.0	54 72.0	43 57.3	13 17.3	8 10.7	8 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 16.0	0 0.0
	身体障害者手帳 7級	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	8 100.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	24 100.0	9 37.5	5 20.8	8 33.3	0 0.0	12 50.0	0 0.0	5 20.8	2 8.3	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 3度	12 100.0	6 50.0	3 25.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 4度	24 100.0	14 58.3	8 33.3	4 16.7	0 0.0	7 29.2	1 4.2	4 16.7	0 0.0	3 12.5	0 0.0
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳1級	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳2級	23 100.0	15 65.2	12 52.2	8 34.8	0 0.0	2 8.7	4 17.4	3 13.0	0 0.0	4 17.4	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳3級	15 100.0	9 60.0	6 40.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0

(次ページへ続く)



(前ページから続く)

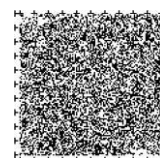
	合計	徒歩(歩行器・杖を含む)	その他	まったく外出しない	無回答	
全体	1,178 100.0	629 53.4	29 2.5	13 1.1	124 10.5	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	362 100.0	176 48.6	15 4.1	2 0.6	33 9.1
	身体障害者手帳 2級	206 100.0	<u>126</u> <u>61.2</u>	5 2.4	3 1.5	16 7.8
	身体障害者手帳 3級	155 100.0	<u>91</u> <u>58.7</u>	3 1.9	2 1.3	15 9.7
	身体障害者手帳 4級	216 100.0	115 53.2	3 1.4	0 0.0	29 13.4
	身体障害者手帳 5級	63 100.0	42 66.7	0 0.0	0 0.0	7 11.1
	身体障害者手帳 6級	75 100.0	38 50.7	0 0.0	1 1.3	8 10.7
	身体障害者手帳 7級	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	8 100.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5
	愛の手帳 2度	24 100.0	5 20.8	1 4.2	0 0.0	2 8.3
	愛の手帳 3度	12 100.0	4 33.3	3 25.0	0 0.0	4 33.3
	愛の手帳 4度	24 100.0	12 50.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	精神障害者保健福祉手帳2級	23 100.0	14 60.9	0 0.0	0 0.0	2 8.7
	精神障害者保健福祉手帳3級	15 100.0	8 53.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7



<知的障害>

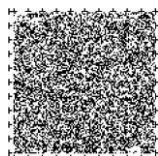
	合計	電車・地下鉄	バス	タクシー	自分で運転する自動車	家族等が運転する自動車	電動車椅子	手動車椅子	バギー	自転車	オートバイ	
全体	268 100.0	<u>203</u> <u>75.7</u>	138 51.5	41 15.3	1 0.4	46 17.2	0 0.0	4 1.5	0 0.0	37 13.8	2 0.7	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 2級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 3級	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 4級	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 5級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳 1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	57 100.0	37 64.9	18 31.6	19 33.3	0 0.0	18 31.6	0 0.0	1 1.8	0 0.0	3 5.3	1 1.8
	愛の手帳 3度	58 100.0	<u>43</u> <u>74.1</u>	31 53.4	7 12.1	0 0.0	12 20.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 10.3	0 0.0
	愛の手帳 4度	140 100.0	<u>113</u> <u>80.7</u>	81 57.9	14 10.0	1 0.7	15 10.7	0 0.0	2 1.4	0 0.0	26 18.6	1 0.7
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳1級	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳2級	11 100.0	7 63.6	<u>9</u> <u>81.8</u>	1 9.1	0 0.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳3級	8 100.0	<u>8</u> <u>100.0</u>	7 87.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0

(次ページへ続く)



(前ページから続く)

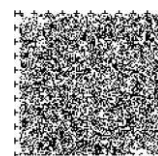
		合計	徒歩 (歩行器・ 杖を含む)	その他	ま っ た く 外 出 し な い	無 回 答
全体		268 100.0	168 62.7	3 1.1	4 1.5	5 1.9
手 帳 の 等 級 ・ 程 度 別	身体障害者手帳 1級	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 2級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 3級	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 4級	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 5級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	57 100.0	<u>43</u> <u>75.4</u>	1 1.8	0 0.0	1 1.8
	愛の手帳 3度	58 100.0	40 69.0	1 1.7	1 1.7	1 1.7
	愛の手帳 4度	140 100.0	80 57.1	1 0.7	2 1.4	2 1.4
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳1級	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳2級	11 100.0	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳3級	8 100.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



<精神障害>

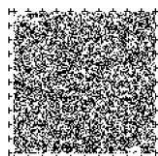
	合計	電車・地下鉄	バス	タクシー	自分で運転する自動車	家族等が運転する自動車	電動車椅子	手動車椅子	バギー	自転車	オートバイ	
全体	298 100.0	<u>248</u> <u>83.2</u>	138 46.3	35 11.7	6 2.0	11 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	68 22.8	0 0.0	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 2級	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 3級	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 4級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 5級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳 1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 3度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳 4度	2 100.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳1級	9 100.0	6 66.7	4 44.4	4 44.4	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳2級	130 100.0	<u>105</u> <u>80.8</u>	68 52.3	17 13.1	3 2.3	5 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 19.2	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳3級	112 100.0	<u>98</u> <u>87.5</u>	59 52.7	11 9.8	1 0.9	3 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28 25.0	0 0.0

(次ページへ続く)



(前ページから続く)

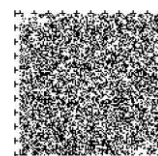
		合計	徒歩 (歩行器・ 杖を含む)	その他	まったく外出 しない	無回答
全体		298 100.0	199 66.8	5 1.7	0 0.0	5 1.7
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 2級	3 100.0	<u>2</u> <u>66.7</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 3級	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 4級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 5級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 3度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 4度	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳1級	9 100.0	<u>7</u> <u>77.8</u>	1 11.1	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳2級	130 100.0	87 66.9	2 1.5	0 0.0	3 2.3
	精神障害者保健福 祉手帳3級	112 100.0	77 68.8	1 0.9	0 0.0	1 0.9



<難病>

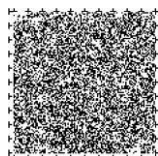
		合計	電車・地下鉄	バス	タクシー	自分で運転する自動車	家族等が運転する自動車	電動車椅子	手動車椅子	バギー	自転車	オートバイ	
全体		239 100.0	<u>187</u> <u>78.2</u>	91 38.1	43 18.0	33 13.8	34 14.2	2 0.8	3 1.3	0 0.0	85 35.6	6 2.5	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳1級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳2級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳3級	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	身体障害者手帳4級	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳5級	3 100.0	<u>1</u> <u>33.3</u>	<u>1</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>33.3</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳2度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳3度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳4度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳2級	5 100.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳3級	3 100.0	<u>3</u> <u>100.0</u>	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0

(次ページへ続く)



(前ページから続く)

		合計	徒歩 (歩行器・ 杖を含む)	その他	ま っ た く 外 出 し な い	無 回 答
全体		239 100.0	149 62.3	0 0.0	0 0.0	5 2.1
手 帳 の 等 級 ・ 程 度 別	身体障害者手帳 1級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 2級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 3級	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 4級	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	身体障害者手帳 5級	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	身体障害者手帳 6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	身体障害者手帳 7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 3度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 4度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳1級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳2級	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福 祉手帳3級	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0



(4) 【児】問 30 児童が普段移動に使っているもの

問 お子さんが普段移動に使っているものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 児童

単純集計：調査票種別

	合計	特 に ない	電 動 車 椅 子	手 動 車 椅 子	バ ギ ー	歩 行 器	杖	ベ ビ ー カ ー	そ の 他	無 回 答
児童	177 100.0	<u>132</u> <u>74.6</u>	1 0.6	6 3.4	4 2.3	1 0.6	1 0.6	26 14.7	7 4.0	5 2.8

- 児童：177人のうち、「特にない」が74.6%と最も多く、次いで「ベビーカー」が14.7%となっています。

(5) 【児】問 31 児童が普段利用する移動手段

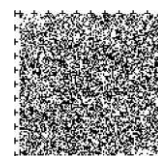
問 お子さんが普段利用する移動手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 児童

単純集計：調査票種別

	合計	ま っ た く 外 出 し な い	電 車 ・ 地 下 鉄	バ ス	タ ク シ ー	自 動 車	自 転 車	徒 歩	そ の 他	無 回 答
児童	177 100.0	0 0.0	<u>130</u> <u>73.4</u>	66 37.3	36 20.3	56 31.6	102 57.6	<u>139</u> <u>78.5</u>	1 0.6	4 2.3

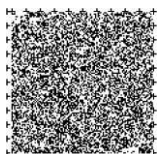
- 児童：177人のうち、「徒歩」が78.5%と最も多く、次いで「電車・地下鉄」が73.4%となっています。



■クロス集計：児童が普段利用する移動手段／手帳の等級・程度別

<児童>

		合計	ま っ た く 外 出 し な い	電 車 ・ 地 下 鉄	バ ス	タ ク シ ー	自 動 車	自 転 車	徒 歩	そ の 他	無 回 答	
全体		177 100.0	0 0.0	130 73.4	66 37.3	36 20.3	56 31.6	102 57.6	139 78.5	1 0.6	4 2.3	
手 帳 の 等 級 ・ 程 度 別	身体障害者手帳 1級	7 100.0	0 0.0	6 85.7	3 42.9	6 85.7	4 57.1	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 2級	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 3級	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 4級	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 5級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 6級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	身体障害者手帳 7級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳 1度	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	14 100.0	0 0.0	9 64.3	5 35.7	6 42.9	8 57.1	4 28.6	10 71.4	1 7.1	0 0.0	
	愛の手帳 3度	20 100.0	0 0.0	15 75.0	10 50.0	5 25.0	9 45.0	10 50.0	15 75.0	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳 4度	16 100.0	0 0.0	12 75.0	10 62.5	3 18.8	5 31.3	9 56.3	13 81.3	0 0.0	0 0.0	
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳1級	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳2級	5 100.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	
	精神障害者保健 福祉手帳3級	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	



豊島区では、平成 24 年 5 月に WHO（世界保健機関）による「セーフコミュニティ」の認証を取得し、平成 30 年 2 月には再認証を取得しました。

『セーフコミュニティ』とは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防できる」という考え方のもと、地域コミュニティの力を活用して、安全と健康の質を高めていくまちづくり活動です。

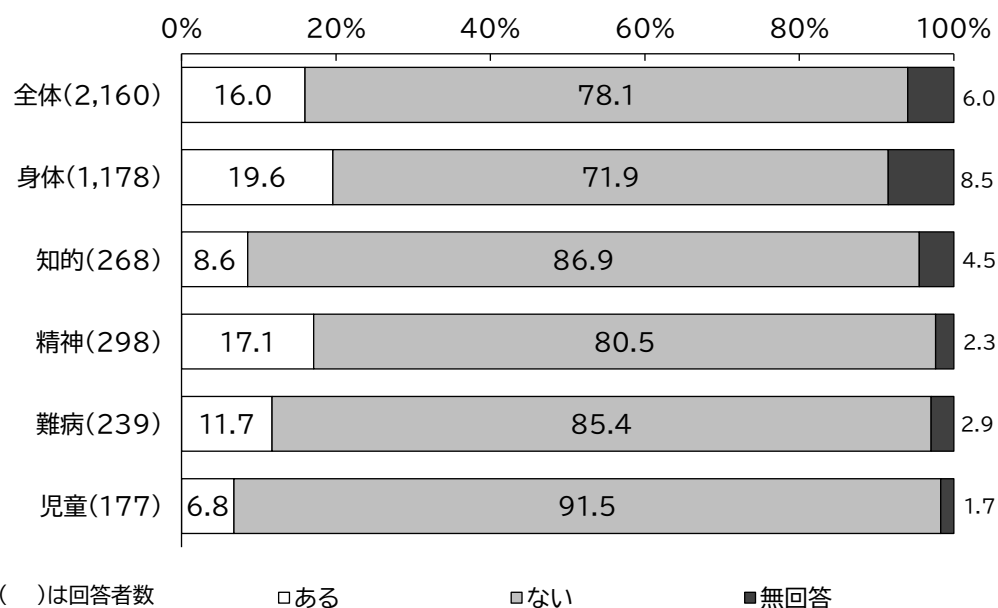
以下、「けが」についての質問にお答えください。

（6）【身知精難児】問 41 この 1 年以内の外出時のけがの有無

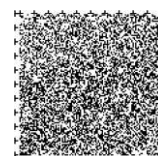
問 外出時、この 1 年以内に「けが」をしたことがありますか。（○は 1 つ）

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

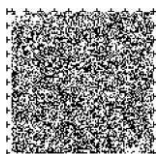


- 全体：2,160 人のうち、「ない」が 78.1%、「ある」が 16.0%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「ない」が 71.9%、「ある」が 19.6%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「ない」が 86.9%、「ある」が 8.6%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「ない」が 80.5%、「ある」が 17.1%となっています。
- 難病：239 人のうち、「ない」が 85.4%、「ある」が 11.7%となっています。
- 児童：177 人のうち、「ない」が 91.5%、「ある」が 6.8%となっています。



単純集計：この1年以内の外出時のけがの有無／身体障害 障害部位別

		合計	ある	ない	無回答
全体		1,178 100.0	231 19.6	<u>847</u> <u>71.9</u>	100 8.5
障害部位別	視覚障害	101 100.0	33 32.7	<u>61</u> <u>60.4</u>	7 6.9
	聴覚障害	120 100.0	13 10.8	<u>92</u> <u>76.7</u>	15 12.5
	平衡機能障害	16 100.0	4 25.0	<u>12</u> <u>75.0</u>	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	3 20.0	<u>11</u> <u>73.3</u>	1 6.7
	肢体不自由	529 100.0	115 21.7	<u>373</u> <u>70.5</u>	41 7.8
	内部障害	331 100.0	54 16.3	<u>250</u> <u>75.5</u>	27 8.2



(7) 【身知精難児】問 41-1 けがをした理由

【問 41 で、「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】

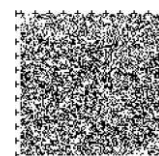
問 41-1 「けが」をした理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

	合計	歩道等の段差	歩道上の障害物(放置自転車、はみ出し商品等)	雨天時に歩道がすべりやすくて	通行人とぶつかって	歩きスマホをしている人とぶつかって	自転車と接触して	スマホを操作しながら運転している自転車と接触して	自動車・バイクと接触して	その他	無回答	
全体	345 100.0	<u>184</u> <u>53.3</u>	60 17.4	63 18.3	38 11.0	36 10.4	29 8.4	8 2.3	8 2.3	119 34.5	7 2.0	
調査票種別	身体	231 100.0	<u>128</u> <u>55.4</u>	48 20.8	45 19.5	30 13.0	30 13.0	21 9.1	6 2.6	4 1.7	80 34.6	6 2.6
	知的	23 100.0	<u>10</u> <u>43.5</u>	3 13.0	7 30.4	4 17.4	2 8.7	1 4.3	0 0.0	0 0.0	9 39.1	0 0.0
	精神	51 100.0	<u>24</u> <u>47.1</u>	4 7.8	6 11.8	2 3.9	3 5.9	6 11.8	2 3.9	3 5.9	19 37.3	1 2.0
	難病	28 100.0	<u>18</u> <u>64.3</u>	4 14.3	4 14.3	2 7.1	1 3.6	1 3.6	0 0.0	1 3.6	4 14.3	0 0.0
	児童	12 100.0	4 <u>33.3</u>	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>7</u> <u>58.3</u>	0 0.0

- 全体：345 人のうち、「歩道等の段差」が 53.3% と最も多く、次いで「その他」が 34.5% となっています。
- 身体障害：231 人のうち、「歩道等の段差」が 55.4% と最も多く、次いで「その他」が 34.6% となっています。
- 知的障害：23 人のうち、「歩道等の段差」が 43.5% と最も多く、次いで「その他」が 39.1% となっています。
- 精神障害：51 人のうち、「歩道等の段差」が 47.1% と最も多く、次いで「その他」が 37.3% となっています。
- 難病：28 人のうち、「歩道等の段差」が 64.3% と最も多く、次いで「歩道上の障害物（放置自転車、はみ出し商品等）」「雨天時に歩道がすべりやすくて」「その他」がともに 14.3% となっています。
- 児童：12 人のうち、「その他」が 58.3% と最も多く、次いで「歩道等の段差」が 33.3% となっています。



(8) 【身知精難児】問 42 外出時に危険を感じたこと

問 最近、外出時に危険を感じたことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

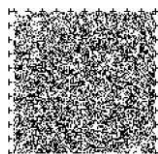
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

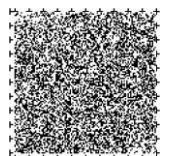
		合計	歩道の段差	放置自転車	商品のはみ出しや看板	歩道がすべりやすい	通行人	人 歩きスマホをしている	自転車 の通行	スマホを操作しながら 運転している自転車	自動車・バイクの通行	駅のホーム
全体		2,160 100.0	737 34.1	247 11.4	213 9.9	320 14.8	377 17.5	<u>999</u> <u>46.3</u>	857 39.7	808 37.4	436 20.2	263 12.2
調査票種別	身体	1,178 100.0	524 44.5	163 13.8	148 12.6	201 17.1	222 18.8	<u>596</u> <u>50.6</u>	492 41.8	471 40.0	217 18.4	142 12.1
	知的	268 100.0	42 15.7	24 9.0	9 3.4	17 6.3	31 11.6	<u>86</u> <u>32.1</u>	82 30.6	84 31.3	51 19.0	28 10.4
	精神	298 100.0	74 24.8	21 7.0	18 6.0	47 15.8	55 18.5	<u>121</u> <u>40.6</u>	111 37.2	100 33.6	69 23.2	43 14.4
	難病	239 100.0	62 25.9	19 7.9	25 10.5	34 14.2	31 13.0	<u>117</u> <u>49.0</u>	91 38.1	87 36.4	41 17.2	17 7.1
	児童	177 100.0	35 19.8	20 11.3	13 7.3	21 11.9	38 21.5	79 44.6	<u>81</u> <u>45.8</u>	66 37.3	58 32.8	33 18.6

(下表へ続く)

		合計	踏切	横断歩道	その他	特 に ない	無 回 答
全体		2,160 100.0	162 7.5	253 11.7	125 5.8	360 16.7	174 8.1
調査票種別	身体	1,178 100.0	104 8.8	157 13.3	57 4.8	138 11.7	124 10.5
	知的	268 100.0	10 3.7	23 8.6	12 4.5	75 28.0	26 9.7
	精神	298 100.0	22 7.4	32 10.7	25 8.4	65 21.8	11 3.7
	難病	239 100.0	7 2.9	12 5.0	13 5.4	50 20.9	7 2.9
	児童	177 100.0	19 10.7	29 16.4	18 10.2	32 18.1	6 3.4



- 全体：2,160人のうち、「歩きスマホをしている人」が46.3%と最も多く、次いで「自転車の通行」が39.7%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「歩きスマホをしている人」が50.6%と最も多く、次いで「歩道の段差」が44.5%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「歩きスマホをしている人」が32.1%と最も多く、次いで「スマホを操作しながら運転している自転車」が31.3%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「歩きスマホをしている人」が40.6%と最も多く、次いで「自転車の通行」が37.2%となっています。
- 難病：239人のうち、「歩きスマホをしている人」が49.0%と最も多く、次いで「自転車の通行」が38.1%となっています。
- 児童：177人のうち、「自転車の通行」が45.8%と最も多く、次いで「歩きスマホをしている人」が44.6%となっています。
- その他には、「電動キックボード」「歩きたばこ」などの回答があります。

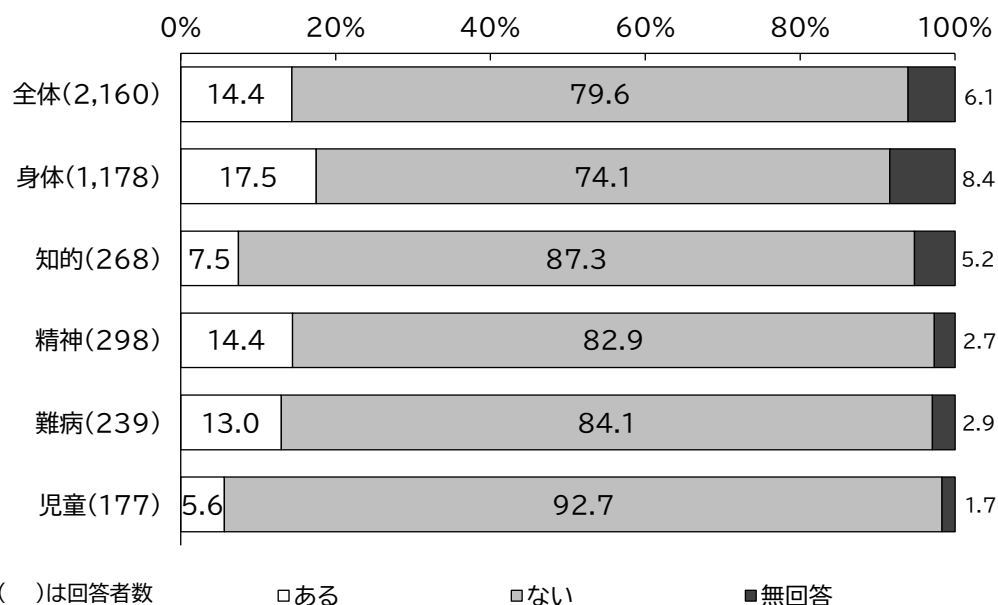


(9) 【身知精難児】問 43 この1年以内の自宅内のけがの有無

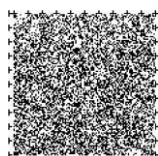
問 自宅内で、この1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



- 全体：2,160人のうち、「ない」が79.6%、「ある」が14.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「ない」が74.1%、「ある」が17.5%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「ない」が87.3%、「ある」が7.5%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「ない」が82.9%、「ある」が14.4%となっています。
- 難病：239人のうち、「ない」が84.1%、「ある」が13.0%となっています。
- 児童：177人のうち、「ない」が92.7%、「ある」が5.6%となっています。



(10) 【身知精難児】問 43-1 けがをした場所

【問 43 で、「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】

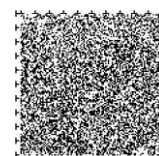
問 43-1 「けが」をした場所を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	階段	玄関	台所	居間	寝室	浴室	ベランダ	庭	その他	無回答
全体		310 100.0	61 19.7	46 14.8	63 20.3	<u>111</u> <u>35.8</u>	43 13.9	57 18.4	9 2.9	6 1.9	34 11.0	5 1.6
調査票種別	身体	206 100.0	38 18.4	40 19.4	31 15.0	<u>76</u> <u>36.9</u>	33 16.0	40 19.4	4 1.9	5 2.4	23 11.2	5 2.4
	知的	20 100.0	<u>8</u> <u>40.0</u>	2 10.0	2 10.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	4 20.0	0 0.0
	精神	43 100.0	5 11.6	1 2.3	15 34.9	<u>17</u> <u>39.5</u>	6 14.0	9 20.9	2 4.7	1 2.3	5 11.6	0 0.0
	難病	31 100.0	7 22.6	2 6.5	<u>13</u> <u>41.9</u>	8 25.8	3 9.7	4 12.9	2 6.5	0 0.0	2 6.5	0 0.0
	児童	10 100.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	<u>5</u> <u>50.0</u>	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- 全体：310人のうち、「居間」が35.8%と最も多く、次いで「台所」が20.3%となっています。
- 身体障害：206人のうち、「居間」が36.9%と最も多く、次いで「玄関」「浴室」がともに19.4%となっています。
- 知的障害：20人のうち、「階段」が40.0%と最も多く、次いで「居間」が25.0%となっています。
- 精神障害：43人のうち、「居間」が39.5%と最も多く、次いで「台所」が34.9%となっています。
- 難病：31人のうち、「台所」が41.9%と最も多く、次いで「居間」が25.8%となっています。
- 児童：10人のうち、「居間」が50.0%と最も多く、次いで「階段」が30.0%となっています。

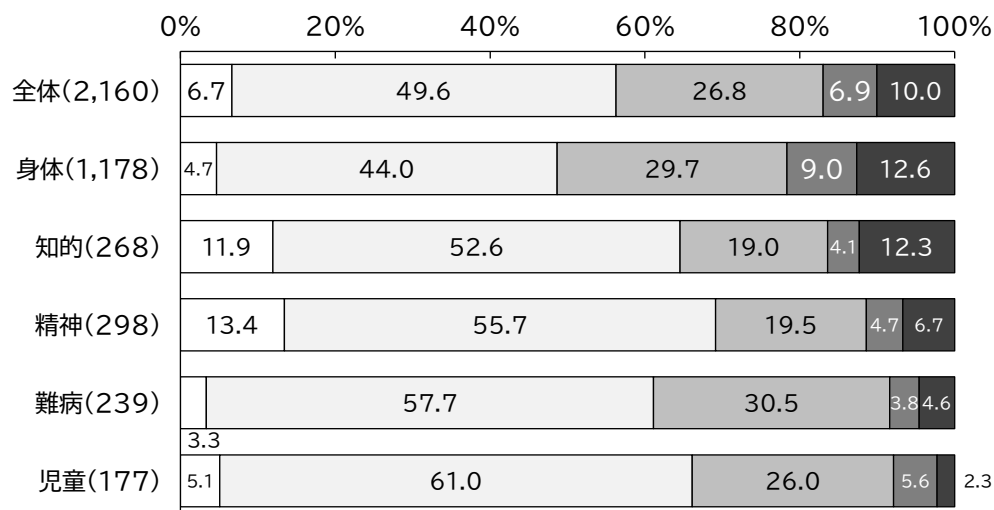


(11) 【身知精難児】問44 まちのバリアフリーの満足度

問 まちのバリアフリー〈※〉について満足していますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

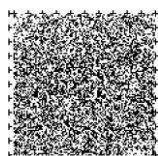
単純集計：調査票種別



()は回答者数 □とても満足 □おおむね満足 □やや不満 □とても不満 ■無回答
 している している である である

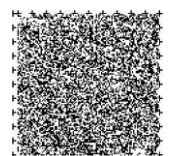
※『バリアフリー』とは、障害者や高齢者等が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを取り除くという意味です。

- 全体：2,160人のうち、「おおむね満足している」が49.6%と最も多く、次いで「やや不満である」が26.8%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「おおむね満足している」が44.0%と最も多く、次いで「やや不満である」が29.7%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「おおむね満足している」が52.6%と最も多く、次いで「やや不満である」が19.0%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「おおむね満足している」が55.7%と最も多く、次いで「やや不満である」が19.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「おおむね満足している」が57.7%と最も多く、次いで「やや不満である」が30.5%となっています。
- 児童：177人のうち、「おおむね満足している」が61.0%と最も多く、次いで「やや不満である」が26.0%となっています。



単純集計：まちのバリアフリーの満足度／身体障害 障害部位別

		合計	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	とても不満である	無回答
全体		1,178 100.0	55 4.7	<u>518</u> <u>44.0</u>	350 29.7	106 9.0	149 12.6
障害部位別	視覚障害	101 100.0	3 3.0	<u>40</u> <u>39.6</u>	35 34.7	12 11.9	11 10.9
	聴覚障害	120 100.0	8 6.7	<u>65</u> <u>54.2</u>	21 17.5	6 5.0	20 16.7
	平衡機能障害	16 100.0	1 6.3	<u>7</u> <u>43.8</u>	6 37.5	1 6.3	1 6.3
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	1 6.7	<u>6</u> <u>40.0</u>	3 20.0	2 13.3	3 20.0
	肢体不自由	529 100.0	13 2.5	<u>211</u> <u>39.9</u>	186 35.2	63 11.9	56 10.6
	内部障害	331 100.0	21 6.3	<u>168</u> <u>50.8</u>	83 25.1	18 5.4	41 12.4



(12) 【知精】問 36 外出時にあると安心な手助け・配慮

問 外出時にどのような手助けや配慮があると安心ですか。(あてはまるものすべてに○)

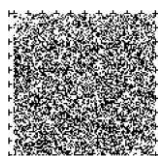
調査対象：

知的 精神

単純集計：調査票種別

		合計	同行支援	事前の計画・スケジュール提示	意思疎通のためのコミュニケーション支援 (短い指示やイラストなどの視覚支援ツール)	外出先の環境(音、光、混雑)を考慮して、 嫌な刺激を避けられる場所	緊張した時に安心できる場所 (休憩所や待合スペースなど)	突発的な事態に対する対策 (連絡先や支援者の把握)	障害のあるかたが利用しやすいルートや 交通手段	その他	特にない	無回答
全体		566 100.0	124 21.9	78 13.8	64 11.3	105 18.6	167 29.5	119 21.0	151 26.7	18 3.2	198 35.0	37 6.5
調査票種別	知的	268 100.0	77 28.7	47 17.5	35 13.1	35 13.1	54 20.1	58 21.6	66 24.6	8 3.0	95 35.4	20 7.5
	精神	298 100.0	47 15.8	31 10.4	29 9.7	70 23.5	113 37.9	61 20.5	85 28.5	10 3.4	103 34.6	17 5.7

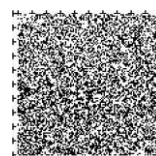
- 全体：566人のうち、「特にない」が35.0%と最も多く、次いで「緊張した時に安心できる場所（休憩所や待合スペースなど）」が29.5%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「特にない」が35.4%と最も多く、次いで「同行支援」が28.7%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「緊張した時に安心できる場所（休憩所や待合スペースなど）」が37.9%と最も多く、次いで「特にない」が34.6%となっています。



16 防災の意識・対策について

まとめ 218～246 ページ

- 区の防災対策のうち、ヘルプマークへの認知度は全体で 56.6%と高いが、次に高いのがヘルプカードの 26.3%、その他の項目についての認知度は高くない。安心安全メールへの認知度は、児童のみが 35.6%と高い。
- 全体の 66.9%のかたが、普段からヘルプマーク・ヘルプカードを身に着けていない。障害別では、難病のかたが 78.7%と最も多い。
- 日常的な防災への意識・対策では、意識はしているものの具体的な対策は行っていないかたが全体の 48.5%、意識して具体的な対策も行っているかたが 28.5%。知的・精神障害のかたでは、ほとんど意識していないかたが 2 割台と他の障害に比べて多い。
- 災害時を想定した具体的な対策を行っているかたの準備としては、全体の 69.4%が在宅避難用の準備をしているほか、持ち出し物品の準備、家族との連絡方法を決めている、避難場所や経路の確認を行っているかたが多い。
- 災害時の避難場所は自宅・避難所が多いが、全体の 14.5%が決めていない・わからない。
- 災害時を想定した自身の対応方法については、『不安』（「やや不安である」+「とても不安である」）が全体の 72.5%と、不安に感じているかたが多い。特に児童では『不安』が 80.2%。
- 災害時に必要と感じる支援・配慮は、全体では安全な場所への移動支援がもっとも多く 43.1%、避難所の誰でもトイレ、情報提供・通信手段への配慮も続いて多い。



(1) 【身知精難児】問 45 防災対策で知っていること・場所

問 豊島区が行っている以下の防災対策であなたが知っていること、場所はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

調査対象：

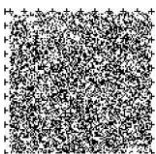
身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	ル 安心安全メ ー	ヘル プカード	災 害パンダ ナ	地 区防 災訓 練	地 域の救 援セ ン ター	福 祉救 援セ ン ター	緊 急地 震速 報受 信端 末器 (電 光掲 示板)	在 宅人 工呼 吸器 使用 者災 害時 個 別支 援計 画	ヘル プマ ーク
全体		2,160 100.0	277 12.8	568 26.3	31 1.4	250 11.6	81 3.8	82 3.8	47 2.2	19 0.9	1,223 56.6
調査票種別	身体	1,178 100.0	124 10.5	340 28.9	19 1.6	141 12.0	49 4.2	53 4.5	26 2.2	14 1.2	671 57.0
	知的	268 100.0	24 9.0	96 35.8	2 0.7	22 8.2	14 5.2	11 4.1	9 3.4	2 0.7	150 56.0
	精神	298 100.0	30 10.1	55 18.5	2 0.7	32 10.7	6 2.0	8 2.7	6 2.0	0 0.0	143 48.0
	難病	239 100.0	36 15.1	44 18.4	2 0.8	32 13.4	7 2.9	6 2.5	4 1.7	2 0.8	136 56.9
	児童	177 100.0	63 35.6	33 18.6	6 3.4	23 13.0	5 2.8	4 2.3	2 1.1	1 0.6	123 69.5

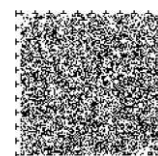
(下表へ続く)

		合計	災 害時 支 援力 ド	豊 島区 障 害者 防 災の 手引 き	災 害時 要 援 護 者 登 録	個 別 避 難 計 画(わ が 家 の ひ な ん 計 画)	安 否を 表示 する ため のシ ール (無 事 です シール)	そ の 他	特 に ない	無 回 答
全体		2,160 100.0	135 6.3	204 9.4	200 9.3	89 4.1	363 16.8	10 0.5	449 20.8	106 4.9
調査票種別	身体	1,178 100.0	84 7.1	121 10.3	149 12.6	44 3.7	263 22.3	5 0.4	216 18.3	67 5.7
	知的	268 100.0	26 9.7	38 14.2	32 11.9	18 6.7	60 22.4	2 0.7	51 19.0	13 4.9
	精神	298 100.0	6 2.0	16 5.4	6 2.0	7 2.3	8 2.7	3 1.0	101 33.9	12 4.0
	難病	239 100.0	3 1.3	12 5.0	3 1.3	11 4.6	10 4.2	0 0.0	60 25.1	10 4.2
	児童	177 100.0	16 9.0	17 9.6	10 5.6	9 5.1	22 12.4	0 0.0	21 11.9	4 2.3



- 全体：2,160 人のうち、「ヘルプマーク」が 56.6%と最も多く、次いで「ヘルプカード」が 26.3%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「ヘルプマーク」が 57.0%と最も多く、次いで「ヘルプカード」が 28.9%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「ヘルプマーク」が 56.0%と最も多く、次いで「ヘルプカード」が 35.8%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「ヘルプマーク」が 48.0%と最も多く、次いで「特にない」が 33.9%となっています。
- 難病：239 人のうち、「ヘルプマーク」が 56.9%と最も多く、次いで「特にない」が 25.1%となっています。
- 児童：177 人のうち、「ヘルプマーク」が 69.5%と最も多く、次いで「安心安全メール」が 35.6%となっています。

①豊島区版 ヘルプカード	②ヘルプマーク	③災害時支援カード (豊島区障害者防災の手引きに同封)	④豊島区障害者 防災の手引き
			



(2) 【身知精難児】問 46 ヘルプマーク、ヘルプカードの携帯

問 あなたは、普段からヘルプマーク、ヘルプカードを身に着けていますか。

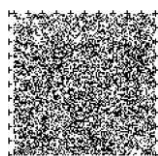
(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	ヘルプマークを身に 着けている	ヘルプカードを身に 着けている	どちらも身に着けて いない	無回答
全体		2,160 100.0	588 27.2	131 6.1	<u>1,444</u> <u>66.9</u>	88 4.1
調査票種別	身体	1,178 100.0	353 30.0	73 6.2	<u>737</u> <u>62.6</u>	67 5.7
	知的	268 100.0	91 34.0	30 11.2	<u>159</u> <u>59.3</u>	9 3.4
	精神	298 100.0	65 21.8	12 4.0	<u>228</u> <u>76.5</u>	1 0.3
	難病	239 100.0	40 16.7	9 3.8	<u>188</u> <u>78.7</u>	8 3.3
	児童	177 100.0	39 22.0	7 4.0	<u>132</u> <u>74.6</u>	3 1.7

- 全体：2,160 人のうち、「どちらも身に着けていない」が 66.9%と最も多く、次いで「ヘルプマークを身に着けている」が 27.2%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「どちらも身に着けていない」が 62.6%と最も多く、次いで「ヘルプマークを身に着けている」が 30.0%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「どちらも身に着けていない」が 59.3%と最も多く、次いで「ヘルプマークを身に着けている」が 34.0%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「どちらも身に着けていない」が 76.5%と最も多く、次いで「ヘルプマークを身に着けている」が 21.8%となっています。
- 難病：239 人のうち、「どちらも身に着けていない」が 78.7%と最も多く、次いで「ヘルプマークを身に着けている」が 16.7%となっています。
- 児童：177 人のうち、「どちらも身に着けていない」が 74.6%と最も多く、次いで「ヘルプマークを身に着けている」が 22.0%となっています。

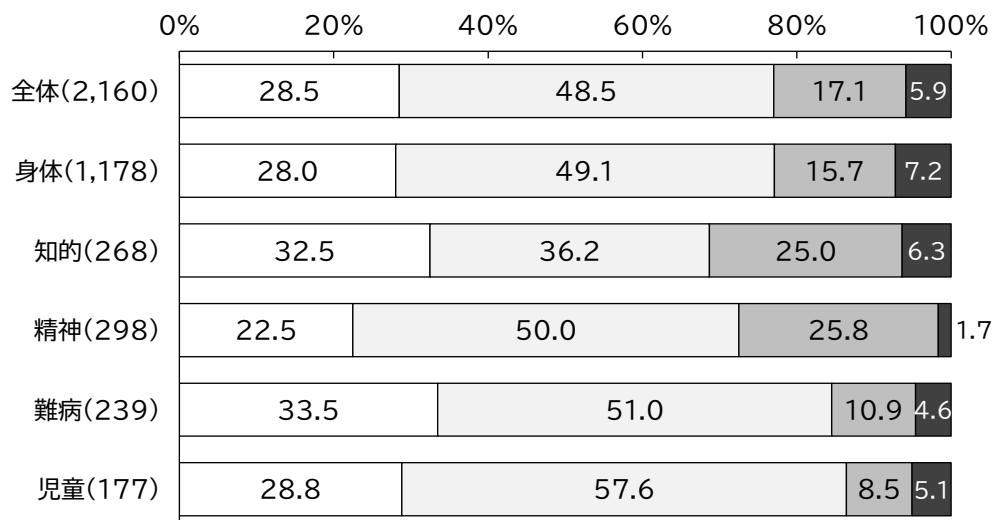


(3) 【身知精難児】問 47 防災対策実施の有無

問 あなたは日常的に防災を意識し、何か対策を行っていますか。(○は1つ)

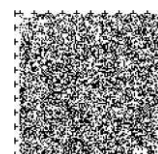
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



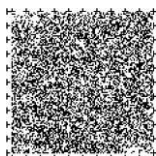
()は回答者数

- 防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている
- 防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない
- 防災についてほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない
- 無回答

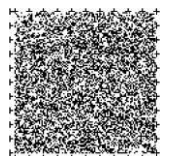


単純集計：防災対策実施の有無／身体障害 障害部位別

		合計	防災を日常的に意識し、 具体的な対策を行っている	防災について多少は意識しているが、 具体的な対策は行っていない	防災についてほとんど意識しておらず、 具体的な対策は行っていない	無回答
全体		1,178 100.0	330 28.0	<u>578</u> <u>49.1</u>	185 15.7	85 7.2
障害部位別	視覚障害	101 100.0	27 26.7	<u>49</u> <u>48.5</u>	18 17.8	7 6.9
	聴覚障害	120 100.0	26 21.7	<u>63</u> <u>52.5</u>	16 13.3	15 12.5
	平衡機能障害	16 100.0	<u>7</u> <u>43.8</u>	6 37.5	2 12.5	1 6.3
	音声・言語・そしゃく 機能の障害	15 100.0	5 33.3	<u>7</u> <u>46.7</u>	1 6.7	2 13.3
	肢体不自由	529 100.0	151 28.5	<u>253</u> <u>47.8</u>	91 17.2	34 6.4
	内部障害	331 100.0	93 28.1	<u>179</u> <u>54.1</u>	47 14.2	12 3.6



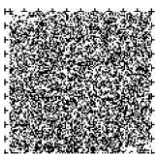
- 全体：2,160人のうち、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が48.5%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」が28.5%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が49.1%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」が28.0%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が36.2%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」が32.5%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が50.0%と最も多く、次いで「防災についてほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない」が25.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が51.0%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」が33.5%となっています。
- 児童：177人のうち、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が57.6%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」が28.8%となっています。



■クロス集計：防災対策実施の有無／手帳の等級・程度別

<全体>

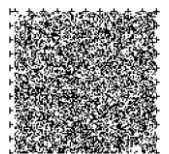
	合計	防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている	防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない	防災についてほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない	無回答	
全体	2,160 100.0	615 28.5	<u>1,048</u> <u>48.5</u>	370 17.1	127 5.9	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1 級	372 100.0	103 27.7	<u>186</u> <u>50.0</u>	65 17.5	18 4.8
	身体障害者手帳 2 級	212 100.0	56 26.4	<u>116</u> <u>54.7</u>	26 12.3	14 6.6
	身体障害者手帳 3 級	163 100.0	44 27.0	<u>86</u> <u>52.8</u>	27 16.6	6 3.7
	身体障害者手帳 4 級	219 100.0	67 30.6	<u>101</u> <u>46.1</u>	36 16.4	15 6.8
	身体障害者手帳 5 級	66 100.0	16 24.2	<u>37</u> <u>56.1</u>	9 13.6	4 6.1
	身体障害者手帳 6 級	75 100.0	21 28.0	<u>35</u> <u>46.7</u>	10 13.3	9 12.0
	身体障害者手帳 7 級	2 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0
	愛の手帳 1 度	8 100.0	3 37.5	<u>4</u> <u>50.0</u>	1 12.5	0 0.0
	愛の手帳 2 度	96 100.0	29 30.2	<u>34</u> <u>35.4</u>	26 27.1	7 7.3
	愛の手帳 3 度	90 100.0	32 35.6	<u>39</u> <u>43.3</u>	16 17.8	3 3.3
	愛の手帳 4 度	182 100.0	61 33.5	<u>72</u> <u>39.6</u>	39 21.4	10 5.5
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳 1 級	13 100.0	3 23.1	<u>5</u> <u>38.5</u>	<u>5</u> <u>38.5</u>	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳 2 級	174 100.0	39 22.4	<u>85</u> <u>48.9</u>	48 27.6	2 1.1
	精神障害者保健福祉手帳 3 級	139 100.0	30 21.6	<u>82</u> <u>59.0</u>	26 18.7	1 0.7



■クロス集計：防災対策実施の有無／災害時に必要と感じる支援・配慮別

<全体>

	合計	防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている	防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない	防災についてほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない	無回答	
全体	2,160 100.0	615 28.5	<u>1,048</u> <u>48.5</u>	370 17.1	127 5.9	
災害時に必要と感じる支援・配慮別	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	725 100.0	204 28.1	<u>394</u> <u>54.3</u>	104 14.3	23 3.2
	医療機器使用のための電源確保	233 100.0	62 26.6	<u>131</u> <u>56.2</u>	31 13.3	9 3.9
	安全な場所への移動の支援	932 100.0	256 27.5	<u>476</u> <u>51.1</u>	173 18.6	27 2.9
	避難所における誰でもトイレ	920 100.0	276 30.0	<u>470</u> <u>51.1</u>	145 15.8	29 3.2
	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	471 100.0	144 30.6	<u>246</u> <u>52.2</u>	76 16.1	5 1.1
	障害に応じた物資の確保 (ミキサー食、ストマ用装具等)	172 100.0	52 30.2	<u>88</u> <u>51.2</u>	28 16.3	4 2.3
	身の回りの介護をしてくれる人	321 100.0	84 26.2	<u>149</u> <u>46.4</u>	77 24.0	11 3.4
	その他	79 100.0	20 25.3	<u>45</u> <u>57.0</u>	12 15.2	2 2.5
	特になし	312 100.0	88 28.2	<u>144</u> <u>46.2</u>	63 20.2	17 5.4



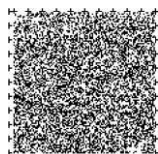
— 経年変化：調査票種別・身体障害 障害部位別 —

	合計		防災を日常的に意識し、 具体的な対策を行っている			防災について多少は意識し ているが、具体的な対策は 行っていない			防災についてほとんど意識 しておらず、具体的な対策 は行っていない			
	R4年度	R7年度	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	R4年度	R7年度	前回比	
全体	2,140 100.0	2,160 100.0	440 20.6	615 28.5	38.2%	1,114 52.1	1,048 48.5	-6.9%	372 17.4	370 17.1	-1.6%	
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	219 18.9	330 28.0	48.2%	607 52.3	578 49.1	-6.2%	213 18.3	185 15.7	-14.2%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	15 16.7	27 26.7	60.1%	46 51.1	49 48.5	-5.1%	21 23.3	18 17.8	-23.5%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	16 17.2	26 21.7	26.0%	57 61.3	63 52.5	-14.4%	14 15.1	16 13.3	-11.7%
	平衡機能 障害	21 100.0	16 100.0	3 14.3	7 43.8	205.9%	11 52.4	6 37.5	-28.4%	4 19.0	2 12.5	-34.2%
	音声・言語・ そしゃく機 能の障害	19 100.0	15 100.0	7 36.8	5 33.3	-9.4%	4 21.1	7 46.7	121.2%	2 10.5	1 6.7	-36.5%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	94 19.4	151 28.5	47.1%	264 54.5	253 47.8	-12.2%	96 19.8	91 17.2	-13.1%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	71 21.9	93 28.1	28.3%	176 54.3	179 54.1	-0.4%	54 16.7	47 14.2	-15.0%
	知的	272 100.0	268 100.0	35 12.9	87 32.5	151.6%	118 43.4	97 36.2	-16.6%	69 25.4	67 25.0	-1.6%
	精神	191 100.0	298 100.0	33 17.3	67 22.5	30.0%	107 56.0	149 50.0	-10.7%	40 20.9	77 25.8	23.6%
	難病	211 100.0	239 100.0	59 28.0	80 33.5	19.5%	112 53.1	122 51.0	-3.9%	28 13.3	26 10.9	-18.2%
	児童	305 100.0	177 100.0	94 30.8	51 28.8	-6.4%	170 55.7	102 57.6	3.5%	22 7.2	15 8.5	17.7%

※身体障害の部位は、身体調査票のかたのみ障害の主たる部位等を優先し単数回答として集計

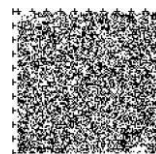
※前回比（比率の増減率・変化率）＝（今回比率÷前回比率－1）を％表示している

（次ページへ続く）



(前ページから続く)

		合計		無回答		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		2,140 100.0	2,160 100.0	214 10.0	127 5.9	-41.2%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	122 10.5	85 7.2	-31.3%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	8 8.9	7 6.9	-22.1%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	6 6.5	15 12.5	92.3%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	3 14.3	1 6.3	-56.3%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	6 31.6	2 13.3	-57.8%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	30 6.2	34 6.4	3.7%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	23 7.1	12 3.6	-48.9%
	知的	272 100.0	268 100.0	50 18.4	17 6.3	-65.5%
	精神	191 100.0	298 100.0	11 5.8	5 1.7	-71.1%
	難病	211 100.0	239 100.0	12 5.7	11 4.6	-19.3%
	児童	305 100.0	177 100.0	19 6.2	9 5.1	-18.0%



(4) 【身知精難児】問 47-1 具体的に行っている対策

【問 47 で「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」と答えたかたのみにかがいます。】

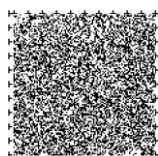
問 47-1 災害時を想定し、あなたは具体的にどのような対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

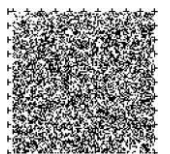
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	在宅避難用の準備をしている(予備バッテリー、水、非常用トイレ等)	持出し物品等の準備をしている	家族との連絡方法を決めている	民生委員・児童委員に協力をお願いしている	近隣住民に協力をお願いしている	避難場所や経路を確認している	避難する際の移動手段を確認・確保している	医療面での対応方法を確認している	その他	無回答
全体		615 100.0	<u>427</u> <u>69.4</u>	371 60.3	215 35.0	17 2.8	23 3.7	190 30.9	53 8.6	54 8.8	17 2.8	4 0.7
調査票種別	身体	330 100.0	<u>242</u> <u>73.3</u>	201 60.9	117 35.5	11 3.3	13 3.9	97 29.4	34 10.3	34 10.3	9 2.7	0 0.0
	知的	87 100.0	41 47.1	41 47.1	<u>42</u> <u>48.3</u>	2 2.3	5 5.7	34 39.1	4 4.6	6 6.9	5 5.7	0 0.0
	精神	67 100.0	<u>41</u> <u>61.2</u>	39 58.2	14 20.9	1 1.5	3 4.5	23 34.3	6 9.0	7 10.4	0 0.0	2 3.0
	難病	80 100.0	<u>61</u> <u>76.3</u>	53 66.3	31 38.8	1 1.3	2 2.5	18 22.5	5 6.3	6 7.5	3 3.8	2 2.5
	児童	51 100.0	<u>42</u> <u>82.4</u>	37 72.5	11 21.6	2 3.9	0 0.0	18 35.3	4 7.8	1 2.0	0 0.0	0 0.0

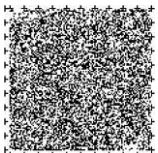


- 全体：615人のうち、「在宅避難用の準備をしている（予備バッテリー、水、非常用トイレ等）」が69.4%と最も多く、次いで「持出し物品等の準備をしている」が60.3%となっています。
- 身体障害：330人のうち、「在宅避難用の準備をしている（予備バッテリー、水、非常用トイレ等）」が73.3%と最も多く、次いで「持出し物品等の準備をしている」が60.9%となっています。
- 知的障害：87人のうち、「家族との連絡方法を決めている」が48.3%と最も多く、次いで「在宅避難用の準備をしている（予備バッテリー、水、非常用トイレ等）」「持出し物品等の準備をしている」がともに47.1%となっています。
- 精神障害：67人のうち、「在宅避難用の準備をしている（予備バッテリー、水、非常用トイレ等）」が61.2%と最も多く、次いで「持出し物品等の準備をしている」が58.2%となっています。
- 難病：80人のうち、「在宅避難用の準備をしている（予備バッテリー、水、非常用トイレ等）」が76.3%と最も多く、次いで「持出し物品等の準備をしている」が66.3%となっています。
- 児童：51人のうち、「在宅避難用の準備をしている（予備バッテリー、水、非常用トイレ等）」が82.4%と最も多く、次いで「持出し物品等の準備をしている」が72.5%となっています。



■クロス集計：具体的に行っている対策／災害時の対応に対する安心感別

		合計	在宅避難用の準備をしている(予備バッテリー、水、非常用トイレ等)	持出し物品等の準備をしている	家族との連絡方法を決めている	民生委員・児童委員に協力をお願いしている	近隣住民に協力をお願いしている	避難場所や経路を確認している	避難する際の移動手段を確認・確保している	医療面での対応方法を確認している	その他	無回答
全体		615 100.0	<u>427</u> <u>69.4</u>	371 60.3	215 35.0	17 2.8	23 3.7	190 30.9	53 8.6	54 8.8	17 2.8	4 0.7
災害時の対応に対する安心感別	とても安心感がある	29 100.0	16 <u>55.2</u>	<u>17</u> <u>58.6</u>	12 41.4	0 0.0	1 3.4	14 48.3	6 20.7	4 13.8	2 6.9	0 0.0
	おおむね安心感がある	163 100.0	<u>116</u> <u>71.2</u>	108 66.3	63 38.7	5 3.1	6 3.7	55 33.7	18 11.0	15 9.2	4 2.5	1 0.6
	やや不安である	296 100.0	<u>205</u> <u>69.3</u>	177 59.8	105 35.5	8 2.7	10 3.4	87 29.4	23 7.8	27 9.1	4 1.4	2 0.7
	とても不安である	115 100.0	<u>82</u> <u>71.3</u>	61 53.0	31 27.0	3 2.6	5 4.3	30 26.1	6 5.2	7 6.1	4 3.5	1 0.9



(5) 【身知精難児】問 48 災害時の避難場所

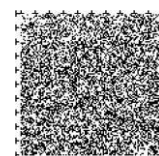
問 あなたは災害時に、どこに避難しますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、 わからない	無回答
全体		2,160 100.0	<u>1,293</u> <u>59.9</u>	221 10.2	58 2.7	1,116 51.7	72 3.3	313 14.5	54 2.5
調査票種別	身体	1,178 100.0	<u>713</u> <u>60.5</u>	117 9.9	37 3.1	547 46.4	37 3.1	185 15.7	37 3.1
	知的	268 100.0	<u>152</u> <u>56.7</u>	24 9.0	6 2.2	138 51.5	19 7.1	43 16.0	7 2.6
	精神	298 100.0	161 54.0	32 10.7	10 3.4	<u>181</u> <u>60.7</u>	12 4.0	47 15.8	3 1.0
	難病	239 100.0	<u>162</u> <u>67.8</u>	30 12.6	4 1.7	138 57.7	3 1.3	21 8.8	3 1.3
	児童	177 100.0	105 59.3	18 10.2	1 0.6	<u>112</u> <u>63.3</u>	1 0.6	17 9.6	4 2.3

- 全体：2,160人のうち、「自宅」が59.9%と最も多く、次いで「避難所」が51.7%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「自宅」が60.5%と最も多く、次いで「避難所」が46.4%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「自宅」が56.7%と最も多く、次いで「避難所」が51.5%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「避難所」が60.7%と最も多く、次いで「自宅」が54.0%となっています。
- 難病：239人のうち、「自宅」が67.8%と最も多く、次いで「避難所」が57.7%となっています。
- 児童：177人のうち、「避難所」が63.3%と最も多く、次いで「自宅」が59.3%となっています。



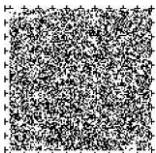
■クロス集計：災害時の避難場所／現在の生活場所別

<身体障害>

		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、 わからない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>713</u> <u>60.5</u>	117 9.9	37 3.1	547 46.4	37 3.1	185 15.7	37 3.1
現在の生活場所別	施設に入所している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	病院（介護医療院を含む）に入院している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	グループホームで暮らしている	12 100.0	<u>5</u> <u>41.7</u>	0 0.0	0 0.0	<u>5</u> <u>41.7</u>	3 25.0	2 16.7	0 0.0
	在宅（自宅、寮等）で暮らしている	958 100.0	<u>612</u> <u>63.9</u>	102 10.6	31 3.2	459 47.9	30 3.1	139 14.5	24 2.5
	その他	9 100.0	2 22.2	2 22.2	1 11.1	<u>5</u> <u>55.6</u>	1 11.1	2 22.2	0 0.0

<知的障害>

		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、 わからない	無回答
全体		268 100.0	<u>152</u> <u>56.7</u>	24 9.0	6 2.2	138 51.5	19 7.1	43 16.0	7 2.6
現在の生活場所	施設に入所している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	病院（介護医療院を含む）に入院している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	グループホームで暮らしている	28 100.0	9 32.1	2 7.1	0 0.0	<u>19</u> <u>67.9</u>	6 21.4	4 14.3	2 7.1
	在宅（自宅、寮等）で暮らしている	207 100.0	<u>130</u> <u>62.8</u>	16 7.7	4 1.9	99 47.8	10 4.8	33 15.9	5 2.4
	その他	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	<u>3</u> <u>50.0</u>	2 33.3	1 16.7	0 0.0

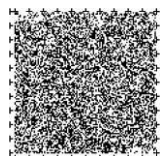


<精神障害>

		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、 わからない	無回答
全体		298 100.0	161 54.0	32 10.7	10 3.4	<u>181</u> <u>60.7</u>	12 4.0	47 15.8	3 1.0
現在の生活場所	施設に入所している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	病院（介護医療院を含む）に入院している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	グループホームで暮らしている	9 100.0	4 44.4	1 11.1	0 0.0	<u>6</u> <u>66.7</u>	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	在宅（自宅、寮等）で暮らしている	262 100.0	147 56.1	29 11.1	8 3.1	<u>160</u> <u>61.1</u>	10 3.8	43 16.4	3 1.1
	その他	4 100.0	<u>3</u> <u>75.0</u>	1 25.0	0 0.0	<u>3</u> <u>75.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0

<難病>

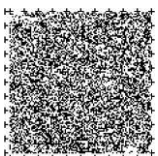
		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、 わからない	無回答
全体		239 100.0	<u>162</u> <u>67.8</u>	30 12.6	4 1.7	138 57.7	3 1.3	21 8.8	3 1.3
現在の生活場所	施設に入所している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	病院（介護医療院を含む）に入院している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	グループホームで暮らしている	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	在宅（自宅、寮等）で暮らしている	212 100.0	<u>144</u> <u>67.9</u>	27 12.7	3 1.4	125 59.0	3 1.4	20 9.4	2 0.9
	その他	1 100.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



■クロス集計：災害時の避難場所／手帳の等級・程度別

<全体>

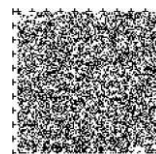
	合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決まていない、 わからない	無回答	
全体	2,160 100.0	<u>1,293</u> <u>59.9</u>	221 10.2	58 2.7	1,116 51.7	72 3.3	313 14.5	54 2.5	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳1級	372 100.0	<u>244</u> <u>65.6</u>	35 9.4	10 2.7	176 47.3	9 2.4	46 12.4	12 3.2
	身体障害者手帳2級	212 100.0	<u>128</u> <u>60.4</u>	22 10.4	5 2.4	86 40.6	9 4.2	32 15.1	6 2.8
	身体障害者手帳3級	163 100.0	<u>102</u> <u>62.6</u>	20 12.3	7 4.3	91 55.8	3 1.8	26 16.0	0 0.0
	身体障害者手帳4級	219 100.0	<u>127</u> <u>58.0</u>	24 11.0	8 3.7	103 47.0	7 3.2	39 17.8	6 2.7
	身体障害者手帳5級	66 100.0	<u>44</u> <u>66.7</u>	8 12.1	3 4.5	29 43.9	1 1.5	7 10.6	3 4.5
	身体障害者手帳6級	75 100.0	38 50.7	4 5.3	2 2.7	<u>39</u> <u>52.0</u>	3 4.0	14 18.7	1 1.3
	身体障害者手帳7級	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	<u>2</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳1度	8 100.0	<u>6</u> <u>75.0</u>	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳2度	96 100.0	<u>68</u> <u>70.8</u>	8 8.3	0 0.0	35 36.5	8 8.3	11 11.5	4 4.2
	愛の手帳3度	90 100.0	<u>60</u> <u>66.7</u>	11 12.2	1 1.1	46 51.1	9 10.0	10 11.1	2 2.2
	愛の手帳4度	182 100.0	97 53.3	13 7.1	6 3.3	<u>104</u> <u>57.1</u>	10 5.5	27 14.8	5 2.7
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	13 100.0	<u>8</u> <u>61.5</u>	1 7.7	1 7.7	6 46.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳2級	174 100.0	91 52.3	23 13.2	5 2.9	<u>98</u> <u>56.3</u>	9 5.2	33 19.0	2 1.1
	精神障害者保健福祉手帳3級	139 100.0	78 56.1	12 8.6	5 3.6	<u>88</u> <u>63.3</u>	4 2.9	21 15.1	2 1.4



■クロス集計：災害時の避難場所／災害時の対応に対する安心感別

<全体>

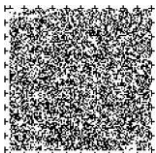
		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、 わからない	無回答
全体		2,160 100.0	<u>1,293</u> <u>59.9</u>	221 10.2	58 2.7	1,116 51.7	72 3.3	313 14.5	54 2.5
災害時の 対応に対する 安心感別	とても安心感がある	61 100.0	<u>38</u> <u>62.3</u>	7 11.5	2 3.3	30 49.2	6 9.8	7 11.5	0 0.0
	おおむね安心感がある	451 100.0	<u>320</u> <u>71.0</u>	57 12.6	19 4.2	249 55.2	16 3.5	29 6.4	2 0.4
	やや不安である	1,048 100.0	<u>661</u> <u>63.1</u>	118 11.3	29 2.8	588 56.1	31 3.0	124 11.8	7 0.7
	とても不安である	518 100.0	<u>259</u> <u>50.0</u>	36 6.9	8 1.5	234 45.2	15 2.9	138 26.6	2 0.4



■クロス集計：災害時の避難場所／災害時に必要と感じる支援・配慮別

<全体>

		合計	自宅	親族の家	知人・友人等の家	避難所	その他	決めていない、わからない	無回答
全体		2,160 100.0	<u>1,293</u> <u>59.9</u>	221 10.2	58 2.7	1,116 51.7	72 3.3	313 14.5	54 2.5
災害時に必要と感じる支援・配慮別	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	725 100.0	<u>461</u> <u>63.6</u>	85 11.7	23 3.2	417 57.5	26 3.6	90 12.4	5 0.7
	医療機器使用のための電源確保	233 100.0	134 57.5	26 11.2	11 4.7	<u>135</u> <u>57.9</u>	7 3.0	31 13.3	2 0.9
	安全な場所への移動の支援	932 100.0	<u>539</u> <u>57.8</u>	97 10.4	24 2.6	497 53.3	38 4.1	154 16.5	10 1.1
	避難所における誰でもトイレ	920 100.0	<u>560</u> <u>60.9</u>	101 11.0	30 3.3	532 57.8	35 3.8	123 13.4	8 0.9
	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	471 100.0	<u>304</u> <u>64.5</u>	60 12.7	15 3.2	281 59.7	24 5.1	58 12.3	2 0.4
	障害に応じた物資の確保 (ミキサー食、ストマ用装具等)	172 100.0	<u>101</u> <u>58.7</u>	23 13.4	5 2.9	89 51.7	7 4.1	28 16.3	0 0.0
	身の回りの介護をしてくれる人	321 100.0	<u>183</u> <u>57.0</u>	23 7.2	5 1.6	128 39.9	19 5.9	69 21.5	4 1.2
	その他	79 100.0	<u>51</u> <u>64.6</u>	8 10.1	2 2.5	39 49.4	8 10.1	9 11.4	2 2.5
	特になし	312 100.0	<u>184</u> <u>59.0</u>	26 8.3	8 2.6	151 48.4	6 1.9	49 15.7	2 0.6

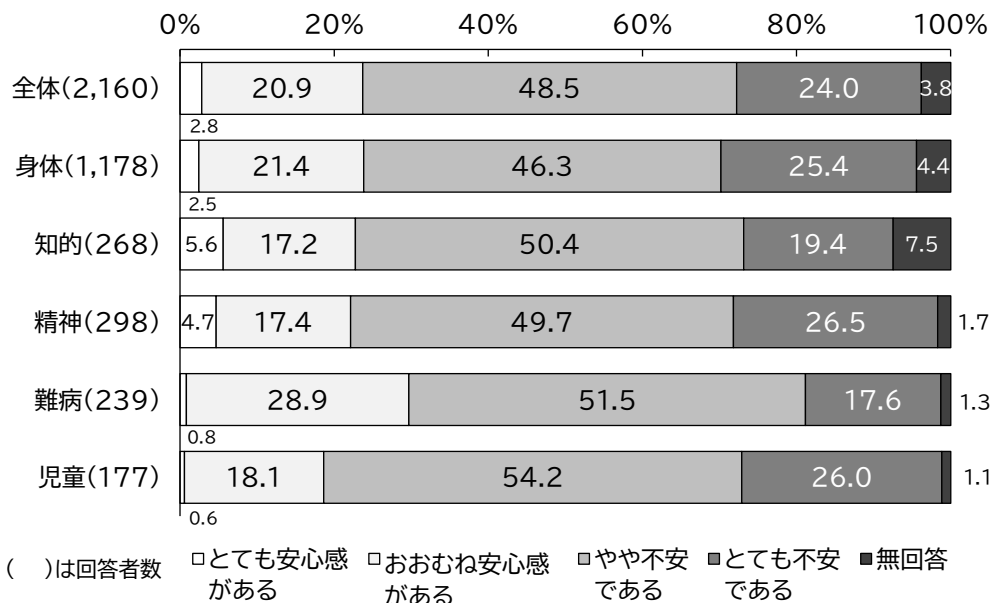


(6) 【身知精難児】問 49 災害時の対応に対する安心感

問 あなたは災害時を想定した自身の対応方法について、安心感がありますか。(○は1つ)

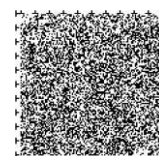
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

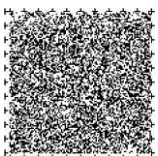


単純集計：災害時の対応に対する安心感／身体障害 障害部位別

		合計	とても安心感がある	おおむね安心感がある	やや不安である	とても不安である	無回答
全体		1,178	29	252	546	299	52
		100.0	2.5	21.4	46.3	25.4	4.4
障害部位別	視覚障害	101	2	23	52	23	1
		100.0	2.0	22.8	51.5	22.8	1.0
	聴覚障害	120	6	27	53	27	7
		100.0	5.0	22.5	44.2	22.5	5.8
	平衡機能障害	16	0	4	7	4	1
		100.0	0.0	25.0	43.8	25.0	6.3
音声・言語・そしゃく機能の障害	15	1	4	7	1	2	
	100.0	6.7	26.7	46.7	6.7	13.3	
肢体不自由	529	11	102	233	162	21	
	100.0	2.1	19.3	44.0	30.6	4.0	
内部障害	331	8	76	168	70	9	
	100.0	2.4	23.0	50.8	21.1	2.7	



- 全体：2,160人のうち、「やや不安である」が48.5%と最も多く、次いで「とても不安である」が24.0%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「やや不安である」が46.3%と最も多く、次いで「とても不安である」が25.4%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「やや不安である」が50.4%と最も多く、次いで「とても不安である」が19.4%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「やや不安である」が49.7%と最も多く、次いで「とても不安である」が26.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「やや不安である」が51.5%と最も多く、次いで「おおむね安心感がある」が28.9%となっています。
- 児童：177人のうち、「やや不安である」が54.2%と最も多く、次いで「とても不安である」が26.0%となっています。



■クロス集計：災害時の対応に対する安心感／同居家族別

<身体障害>

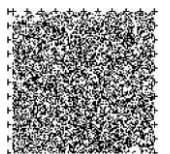
		合計	ある とても 安心感 が	ある おおむね 安心感 がある	やや不安である	る とても 不安であ	無回答
全体		1,178 100.0	29 2.5	252 21.4	<u>546</u> <u>46.3</u>	299 25.4	52 4.4
同居家族別	ひとり暮らし	351 100.0	9 2.6	58 16.5	<u>170</u> <u>48.4</u>	97 27.6	17 4.8
	それ以外	819 100.0	20 2.4	193 23.6	<u>373</u> <u>45.5</u>	200 24.4	33 4.0

<知的障害>

		合計	ある とても 安心感 が	ある おおむね 安心感 がある	やや不安である	る とても 不安であ	無回答
全体		268 100.0	15 5.6	46 17.2	<u>135</u> <u>50.4</u>	52 19.4	20 7.5
同居家族別	ひとり暮らし	39 100.0	4 10.3	12 30.8	<u>14</u> <u>35.9</u>	5 12.8	4 10.3
	それ以外	222 100.0	10 4.5	34 15.3	<u>117</u> <u>52.7</u>	47 21.2	14 6.3

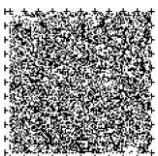
<精神障害>

		合計	ある とても 安心感 が	ある おおむね 安心感 がある	やや不安である	る とても 不安であ	無回答
全体		298 100.0	14 4.7	52 17.4	<u>148</u> <u>49.7</u>	79 26.5	5 1.7
同居家族別	ひとり暮らし	176 100.0	7 4.0	34 19.3	<u>81</u> <u>46.0</u>	51 29.0	3 1.7
	それ以外	121 100.0	7 5.8	17 14.0	<u>67</u> <u>55.4</u>	28 23.1	2 1.7



<難病>

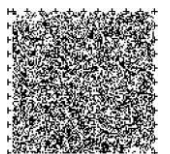
		合計	とても 安心感 がある	おむね 安心感 がある	やや不安 である	とても不安 である	無回答
全体		239 100.0	2 0.8	69 28.9	<u>123</u> <u>51.5</u>	42 17.6	3 1.3
同居家族別	ひとり暮らし	70 100.0	1 1.4	19 27.1	<u>35</u> <u>50.0</u>	13 18.6	2 2.9
	それ以外	169 100.0	1 0.6	50 29.6	<u>88</u> <u>52.1</u>	29 17.2	1 0.6



■クロス集計：災害時の対応に対する安心感／手帳の等級・程度別

<全体>

		合計	とても ある	おむね 安心感 がある	やや不安である	とても不安である	無回答
全体		2,160 100.0	61 2.8	451 20.9	<u>1,048</u> <u>48.5</u>	518 24.0	82 3.8
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳1級	372 100.0	7 1.9	82 22.0	<u>166</u> <u>44.6</u>	102 27.4	15 4.0
	身体障害者手帳2級	212 100.0	8 3.8	40 18.9	<u>100</u> <u>47.2</u>	58 27.4	6 2.8
	身体障害者手帳3級	163 100.0	5 3.1	25 15.3	<u>79</u> <u>48.5</u>	51 31.3	3 1.8
	身体障害者手帳4級	219 100.0	8 3.7	52 23.7	<u>100</u> <u>45.7</u>	50 22.8	9 4.1
	身体障害者手帳5級	66 100.0	0 0.0	17 25.8	<u>34</u> <u>51.5</u>	13 19.7	2 3.0
	身体障害者手帳6級	75 100.0	0 0.0	21 28.0	<u>36</u> <u>48.0</u>	14 18.7	4 5.3
	身体障害者手帳7級	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳1度	8 100.0	0 0.0	<u>3</u> <u>37.5</u>	2 25.0	<u>3</u> <u>37.5</u>	0 0.0
	愛の手帳2度	96 100.0	1 1.0	16 16.7	<u>40</u> <u>41.7</u>	32 33.3	7 7.3
	愛の手帳3度	90 100.0	5 5.6	12 13.3	<u>42</u> <u>46.7</u>	28 31.1	3 3.3
	愛の手帳4度	182 100.0	10 5.5	38 20.9	<u>91</u> <u>50.0</u>	31 17.0	12 6.6
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳1級	13 100.0	3 23.1	1 7.7	<u>5</u> <u>38.5</u>	4 30.8	0 0.0
	精神障害者保健福祉手帳2級	174 100.0	6 3.4	34 19.5	<u>68</u> <u>39.1</u>	60 34.5	6 3.4
	精神障害者保健福祉手帳3級	139 100.0	3 2.2	24 17.3	<u>78</u> <u>56.1</u>	32 23.0	2 1.4



(7) 【身知精難児】問 50 災害時に必要と感じる支援・配慮

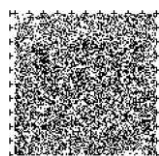
問 あなたが災害時に必要と感じる支援・配慮はありますか。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別

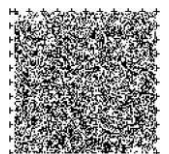
		合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電 源確保	安全な場所への移動の支 援	避難所における誰でもト イレ	医薬品の処方や人工透析が受 けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保(ミ キサー食、ストマ用器具等)	身の回りの介護をしてく れる人	その他	特にな い	無回 答
全体		2,160 100.0	725 33.6	233 10.8	<u>932</u> <u>43.1</u>	920 42.6	471 21.8	172 8.0	321 14.9	79 3.7	312 14.4	86 4.0
調査票種別	身体	1,178 100.0	389 33.0	128 10.9	<u>519</u> <u>44.1</u>	491 41.7	276 23.4	123 10.4	212 18.0	33 2.8	132 11.2	63 5.3
	知的	268 100.0	87 32.5	19 7.1	<u>155</u> <u>57.8</u>	110 41.0	27 10.1	8 3.0	60 22.4	3 1.1	44 16.4	11 4.1
	精神	298 100.0	94 31.5	33 11.1	116 38.9	<u>132</u> <u>44.3</u>	78 26.2	21 7.0	26 8.7	17 5.7	53 17.8	3 1.0
	難病	239 100.0	98 41.0	31 13.0	69 28.9	<u>110</u> <u>46.0</u>	73 30.5	5 2.1	13 5.4	8 3.3	47 19.7	5 2.1
	児童	177 100.0	57 32.2	22 12.4	73 41.2	<u>77</u> <u>43.5</u>	17 9.6	15 8.5	10 5.6	18 10.2	36 20.3	4 2.3

- 全体：2,160 人のうち、「安全な場所への移動の支援」が 43.1%と最も多く、次いで「避難所における誰でもトイレ」が 42.6%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「安全な場所への移動の支援」が 44.1%と最も多く、次いで「避難所における誰でもトイレ」が 41.7%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「安全な場所への移動の支援」が 57.8%と最も多く、次いで「避難所における誰でもトイレ」が 41.0%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「避難所における誰でもトイレ」が 44.3%と最も多く、次いで「安全な場所への移動の支援」が 38.9%となっています。
- 難病：239 人のうち、「避難所における誰でもトイレ」が 46.0%と最も多く、次いで「情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報等）」が 41.0%となっています。
- 児童：177 人のうち、「避難所における誰でもトイレ」が 43.5%と最も多く、次いで「安全な場所への移動の支援」が 41.2%となっています。



単純集計：災害時に必要と感じる支援・配慮／身体障害 障害部位別

	合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電源確保	安全な場所への移動の支援	避難所における誰でもトイレ	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保 (ミキサー食、ストマ用器具等)	身の回りの介護をしてくれる人	その他	特にない	無回答	
全体	1,178 100.0	389 33.0	128 10.9	<u>519</u> <u>44.1</u>	491 41.7	276 23.4	123 10.4	212 18.0	33 2.8	132 11.2	63 5.3	
障害部位別	視覚障害	101 100.0	54 53.5	5 5.0	<u>56</u> <u>55.4</u>	31 30.7	10 9.9	4 4.0	22 21.8	1 1.0	14 13.9	2 2.0
	聴覚障害	120 100.0	<u>81</u> <u>67.5</u>	15 12.5	48 40.0	49 40.8	7 5.8	11 9.2	9 7.5	6 5.0	7 5.8	10 8.3
	平衡機能障害	16 100.0	2 12.5	1 6.3	<u>7</u> <u>43.8</u>	<u>7</u> <u>43.8</u>	1 6.3	1 6.3	6 37.5	1 6.3	2 12.5	1 6.3
	音声・言語・そし ゃく機能の障害	15 100.0	<u>6</u> <u>40.0</u>	2 13.3	<u>6</u> <u>40.0</u>	4 26.7	0 0.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3	2 13.3	3 20.0
	肢体不自由	529 100.0	141 26.7	46 8.7	<u>283</u> <u>53.5</u>	263 49.7	92 17.4	53 10.0	136 25.7	17 3.2	65 12.3	23 4.3
	内部障害	331 100.0	94 28.4	55 16.6	89 26.9	112 33.8	<u>158</u> <u>47.7</u>	47 14.2	20 6.0	6 1.8	35 10.6	13 3.9



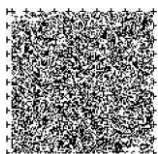
■クロス集計：災害時に必要と感じる支援・配慮／同居家族別

<身体障害>

		合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電源確保	安全な場所への移動の支援	避難所における誰でもトイレ	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保 (ミキサー食、ストマ用器具等)	身の回りの介護をしてくれる人	その他	特にない	無回答
全体		1,178 100.0	389 33.0	128 10.9	<u>519</u> <u>44.1</u>	491 41.7	276 23.4	123 10.4	212 18.0	33 2.8	132 11.2	63 5.3
同居家族別	ひとり暮らし	351 100.0	124 35.3	25 7.1	<u>152</u> <u>43.3</u>	135 38.5	71 20.2	34 9.7	59 16.8	13 3.7	48 13.7	20 5.7
	それ以外	819 100.0	263 32.1	102 12.5	<u>364</u> <u>44.4</u>	354 43.2	203 24.8	89 10.9	152 18.6	20 2.4	84 10.3	40 4.9

<知的障害>

		合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電源確保	安全な場所への移動の支援	避難所における誰でもトイレ	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保 (ミキサー食、ストマ用器具等)	身の回りの介護をしてくれる人	その他	特にない	無回答
全体		268 100.0	87 32.5	19 7.1	<u>155</u> <u>57.8</u>	110 41.0	27 10.1	8 3.0	60 22.4	3 1.1	44 16.4	11 4.1
同居家族別	ひとり暮らし	39 100.0	14 35.9	6 15.4	<u>17</u> <u>43.6</u>	12 30.8	2 5.1	2 5.1	4 10.3	0 0.0	10 25.6	2 5.1
	それ以外	222 100.0	70 31.5	13 5.9	<u>132</u> <u>59.5</u>	96 43.2	25 11.3	5 2.3	52 23.4	3 1.4	34 15.3	9 4.1

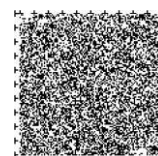


<精神障害>

		合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電源確保	安全な場所への移動の支援	避難所における誰でもトイレ	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保(ミキサー食、ストマ用器具等)	身の回りの介護をしてくれる人	その他	特にない	無回答
全体		298 100.0	94 31.5	33 11.1	116 38.9	<u>132</u> <u>44.3</u>	78 26.2	21 7.0	26 8.7	17 5.7	53 17.8	3 1.0
同居家族別	ひとり暮らし	176 100.0	60 34.1	18 10.2	75 42.6	<u>80</u> <u>45.5</u>	39 22.2	12 6.8	17 9.7	11 6.3	30 17.0	1 0.6
	それ以外	121 100.0	34 28.1	15 12.4	41 33.9	<u>51</u> <u>42.1</u>	39 32.2	8 6.6	8 6.6	6 5.0	23 19.0	2 1.7

<難病>

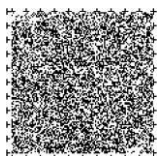
		合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電源確保	安全な場所への移動の支援	避難所における誰でもトイレ	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保(ミキサー食、ストマ用器具等)	身の回りの介護をしてくれる人	その他	特にない	無回答
全体		239 100.0	98 41.0	31 13.0	69 28.9	<u>110</u> <u>46.0</u>	73 30.5	5 2.1	13 5.4	8 3.3	47 19.7	5 2.1
同居家族別	ひとり暮らし	70 100.0	<u>36</u> <u>51.4</u>	11 15.7	20 28.6	35 50.0	20 28.6	1 1.4	4 5.7	3 4.3	9 12.9	3 4.3
	それ以外	169 100.0	62 36.7	20 11.8	49 29.0	<u>75</u> <u>44.4</u>	53 31.4	4 2.4	9 5.3	5 3.0	38 22.5	2 1.2



■クロス集計：災害時に必要と感じる支援・配慮／手帳の等級・程度別

<全体>

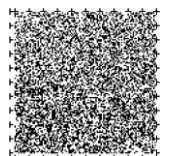
	合計	情報提供・通信手段への配慮 (文字や音声による情報等)	医療機器使用のための電源確保	安全な場所への移動の支援	避難所における誰でもトイレ	医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供	障害に応じた物資の確保(ミキサー食、ストマ用装置等)	身の回りの介護をしてくれる人	その他	特にない	無回答	
全体	2,160 100.0	725 33.6	233 10.8	<u>932</u> 43.1	920 42.6	471 21.8	172 8.0	321 14.9	79 3.7	312 14.4	86 4.0	
手帳の等級・程度別	身体障害者手帳 1級	372 100.0	111 29.8	69 18.5	141 37.9	119 32.0	<u>167</u> 44.9	41 11.0	65 17.5	10 2.7	29 7.8	20 5.4
	身体障害者手帳 2級	212 100.0	87 41.0	22 10.4	<u>113</u> 53.3	97 45.8	21 9.9	14 6.6	54 25.5	6 2.8	21 9.9	7 3.3
	身体障害者手帳 3級	163 100.0	61 37.4	14 8.6	<u>79</u> 48.5	78 47.9	33 20.2	17 10.4	22 13.5	3 1.8	20 12.3	3 1.8
	身体障害者手帳 4級	219 100.0	71 32.4	17 7.8	97 44.3	<u>112</u> 51.1	28 12.8	42 19.2	30 13.7	5 2.3	26 11.9	13 5.9
	身体障害者手帳 5級	66 100.0	17 25.8	2 3.0	<u>27</u> 40.9	<u>27</u> 40.9	9 13.6	2 3.0	6 9.1	1 1.5	19 28.8	3 4.5
	身体障害者手帳 6級	75 100.0	<u>38</u> 50.7	5 6.7	30 40.0	29 38.7	8 10.7	5 6.7	13 17.3	7 9.3	7 9.3	4 5.3
	身体障害者手帳 7級	2 100.0	<u>1</u> 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 1度	8 100.0	3 37.5	1 12.5	6 75.0	4 50.0	2 25.0	4 50.0	<u>7</u> 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	愛の手帳 2度	96 100.0	21 21.9	4 4.2	<u>61</u> 63.5	42 43.8	13 13.5	12 12.5	47 49.0	6 6.3	6 6.3	4 4.2
	愛の手帳 3度	90 100.0	39 43.3	3 3.3	<u>65</u> 72.2	44 48.9	11 12.2	6 6.7	27 30.0	4 4.4	7 7.8	4 4.4
	愛の手帳 4度	182 100.0	54 29.7	20 11.0	<u>87</u> 47.8	64 35.2	25 13.7	9 4.9	20 11.0	9 4.9	42 23.1	7 3.8
	愛の手帳 その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害者保健 福祉手帳1級	13 100.0	5 38.5	2 15.4	<u>8</u> 61.5	4 30.8	3 23.1	1 7.7	4 30.8	0 0.0	1 7.7	1 7.7
	精神障害者保健 福祉手帳2級	174 100.0	52 29.9	18 10.3	75 43.1	<u>82</u> 47.1	49 28.2	14 8.0	23 13.2	11 6.3	30 17.2	4 2.3
	精神障害者保健 福祉手帳3級	139 100.0	46 33.1	15 10.8	56 40.3	<u>59</u> 42.4	38 27.3	10 7.2	16 11.5	7 5.0	25 18.0	2 1.4



17 社会参加等について

まとめ 248~271 ページ

- 近所付き合いの程度は、あいさつ程度が全体の 47.8%、ほとんど行っていないが 29.5%。よく行っているという回答は全体の 4.5%で1割に満たない。
- 地域における障害等への理解は、『理解を得られている』（「よく理解を得られている」＋「おおむね理解を得られている」）が全体の 40.1%、『理解を得られていない』（「あまり理解を得られていない」＋「理解を得られていない」）が全体の 53.9%で、『理解を得られていない』が『理解を得られている』を 13.8 ポイント上回っている。
- 休日の過ごし方は、テレビや音楽鑑賞、買い物が多く、知的障害や難病のかたは家族や友人等と外出する、精神障害のかたはインターネットをするかたも多い。
- 精神障害のかたの病気に対して、家族が『理解している』（「よく理解をしている」＋「おおむね理解している」）は 53.7%。一方、家族が『理解していない』（「あまり理解していない」＋「まったく理解していない」）と感じるかたは 29.2%。
- 障害者団体活動への参加率は、全体の 8.7%にとどまっている。知的障害のかたの参加率は 24.6%で他の障害より多い。
- 参加していない理由は、団体の存在を知らない、活動内容がわからないといった、団体の認知に関する回答が多い。
- 運動やスポーツに対しては全体の 71.1%が『興味がある』（「興味があり、すでに行っている」＋「興味はあるが、行っていない」）、28.7%がすでに行っている。精神障害のかたは興味がないという回答が多い。
- 運動やスポーツを行っているかたの実施頻度は『週に1日以上』（「週に3日以上」＋「週に1~2日」）が全体の 81.9%。
- 文化芸術活動に対しては全体の 60.1%が『興味がある』（「興味があり、すでに取り組んでいる」＋「興味はあるが、取り組んでいない」）、19.8%がすでに取り組んでいる。知的障害のかたは興味がないという回答が多い。
- 文化芸術活動に取り組んでいるかたの参加頻度は、月に1~3日が最も多く、全体の 36.7%。
- 地域での交流やつながりを築く上で、障壁となっていると感じることは、いずれの障害も声をかける自信がない、外出に不安があるが多い。

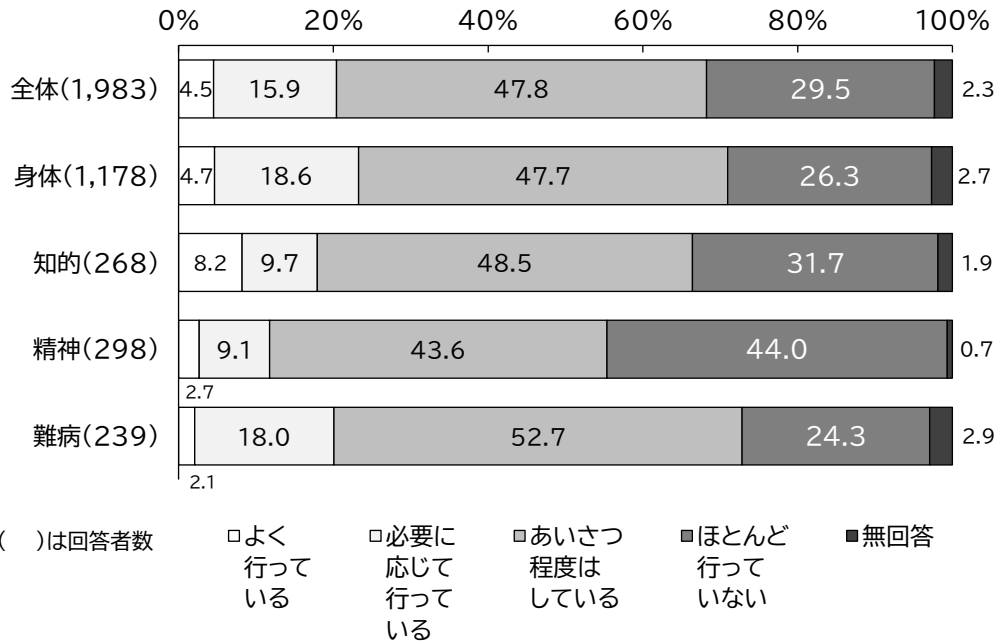


(1) 【身知精難】問 51 近所付き合い

問 ご近所とのお付き合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

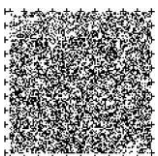
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

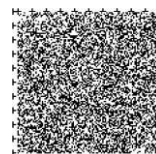


単純集計：近所付き合い／身体障害 障害部位別

		合計	よく行っている	必要に応じて行っている	あいさつ程度はしている	ほとんど行っていない	無回答
全体		1,178	55	219	<u>562</u>	310	32
		100.0	4.7	18.6	<u>47.7</u>	26.3	2.7
障害部位別	視覚障害	101	6	23	<u>39</u>	33	0
		100.0	5.9	22.8	<u>38.6</u>	32.7	0.0
	聴覚障害	120	3	20	<u>59</u>	33	5
		100.0	2.5	16.7	<u>49.2</u>	27.5	4.2
	平衡機能障害	16	2	3	4	<u>6</u>	1
		100.0	12.5	18.8	25.0	<u>37.5</u>	6.3
音声・言語・そしゃく機能の障害	15	3	2	<u>7</u>	2	1	
	100.0	20.0	13.3	<u>46.7</u>	13.3	6.7	
肢体不自由	529	25	87	<u>255</u>	150	12	
	100.0	4.7	16.4	<u>48.2</u>	28.4	2.3	
内部障害	331	11	67	<u>175</u>	72	6	
	100.0	3.3	20.2	<u>52.9</u>	21.8	1.8	



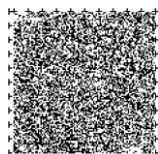
- 全体：1,983人のうち、「あいさつ程度はしている」が47.8%と最も多く、次いで「ほとんど行っていない」が29.5%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「あいさつ程度はしている」が47.7%と最も多く、次いで「ほとんど行っていない」が26.3%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「あいさつ程度はしている」が48.5%と最も多く、次いで「ほとんど行っていない」が31.7%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「ほとんど行っていない」が44.0%と最も多く、次いで「あいさつ程度はしている」が43.6%となっています。
- 難病：239人のうち、「あいさつ程度はしている」が52.7%と最も多く、次いで「ほとんど行っていない」が24.3%となっています。



■クロス集計：近所付き合い／本人の年齢別

<全体>

		合計	よく行っている	必要に応じて行っている	あいさつ程度はしている	ほとんど行っていない	無回答
全体		1,983 100.0	90 4.5	315 15.9	<u>948</u> <u>47.8</u>	584 29.5	46 2.3
本人の年齢別	18～29 歳	191 100.0	6 3.1	13 6.8	<u>102</u> <u>53.4</u>	69 36.1	1 0.5
	30～39 歳	223 100.0	5 2.2	24 10.8	<u>97</u> <u>43.5</u>	95 42.6	2 0.9
	40～49 歳	294 100.0	14 4.8	44 15.0	<u>140</u> <u>47.6</u>	93 31.6	3 1.0
	50～59 歳	459 100.0	16 3.5	58 12.6	<u>233</u> <u>50.8</u>	144 31.4	8 1.7
	60～69 歳	353 100.0	9 2.5	64 18.1	<u>189</u> <u>53.5</u>	84 23.8	7 2.0
	70～79 歳	212 100.0	18 8.5	46 21.7	<u>95</u> <u>44.8</u>	39 18.4	14 6.6
	80 歳以上	228 100.0	20 8.8	63 27.6	<u>84</u> <u>36.8</u>	51 22.4	10 4.4

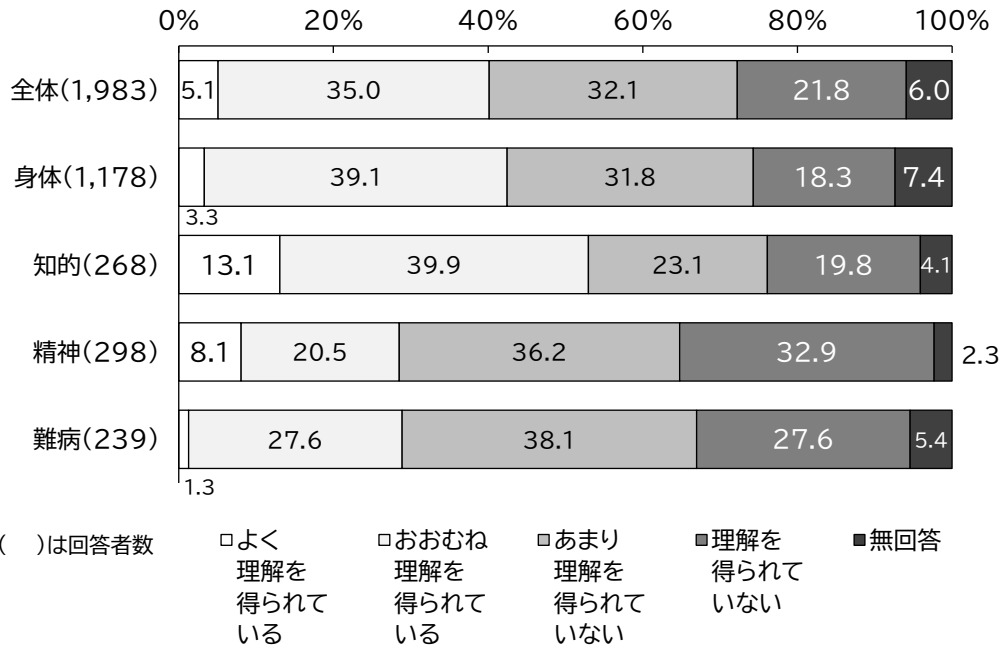


(2) 【身知精難】問 52 地域における障害等への理解

問 地域で暮らす上で、障害や疾病に対して理解を得られていると感じていますか。(○は1つ)

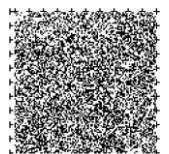
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

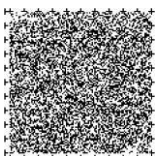


単純集計：地域における障害等への理解／身体障害 障害部位別

		合計	よく理解を得られている	おおむね理解を得られている	あまり理解を得られない	理解を得られない	無回答
全体		1,178	39	<u>461</u>	375	216	87
		100.0	3.3	<u>39.1</u>	31.8	18.3	7.4
障害部位別	視覚障害	101	2	<u>42</u>	32	20	5
		100.0	2.0	<u>41.6</u>	31.7	19.8	5.0
	聴覚障害	120	5	<u>46</u>	37	23	9
		100.0	4.2	<u>38.3</u>	30.8	19.2	7.5
	平衡機能障害	16	1	<u>5</u>	<u>7</u>	2	1
		100.0	6.3	31.3	<u>43.8</u>	12.5	6.3
音声・言語・そしゃく機能の障害	15	2	<u>5</u>	2	<u>5</u>	1	
	100.0	13.3	<u>33.3</u>	13.3	<u>33.3</u>	6.7	
肢体不自由	529	21	<u>221</u>	165	93	29	
	100.0	4.0	<u>41.8</u>	31.2	17.6	5.5	
内部障害	331	4	116	<u>117</u>	66	28	
	100.0	1.2	35.0	<u>35.3</u>	19.9	8.5	



- 全体：1,983人のうち、「おおむね理解を得られている」が35.0%と最も多く、次いで「あまり理解を得られていない」が32.1%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「おおむね理解を得られている」が39.1%と最も多く、次いで「あまり理解を得られていない」が31.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「おおむね理解を得られている」が39.9%と最も多く、次いで「あまり理解を得られていない」が23.1%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「あまり理解を得られていない」が36.2%と最も多く、次いで「理解を得られていない」が32.9%となっています。
- 難病：239人のうち、「あまり理解を得られていない」が38.1%と最も多く、次いで「おおむね理解を得られている」「理解を得られていない」がともに27.6%となっています。

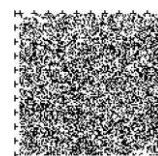


— 経年変化：調査票種別・身体障害 障害部位別 —

		合計		よく理解を得られている			おおむね理解を得られている			あまり理解を得られていない		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		1,835 100.0	1,983 100.0	83 4.5	101 5.1	13.2%	558 30.4	<u>695</u> <u>35.0</u>	15.3%	641 34.9	636 32.1	-8.1%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	43 3.7	39 3.3	-10.5%	377 32.5	<u>461</u> <u>39.1</u>	20.4%	423 36.4	375 31.8	-12.5%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	2 2.2	2 2.0	-10.0%	27 30.0	<u>42</u> <u>41.6</u>	38.6%	37 41.1	32 31.7	-22.9%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	4 4.3	5 4.2	-3.1%	36 38.7	<u>46</u> <u>38.3</u>	-0.9%	33 35.5	37 30.8	-13.1%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	1 4.8	1 6.3	30.2%	6 28.6	5 31.3	9.3%	7 33.3	<u>7</u> <u>43.8</u>	31.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	1 5.3	2 13.3	151.6%	7 36.8	<u>5</u> <u>33.3</u>	-9.4%	4 21.1	2 13.3	-36.8%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	20 4.1	21 4.0	-3.2%	165 34.1	<u>221</u> <u>41.8</u>	22.5%	181 37.4	165 31.2	-16.6%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	14 4.3	4 1.2	-71.9%	101 31.2	116 35.0	12.3%	130 40.1	<u>117</u> <u>35.3</u>	-11.9%
	知的	272 100.0	268 100.0	26 9.6	35 13.1	36.0%	81 29.8	<u>107</u> <u>39.9</u>	34.0%	71 26.1	62 23.1	-11.4%
	精神	191 100.0	298 100.0	11 5.8	24 8.1	38.9%	46 24.1	61 20.5	-15.1%	61 31.9	<u>108</u> <u>36.2</u>	13.6%
	難病	211 100.0	239 100.0	3 1.4	3 1.3	-10.3%	54 25.6	66 27.6	7.9%	86 40.8	<u>91</u> <u>38.1</u>	-6.7%

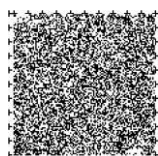
※身体障害の部位は、身体調査票のかたのみ障害の主たる部位等を優先し単数回答として集計
 ※前回比（比率の増減率・変化率）＝（今回比率÷前回比率－1）を％表示している

（次ページへ続く）



(前ページから続く)

		合計		理解を得られていない			無回答		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		1,835 100.0	1,983 100.0	364 19.8	433 21.8	10.3%	189 10.3	118 6.0	-42.2%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	195 16.8	216 18.3	9.1%	123 10.6	87 7.4	-30.3%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	15 16.7	20 19.8	18.6%	9 10.0	5 5.0	-50.5%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	14 15.1	23 19.2	26.9%	6 6.5	9 7.5	15.4%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	6 28.6	2 12.5	-56.3%	1 4.8	1 6.3	30.2%
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	3 15.8	<u>5</u> <u>33.3</u>	111.0%	4 21.1	1 6.7	-68.4%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	86 17.8	93 17.6	-1.2%	32 6.6	29 5.5	-16.9%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	57 17.6	66 19.9	13.3%	22 6.8	28 8.5	24.4%
	知的	272 100.0	268 100.0	55 20.2	53 19.8	-2.1%	39 14.3	11 4.1	-71.3%
	精神	191 100.0	298 100.0	62 32.5	98 32.9	1.2%	11 5.8	7 2.3	-59.5%
	難病	211 100.0	239 100.0	52 24.6	66 27.6	12.3%	16 7.6	13 5.4	-28.4%



(3) 【身知精難】問 53 休日の主な過ごし方

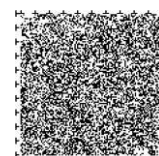
問 あなたは、休日主に何をしておいでしておいでしてありますか。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

		合計	外出 家族や友人等との	散歩	買い物	賞 テレビや音楽の鑑	スポーツ観戦	スポーツ活動(自 分で行う)	絵画の創作、楽器 演奏等の芸術活動	読書
全体		1,983 100.0	689 34.7	530 26.7	782 39.4	<u>863</u> <u>43.5</u>	148 7.5	110 5.5	77 3.9	256 12.9
調査票種別	身体	1,178 100.0	395 33.5	308 26.1	423 35.9	<u>512</u> <u>43.5</u>	108 9.2	62 5.3	37 3.1	171 14.5
	視覚障害	101 100.0	33 32.7	29 28.7	37 36.6	<u>41</u> <u>40.6</u>	7 6.9	10 9.9	5 5.0	10 9.9
	聴覚障害	120 100.0	40 33.3	31 25.8	<u>47</u> <u>39.2</u>	46 38.3	14 11.7	10 8.3	5 4.2	22 18.3
	平衡機能障害	16 100.0	1 6.3	2 12.5	3 18.8	<u>11</u> <u>68.8</u>	2 12.5	0 0.0	0 0.0	2 12.5
	音声・言語・そしゃく 機能の障害	15 100.0	4 26.7	4 26.7	5 33.3	<u>6</u> <u>40.0</u>	3 20.0	1 6.7	0 0.0	4 26.7
	肢体不自由	529 100.0	177 33.5	126 23.8	173 32.7	<u>247</u> <u>46.7</u>	38 7.2	23 4.3	15 2.8	77 14.6
	内部障害	331 100.0	122 36.9	104 31.4	134 40.5	<u>137</u> <u>41.4</u>	37 11.2	16 4.8	10 3.0	50 15.1
	知的	268 100.0	122 45.5	96 35.8	127 47.4	<u>131</u> <u>48.9</u>	13 4.9	22 8.2	13 4.9	19 7.1
	精神	298 100.0	75 25.2	76 25.5	115 38.6	128 43.0	19 6.4	11 3.7	23 7.7	34 11.4
	難病	239 100.0	97 40.6	50 20.9	<u>117</u> <u>49.0</u>	92 38.5	8 3.3	15 6.3	4 1.7	32 13.4

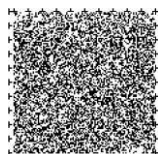
(次ページへ続く)



(前ページから続く)

		合計	インターネット	趣味活動	ゲーム	家事	その他	特にない	無回答
全体		1,983 100.0	580 29.2	338 17.0	289 14.6	494 24.9	94 4.7	98 4.9	43 2.2
調査票種別	身体	1,178 100.0	319 27.1	207 17.6	133 11.3	279 23.7	52 4.4	63 5.3	34 2.9
	視覚障害	101 100.0	31 30.7	16 15.8	12 11.9	20 19.8	7 6.9	6 5.9	0 0.0
	聴覚障害	120 100.0	29 24.2	23 19.2	19 15.8	28 23.3	4 3.3	8 6.7	5 4.2
	平衡機能障害	16 100.0	2 12.5	1 6.3	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	3 20.0	2 13.3	2 13.3	2 13.3	1 6.7	2 13.3	2 13.3
	肢体不自由	529 100.0	143 27.0	99 18.7	67 12.7	113 21.4	22 4.2	30 5.7	12 2.3
	内部障害	331 100.0	101 30.5	58 17.5	27 8.2	96 29.0	14 4.2	12 3.6	4 1.2
	知的	268 100.0	51 19.0	26 9.7	56 20.9	32 11.9	15 5.6	11 4.1	5 1.9
	精神	298 100.0	<u>134</u> <u>45.0</u>	64 21.5	80 26.8	83 27.9	21 7.0	12 4.0	1 0.3
	難病	239 100.0	76 31.8	41 17.2	20 8.4	<u>100</u> 41.8	6 2.5	12 5.0	3 1.3

- 全体：1,983 人のうち、「テレビや音楽の鑑賞」が 43.5%と最も多く、次いで「買い物」が 39.4%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「テレビや音楽の鑑賞」が 43.5%と最も多く、次いで「買い物」が 35.9%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「テレビや音楽の鑑賞」が 48.9%と最も多く、次いで「買い物」が 47.4%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「インターネット」が 45.0%と最も多く、次いで「テレビや音楽の鑑賞」が 43.0%となっています。
- 難病：239 人のうち、「買い物」が 49.0%と最も多く、次いで「家事」が 41.8%となっています。

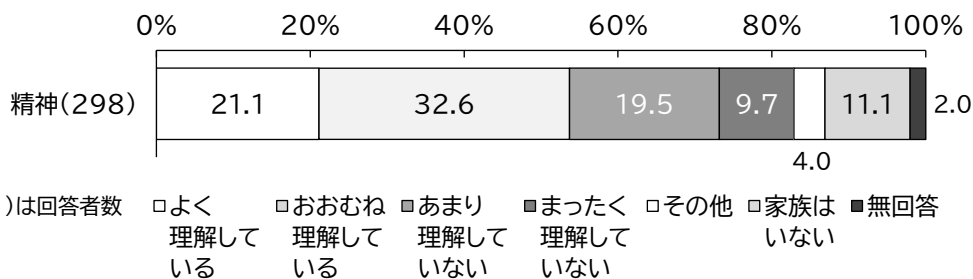


(4) 【精】 問 44 あなたの病気に対する家族の理解度

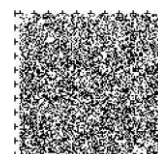
問 あなたのご家族は、あなたの病気について、十分理解していると思いますか。(○は1つ)

調査対象： 精神

単純集計：調査票種別



- 精神障害：298人のうち、「おおむね理解している」が32.6%と最も多く、次いで「よく理解している」が21.1%となっています。約3割は『理解していない』（「あまり理解していない」+「まったく理解していない」）となっています。

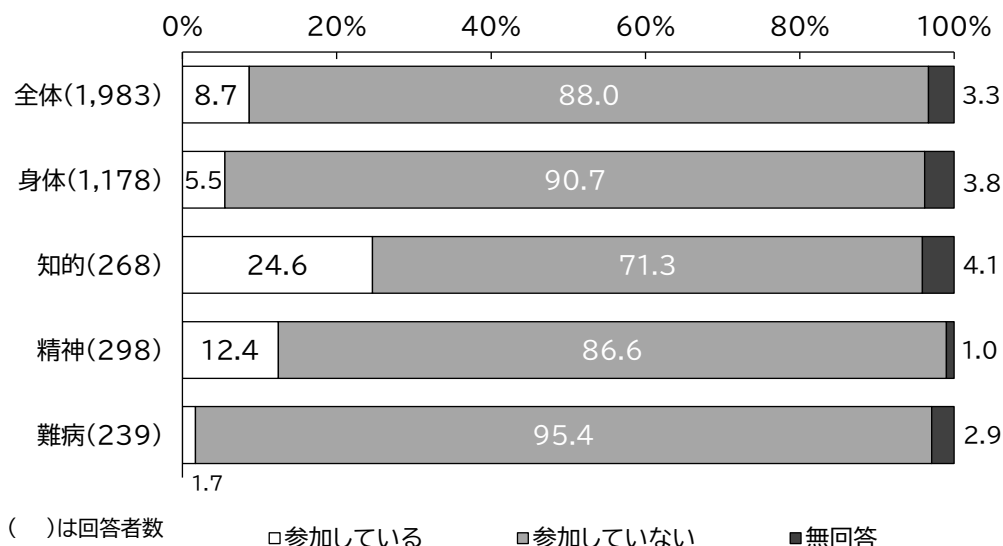


(5) 【身知精難】問 54 障害者団体活動への参加の有無

問 あなたは、障害者団体（※）の活動に参加していますか。（○は1つ）

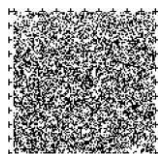
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



※『障害者団体』とは、当事者団体の他、当事者の家族や支援者による支援団体を含みます。

- 全体：1,983人のうち、「参加していない」が88.0%、「参加している」が8.7%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「参加していない」が90.7%、「参加している」が5.5%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「参加していない」が71.3%、「参加している」が24.6%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「参加していない」が86.6%、「参加している」が12.4%となっています。
- 難病：239人のうち、「参加していない」が95.4%、「参加している」が1.7%となっています。



(6) 【身知精難】問 54-1 参加していない理由

【問 54 で、「参加していない」と答えたかたのみにおうかがいします。】

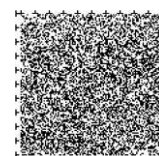
問 54-1 参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	ほかの活動をしている	束縛されることがいやだ	障害者団体の存在を知らない	活動内容がわからない	その他	必要性を感じない	無回答
全体		1,745 100.0	139 8.0	278 15.9	<u>686</u> <u>39.3</u>	671 38.5	129 7.4	334 19.1	78 4.5
調査票種別	身体	1,068 100.0	88 8.2	161 15.1	<u>439</u> <u>41.1</u>	383 35.9	82 7.7	212 19.9	56 5.2
	知的	191 100.0	20 10.5	31 16.2	57 29.8	<u>70</u> <u>36.6</u>	17 8.9	36 18.8	9 4.7
	精神	258 100.0	23 8.9	53 20.5	113 43.8	<u>119</u> <u>46.1</u>	19 7.4	42 16.3	5 1.9
	難病	228 100.0	8 3.5	33 14.5	77 33.8	<u>99</u> <u>43.4</u>	11 4.8	44 19.3	8 3.5

- 全体：1,745 人のうち、「障害者団体の存在を知らない」が 39.3%と最も多く、次いで「活動内容がわからない」が 38.5%となっています。
- 身体障害：1,068 人のうち、「障害者団体の存在を知らない」が 41.1%と最も多く、次いで「活動内容がわからない」が 35.9%となっています。
- 知的障害：191 人のうち、「活動内容がわからない」が 36.6%と最も多く、次いで「障害者団体の存在を知らない」が 29.8%となっています。
- 精神障害：258 人のうち、「活動内容がわからない」が 46.1%と最も多く、次いで「障害者団体の存在を知らない」が 43.8%となっています。
- 難病：228 人のうち、「活動内容がわからない」が 43.4%と最も多く、次いで「障害者団体の存在を知らない」が 33.8%となっています。

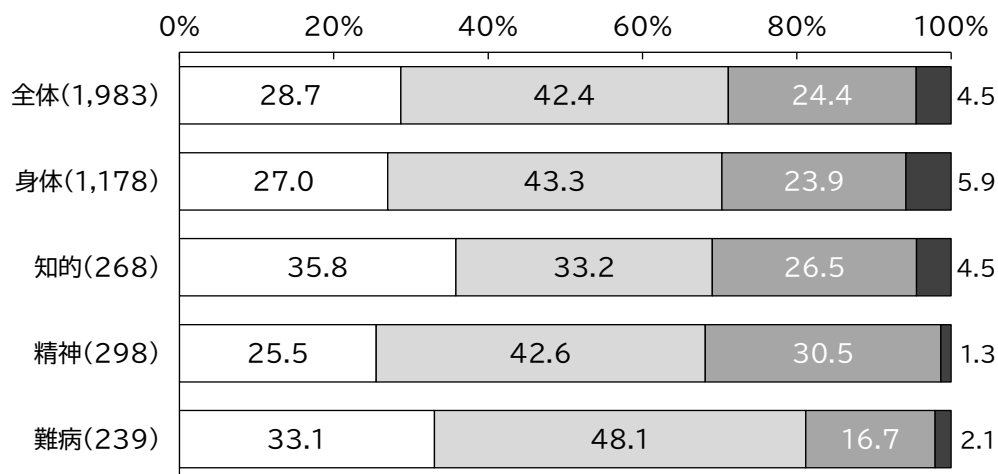


(7) 【身知精難】問 55 運動・スポーツへの関心と実施状況

問 あなたは、運動やスポーツ〈※〉に興味がありますか。また、行っていますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

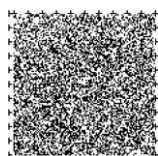


()は回答者数 □運動やスポーツに興味があり、すでにやっている □運動やスポーツに興味があるが、行っていない □運動やスポーツに興味がないため行っていない ■無回答

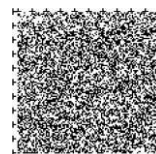
※ここでの『運動やスポーツ』とは、競技スポーツだけでなく、ウォーキングや体操、ストレッチ等の軽い運動も含まれます。

単純集計：運動・スポーツへの関心と実施状況／身体障害 障害部位別

		合計	すでに運動やスポーツに興味があり、すでにやっている	運動やスポーツに興味があるが、行っていない	運動やスポーツに興味がないため行っていない	無回答
全体		1,178	318	510	281	69
		100.0	27.0	43.3	23.9	5.9
障害部位別	視覚障害	101	33	43	23	2
		100.0	32.7	42.6	22.8	2.0
	聴覚障害	120	43	45	20	12
		100.0	35.8	37.5	16.7	10.0
	平衡機能障害	16	4	6	6	0
		100.0	25.0	37.5	37.5	0.0
音声・言語・そしゃく機能の障害	15	5	4	4	2	
	100.0	33.3	26.7	26.7	13.3	
肢体不自由	529	126	227	140	36	
	100.0	23.8	42.9	26.5	6.8	
内部障害	331	93	155	74	9	
	100.0	28.1	46.8	22.4	2.7	



- 全体：1,983人のうち、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が42.4%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が28.7%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が43.3%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が27.0%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が35.8%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が33.2%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が42.6%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味がないため行っていない」が30.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が48.1%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が33.1%となっています。



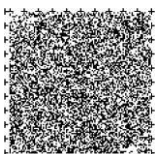
■クロス集計：運動・スポーツへの関心と実施状況／本人の年齢区分別

<身体障害>

		合計	運動やスポーツに興味があり、すでに行っている	運動やスポーツに興味があるが、行っていない	運動やスポーツに興味がないため行っていない	無回答
全体		1,178 100.0	318 27.0	510 43.3	281 23.9	69 5.9
本人の年齢区分別	18～29 歳	57 100.0	14 24.6	24 42.1	18 31.6	1 1.8
	30～49 歳	212 100.0	56 26.4	92 43.4	58 27.4	6 2.8
	50～64 歳	461 100.0	115 24.9	220 47.7	109 23.6	17 3.7
	65 歳以上	439 100.0	130 29.6	170 38.7	95 21.6	44 10.0

<知的障害>

		合計	運動やスポーツに興味があり、すでに行っている	運動やスポーツに興味があるが、行っていない	運動やスポーツに興味がないため行っていない	無回答
全体		268 100.0	96 35.8	89 33.2	71 26.5	12 4.5
本人の年齢区分別	18～29 歳	73 100.0	40 54.8	20 27.4	12 16.4	1 1.4
	30～49 歳	103 100.0	32 31.1	37 35.9	30 29.1	4 3.9
	50～64 歳	61 100.0	17 27.9	21 34.4	19 31.1	4 6.6
	65 歳以上	29 100.0	6 20.7	11 37.9	9 31.0	3 10.3

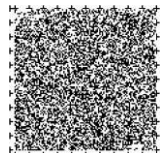


<精神障害>

		合計	運動やスポーツに興味があり、すでに行っている	運動やスポーツに興味があるが、行っていない	運動やスポーツに興味がないため行っていない	無回答
全体		298 100.0	76 25.5	<u>127</u> <u>42.6</u>	91 30.5	4 1.3
本人の年齢区分別	18～29 歳	48 100.0	11 22.9	<u>25</u> <u>52.1</u>	12 25.0	0 0.0
	30～49 歳	124 100.0	40 32.3	<u>52</u> <u>41.9</u>	31 25.0	1 0.8
	50～64 歳	94 100.0	18 19.1	<u>38</u> <u>40.4</u>	36 38.3	2 2.1
	65 歳以上	24 100.0	6 25.0	<u>9</u> <u>37.5</u>	8 33.3	1 4.2

<難病>

		合計	運動やスポーツに興味があり、すでに行っている	運動やスポーツに興味があるが、行っていない	運動やスポーツに興味がないため行っていない	無回答
全体		239 100.0	79 33.1	<u>115</u> <u>48.1</u>	40 16.7	5 2.1
本人の年齢区分別	18～29 歳	13 100.0	<u>6</u> <u>46.2</u>	<u>6</u> <u>46.2</u>	1 7.7	0 0.0
	30～49 歳	78 100.0	20 25.6	<u>41</u> <u>52.6</u>	15 19.2	2 2.6
	50～64 歳	90 100.0	33 36.7	<u>43</u> <u>47.8</u>	14 15.6	0 0.0
	65 歳以上	54 100.0	19 35.2	<u>22</u> <u>40.7</u>	10 18.5	3 5.6



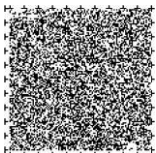
■クロス集計：運動・スポーツへの関心と実施状況／生活習慣病の状況

<身体障害>

	合計	運動やスポーツに興味がある	運動やスポーツに興味がない	運動やスポーツに興味がない	無回答	
全体	1,178 100.0	318 27.0	<u>510</u> <u>43.3</u>	281 23.9	69 5.9	
生活習慣病の状況	高血圧	458 100.0	113 24.7	<u>212</u> <u>46.3</u>	101 22.1	32 7.0
	脂質異常 (高脂血症)	174 100.0	50 28.7	<u>79</u> <u>45.4</u>	34 19.5	11 6.3
	糖尿病	198 100.0	42 21.2	<u>85</u> <u>42.9</u>	56 28.3	15 7.6
	心臓病	216 100.0	60 27.8	<u>95</u> <u>44.0</u>	46 21.3	15 6.9
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	18 100.0	7 38.9	<u>8</u> <u>44.4</u>	2 11.1	1 5.6
	肥満	137 100.0	27 19.7	<u>68</u> <u>49.6</u>	35 25.5	7 5.1
	その他	81 100.0	25 30.9	<u>33</u> <u>40.7</u>	19 23.5	4 4.9
	特にない	396 100.0	118 29.8	<u>168</u> <u>42.4</u>	98 24.7	12 3.0

<知的障害>

	合計	運動やスポーツに興味がある	運動やスポーツに興味がない	運動やスポーツに興味がない	無回答	
全体	268 100.0	<u>96</u> <u>35.8</u>	89 33.2	71 26.5	12 4.5	
生活習慣病の状況	高血圧	50 100.0	14 28.0	14 28.0	<u>19</u> <u>38.0</u>	3 6.0
	脂質異常 (高脂血症)	24 100.0	<u>9</u> <u>37.5</u>	5 20.8	7 29.2	3 12.5
	糖尿病	17 100.0	4 23.5	6 35.3	<u>7</u> <u>41.2</u>	0 0.0
	心臓病	10 100.0	2 20.0	<u>4</u> <u>40.0</u>	2 20.0	2 20.0
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	肥満	41 100.0	8 19.5	14 34.1	<u>16</u> <u>39.0</u>	3 7.3
	その他	17 100.0	<u>7</u> <u>41.2</u>	6 35.3	4 23.5	0 0.0
	特にない	155 100.0	<u>64</u> <u>41.3</u>	54 34.8	33 21.3	4 2.6

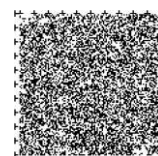


<精神障害>

		合計	運動やスポーツが 好きに行っている	運動やスポーツが 好きに行っている	運動やスポーツが 好きに行っている	無回答
全体		298 100.0	76 25.5	<u>127</u> <u>42.6</u>	91 30.5	4 1.3
生活習慣病の状況	高血圧	44 100.0	8 18.2	<u>20</u> <u>45.5</u>	15 34.1	1 2.3
	脂質異常 (高脂血症)	36 100.0	3 8.3	<u>20</u> <u>55.6</u>	13 36.1	0 0.0
	糖尿病	30 100.0	3 10.0	13 43.3	<u>14</u> <u>46.7</u>	0 0.0
	心臓病	5 100.0	0 0.0	<u>3</u> <u>60.0</u>	1 20.0	1 20.0
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0
	肥満	87 100.0	12 13.8	<u>44</u> <u>50.6</u>	30 34.5	1 1.1
	その他	23 100.0	5 21.7	6 26.1	<u>12</u> <u>52.2</u>	0 0.0
	特にない	154 100.0	51 33.1	<u>56</u> <u>36.4</u>	45 29.2	2 1.3

<難病>

		合計	運動やスポーツが 好きに行っている	運動やスポーツが 好きに行っている	運動やスポーツが 好きに行っている	無回答
全体		239 100.0	79 33.1	<u>115</u> <u>48.1</u>	40 16.7	5 2.1
生活習慣病の状況	高血圧	50 100.0	13 26.0	<u>22</u> <u>44.0</u>	14 28.0	1 2.0
	脂質異常 (高脂血症)	35 100.0	<u>14</u> <u>40.0</u>	13 37.1	8 22.9	0 0.0
	糖尿病	19 100.0	6 31.6	<u>7</u> <u>36.8</u>	5 26.3	1 5.3
	心臓病	16 100.0	6 37.5	<u>7</u> <u>43.8</u>	3 18.8	0 0.0
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	1 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>100.0</u>	0 0.0	0 0.0
	肥満	30 100.0	7 23.3	<u>16</u> <u>53.3</u>	6 20.0	1 3.3
	その他	13 100.0	<u>5</u> <u>38.5</u>	3 23.1	<u>5</u> <u>38.5</u>	0 0.0
	特にない	132 100.0	43 32.6	<u>71</u> <u>53.8</u>	16 12.1	2 1.5

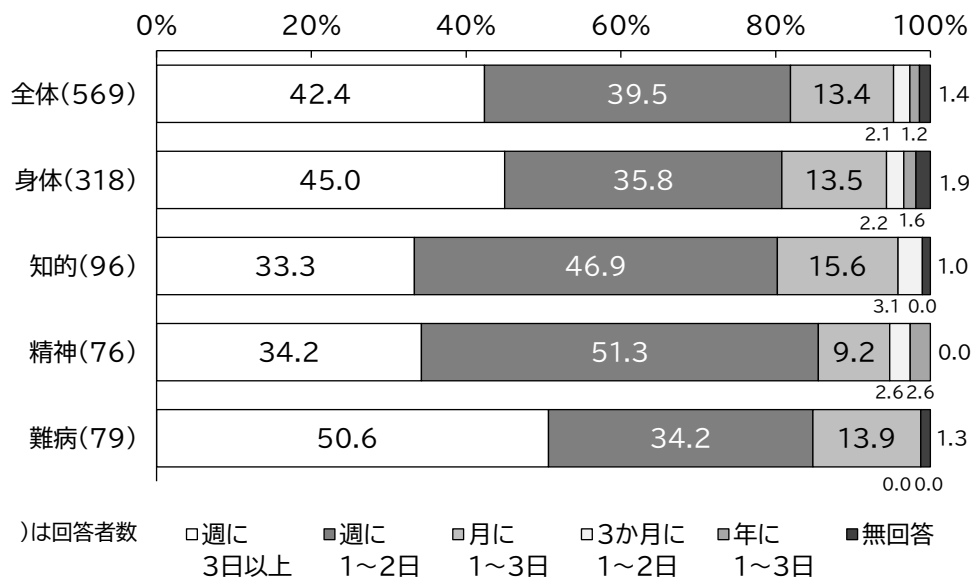


(8) 【身知精難】問 55-1 運動やスポーツの実施頻度

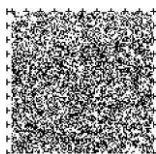
【問 55 で、「興味があり、すでに行っている」と答えたかたのみにおうかがいします。】
 問 55-1 運動やスポーツをどれくらいの頻度で実施していますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：569 人のうち、「週に3日以上」が42.4%と最も多く、次いで「週に1~2日」が39.5%となっています。
- 身体障害：318 人のうち、「週に3日以上」が45.0%と最も多く、次いで「週に1~2日」が35.8%となっています。
- 知的障害：96 人のうち、「週に1~2日」が46.9%と最も多く、次いで「週に3日以上」が33.3%となっています。
- 精神障害：76 人のうち、「週に1~2日」が51.3%と最も多く、次いで「週に3日以上」が34.2%となっています。
- 難病：79 人のうち、「週に3日以上」が50.6%と最も多く、次いで「週に1~2日」が34.2%となっています。



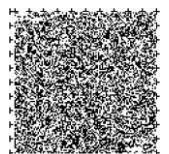
■クロス集計：運動やスポーツの実施頻度／本人の年齢区分別

<身体障害>

		合計	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	無回答
全体		318 100.0	<u>143</u> <u>45.0</u>	114 35.8	43 13.5	7 2.2	5 1.6	6 1.9
本人の年齢区分別	18～29歳	14 100.0	<u>5</u> <u>35.7</u>	<u>5</u> <u>35.7</u>	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～49歳	56 100.0	18 32.1	<u>19</u> <u>33.9</u>	14 25.0	1 1.8	3 5.4	1 1.8
	50～64歳	115 100.0	<u>51</u> <u>44.3</u>	42 36.5	15 13.0	5 4.3	2 1.7	0 0.0
	65歳以上	130 100.0	<u>67</u> <u>51.5</u>	48 36.9	10 7.7	1 0.8	0 0.0	4 3.1

<知的障害>

		合計	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	無回答
全体		96 100.0	32 33.3	<u>45</u> <u>46.9</u>	15 15.6	3 3.1	0 0.0	1 1.0
本人の年齢区分別	18～29歳	40 100.0	11 27.5	<u>22</u> <u>55.0</u>	5 12.5	2 5.0	0 0.0	0 0.0
	30～49歳	32 100.0	<u>15</u> <u>46.9</u>	11 34.4	4 12.5	1 3.1	0 0.0	1 3.1
	50～64歳	17 100.0	5 29.4	<u>8</u> <u>47.1</u>	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65歳以上	6 100.0	1 16.7	<u>4</u> <u>66.7</u>	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

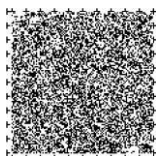


<精神障害>

		合計	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	無回答
全体		76 100.0	26 34.2	<u>39</u> <u>51.3</u>	7 9.2	2 2.6	2 2.6	0 0.0
本人の年齢区分別	18～29歳	11 100.0	3 27.3	<u>7</u> <u>63.6</u>	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～49歳	40 100.0	9 22.5	<u>24</u> <u>60.0</u>	4 10.0	2 5.0	1 2.5	0 0.0
	50～64歳	18 100.0	<u>9</u> <u>50.0</u>	6 33.3	2 11.1	0 0.0	1 5.6	0 0.0
	65歳以上	6 100.0	<u>4</u> <u>66.7</u>	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

<難病>

		合計	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	無回答
全体		79 100.0	<u>40</u> <u>50.6</u>	27 34.2	11 13.9	0 0.0	0 0.0	1 1.3
本人の年齢区分別	18～29歳	6 100.0	2 33.3	<u>3</u> <u>50.0</u>	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～49歳	20 100.0	<u>9</u> <u>45.0</u>	6 30.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50～64歳	33 100.0	<u>20</u> <u>60.6</u>	12 36.4	1 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65歳以上	19 100.0	<u>8</u> <u>42.1</u>	6 31.6	4 21.1	0 0.0	0 0.0	1 5.3

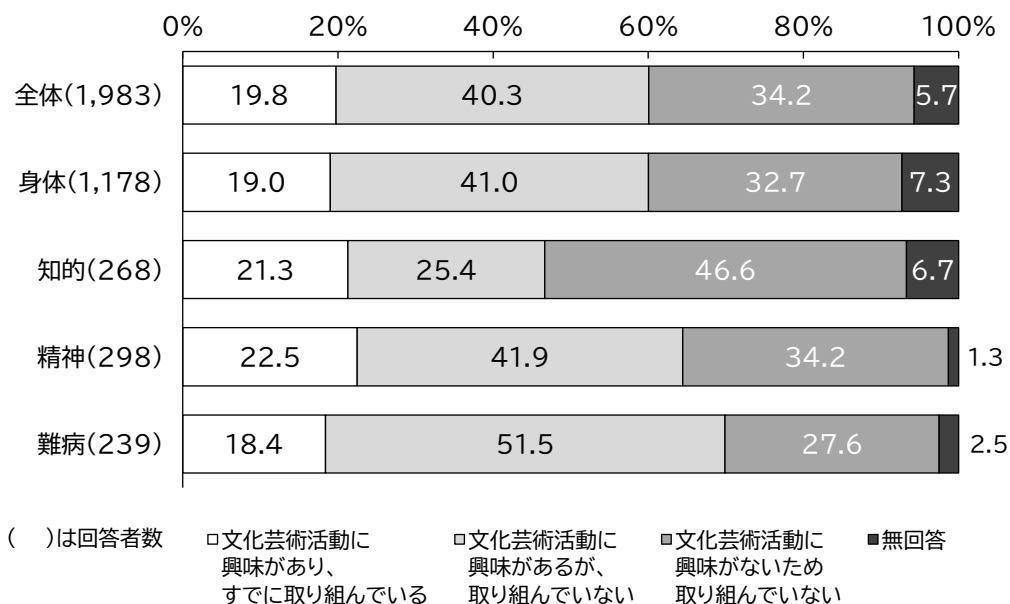


(9) 【身知精難】問 56 文化芸術活動への関心と参加状況

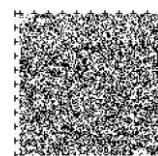
問 あなたは、文化芸術活動（鑑賞、創作、体験等）に興味がありますか。また、取り組んでいますか。（○は1つ）

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983 人のうち、「文化芸術活動に興味があるが、取り組んでいない」が40.3%と最も多く、次いで「文化芸術活動に興味がないため取り組んでいない」が34.2%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「文化芸術活動に興味があるが、取り組んでいない」が41.0%と最も多く、次いで「文化芸術活動に興味がないため取り組んでいない」が32.7%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「文化芸術活動に興味がないため取り組んでいない」が46.6%と最も多く、次いで「文化芸術活動に興味があるが、取り組んでいない」が25.4%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「文化芸術活動に興味があるが、取り組んでいない」が41.9%と最も多く、次いで「文化芸術活動に興味がないため取り組んでいない」が34.2%となっています。
- 難病：239 人のうち、「文化芸術活動に興味があるが、取り組んでいない」が51.5%と最も多く、次いで「文化芸術活動に興味がないため取り組んでいない」が27.6%となっています。

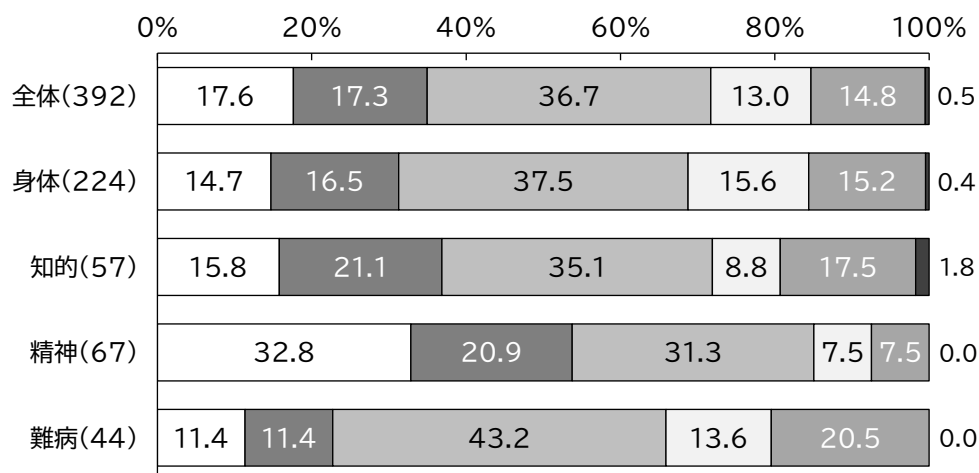


(10) 【身知精難】問 56-1 文化芸術活動の参加頻度

【問 56 で、「興味があり、すでに取り組んでいる」と答えたかたのみにおうかがいします。】
 問 56-1 文化芸術活動にどれくらいの頻度で取り組んでいますか。(○は1つ)

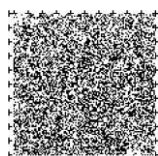
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



()は回答者数 □週に3日以上 □週に1~2日 □月に1~3日 □3か月に1~2日 □年に1~3日 ■無回答

- 全体：392人のうち、「月に1~3日」が36.7%と最も多く、次いで「週に3日以上」が17.6%となっています。
- 身体障害：224人のうち、「月に1~3日」が37.5%と最も多く、次いで「週に1~2日」が16.5%となっています。
- 知的障害：57人のうち、「月に1~3日」が35.1%と最も多く、次いで「週に1~2日」が21.1%となっています。
- 精神障害：67人のうち、「週に3日以上」が32.8%と最も多く、次いで「月に1~3日」が31.3%となっています。
- 難病：44人のうち、「月に1~3日」が43.2%と最も多く、次いで「年に1~3日」が20.5%となっています。



(11) 【身知精難】問 57 地域交流における障壁

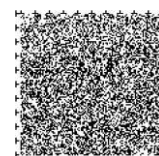
問 地域での交流やつながりを築く上で、障壁となっていると感じることがあれば教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

	合計	地域で障害者理解が進んでない	差別的な言動や偏見を受けたことがある	地域のイベントや活動に参加しづらい雰囲気がある	外出に不安がある(交通・介助・健康面等)	相談できる人がいない	自分の存在が歓迎されていないと感じる	これまで地域と関わったことがないため、声をかける自信がない	その他	特にない	無回答	
全体	1,983 100.0	207 10.4	176 8.9	202 10.2	429 21.6	248 12.5	141 7.1	445 22.4	75 3.8	808 40.7	115 5.8	
調査票種別	身体	1,178 100.0	99 8.4	77 6.5	98 8.3	298 25.3	121 10.3	56 4.8	223 18.9	45 3.8	490 41.6	83 7.0
	知的	268 100.0	41 15.3	34 12.7	36 13.4	38 14.2	40 14.9	20 7.5	56 20.9	8 3.0	111 41.4	17 6.3
	精神	298 100.0	55 18.5	53 17.8	50 16.8	60 20.1	59 19.8	56 18.8	110 36.9	15 5.0	86 28.9	7 2.3
	難病	239 100.0	12 5.0	12 5.0	18 7.5	33 13.8	28 11.7	9 3.8	56 23.4	7 2.9	121 50.6	8 3.3

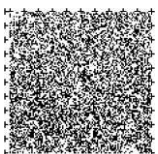
- 全体：1,983人のうち、「特にない」が40.7%と最も多く、次いで「これまで地域と関わったことがないため、声をかける自信がない」が22.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「特にない」が41.6%と最も多く、次いで「外出に不安がある(交通・介助・健康面等)」が25.3%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「特にない」が41.4%と最も多く、次いで「これまで地域と関わったことがないため、声をかける自信がない」が20.9%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「これまで地域と関わったことがないため、声をかける自信がない」が36.9%と最も多く、次いで「特にない」が28.9%となっています。
- 難病：239人のうち、「特にない」が50.6%と最も多く、次いで「これまで地域と関わったことがないため、声をかける自信がない」が23.4%となっています。



18 障害者の権利について

まとめ 273~296 ページ

- 障害者の権利を守るために充実させるべきこととしては、あらゆる差別がなくなることが全体の 34.8%、自分のことは自分で決められることが 29.5%。精神障害のかたは、自身の能力が認められること、難病のかたは、誰にでも平等に機会があることも重視。
- 障害者虐待防止センターは、全体の 84.7%が知らない。難病のかたでは 93.7%が知らない。
- 虐待された経験は、全体の 77.4%がない、17.7%がある。精神障害のかたは、46.3%がある。
- 障害を理由とした差別については、『感じない』（「あまり感じない」＋「全く感じない」）が全体の 73.2%。精神障害のかたの 34.2%、児童の 26.6%は『感じる』（「よく感じる」＋「時々感じる」）割合が高い。
- 差別を感じる場面としては、公共施設・交通機関の利用時、働きたい時・働いている時、コミュニケーションをとりたい時が多い。
- 成年後見制度は、全体では利用する予定はないが 44.8%と多いが、知的障害のかたの 24.3%、精神障害のかたの 14.1%は今後の利用意向がある。
- 終活の必要性については、全体の 64.5%が必要と思うが、具体的に行っていない。必要と思い、すでに始めているのは、全体の 12.3%。知的障害のかたでは 32.8%が必要と思っていない。
- 必要と思い、すでに始めているかたの終活は、財産（お金・持ち家等）の整理、衣類等の整理がそれぞれ全体の 52.0%、50.0%。
- 選挙には毎回行くかたが全体の 60.2%。知的障害のかたは行っていないかたが多く、36.6%が『行っていない』（「ほとんど行かない」＋「行っていない」）。
- 選挙に行かない理由は関心がないが多いが、身体・知的障害のかたは自分で記入することができないことも理由となっている。



(1) 【身知精難】問 58 障害者の権利を守ること

問 平成 18 年 (2006 年) に、国連では、「障害者の権利に関する条約」が採択されました。今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべきと思う内容があれば教えてください。

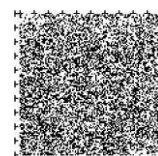
(あてはまるもの 3 つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別・身体障害 障害部位別

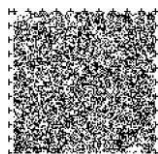
	合計	自分のことは自分で決められること	あらゆる障害に対する差別がなくなること	多様な活動に参加し、社会に受け入れられること	障害の違いを互いに認め合えること	誰にでも平等に機会があること	希望する施設やサービスの利用が可能であること	障害者の性別にかかわらず、平等であること	障害者自身の能力が認められること	
全体	1,983 100.0	585 29.5	<u>690</u> <u>34.8</u>	353 17.8	423 21.3	563 28.4	565 28.5	212 10.7	427 21.5	
調査票種別	身体	1,178 100.0	349 29.6	<u>404</u> <u>34.3</u>	195 16.6	233 19.8	318 27.0	131 11.1	211 17.9	
	視覚障害	101 100.0	37 36.6	<u>39</u> <u>38.6</u>	22 21.8	25 24.8	28 27.7	13 12.9	17 16.8	
	聴覚障害	120 100.0	33 27.5	<u>47</u> <u>39.2</u>	30 25.0	30 25.0	36 30.0	33 27.5	23 19.2	29 24.2
	平衡機能障害	16 100.0	1 6.3	<u>7</u> <u>43.8</u>	1 6.3	1 6.3	2 12.5	5 31.3	1 6.3	2 12.5
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	4 26.7	1 6.7	4 26.7	0 0.0	2 13.3	3 20.0	0 0.0	<u>5</u> <u>33.3</u>
	肢体不自由	529 100.0	155 29.3	<u>186</u> <u>35.2</u>	87 16.4	109 20.6	152 28.7	153 28.9	50 9.5	96 18.1
	内部障害	331 100.0	102 30.8	<u>108</u> <u>32.6</u>	40 12.1	59 17.8	91 27.5	83 25.1	38 11.5	54 16.3
	知的	268 100.0	72 26.9	<u>102</u> <u>38.1</u>	55 20.5	65 24.3	64 23.9	97 36.2	20 7.5	55 20.5
	精神	298 100.0	92 30.9	<u>116</u> <u>38.9</u>	72 24.2	71 23.8	100 33.6	70 23.5	40 13.4	113 37.9
	難病	239 100.0	72 30.1	68 28.5	31 13.0	54 22.6	<u>81</u> <u>33.9</u>	75 31.4	21 8.8	48 20.1

(次ページへ続く)

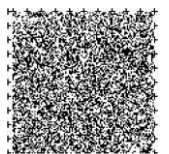


(前ページから続く)

		合計	その他	特 に ない	無 回 答
全体		1,983 100.0	44 2.2	345 17.4	96 4.8
調査票種別	身体	1,178 100.0	25 2.1	216 18.3	71 6.0
	視覚障害	101 100.0	1 1.0	14 13.9	1 1.0
	聴覚障害	120 100.0	4 3.3	11 9.2	9 7.5
	平衡機能障害	16 100.0	0 0.0	5 31.3	0 0.0
	音声・言語・そしゃく 機能の障害	15 100.0	2 13.3	4 26.7	2 13.3
	肢体不自由	529 100.0	16 3.0	94 17.8	28 5.3
	内部障害	331 100.0	2 0.6	72 21.8	19 5.7
	知的	268 100.0	6 2.2	46 17.2	9 3.4
	精神	298 100.0	11 3.7	47 15.8	5 1.7
	難病	239 100.0	2 0.8	36 15.1	11 4.6



- 全体：1,983 人のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 34.8%と最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」が 29.5%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 34.3%と最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」が 29.6%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 38.1%と最も多く、次いで「希望する施設やサービスの利用が可能であること」が 36.2%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 38.9%と最も多く、次いで「障害者自身の能力が認められること」が 37.9%となっています。
- 難病：239 人のうち、「誰にでも平等に機会があること」が 33.9%と最も多く、次いで「希望する施設やサービスの利用が可能であること」が 31.4%となっています。

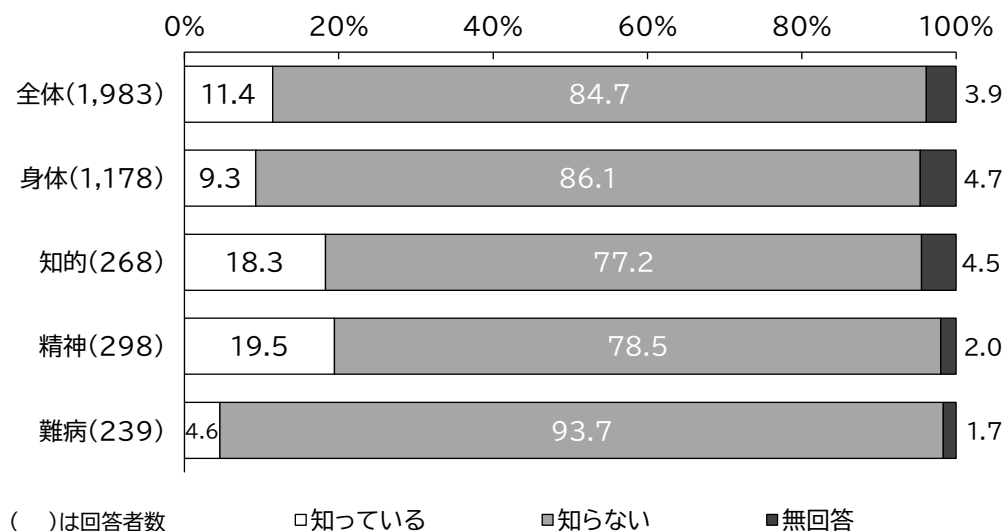


(2) 【身知精難】問 59 障害者虐待防止センターの認知度

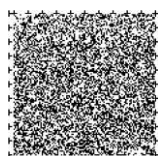
問 豊島区は、障害者虐待に関する通報や相談の窓口として、豊島区障害者虐待防止センターを設置しています。あなたは、障害者虐待防止センターを知っていますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



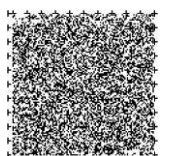
- 全体：1,983人のうち、「知らない」が84.7%、「知っている」が11.4%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「知らない」が86.1%、「知っている」が9.3%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「知らない」が77.2%、「知っている」が18.3%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「知らない」が78.5%、「知っている」が19.5%となっています。
- 難病：239人のうち、「知らない」が93.7%、「知っている」が4.6%となっています。



— 経年変化：調査票種別 —

		合計		知っている			知らない			無回答		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		1,835 100.0	1,983 100.0	180 9.8	227 11.4	16.8%	1,486 81.0	<u>1,679</u> <u>84.7</u>	4.5%	169 9.2	77 3.9	-57.8%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	99 8.5	109 9.3	8.9%	960 82.7	<u>1,014</u> <u>86.1</u>	4.1%	102 8.8	55 4.7	-46.9%
	知的	272 100.0	268 100.0	34 12.5	49 18.3	46.3%	193 71.0	<u>207</u> <u>77.2</u>	8.8%	45 16.5	12 4.5	-72.9%
	精神	191 100.0	298 100.0	38 19.9	58 19.5	-2.2%	140 73.3	<u>234</u> <u>78.5</u>	7.1%	13 6.8	6 2.0	-70.4%
	難病	211 100.0	239 100.0	9 4.3	11 4.6	7.0%	193 91.5	<u>224</u> <u>93.7</u>	2.4%	9 4.3	4 1.7	-61.1%

※前回比（比率の増減率・変化率）＝（今回比率÷前回比率－1）を％表示している

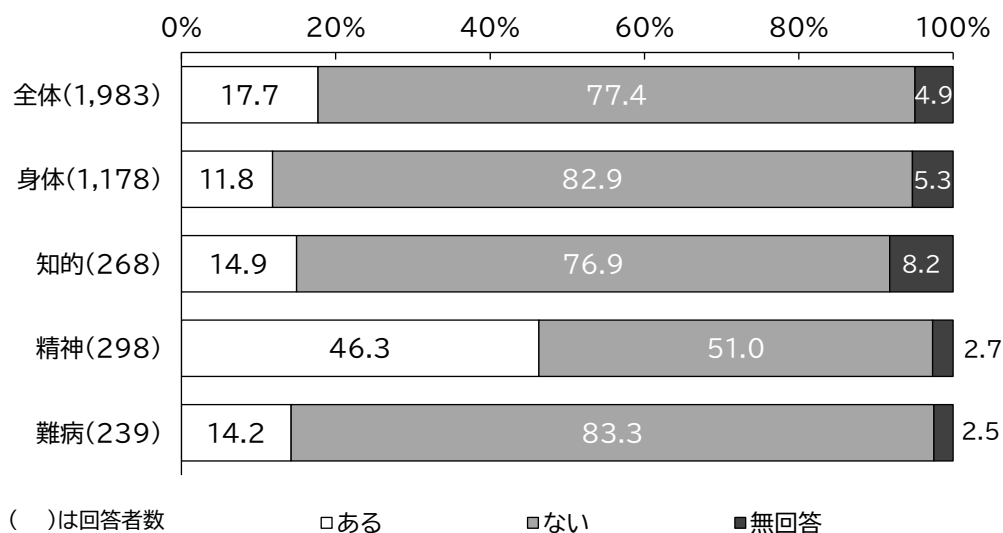


(3) 【身知精難】問 60 虐待経験の有無

問 あなたは、いままでに自分の体や心を繰り返し傷つけられた（虐待〈※〉された）ことがありますか。（○は1つ）

調査対象： 身体 知的 精神 難病

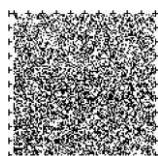
単純集計：調査票種別



※『虐待』には、次のような行為があてはまります。

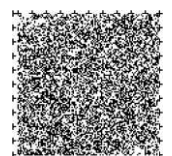
- 身体的虐待 (例) 叩かれる、蹴られる
- 性的虐待 (例) おしりや胸を触られる、裸の写真を撮られる
- 心理的虐待 (例) 怒鳴られる、悪口を言われる、人の前で馬鹿にされる、わざと無視される
- 放棄・放任 (ネグレクト) (例) 着替えさせてもらえない、お風呂に入らせてもらえない、ご飯を食べさせてもらえない、具合が悪いのに病院に連れて行ってもらえない
- 経済的虐待 (例) 自分の預貯金を勝手に使われる、必要なお金を使わせてもらえない

- 全体：1,983人のうち、「ない」が77.4%、「ある」が17.7%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「ない」が82.9%、「ある」が11.8%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「ない」が76.9%、「ある」が14.9%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「ない」が51.0%、「ある」が46.3%となっています。
- 難病：239人のうち、「ない」が83.3%、「ある」が14.2%となっています。



単純集計：虐待経験の有無／身体障害 障害部位別

		合計	ある	ない	無回答
全体		1,178 100.0	139 11.8	<u>977</u> <u>82.9</u>	62 5.3
障害部位別	視覚障害	101 100.0	11 10.9	<u>88</u> <u>87.1</u>	2 2.0
	聴覚障害	120 100.0	17 14.2	<u>95</u> <u>79.2</u>	8 6.7
	平衡機能障害	16 100.0	2 12.5	<u>14</u> <u>87.5</u>	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	2 13.3	<u>11</u> <u>73.3</u>	2 13.3
	肢体不自由	529 100.0	81 15.3	<u>425</u> <u>80.3</u>	23 4.3
	内部障害	331 100.0	24 7.3	<u>293</u> <u>88.5</u>	14 4.2

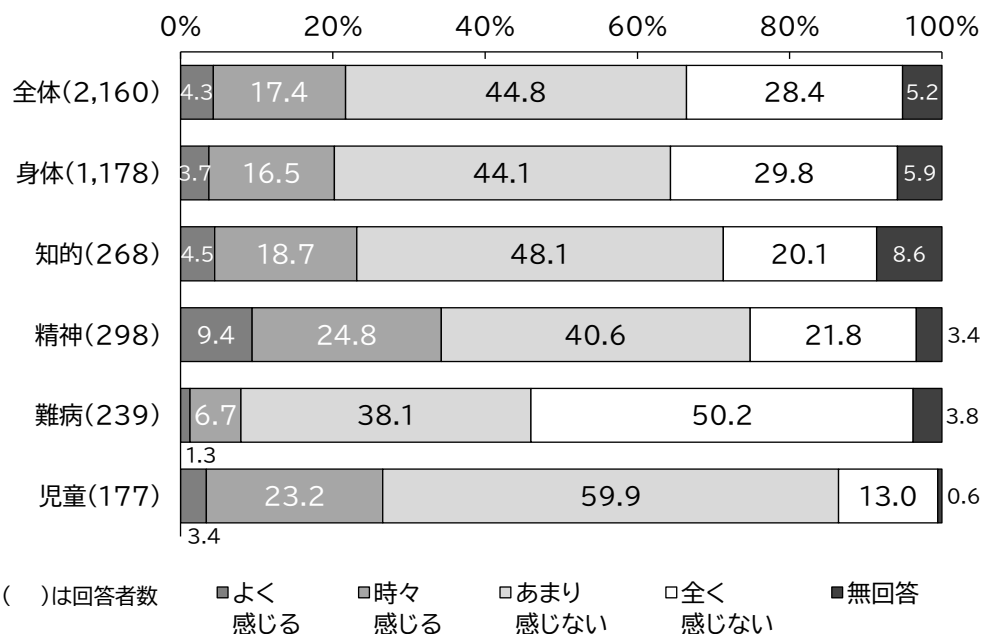


(4) 【身知精難児】問 61 障害を理由とした差別

問 平成 28 年 4 月に障害者差別解消法（正式名称：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）〈※〉が施行されましたが、あなたは障害を理由とした自身への差別を感じることはありますか。（○は1つ）

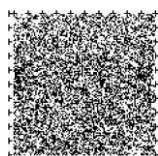
調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

単純集計：調査票種別



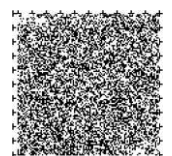
※『障害者差別解消法』とは、障害のある方への差別を無くすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指すものです。

- 全体：2,160 人のうち、「あまり感じない」が 44.8%と最も多く、次いで「全く感じない」が 28.4%となっています。
- 身体障害：1,178 人のうち、「あまり感じない」が 44.1%と最も多く、次いで「全く感じない」が 29.8%となっています。
- 知的障害：268 人のうち、「あまり感じない」が 48.1%と最も多く、次いで「全く感じない」が 20.1%となっています。
- 精神障害：298 人のうち、「あまり感じない」が 40.6%と最も多く、次いで「時々感じる」が 24.8%となっています。
- 難病：239 人のうち、「全く感じない」が 50.2%と最も多く、次いで「あまり感じない」が 38.1%となっています。
- 児童：177 人のうち、「あまり感じない」が 59.9%と最も多く、次いで「時々感じる」が 23.2%となっています。



単純集計：障害を理由とした差別／身体障害 障害部位別

		合計	よく感じる	時々感じる	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体		1,178 100.0	44 3.7	194 16.5	<u>520</u> <u>44.1</u>	351 29.8	69 5.9
障害部位別	視覚障害	101 100.0	2 2.0	28 27.7	<u>54</u> <u>53.5</u>	17 16.8	0 0.0
	聴覚障害	120 100.0	11 9.2	27 22.5	<u>41</u> <u>34.2</u>	34 28.3	7 5.8
	平衡機能障害	16 100.0	2 12.5	3 18.8	<u>6</u> <u>37.5</u>	4 25.0	1 6.3
	音声・言語・そしゃく機能の障害	15 100.0	1 6.7	1 6.7	<u>7</u> <u>46.7</u>	5 33.3	1 6.7
	肢体不自由	529 100.0	23 4.3	96 18.1	<u>253</u> <u>47.8</u>	126 23.8	31 5.9
	内部障害	331 100.0	3 0.9	34 10.3	133 40.2	<u>146</u> <u>44.1</u>	15 4.5



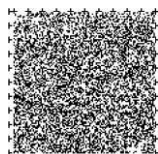
— 経年変化：調査票種別・身体障害 障害部位別 —

		合計		よく感じる			時々感じる			あまり感じない		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		2,140 100.0	2,160 100.0	151 7.1	93 4.3	-39.4%	413 19.3	375 17.4	-10.0%	913 42.7	<u>967</u> <u>44.8</u>	4.8%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	69 5.9	44 3.7	-36.7%	216 18.6	194 16.5	-11.5%	492 42.4	<u>520</u> <u>44.1</u>	4.1%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	6 6.7	2 2.0	-70.4%	24 26.7	28 27.7	3.8%	37 41.1	<u>54</u> <u>53.5</u>	30.1%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	9 9.7	11 9.2	-5.5%	27 29.0	27 22.5	-22.4%	42 45.2	<u>41</u> <u>34.2</u>	-24.4%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	1 4.8	2 12.5	160.4%	3 14.3	3 18.8	31.1%	11 52.4	<u>6</u> <u>37.5</u>	-28.4%
	音声・言語・ そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	2 10.5	1 6.7	-36.5%	2 10.5	1 6.7	-36.5%	7 36.8	<u>7</u> <u>46.7</u>	26.8%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	38 7.9	23 4.3	-45.0%	109 22.5	96 18.1	-19.3%	215 44.4	<u>253</u> <u>47.8</u>	7.7%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	14 4.3	3 0.9	-78.9%	36 11.1	34 10.3	-7.5%	142 43.8	133 40.2	-8.3%
	知的	272 100.0	268 100.0	28 10.3	12 4.5	-56.5%	46 16.9	50 18.7	10.4%	100 36.8	<u>129</u> <u>48.1</u>	30.8%
	精神	191 100.0	298 100.0	22 11.5	28 9.4	-18.3%	62 32.5	74 24.8	-23.6%	73 38.2	<u>121</u> <u>40.6</u>	6.3%
	難病	211 100.0	239 100.0	4 1.9	3 1.3	-33.9%	18 8.5	16 6.7	-21.2%	83 39.3	91 38.1	-3.1%
	児童	305 100.0	177 100.0	28 9.2	6 3.4	-63.2%	71 23.3	41 23.2	-0.6%	165 54.1	<u>106</u> <u>59.9</u>	10.7%

※身体障害の部位は、身体調査票のかたのみ障害の主たる部位等を優先し単数回答として集計

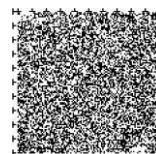
※前回比（比率の増減率・変化率）＝（今回比率÷前回比率－1）を％表示している

（次ページへ続く）



(前ページから続く)

		合計		全く感じない			無回答		
		R 4年度	R 7年度	R 4年度	R 7年度	前回比	R 4年度	R 7年度	前回比
全体		2,140 100.0	2,160 100.0	439 20.5	613 28.4	38.4%	224 10.5	112 5.2	-50.6%
調査票種別	身体	1,161 100.0	1,178 100.0	263 22.7	351 29.8	31.3%	121 10.4	69 5.9	-43.7%
	視覚障害	90 100.0	101 100.0	18 20.0	17 16.8	-15.8%	5 5.6	0 0.0	-100.0%
	聴覚障害	93 100.0	120 100.0	11 11.8	34 28.3	140.1%	4 4.3	7 5.8	35.7%
	平衡機能障害	21 100.0	16 100.0	5 23.8	4 25.0	5.0%	1 4.8	1 6.3	30.2%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	19 100.0	15 100.0	6 31.6	5 33.3	5.5%	2 10.5	1 6.7	-36.5%
	肢体不自由	484 100.0	529 100.0	86 17.8	126 23.8	33.8%	36 7.4	31 5.9	-20.8%
	内部障害	324 100.0	331 100.0	111 34.3	<u>146</u> <u>44.1</u>	28.6%	21 6.5	15 4.5	-30.3%
	知的	272 100.0	268 100.0	43 15.8	54 20.1	27.5%	55 20.2	23 8.6	-57.5%
	精神	191 100.0	298 100.0	19 9.9	65 21.8	120.3%	15 7.9	10 3.4	-57.5%
	難病	211 100.0	239 100.0	94 44.5	<u>120</u> <u>50.2</u>	12.8%	12 5.7	9 3.8	-33.9%
	児童	305 100.0	177 100.0	20 6.6	23 13.0	96.9%	21 6.9	1 0.6	-91.8%



(5) 【身知精難】問 61-1 差別を感じる時

【問 61 で、「よく感じる」「時々感じる」と答えたかたにおうかがいします。】

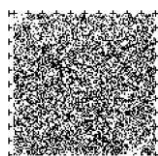
問 61-1 どのような時に差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

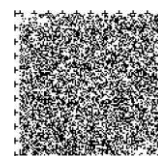
		合計	公共施設や交通機関 を利用する時	情報を得たい時	コミュニケーション をとりたい時	物を売買する時	病院で医療を受ける 時	働きたい時、働いて いる時	住宅の賃貸契約を行 う時	その他	無回答
全体		421 100.0	<u>201</u> <u>47.7</u>	67 15.9	151 35.9	44 10.5	67 15.9	155 36.8	66 15.7	47 11.2	8 1.9
調査票種別	身体	238 100.0	<u>126</u> <u>52.9</u>	43 18.1	68 28.6	26 10.9	37 15.5	77 32.4	32 13.4	25 10.5	5 2.1
	知的	62 100.0	<u>32</u> <u>51.6</u>	8 12.9	<u>32</u> <u>51.6</u>	14 22.6	14 22.6	17 27.4	6 9.7	5 8.1	1 1.6
	精神	102 100.0	35 34.3	13 12.7	45 44.1	3 2.9	11 10.8	<u>54</u> <u>52.9</u>	27 26.5	15 14.7	2 2.0
	難病	19 100.0	<u>8</u> <u>42.1</u>	3 15.8	6 31.6	1 5.3	5 26.3	7 36.8	1 5.3	2 10.5	0 0.0

- 全体：421 人のうち、「公共施設や交通機関を利用する時」が 47.7%と最も多く、次いで「働きたい時、働いている時」が 36.8%となっています。
- 身体障害：238 人のうち、「公共施設や交通機関を利用する時」が 52.9%と最も多く、次いで「働きたい時、働いている時」が 32.4%となっています。
- 知的障害：62 人のうち、「公共施設や交通機関を利用する時」「コミュニケーションをとりたい時」がともに 51.6%と最も多くなっています。
- 精神障害：102 人のうち、「働きたい時、働いている時」が 52.9%と最も多く、次いで「コミュニケーションをとりたい時」が 44.1%となっています。
- 難病：19 人のうち、「公共施設や交通機関を利用する時」が 42.1%と最も多く、次いで「働きたい時、働いている時」が 36.8%となっています。



単純集計：差別を感じる時／身体障害 障害部位別

	合計	公共施設や交通機関を利用する時	情報を得たい時	コミュニケーションをとりたい時	物を売買する時	病院で医療を受ける時	働きたい時、働いている時	住宅の賃貸契約を行う時	その他	無回答	
全体	238 100.0	<u>126</u> <u>52.9</u>	43 18.1	68 28.6	26 10.9	37 15.5	77 32.4	32 13.4	25 10.5	5 2.1	
障害部位別	視覚障害	30 100.0	<u>13</u> <u>43.3</u>	12 40.0	10 33.3	7 23.3	4 13.3	11 36.7	6 20.0	3 10.0	0 0.0
	聴覚障害	38 100.0	14 36.8	16 42.1	<u>22</u> <u>57.9</u>	8 21.1	8 21.1	12 31.6	4 10.5	0 0.0	1 2.6
	平衡機能障害	5 100.0	1 20.0	1 20.0	<u>2</u> <u>40.0</u>	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	2 100.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0
	肢体不自由	119 100.0	<u>81</u> <u>68.1</u>	7 5.9	22 18.5	11 9.2	15 12.6	38 31.9	19 16.0	16 13.4	3 2.5
	内部障害	37 100.0	14 37.8	4 10.8	9 24.3	0 0.0	9 24.3	<u>16</u> <u>43.2</u>	1 2.7	2 5.4	0 0.0



(6) 【児】問 61-1 差別を感じる時

【問 61 で、「よく感じる」「時々感じる」と答えたかたにおうかがいします。】

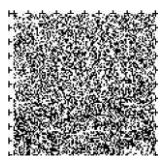
問 61-1 どのような時に差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象：

児童

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。

- 差別されているとは感じないが、ハンデがあることをわかっているのに配慮されることがなく、見て見ぬふりをする方々が多い。
- 舌打ちや侮蔑、「すみません」と言っても無反応など、悲しい気持ちになることは日常茶飯事である。
- 公共の場で騒いだり動きまわることがあり、全力でとめるがとめきれないこともあり、言うコトを聞かない子として白い目で見られたり、他人に怒られることが多々ある。見た目は普通なので、しつけができていない子として、見られることが大変つらい。静かにしていないといけないと伝えるほど騒いでしまう。
- 在宅酸素療法をしていた際、同世代の子どもから「あの子かわいそう！」と指を指して言われる事が多々あった。
- ヘルプマークを付けているのを見て、10～20代の方から「あいつ頭のおかしい奴」と言われることがある。
- 集団行動、集団生活を重要としている園などでは、子どもの発達具合によっては、登園日を週1～4日など制限されてしまい、行き場がなくなってしまう。
- 最近、発達障害の診断をされる子どもが増えたことに伴い、特別支援学級や特別支援学校への入学希望者が多くなり、その中での公平性の差を感じることもある。
- 話し方が独特、発声が不明瞭ということを理由に、気持ち悪がられる。動きが奇怪に見えてしまい、怖がられてしまう。
- 生まれつき顔の半分に赤いあざ(血管腫)があるが、虐待を疑われ、警察に質問されたことがあった。
- 幼稚園の入園や小学校の入学時に拒まれることがあった。

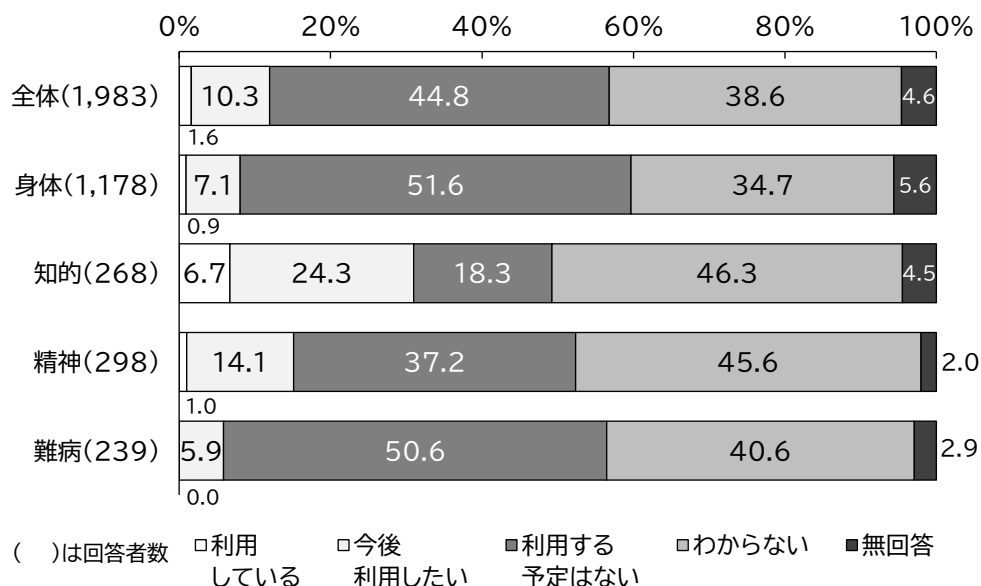


(7) 【身知精難】問 62 成年後見制度の利用意向

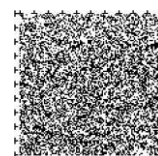
問 成年後見とは、障害等で判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983人のうち、「利用する予定はない」が44.8%と最も多く、次いで「わからない」が38.6%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「利用する予定はない」が51.6%と最も多く、次いで「わからない」が34.7%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「わからない」が46.3%と最も多く、次いで「今後利用したい」が24.3%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「わからない」が45.6%と最も多く、次いで「利用する予定はない」が37.2%となっています。
- 難病：239人のうち、「利用する予定はない」が50.6%と最も多く、次いで「わからない」が40.6%となっています。

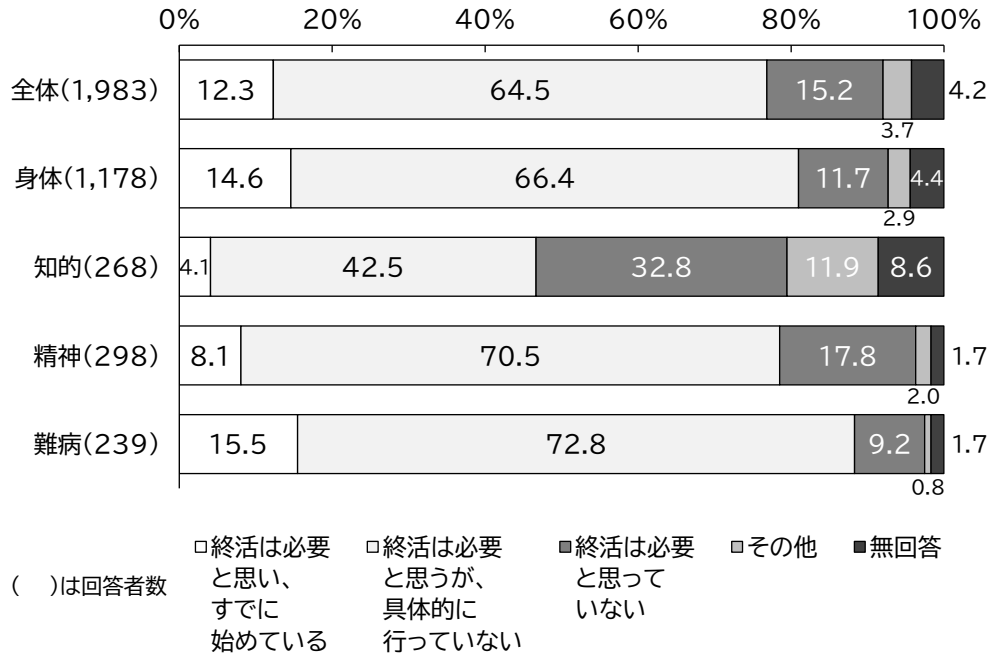


(8) 【身知精難】問 63 終活の必要性

問 人生設計を考える上で、若い方が終活(※)を考える機会が増えています。あなたはご自身の終活は必要と思いますか。(○は1つ)

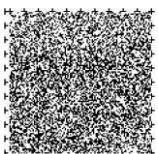
調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



※『終活』とは、自身の人生の最終段階に向けて、葬儀や遺産相続、医療・介護の意思表示、身辺整理等を行う活動のことです。

- 全体：1,983人のうち、「終活は必要と思うが、具体的に行っていない」が64.5%と最も多く、次いで「終活は必要と思っていない」が15.2%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「終活は必要と思うが、具体的に行っていない」が66.4%と最も多く、次いで「終活は必要と思っている」が14.6%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「終活は必要と思うが、具体的に行っていない」が42.5%と最も多く、次いで「終活は必要と思っていない」が32.8%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「終活は必要と思うが、具体的に行っていない」が70.5%と最も多く、次いで「終活は必要と思っていない」が17.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「終活は必要と思うが、具体的に行っていない」が72.8%と最も多く、次いで「終活は必要と思っている」が15.5%となっています。



(9) 【身知精難】問 63-1 始めている終活

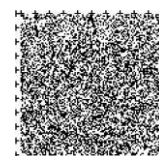
【問 63 で、「終活は必要と思い、すでに始めている」と答えたかたのみにおうかがいします。】
問 63-1 始めている終活を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	財産(お金・持ち家等)の整理	家の整理	衣類等の整理	お墓等の準備	家族等に管理・整理を依頼	その他	無回答
全体		244 100.0	<u>127</u> <u>52.0</u>	95 38.9	122 50.0	78 32.0	85 34.8	32 13.1	2 0.8
調査票種別	身体	172 100.0	<u>97</u> <u>56.4</u>	72 41.9	81 47.1	62 36.0	69 40.1	20 11.6	2 1.2
	知的	11 100.0	<u>6</u> <u>54.5</u>	2 18.2	3 27.3	2 18.2	2 18.2	1 9.1	0 0.0
	精神	24 100.0	<u>11</u> <u>45.8</u>	8 33.3	10 41.7	6 25.0	8 33.3	7 29.2	0 0.0
	難病	37 100.0	13 35.1	13 35.1	<u>28</u> <u>75.7</u>	8 21.6	6 16.2	4 10.8	0 0.0

- 全体：244 人のうち、「財産（お金・持ち家等）の整理」が 52.0%と最も多く、次いで「衣類等の整理」が 50.0%となっています。
- 身体障害：172 人のうち、「財産（お金・持ち家等）の整理」が 56.4%と最も多く、次いで「衣類等の整理」が 47.1%となっています。
- 知的障害：11 人のうち、「財産（お金・持ち家等）の整理」が 54.5%と最も多く、次いで「衣類等の整理」が 27.3%となっています。
- 精神障害：24 人のうち、「財産（お金・持ち家等）の整理」が 45.8%と最も多く、次いで「衣類等の整理」が 41.7%となっています。
- 難病：37 人のうち、「衣類等の整理」が 75.7%と最も多く、次いで「財産（お金・持ち家等）の整理」「家の整理」がともに 35.1%となっています。

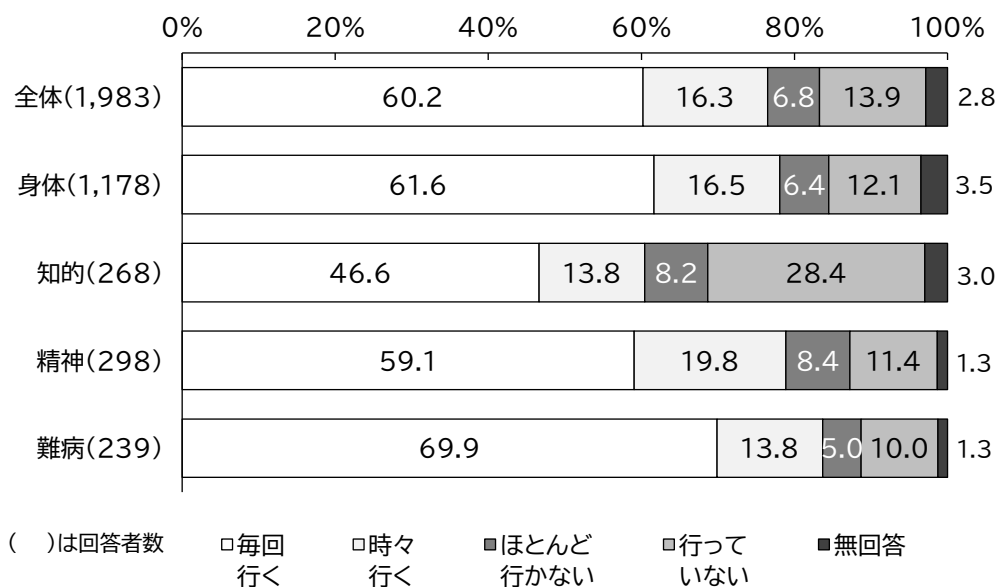


(10) 【身知精難】問 64 選挙への参加状況

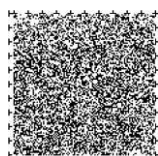
問 あなたは、選挙に行っていますか。(○は1つ)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別



- 全体：1,983人のうち、「毎回行く」が60.2%と最も多く、次いで「時々行く」が16.3%となっています。
- 身体障害：1,178人のうち、「毎回行く」が61.6%と最も多く、次いで「時々行く」が16.5%となっています。
- 知的障害：268人のうち、「毎回行く」が46.6%と最も多く、次いで「行ってない」が28.4%となっています。
- 精神障害：298人のうち、「毎回行く」が59.1%と最も多く、次いで「時々行く」が19.8%となっています。
- 難病：239人のうち、「毎回行く」が69.9%と最も多く、次いで「時々行く」が13.8%となっています。



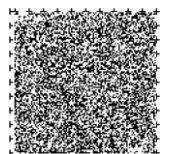
■クロス集計：選挙への参加状況／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	無回答
全体		1,178 100.0	<u>726</u> <u>61.6</u>	194 16.5	75 6.4	142 12.1	41 3.5
本人の年齢別	18～29歳	57 100.0	<u>25</u> <u>43.9</u>	11 19.3	4 7.0	17 29.8	0 0.0
	30～39歳	70 100.0	<u>38</u> <u>54.3</u>	13 18.6	1 1.4	18 25.7	0 0.0
	40～49歳	142 100.0	<u>81</u> <u>57.0</u>	27 19.0	6 4.2	25 17.6	3 2.1
	50～59歳	279 100.0	<u>167</u> <u>59.9</u>	58 20.8	21 7.5	23 8.2	10 3.6
	60～69歳	240 100.0	<u>159</u> <u>66.3</u>	34 14.2	19 7.9	20 8.3	8 3.3
	70～79歳	167 100.0	<u>118</u> <u>70.7</u>	22 13.2	3 1.8	17 10.2	7 4.2
	80歳以上	214 100.0	<u>133</u> <u>62.1</u>	29 13.6	20 9.3	22 10.3	10 4.7

<知的障害>

		合計	毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	無回答
全体		268 100.0	<u>125</u> <u>46.6</u>	37 13.8	22 8.2	76 28.4	8 3.0
本人の年齢別	18～29歳	73 100.0	<u>37</u> <u>50.7</u>	9 12.3	8 11.0	19 26.0	0 0.0
	30～39歳	52 100.0	<u>21</u> <u>40.4</u>	7 13.5	5 9.6	18 34.6	1 1.9
	40～49歳	51 100.0	<u>21</u> <u>41.2</u>	6 11.8	3 5.9	19 37.3	2 3.9
	50～59歳	48 100.0	<u>23</u> <u>47.9</u>	7 14.6	1 2.1	15 31.3	2 4.2
	60～69歳	23 100.0	<u>13</u> <u>56.5</u>	5 21.7	1 4.3	3 13.0	1 4.3
	70～79歳	17 100.0	<u>8</u> <u>47.1</u>	2 11.8	3 17.6	2 11.8	2 11.8
	80歳以上	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

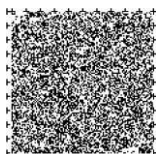


<精神障害>

		合計	毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	無回答
全体		298 100.0	<u>176</u> <u>59.1</u>	59 19.8	25 8.4	34 11.4	4 1.3
本人の年齢別	18～29歳	48 100.0	<u>28</u> <u>58.3</u>	10 20.8	2 4.2	8 16.7	0 0.0
	30～39歳	67 100.0	<u>44</u> <u>65.7</u>	9 13.4	8 11.9	4 6.0	2 3.0
	40～49歳	57 100.0	<u>34</u> <u>59.6</u>	12 21.1	4 7.0	7 12.3	0 0.0
	50～59歳	74 100.0	<u>42</u> <u>56.8</u>	14 18.9	8 10.8	8 10.8	2 2.7
	60～69歳	30 100.0	<u>17</u> <u>56.7</u>	8 26.7	2 6.7	3 10.0	0 0.0
	70～79歳	12 100.0	<u>6</u> <u>50.0</u>	5 41.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> <u>50.0</u>	0 0.0

<難病>

		合計	毎回行く	時々行く	ほとんど行かない	行っていない	無回答
全体		239 100.0	<u>167</u> <u>69.9</u>	33 13.8	12 5.0	24 10.0	3 1.3
本人の年齢別	18～29歳	13 100.0	<u>10</u> <u>76.9</u>	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0
	30～39歳	34 100.0	<u>23</u> <u>67.6</u>	4 11.8	2 5.9	4 11.8	1 2.9
	40～49歳	44 100.0	<u>33</u> <u>75.0</u>	4 9.1	1 2.3	5 11.4	1 2.3
	50～59歳	58 100.0	<u>37</u> <u>63.8</u>	14 24.1	3 5.2	4 6.9	0 0.0
	60～69歳	60 100.0	<u>46</u> <u>76.7</u>	6 10.0	2 3.3	5 8.3	1 1.7
	70～79歳	16 100.0	<u>10</u> <u>62.5</u>	3 18.8	1 6.3	2 12.5	0 0.0
	80歳以上	10 100.0	<u>7</u> <u>70.0</u>	0 0.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0



(11) 【身知精難】問 64-1 選挙に行かない理由

【問 64 で、「ほとんど行かない」「行っていない」と答えたかたにおうかがいします。】

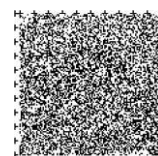
問 64-1 選挙に行かない理由を教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病

単純集計：調査票種別

		合計	選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入することができない	その他	無回答
全体		410 100.0	<u>169</u> <u>41.2</u>	46 11.2	41 10.0	14 3.4	101 24.6	94 22.9	30 7.3
調査票種別	身体	217 100.0	<u>77</u> <u>35.5</u>	35 16.1	22 10.1	11 5.1	62 28.6	49 22.6	12 5.5
	知的	98 100.0	<u>44</u> <u>44.9</u>	0 0.0	7 7.1	1 1.0	32 32.7	16 16.3	14 14.3
	精神	59 100.0	<u>36</u> <u>61.0</u>	7 11.9	12 20.3	0 0.0	3 5.1	15 25.4	2 3.4
	難病	36 100.0	12 33.3	4 11.1	0 0.0	2 5.6	4 11.1	<u>14</u> <u>38.9</u>	2 5.6

- 全体：410 人のうち、「選挙に関心がない」が 41.2%と最も多く、次いで「自分で記入することができない」が 24.6%となっています。
- 身体障害：217 人のうち、「選挙に関心がない」が 35.5%と最も多く、次いで「自分で記入することができない」が 28.6%となっています。
- 知的障害：98 人のうち、「選挙に関心がない」が 44.9%と最も多く、次いで「自分で記入することができない」が 32.7%となっています。
- 精神障害：59 人のうち、「選挙に関心がない」が 61.0%と最も多く、次いで「その他」が 25.4%となっています。
- 難病：36 人のうち、「その他」が 38.9%と最も多く、次いで「選挙に関心がない」が 33.3%となっています。
- その他には、「選挙権がない」「希望が持てる人がいない」「選挙について理解していない」などの回答があります。



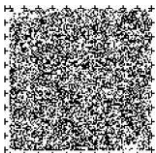
■クロス集計：選挙に行かない理由／本人の年齢別

<身体障害>

		合計	選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入できない	その他	無回答
全体		217 100.0	<u>77</u> 35.5	35 16.1	22 10.1	11 5.1	62 28.6	49 22.6	12 5.5
本人の年齢別	18～29歳	21 100.0	4 19.0	1 4.8	1 4.8	1 4.8	<u>13</u> 61.9	6 28.6	1 4.8
	30～39歳	19 100.0	9 47.4	3 15.8	2 10.5	2 10.5	<u>10</u> 52.6	4 21.1	0 0.0
	40～49歳	31 100.0	<u>10</u> 32.3	5 16.1	6 19.4	3 9.7	5 16.1	9 29.0	3 9.7
	50～59歳	44 100.0	<u>14</u> 31.8	9 20.5	6 13.6	4 9.1	9 20.5	9 20.5	3 6.8
	60～69歳	39 100.0	<u>20</u> 51.3	5 12.8	4 10.3	0 0.0	5 12.8	8 20.5	1 2.6
	70～79歳	20 100.0	<u>9</u> 45.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0
	80歳以上	42 100.0	10 23.8	9 21.4	0 0.0	1 2.4	<u>15</u> 35.7	11 26.2	3 7.1

<知的障害>

		合計	選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入できない	その他	無回答
全体		98 100.0	<u>44</u> 44.9	0 0.0	7 7.1	1 1.0	32 32.7	16 16.3	14 14.3
本人の年齢別	18～29歳	27 100.0	<u>10</u> 37.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	7 25.9	8 29.6	3 11.1
	30～39歳	23 100.0	<u>12</u> 52.2	0 0.0	2 8.7	1 4.3	8 34.8	1 4.3	2 8.7
	40～49歳	22 100.0	<u>10</u> 45.5	0 0.0	2 9.1	0 0.0	7 31.8	5 22.7	3 13.6
	50～59歳	16 100.0	<u>7</u> 43.8	0 0.0	1 6.3	0 0.0	6 37.5	2 12.5	3 18.8
	60～69歳	4 100.0	<u>2</u> 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> 50.0	0 0.0	2 50.0
	70～79歳	5 100.0	<u>2</u> 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>2</u> 40.0	0 0.0	1 20.0
	80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

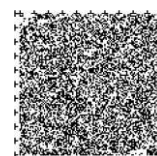


<精神障害>

	合計	選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入することができない	その他	無回答	
全体	59 100.0	<u>36</u> 61.0	7 11.9	12 20.3	0 0.0	3 5.1	15 25.4	2 3.4	
本人の年齢別	18～29歳	10 100.0	<u>8</u> 80.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
	30～39歳	12 100.0	<u>8</u> 66.7	1 8.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0
	40～49歳	11 100.0	<u>9</u> 81.8	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0
	50～59歳	16 100.0	<u>6</u> 37.5	4 25.0	2 12.5	0 0.0	2 12.5	5 31.3	1 6.3
	60～69歳	5 100.0	1 20.0	1 20.0	<u>2</u> 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
	70～79歳	1 100.0	<u>1</u> 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	<u>1</u> 100.0	0 0.0	<u>1</u> 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

<難病>

	合計	選挙に関心がない	投票所に行くための移動を介助する人がいない	選挙や候補者に関する情報が得られない	投票所がバリアフリーでない	自分で記入することができない	その他	無回答	
全体	36 100.0	12 33.3	4 11.1	0 0.0	2 5.6	4 11.1	<u>14</u> 38.9	2 5.6	
本人の年齢別	18～29歳	2 100.0	<u>1</u> 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> 50.0	0 0.0
	30～39歳	6 100.0	<u>4</u> 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7
	40～49歳	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	<u>3</u> 50.0	1 16.7
	50～59歳	7 100.0	<u>4</u> 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0
	60～69歳	7 100.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	<u>4</u> 57.1	0 0.0
	70～79歳	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	<u>2</u> 66.7	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	3 100.0	0 0.0	<u>1</u> 33.3	0 0.0	0 0.0	<u>1</u> 33.3	<u>1</u> 33.3	0 0.0



(12) 【身知精難】問 65 選挙の際の困りごと

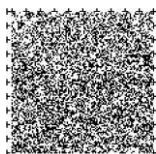
問 選挙の際に困ったことについてご記入ください。(自由記載)

調査対象：

身体	知的	精神	難病
----	----	----	----

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。文末は、ご意見をいただいたかたの調査票種別を表しています。

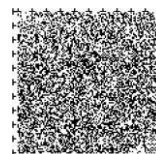
- 期日前投票のスペースがせまい。車いすのかたが不便そう。(身体障害)
- 片手がないため、バインダーで書きづらい。(身体障害)
- 一人で歩いて行ける場所に投票所がない(急な坂はのぼれない)。(身体障害)
- インターネットからでも投票できるとよい。(身体障害)
- 候補者は選挙新聞等の顔で覚えているが投票所では名前のみを見て投票しなければならないため、手伝ってもらっても伝えにくい。(知的障害)
- ディスレクシアにとって文字を書くことは難しい。(精神障害)
- 歩くのが不自由なため、会場内が広いと困る。(難病)



19 豊島区の今後のありかたについて

まとめ 298～302 ページ

- 給付金や手当は、いずれの障害も重要と感じている。医療費の軽減等医療制度は、児童以外のかたが重要と感じている。
- 身体障害のかたは、福祉タクシー券、制度やサービスについての情報提供が重要との回答も多い。
- 知的障害のかたは、グループホーム・短期入所（ショートステイ）の整備、障害者差別解消への啓発・広報活動が重要との回答も多い。
- 精神障害のかたは、就労の支援や職業訓練、障害者差別解消への啓発・広報活動、公的な住宅の整備、相談事業が重要との回答も多い。
- 難病のかたは、福祉タクシー券、道路や交通機関、公共施設の整備が重要との回答も多い。
- 児童は、家族への支援が最も多く 52.5%。給付金や手当以外に、就労の支援や職業訓練、土日・休日の支援、早朝・夜間の支援、通所施設の整備が重要との回答が多い。

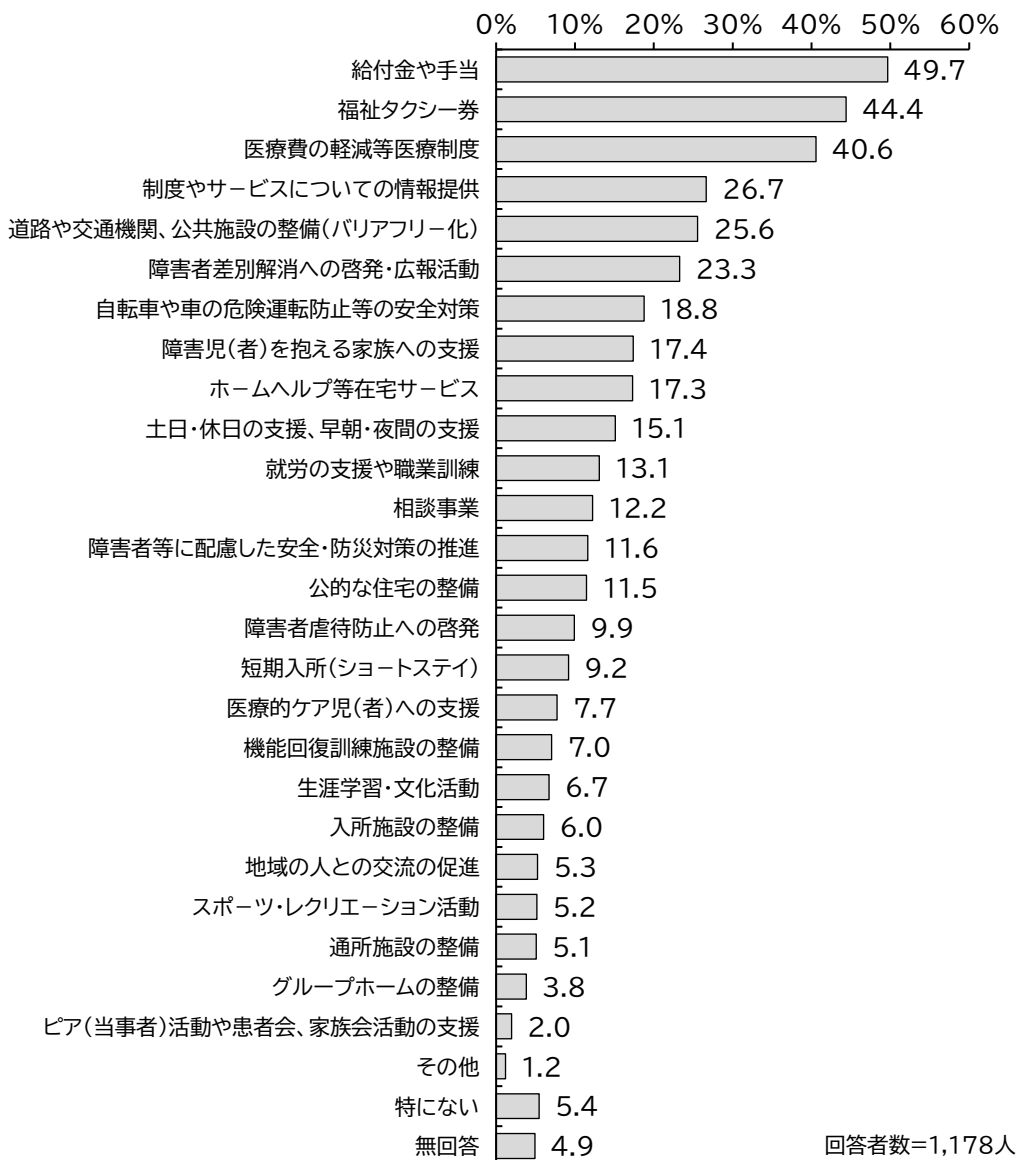


(1) 【身知精難児】問 66 豊島区の地域施策における重要課題

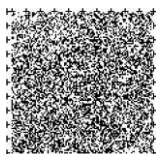
問 豊島区の地域での取り組みで重要だと思うことに○をつけてください。
 (あてはまるもの5つまで○)

調査対象： 身体 知的 精神 難病 児童

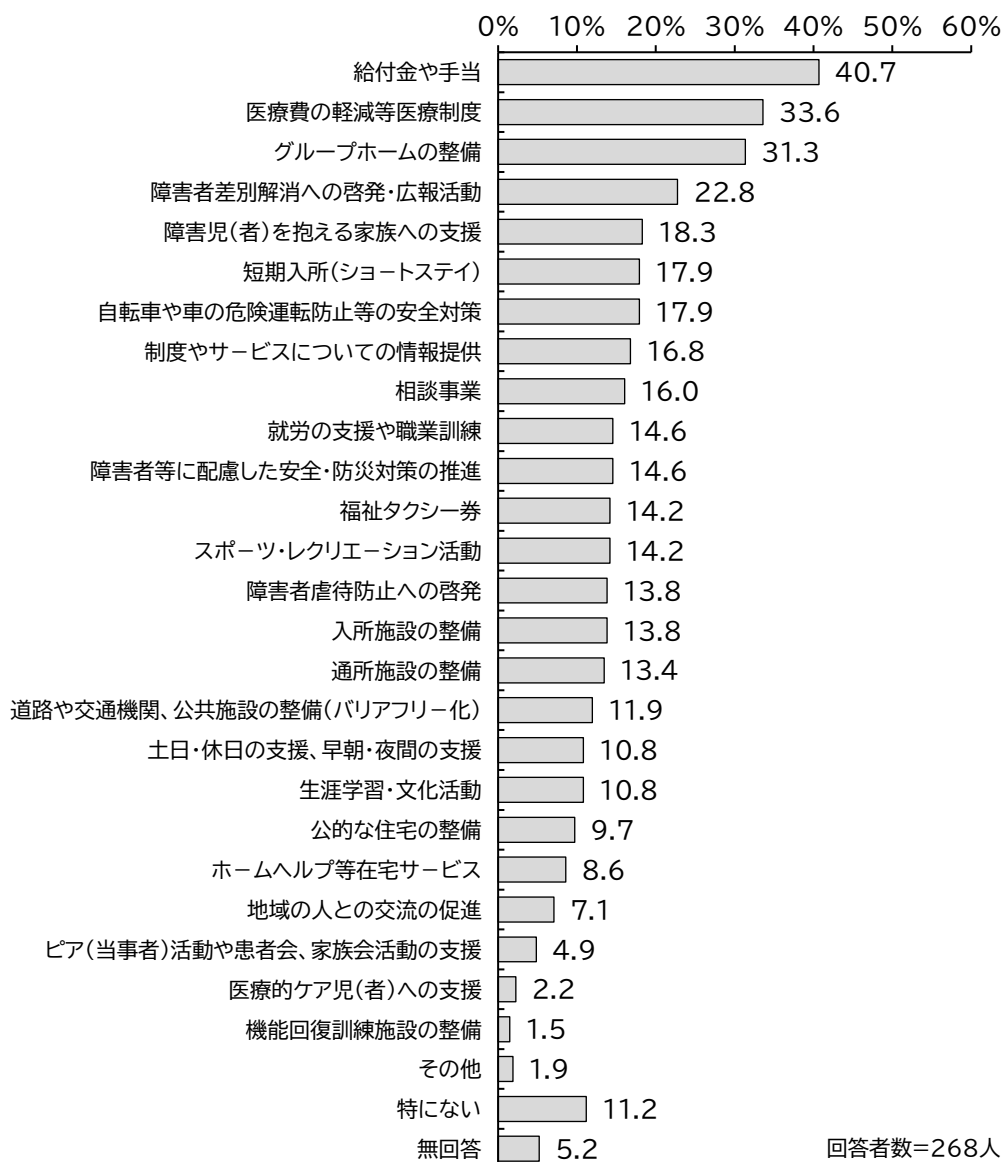
① 身体障害



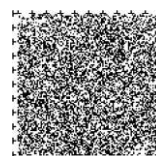
- 身体障害：1,178人のうち、「給付金や手当」が49.7%と最も多く、次いで「福祉タクシー券」が44.4%、「医療費の軽減等医療制度」が40.6%となっています。



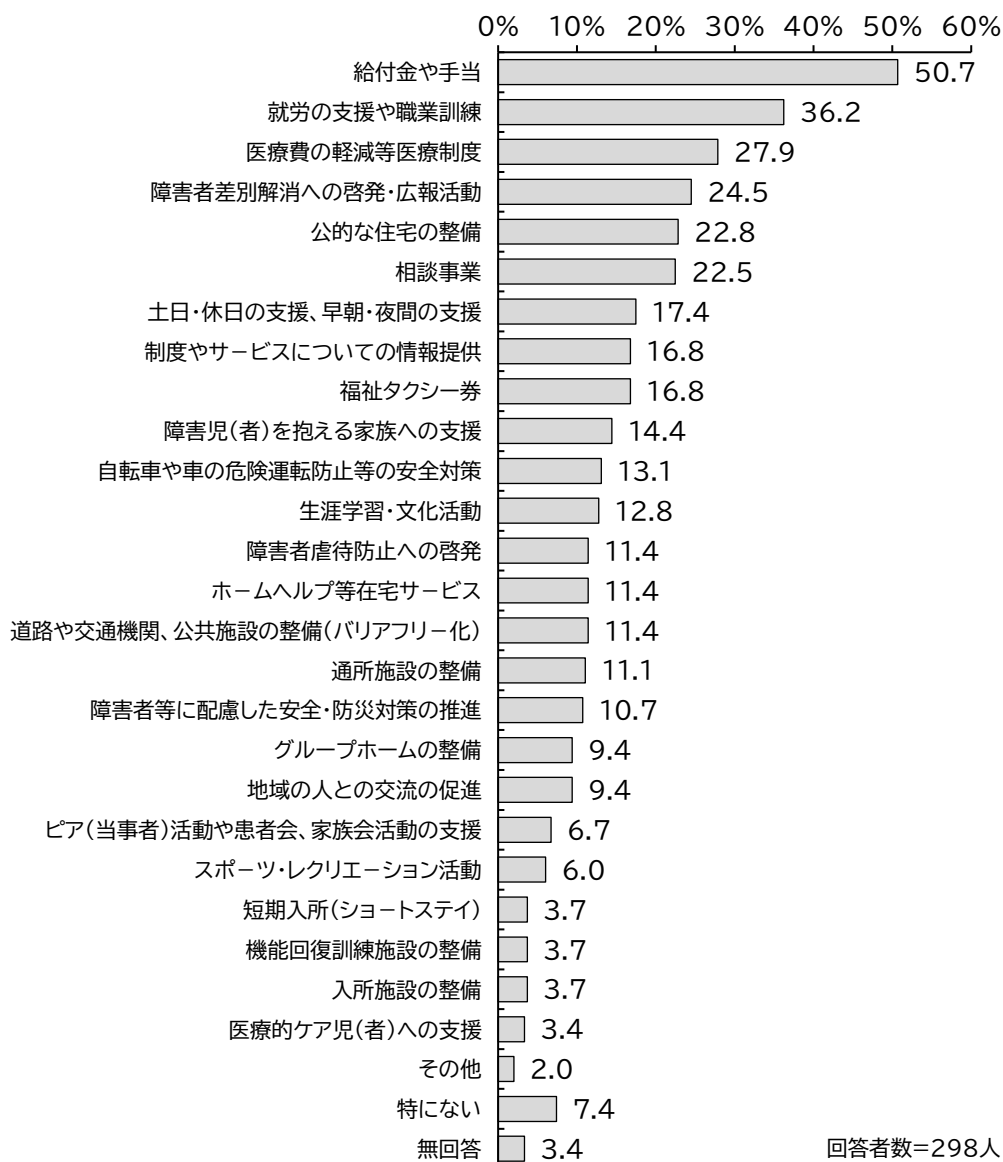
② 知的障害



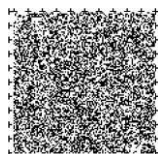
- 知的障害：268人のうち、「給付金や手当」が40.7%と最も多く、次いで「医療費の軽減等医療制度」が33.6%、「グループホームの整備」が31.3%となっています。



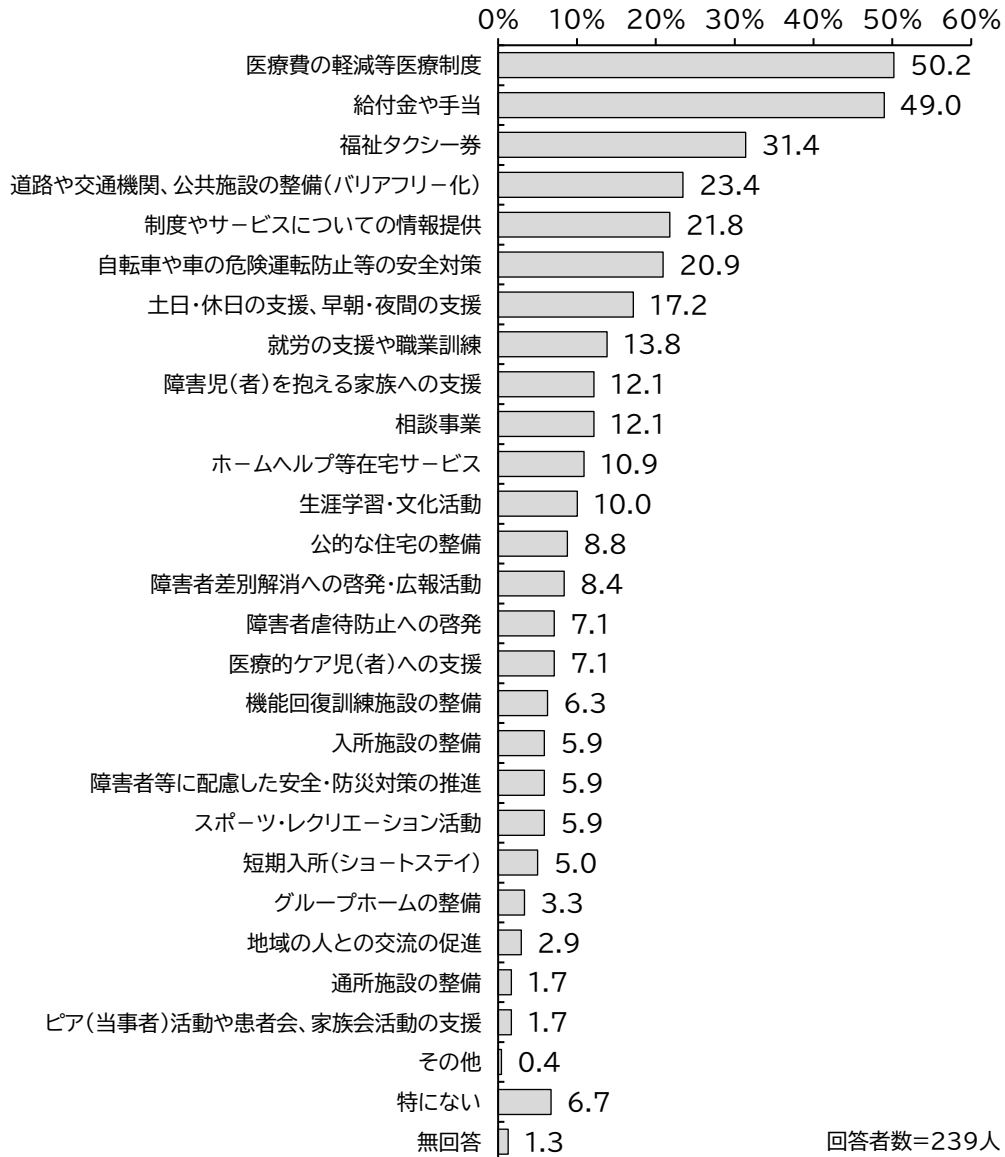
③ 精神障害



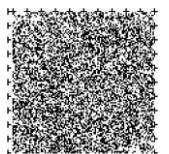
- 精神障害：298人のうち、「給付金や手当」が50.7%と最も多く、次いで「就労の支援や職業訓練」が36.2%、「医療費の軽減等医療制度」が27.9%となっています。



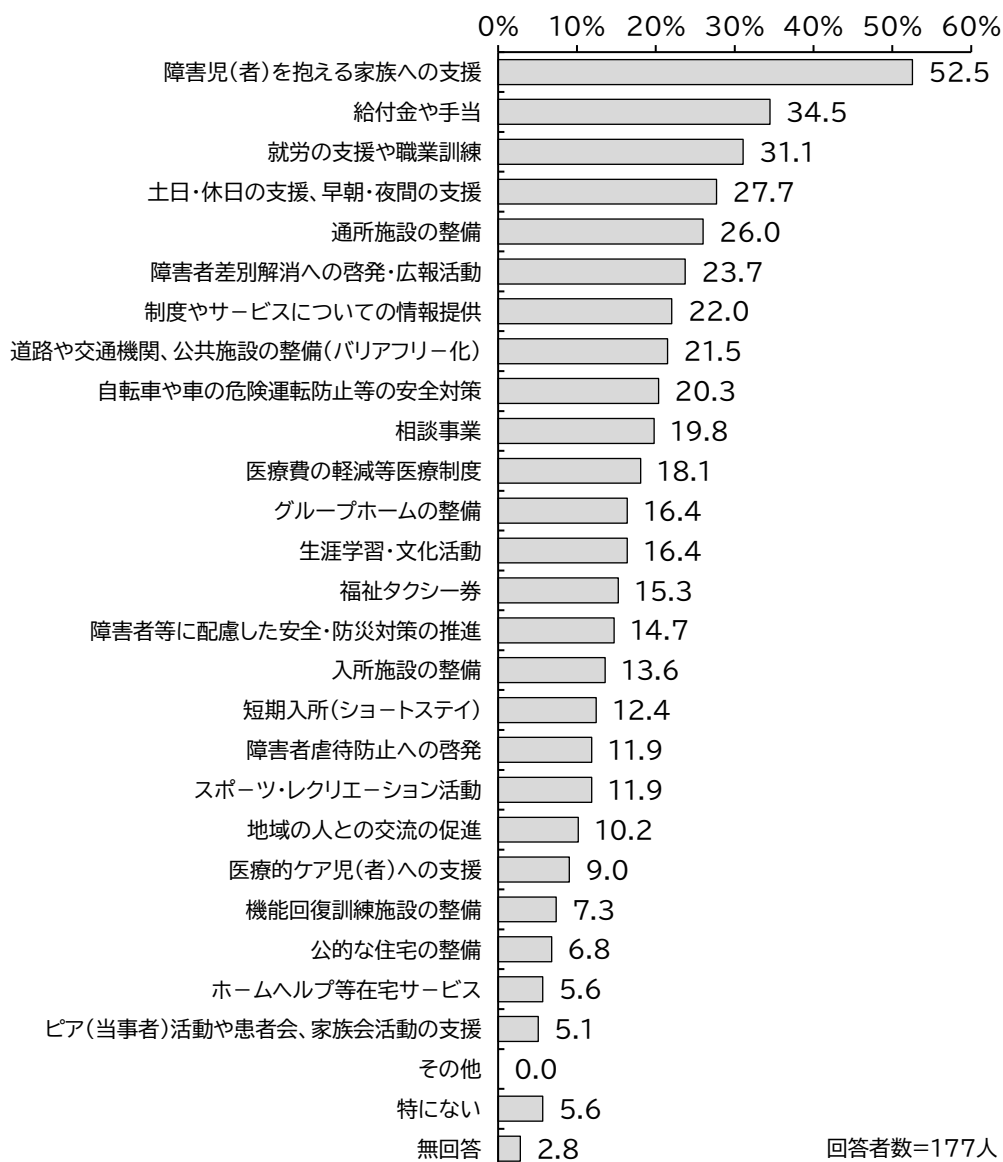
④ 難病



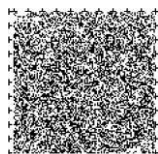
- 難病：239人のうち、「医療費の軽減等医療制度」が50.2%と最も多く、次いで「給付金や手当」が49.0%、「福祉タクシー券」が31.4%となっています。



⑤ 児童

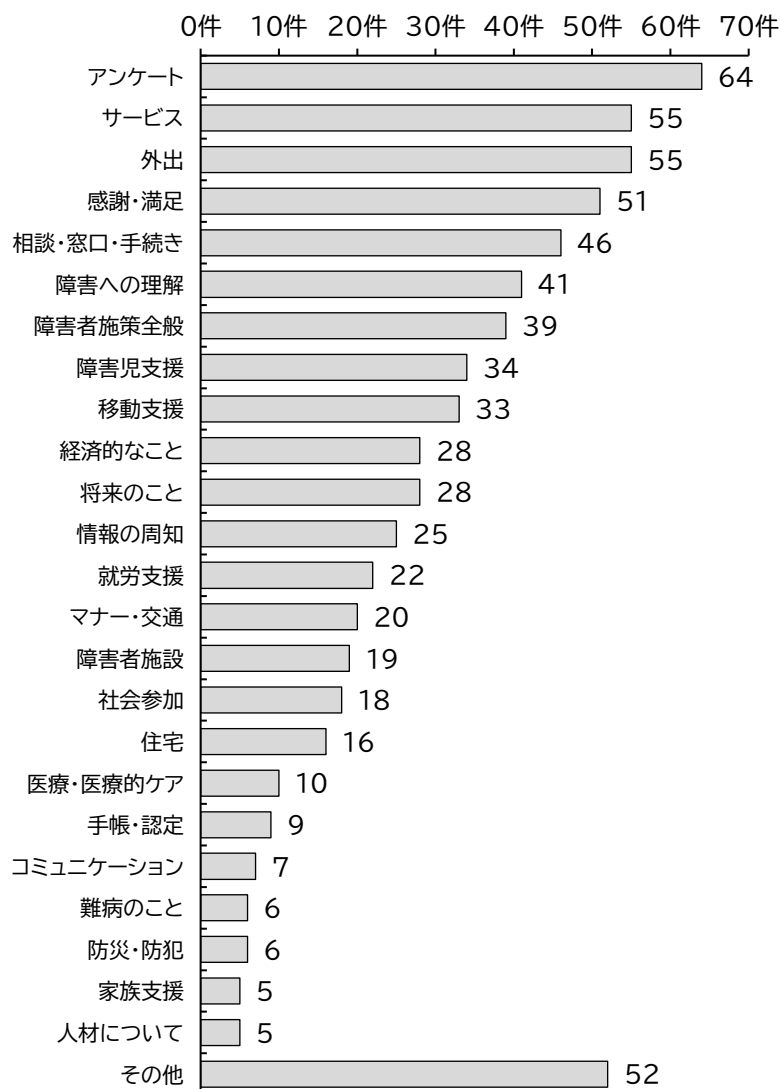


- 児童：177人のうち、「障害児(者)を抱える家族への支援」が52.5%と最も多く、次いで「給付金や手当」が34.5%、「就労の支援や職業訓練」が31.1%となっています。

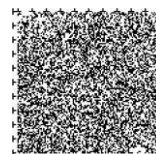


20 自由意見

以下の 694 件のご意見等をいただきました。分類しそれぞれ一部を抜粋・要約して掲載しています。文末は、ご意見をいただいたかたの調査票種別を表しています。



自由記載件数合計=694件

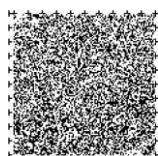


(1) アンケート (64 件)

- アンケートが改善の架け橋になれば良い。＜身体障害＞
- アンケートを進める事で、色々と考える機会を頂いた。＜知的障害＞
- インターネットで回答したかったが、つながらなかった。質問が難しかった。
＜身体障害＞
- インターネットでの回答はシステムが難しく、回答が途中で「サイトが危険なので戻ります」とスマホにさえぎられてしまい、なくな家族に代筆を頼んだ。2 時間以上かかりとても苦労した。全て大切なことなので、ここまで記入してもらった。全て目を通していただきたい。＜身体障害＞
- 回答が難しく長かった。障害の程度やどこなのかによってアンケートの項目を変えなければ、回答に困る質問がある。＜知的障害＞
- 回答の中味を十分汲み取って良いものにしてほしい。＜身体障害＞
- こういった形で聞き取りをしてくださることに感謝している。＜児童＞
- スマホで回答できるのは楽である。＜身体障害＞

(2) サービス (55 件)

- 同行援護の時間数が少ない。増やしてほしい旨を伝えるにもかかわらず（1 年以上お伝えしている）、一向に増えず、大変困っている。そのため、行動が制限されている。通院介助の条件が厳しく、現状、使えていない。同行援護利用の始まりと終わりが自宅であるため、制限が多く使えていない。＜身体障害＞
- 買物に行くことができず、一週間も食べ物がない時があつて困るため、連れて行ってほしい。病院へも連れて行ってほしい。＜身体障害＞
- 障害サービスに比べ、介護保険の支給量が少なく、ヘルパーを頼みにくい。
＜知的障害＞
- 自立支援医療や家事援助等、使わせていただき感謝している。＜精神障害＞
- 成人の発達障害者に対するサポートを充実させてほしい。＜難病＞
- 電話が聞き取りにくい「ヨメテル」があれば、便利だと思った。＜身体障害＞
- マッサージ・はりの補助の増加、タクシー券の増額を強く希望する。＜身体障害＞
- 身体障害者が使えるジムが無い。足が悪いが、上半身や自転車こぎなどのトレーニングをしたい。＜身体障害＞



(3) 外出 (55 件)

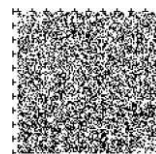
- 液晶画面が見づらいため、飲食店のスマホやタブレットでのオーダー、スーパーのセルフレジができず、不自由を感じている。＜身体障害＞
- 音声信号を付けてほしい。点字ブロックを広い歩道につけてほしい。＜身体障害＞
- 期日前投票の場所について、地域によってかたよりがある。＜身体障害＞
- 道路のでこぼこ、段差、すきまなど、整備に取り組んでほしい（車イスで通る際、道路状況がわるくて困っている）。特に私道をお願いしたい。＜身体障害＞
- 所々にベンチのようなイスが置かれていたら、休み休み歩けるため嬉しい。
＜身体障害＞
- バリアフリー化。またエレベーター、エスカレーターなどを駅等に増やしてほしい。
＜身体障害＞
- 障害者が快適に暮らせる設備や環境は、健常者にとっても快適である（例：駅のエレベーター）。障害者の多くはおむつを常に使用している。おむつの交換には着替え台が必要であるため、多目的トイレと着替え台を増やしてほしい。＜児童＞

(4) 感謝・満足 (51 件)

- いつも暖かい支援がありがたい。区役所のかたが優しく嬉しい。
＜身体障害＞
- 児童発達支援を複数利用しているが、どの事業所も親身に相談にのり、支援を行ってくださり、大変助かっている。精神的にも金銭的にも、豊島区の取り組みに支えられて感謝している。＜児童＞
- 豊島区に住んで 10 年程経つが、今のところ住み心地は良い。スタッフの皆さんのおかげであるため感謝している。＜精神障害＞
- 豊島区の福祉サービスはとても手厚く素晴らしく感じている。＜精神障害＞

(5) 相談・窓口・手続き (46 件)

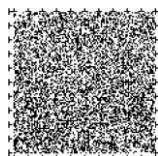
- 福祉に関わることで窓口に行くと、いつも丁寧で明るく対応してくださるためありがたい。＜精神障害＞
- インターネットを活用した相談事業があると、活用しやすいと思う。また交流の場面ではメタバース環境を整えるのも必要であると思う。＜難病＞



- マイナ保険証になってから不自由を感じる。写真撮影時もカメラの前に移動できない体であるため困る（マイナンバーカードの写真）。＜身体障害＞
- 難しい書類などを扱うのが困難なため、手厚いサポートがあると助かる。
＜知的障害＞
- 区役所の代表電話でたらい回しは止めて欲しい。＜身体障害＞
- 区役所障害福祉課の窓口がオープンであり、他人の情報がもれてしまうので個室化してほしい。＜身体障害＞
- 自立支援医療、障害者手帳の更新手続きの非対面对応（インターネット、郵送）を整備し、ホームページで公表してほしい。＜精神障害＞
- 手続きがわかりづらく抜け漏れが心配になるため、育児や発達に関連する保育園、小学校、就学支援、学童・放課後支援、各種手当等、自治体を經由するものはワンストップで相談・手続きできるとありがたい。＜児童＞
- 心身共に障害があり、手続きが煩雑なため緊張する。＜身体障害＞
- 成人の発達障害者のサービスを受けられる対象者が気兼ねなく相談できるようにしてほしい。相談窓口をわかりやすく、増やしてほしい。＜難病＞

(6) 障害への理解 (41 件)

- 私は内臓疾患の障害者のため、見た目では区別はつかず、健常者に見えるが体はとても疲弊している。他人から、そして家族からできえも理解してもらうことが難しいことが悩みである。＜身体障害＞
- 一刻も早く障害による差別がなくなり、健常者との交流や理解が進み、豊島区がみんな仲良く世代もこえて元気で暮らせるように自分も作家としてがんばりたい。
＜精神障害＞
- 障害者が社会人として暮らしやすいように、協力をお願いしたい。＜知的障害＞
- 障害者、とくに依存症に関する地域の理解が深まる事を願う。＜精神障害＞
- ヘルプマークが一般のかたに認知されていない。もしくは知っていても席を譲ってくれる人があまりいない。＜身体障害＞
- 障害者も健常者も住みよい街になってほしい。＜児童＞

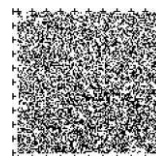


(7) 障害者施策全般 (39 件)

- 障害福祉課主催で、知的障害者向け講座を開いてほしい。区民主権で職員を講師に招く（お届け講座）と、保護者の負担がある。どんな時にどの窓口で相談すればよいのか、どんな内容の福祉サービスがあるのか、災害時はどうしたらよいのか、虐待や差別とはどんなことなのか、必要な医療を受けるにはどうしたらよいのかなどを、プロである職員のかたに分かりやすく説明いただく講座を希望する。
<知的障害>
- 障害者手帳 1 級から 3 年がたち、4 級になった。免許証は 4 級でも半年に 1 回診断書を提出し更新しなければならない。診断書料は自腹であり、普通の人よりお金がかかるという矛盾がおこる。その点を都や区で考えてほしい。<身体障害>
- ヘルプマークは口頭でもらえるため、必要でない人も着けている。簡単にもらえる仕組みを改善してほしい。<身体障害>
- 健聴者向けだけでなく、これから手話を学びたい難聴者向けの手話講座を検討してほしい。<身体障害>
- 障害当事者の意見・要望を可能な範囲で政策実現してほしい。<身体障害>
- 障害者の状況改善のための取り組みに感謝している。<身体障害>
- 多目的トイレの名称を変更して欲しい（経験上、利用者の 100% 近くは健常者で、利用したい時に利用できない。健常者が高頻度に利用することに起因する衛生問題もある）。<身体障害>

(8) 障害児支援 (34 件)

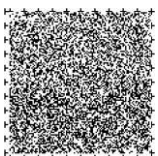
- 自分の子どもや身近に障害のある子・人がいなければ、知らなかったことが沢山ある。大人向けのみならず、小学校での出前授業などで様々な障害について、子どもたちに知ってもらえる機会があるとよい。<児童>
- インクルーシブ保育の保育園、幼稚園を増やしてほしい。実際にインクルーシブ保育をしている保育園、幼稚園を区のホームページに載せてほしい。<児童>
- 放課後等デイサービスの事業所によって、支援内容の幅がある（学習メインの所、見守りメインの所、療育メインの所など…）。障害のレベルで入りにくい所もある。
<児童>
- 小学校、放課後等デイサービス、小児精神科がそれぞれが独立しているため、横の繋がりが弱い。娘の状況を共有できれば、よりよい支援（家庭も含めて）ができると思う。<児童>



- 障害がある子が伸び伸び遊べる場所、公園などができてほしい。〈児童〉
- 制度があっても、知ることができなかつたり、使うことができなかつたりする。発達や障害についても、グレーゾーンの子どもたちへの選択を広げて欲しい。〈児童〉
- 長期休み（夏休み等）に放課後等デイサービスに預ける場合、10時以降からの預かりの所が多く、親は仕事に間に合わない。仕事ができない。〈児童〉
- 日曜・祝日は子どもを預かってくれるところが無いため、日曜・祝日も稼働している放課後等デイサービスが欲しい。〈児童〉
- 豊島区に住んでから、子どもが芸術、スポーツに関わる機会がとて増えて喜んでいる。どんな子どもでも参加できるイベントやコンサートなどをたくさん開催してくれてありがたい。〈児童〉
- 幼児期より学童期の方が、支援が手薄に感じている。〈児童〉
- 療育を受ける施設が満員である。〈児童〉
- 療育施設へ通園できることに感謝している。〈児童〉

(9) 移動支援 (33件)

- 区役所～池袋地域だけではなく、区役所を中心にして豊島区全域の地域移動バスを創設してほしい。〈身体障害〉
- 車椅子ではタクシーに乗ることが難しく、タクシー券が毎年使い切れなため、ほとんどが残ってしまう。〈児童〉
- 身体障害者5級でもタクシー券を支給してほしい。〈身体障害〉
- タクシー券がとても助かっている。〈身体障害〉
- 乗り物全般の利用ルールの周知が必要だと思う。〈難病〉
- 交通費について、都営交通は無料であるが、民営バスも無料にしてほしい（シルバーパス並みに）。〈知的障害〉
- 電動自転車を購入する助成金が欲しい。〈身体障害〉
- 福祉タクシー券を増やしてほしい。〈身体障害〉

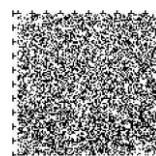


(10) 経済的なこと (28件)

- 物価の高騰により生活保護と工賃の収入だけでは生活が厳しくなっている。保護費の中から地道に貯金して必要な物を購入とあるが、物価高騰でほぼマイナス続きであり、未来への投資準備も難しい状況である事だけでも知ってほしい。〈精神障害〉
- 経済面での不安が軽減され、誰もが安心して暮らせる社会が実現されてほしい。〈精神障害〉
- 物価高騰で生活が苦しいため、補助があると助かる。〈精神障害〉
- 医療費が高いので、助成してもらえるのは助かる。〈難病〉
- 収入の格差で支給手当が無くなることをやめてほしい。〈児童〉

(11) 将来のこと (28件)

- 家族に何かあった時、自分が一人になった時、どのように生活するのが不安である。困った時に相談する場所がわからない。スポーツが好きなため、障害があっても参加できる、楽しめるクラブ等があると良いと思う。〈知的障害〉
- 現在は、母親が障害のある息子を世話しているが、私が亡き後、息子が自立して生活できない。施設で生活してもらうしか方法がない。精神障害もあるため、とても心配である。保健師さんや相談員のかたの支援をお願いしたい。〈身体障害〉
- 自分や妻が死んでしまったり、要介護状態になってしまったりした時に、障害のある子どもが生きていけるのかが心配である。〈児童〉
- 両親がいなくなり、一人になった時、通院や区役所に手続きに行く事ができるか不安である。手伝ってくれる人がほしい。〈難病〉
- 親が亡くなった後、または病気で面倒をみられなくなっても、安心して、地域で過ごせるようにしてもらいたい。(アンケートは本人が理解できないため、親の意見)〈知的障害〉
- 一人暮らしであり、人とかかわることも苦手なため、生活していくことが時として重荷を感じる。それでも、いろいろな方々からご支援いただくこともあり、生きていくことは、大切だと思っている。〈精神障害〉
- 本人と生活している家族、母、祖母の高齢化により、本人の介助が年々重く感じている(母)。将来の生活、暮らす場を考えなければならない。〈知的障害〉
- 行政の支援を受けることができ嬉しく思う一方、将来自立した生活を送れるのかが不安である。就労支援や障害年金等のサービスがあると聞いているが、子どもが大人になった時も受けられるのかなどの情報がわかると良い。〈児童〉

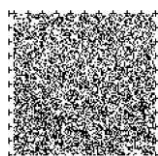


(12) 情報の周知 (25 件)

- QR コードの使い方が難しい。情報が入手しづらい (視覚障害者)。<身体障害>
- どこへ行けば、どのような案内があるのかをもっとわかりやすくしてほしい。
<知的障害>
- 引っ越したばかりのかたや情報を知る術がないかたは、支援にたどり着くまでとても時間がかかる。<精神障害>
- 障害者が受けられるサービスについての情報提供をお願いしたい。<知的障害>
- 聴覚障害があるため、電車が遅延や運行中止になった時に何があったかわからない。
<身体障害>
- 障害のあるかたは情報を手に入れることが難しいので、地域との関わりを深くし、支援に繋がりやすいような取り組みを増やして欲しい。<精神障害>

(13) 就労支援 (22 件)

- 視覚障害者のための職場紹介や就職訓練などを具体的に教えてほしい。<身体障害>
- 学生でも就労移行支援を利用できるようになってほしい (「卒業見込みであれば通所できる」という細則により、休学中や単位取得が困難な学生の就労への道が閉ざされてしまっている。私もその1人だった)。<精神障害>
- 車椅子利用者が就労することに社会がまだ適応していない環境であるため悲しい。早く社会の環境を整えてほしい。障害者と社会の架け橋になりたい。<身体障害>
- 今後B型作業所を使う予定であるが、差別や偏見等、まわりの方々に理解をしていただけると助かる。専門のかたに間に入ってもらわなければ、ストレスで生活や就労がかなり困難である。<精神障害>
- 障害があっても、働く (仕事) 意志のある人が働ける社会になってもらいたい。
<身体障害>
- 区役所内や区の施設など、豊島区内で働く場所を増やしてほしい。<知的障害>
- 車椅子で通勤できるB型作業所を増やして欲しい。<身体障害>

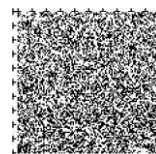


(14) マナー・交通 (20 件)

- 歩道に自転車が置いてあり、いつも転ぶ。目が見えないため困る。〈身体障害〉
- 歩きスマホ、自転車の危険な運転により、危ない目にあう事が多く、全自転車にナンバーをつけ、事故の時にすぐ相手が見つけれられるようにしてほしい。〈知的障害〉
- たばこの投げ捨てをやめてほしい。〈知的障害〉
- 自転車よりも、電動キックボードを運転している人が、子どものすぐ横を徐行せずに通り過ぎる時が怖い。〈児童〉
- 歩道を自転車が当たり前に走ることをやめてほしい。〈身体障害〉
- 路上喫煙の取り締まりを徹底して欲しい。〈難病〉

(15) 障害者施設 (19 件)

- 親亡き後も、生まれ育ち生活してきた地域のグループホームで暮らしたい。〈知的障害〉
- 住み慣れた地域でこの先暮らしたいと思っているため、成人（学校卒業後）した後の仕事、居場所（グループホーム等）探しを支援していただきたい。〈児童〉
- 重度障害者対応の入所施設、グループホームの新設増設をお願いしたい。子どもの親も高齢になり、行き場もない状態である。豊島区にいても入れる施設がないため、他区に引越したかたもいる。地域で生活できる事が希望であるため、ぜひグループホームの新設をお願いしたい。〈知的障害〉
- 豊島区の障害福祉については、他の区と比べても予算があって充実している印象であるが、まだ支援が足りない箇所がある。放課後等デイサービスやグループホームの数を増やすことも大事だが、支援の質を高めるためにも、職員の方々の待遇の改善を強く要望する。〈児童〉
- 福祉サービスから介護保険サービスへの移行により、特別養護老人ホームへ移行することで障害者施設なども施設不足が緩和されるのではないかと思う。そのため、障害者施設での利用可能な年齢をある程度設定してほしい。〈身体障害〉
- （親の立場から）親亡き後の入所先が充実してれば、何が何でもこの地に住み続けたいため、どうか施設の充実をお願いしたい。障害者年金の他にも資金を残すようにがんばりますので。〈知的障害〉



(16) 社会参加 (18件)

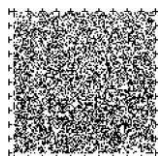
- スポーツ、文化活動に参加したい。〈精神障害〉
- 私は軽度な障害のため、特に実感はないが、重度の障害のかたには手厚い支援が必要だと思う。障害者として支援されている分、手話や点字など他のかたの支援ができたらと思う。〈身体障害〉
- 運動やアート、芸術について障害者が学べる機会を多くつくってほしい。
〈身体障害〉
- 穏やかな気持ちでいたい。人とかかわることで豊かになれる社会でありたい。
〈身体障害〉
- 障害のある人も参加できる音楽イベントを開催して欲しい。〈知的障害〉
- 同じ病気のかたと情報を共有できる、患者会のようなものがあれば参加したいと思っている。〈難病〉

(17) 住宅 (16件)

- 都営住宅に入れないため、住むところが無い。区営住宅をつくってほしい。
〈精神障害〉
- スロープなどの貸出があると助かる。〈身体障害〉
- 部屋を使いやすいように改築するため、改築費用の補助をお願いしたところ、却下された。補助金制度を見直していただきたい。〈身体障害〉
- バリアフリー住宅を増やしてほしい。〈身体障害〉

(18) 医療・医療的ケア (10件)

- 現在の給付も大変ありがたいと思うが、医療品も最近は値上がりが止まらない。ぜひ給付金についても値上がり分の上乗せを検討していただきたい。ストマ用具や滅菌済の医療品に代替品はないため、金銭的な不安が常に頭から離れない。〈身体障害〉
- 医療的ケアを受けられる入所施設が豊島区から近い場所にできることを願う。
〈身体障害〉
- 高額な治療薬、診療への補助金(負担)が大変助かっている。しかし、毎年更新(半年前)と、診断書のお金が大変である。〈難病〉



- 障害者は健常者より病院にかかる頻度が多いため、医療費の負担を軽くしてほしい。<知的障害>

(19) 手帳・認定 (9件)

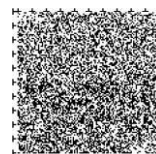
- 障害者手帳や難病医療券をマイナンバーカードと紐付けして欲しい。<身体障害>
- 認定されるのが難しい。目に見える病ばかりでなく、心の病を持っている人達はわかりづらい。ケアする人、支援等の強化が必要である。<身体障害>

(20) コミュニケーション (7件)

- 日々、相手の意図がわからないことが多くもやもやしている。<精神障害>
- 医療系のコミュニケーションが一番心配である。筆談等、時間がかかる点からよく思わない所が多い。<身体障害>
- 耳の聞こえが悪い人に関しては、マイナンバーカードや保険証等で分かるようにしてほしい。役所の窓口や病院など、スタッフの人達の声が小さくて困る。音声で表示されるシステムがもっと増えてほしい。<身体障害>

(21) 難病のこと (6件)

- 区としてというより国としてだが、難病者への支援が不十分だと思う。<難病>
- 通院時にはいつも助かっている。<難病>
- 難病だが障害者ではない。グレーなところが辛いと思うことがある。<難病>
- 難病について制度を充実してほしい。治らない病気については、受給者証の更新を不要にして、一度申請したらずっと有効にしてほしい。<難病>
- 難病指定の基準が厳しくなったため、完治しているわけではないのに症状が軽いと認定されない。<難病>



(22) 防災・防犯(6件)

- 私の家の近所は、木造住宅密集地域で通路幅が狭小しており、災害時、混乱に拍車をかけることが間違いなく、緊急時等で車イス通行もできない。社会のインフラも働きを閉ざされ、生死にかかわる事態も想像される。行政の対応が区民の命にかかわることは明白である。＜身体障害＞
- 災害時の対応をしてほしい。薬、電気、ベッドがほしい。＜身体障害＞

(23) 家族支援(5件)

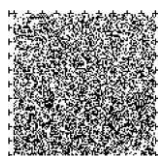
- 障害者のいる(成人)家庭へのサポートをもう少し充実させてほしい。家族会のようなものはあるのだろうか。他に頼れる人もおらず、家族でかかえている。親として何とかしてあげたいけれど、親自身もどうしていけばよいのか方法がわからない。＜知的障害＞
- 両親が働きながら障害児を育てることへのサポートを充実してほしい。＜児童＞
- 家族への相談支援の充実を望む。＜知的障害＞

(24) 人材について(5件)

- ノーリフティング介護をしている病院やリハビリ施設などを増やしていけば、万年人手不足は解消されると思う。＜身体障害＞
- 障害者施設職員は能力ややる気等の個人差が大きいので、教育が必要と感じる。＜知的障害＞
- 福祉サービスに携わる人(金儲けではない人)に良い待遇である区であればいいと思う。＜児童＞

(25) その他(52件)

- 外国人との接点が多くなり、習慣・考え方の違いからトラブルが発生している。言葉の壁もあり、解決に至らないことが多い。国政には期待していないが、区の条例等には期待している。行政ができる事は多いと思う。＜身体障害＞
- 芸術性あふれる豊島区をもっと推進してほしい。あらゆる所がアートでいっぱい、駅地下や道路を歩くだけで楽しい。＜身体障害＞

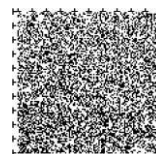


21 重度支援が必要なかたのご意見(14件)

※20 自由意見の再掲を含む

いただいたご意見を一部抜粋・要約して掲載しています。文末は、ご意見をいただいたかたの調査票種別を表しています。

- 重度障害者対応の入所施設、グループホームの新設増設をお願いしたい。子どもの親も高齢になり、行き場もない状態である。豊島区にいても入れる施設がないため、他区に引越した方もいる。地域で生活できる事が希望であるため、ぜひ重度障害者対応の入所施設、グループホームの新設をお願いしたい。＜知的障害＞
- 本人が自分で判断できないことへの理解が支援者に求められるため、障害者施設職員の能力向上のための教育が必要である。＜知的障害＞
- 今は、本人の生活のほぼ全てを介助しているが、親亡き後がとても心配である。どなたかの手をお借りしなければ生きていけないため、生活の場や支援員、ヘルパー、経済的な問題、病気になったときのことなど、常に不安に駆られている。親亡き後も障害のある人が皆、安心して暮らしていけるように、グループホーム等の住居の整備や、生活を支える支援員、ヘルパーの増員や育成を強く望む。＜知的障害＞
- 言葉の理解ができない人に常識を教えるのはとても難しい。学校ではなんとなくできていたことも社会へ出てしまうと枠がなくなり、善悪の区別ができない中で気持ちのまま行動し、問題をおこす。警察から福祉と相談するように言われたが、何を相談して良いのかさえ霧中である。＜知的障害＞
- 障害のある人も参加できる音楽イベントを開催して欲しい。＜知的障害＞
- 家族への相談支援の充実を望む。＜知的障害＞
- 障害者が快適に暮らせる設備や環境は、健常者にとっても快適である（例：駅のエレベーター）。障害者の多くはおむつを常に使用している。おむつの交換には着替え台が必要であるため、多目的トイレと着替え台を増やしてほしい。＜児童＞
- 障害がある子が伸び伸び遊べる公園などが出来てほしい。＜児童＞

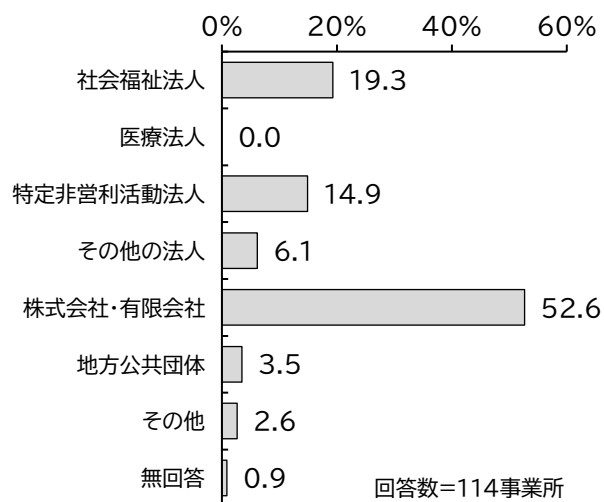


II 事業所調査.....

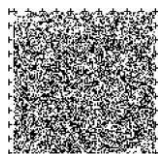
1 事業運営について

(1) 経営主体

問1-1 貴事業所の経営主体をお教えてください。(○は1つ)

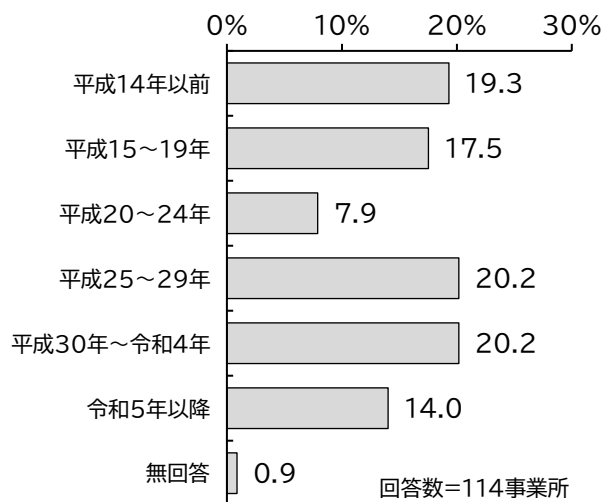


- 経営主体は、「株式会社・有限会社」が52.6%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が19.3%となっています。

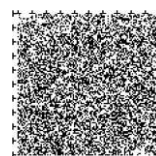


(2) 開業年

問1-2 貴事業所の開業年をお教えてください。(〇は1つ)



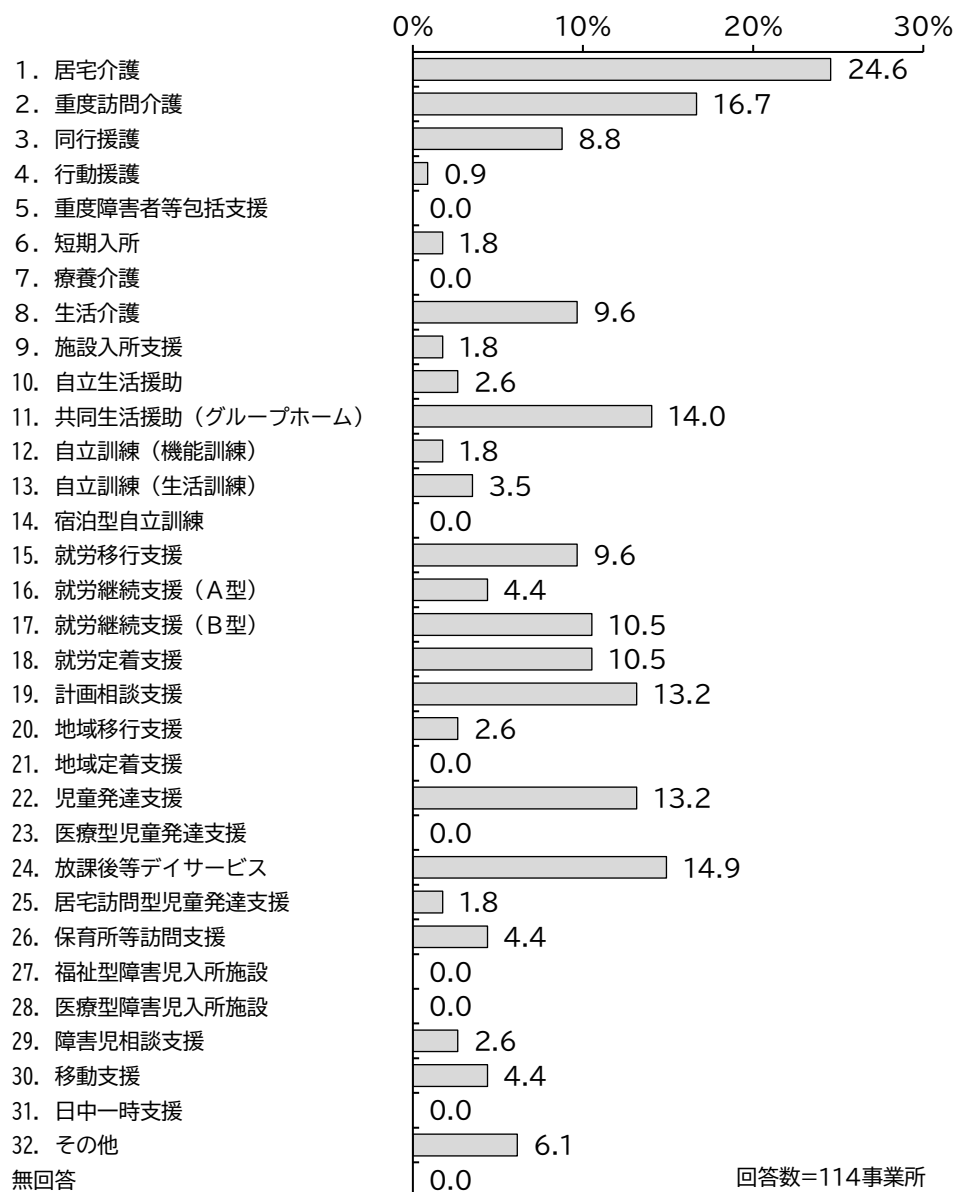
- 開業年は、「平成 25～29 年」「平成 30 年～令和 4 年」がともに 20.2%と最も多く、次いで「平成 14 年以前」が 19.3%となっています。



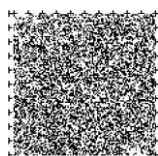
(3) 提供サービス等

問1-3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、障害児福祉サービス等をお教えてください。

(〇はいくつでも)

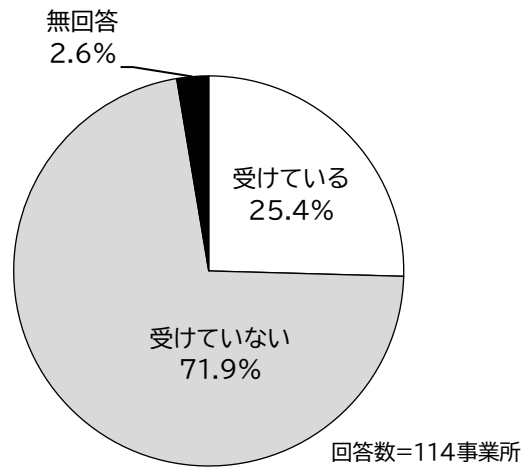


- 提供サービス等は、「居宅介護」が24.6%と最も多く、次いで「重度訪問介護」が16.7%となっています。

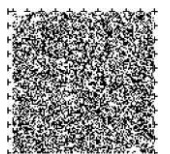


(4) 介護保険サービス指定の有無

問1-4 貴事業所は介護保険サービスの指定を受けていますか。(○は1つ)

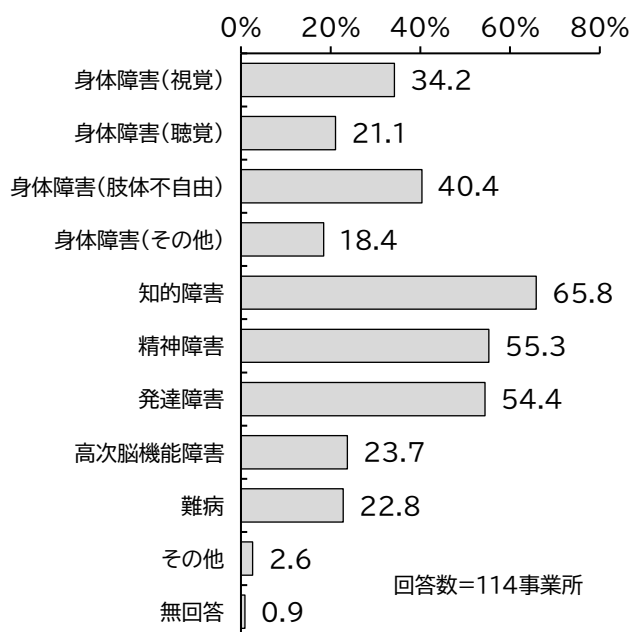


- 介護保険サービスの指定は、「受けていない」が71.9%、「受けている」が25.4%となっています。



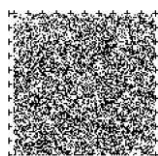
(5) 事業所が対象とする障害種別

問1-5 貴事業所が対象とする障害種別をお教えてください。あてはまる番号に○をしてください。
 (○はいくつでも)
 また、令和7年10月1日時点の利用者数(登録者数)をご記入ください。
 なお、重複障害のかたは、主たる障害でお答えください。



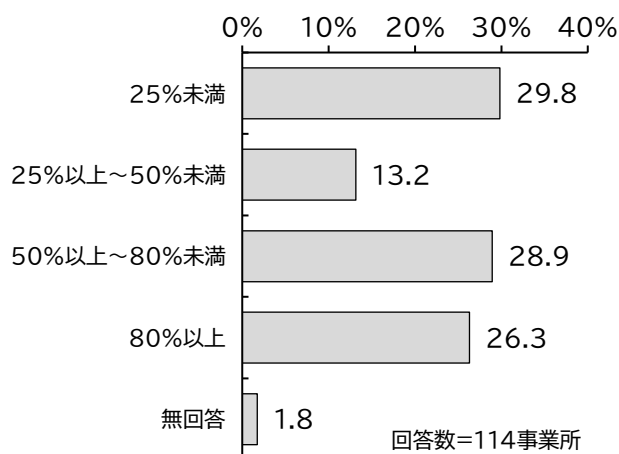
	合計	身体障害(視覚)	身体障害(聴覚)	身体障害(肢体不自由)	身体障害(その他)	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	その他
利用者数(登録者数)	3,676 100.0	256 7.0	74 2.0	336 9.1	41 1.1	923 25.1	898 24.4	<u>993</u> <u>27.0</u>	18 0.5	137 3.7	0 0.0
うち児童数	1,254 100.0	24 1.9	52 4.1	105 8.4	9 0.7	280 22.3	4 0.3	<u>767</u> <u>61.2</u>	0 0.0	13 1.0	0 0.0

- 事業所が対象とする障害種別は、「知的障害」が65.8%と最も多く、次いで「精神障害」が55.3%となっています。
- 利用者は、「発達障害」が27.0%と最も多く、次いで「知的障害」が25.1%となっています。
- 利用者のうち児童は、「発達障害」が61.2%と最も多く、次いで「知的障害」が22.3%となっています。



(6) 利用者数（登録者数）のうち、豊島区で支給決定を受けたかたの割合

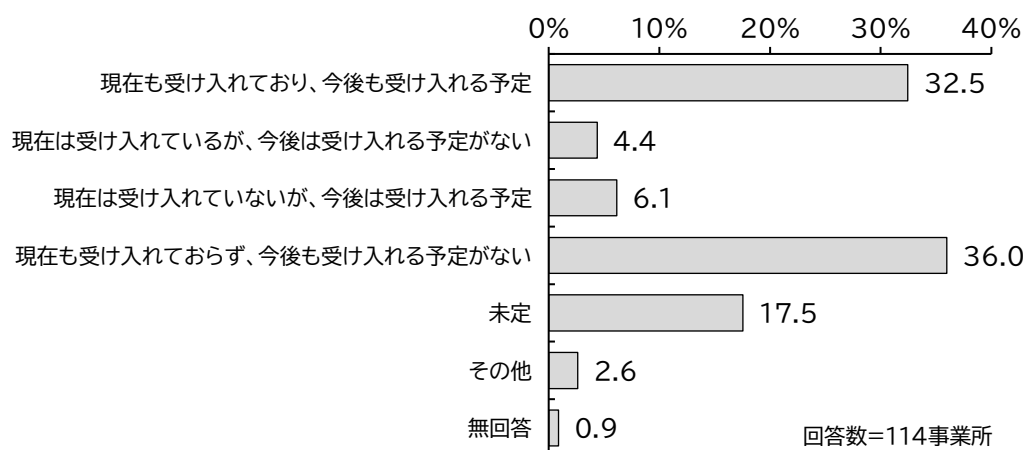
問1-6 問1-5でお聞きした利用者数（登録者数）のうち、豊島区で支給決定を受けたかたの割合はどれくらいですか。（〇は1つ）



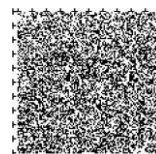
- 利用者数（登録者数）のうち、豊島区で支給決定を受けたかたの割合は、「25%未満」が29.8%と最も多く、次いで「50%以上～80%未満」が28.9%となっています。

(7) 重度障害者（児）の受け入れ

問1-7 貴事業所では、現在重度障害者（児）（障害支援区分5・6のかた）の受け入れをしていますか。また、今後受け入れを予定していますか。（〇は1つ）

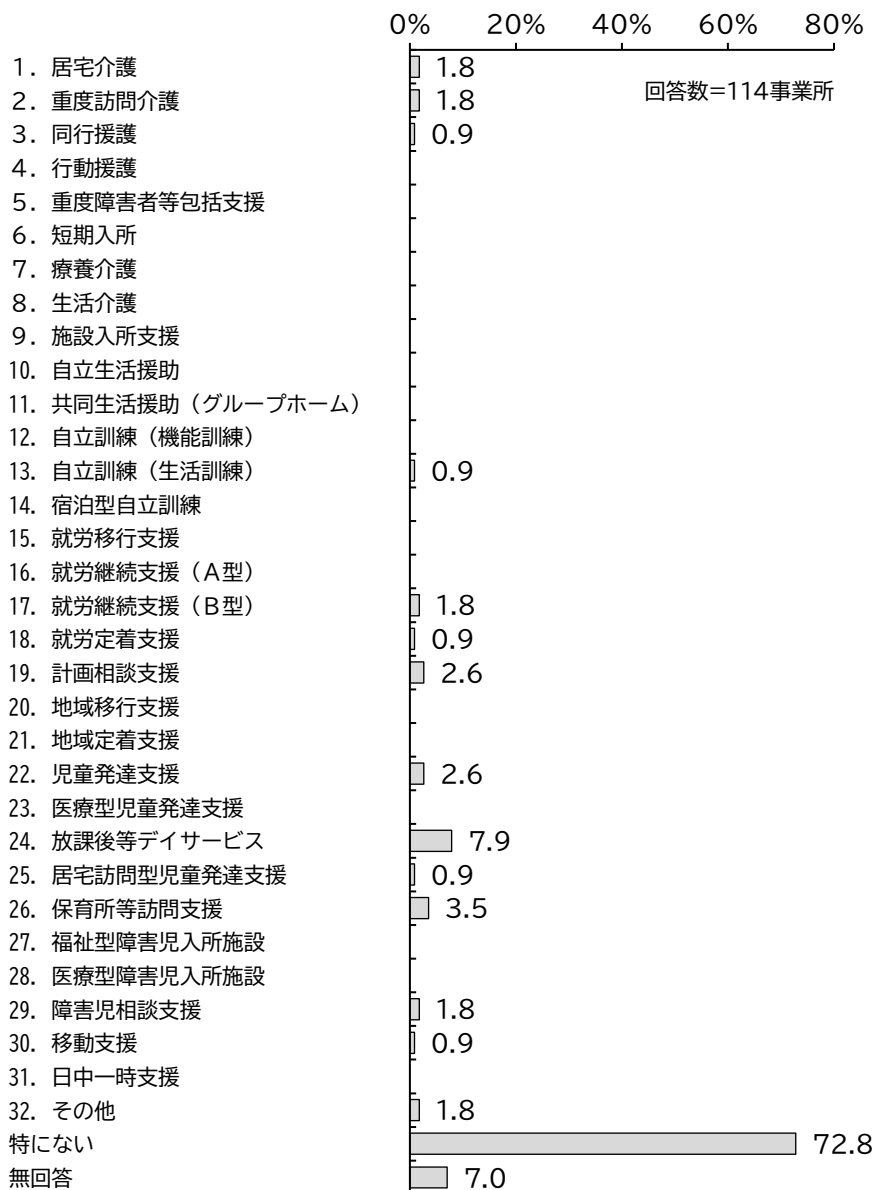


- 重度障害者（児）の受け入れは、「現在も受け入れておらず、今後も受け入れる予定がない」が36.0%と最も多く、次いで「現在も受け入れており、今後も受け入れる予定」が32.5%となっています。



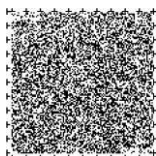
(8) 今後新しく提供予定のサービス

問1-8 貴事業所において、今後新しく提供予定のサービスをお教えてください。(〇はいくつでも)



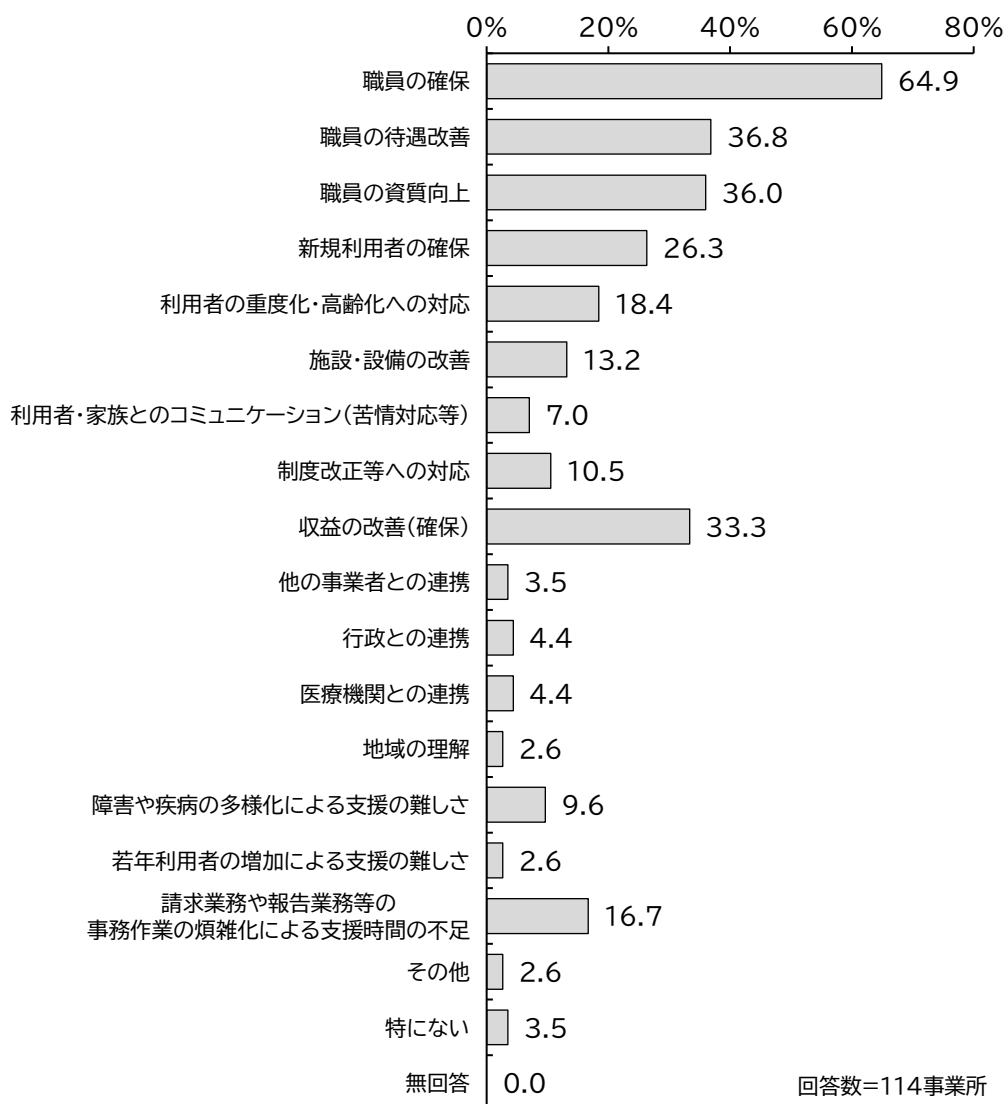
※回答数が0で割合が0.0%は表記していない。

- 今後新しく提供予定のサービスは、「特にない」が72.8%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が7.9%となっています。

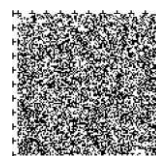


(9) 事業所の運営上の課題

問1-9 貴事業所の運営上の課題はありますか。(〇は3つまで)



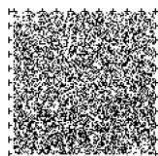
- 事業所の運営上の課題は、「職員の確保」が64.9%と最も多く、次いで「職員の待遇改善」が36.8%となっています。



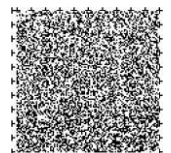
問1-10 問1-9で選択した、貴事業所運営上の課題を選んだ理由をご記入ください。(自由記述)

以下の運営上の課題等を記載いただきました。一部抜粋・要約等をして記載しています。文末の番号は318ページの提供しているサービスの番号を指しています。

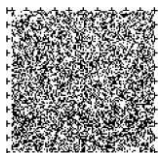
運営上の課題 (記載件数)	内容 (一部抜粋)
職員の確保 (63件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 法人全体で常勤職員が欠員の状態。 < 8, 19 > ▪ 職員の確保が不足していて、サービスを提供できない。 < 1, 2 > ▪ 慢性的な人員不足。 < 8, 10, 11, 13, 16, 17, 18, 19, 20 > ▪ 学生は退職日が決まっていて、次の人材がうまく繋がらない。長期休暇中(夏休みなど)の人材を揃えるのが難しい。 < 24 > ▪ 職員の欠員が常態化している。 < 17 > ▪ 少子化による社会的な人員不足。 < 11 > ▪ 退職者、離職者が多く、補充が間に合わない。 < 15, 18 > ▪ 人数的に不足はもちろんだが、技術的にも不足。 < 1 > ▪ 非常勤を含め専門職の確保が難しいため。 < 12, 19 > ▪ 訪問介護員のなり手不足。新規案件を受けられない。 < 1, 2, 30 > ▪ 療育ひとり立ちするまでの育成に時間かかるため。 < 22, 24, 26 > ▪ 看護師を確保するのが難しい。 < 24 > ▪ 専門性の高さ(手話、ろう者等)から人材がいない。 < 22, 24 > ▪ 募集しても反応がない。 < 1, 2, 3, 11, 17 > ▪ 雇用条件が特に良いというわけではない。 < 32 > ▪ 報酬が低すぎるから。 < 19 > ▪ 有資格者の確保、長期間勤務できるかたが少ない(賃金の伸びや賞与、退職金など他業種に比べ低い)。 < 22, 24 > ▪ ヘルパーの人数が少なく、高齢化も進んでいるため。 < 1, 2, 30 > ▪ 中堅の職員が退職し新規雇用をしているが、応募は高齢の職員が多く若い職員の応募が非常に少ない。 < 32 > ▪ 職員の定着が難しい。 < 11 > ▪ 職員が安定せず、早期離職が多いため。 < 22 > ▪ 有料媒体を利用しても採用が厳しくなっている。 < 1, 2 >
職員の待遇改善 (31件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 処遇改善や助成金を活用し改善に努めているが、物価高騰もあり、基本報酬単価を上げなければ賃金アップにつながらない。 < 1, 2, 11 > ▪ 業績悪化により、職員の待遇改善も今後見通しづらいため。 < 15, 18, 19 > ▪ 国の助成金が減少しているため。 < 22, 24, 26 >



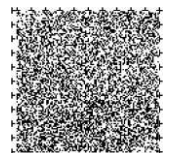
運営上の課題 (記載件数)	内容 (一部抜粋)
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 時間の割に職員に還元できない。 < 1, 2 > ▪ 人件費、福利厚生予算が少ない。 < 32 > ▪ 最低賃金の急激な上昇とともに、処遇の改善を進めたいが財源を確保するのが難しくなっている。 < 1, 2, 3, 4 > ▪ 法人全体の収益が上がらないと職員の昇給や賞与支給も難しくなり、賃金を理由に退職する者も過去にいたため。 < 1, 2, 30 >
職員の資質向上 (37件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ オールマイティーに技術力向上が必要になる。 < 1, 2 > ▪ 日々の業務がルーチン化して、新しい知識の獲得や、自身のスキルアップの意欲に乏しい職員が多い。 < 32 > ▪ 日々の業務に追われ、なかなかスキルの研鑽ができない (研修に行く時間が確保できない)。 < 24 > ▪ 障害特性に合わせた個別支援、高齢化に伴う専門的な支援、虐待防止の基礎知識や意識の向上など、専門性の向上が求められる。 < 11 > ▪ 専門性を高められるようにしていきたい。 < 22 > ▪ 育成に時間がかかる。経費がかかるため。 < 22, 24, 26 > ▪ 研修などの時間を十分に確保できない。 < 22, 24 > ▪ 社会人としての基本的な事ができない人が多い。 < 1, 2 > ▪ 自律、アンダーコントロールのできない職員が、度々見受けられるため。 < 17 > ▪ スタッフの高齢化による、新しい情報への不応等。 < 11 > ▪ 制度が目まぐるしく変化するため。 < 19 > ▪ 予算に余裕がない。 < 32 > ▪ 経験の浅い職員もおり、今後のチーム力向上が課題だから。 < 19 > ▪ 精神疾患の多様化により、利用者支援の難しさを感じているため。 < 17 > ▪ 内部研修など、指導者の力量不足。 < 11 > ▪ 事業所の人員配置の中で、有資格者の外国人もいるが、支援の方法など統一を図りたいが、国や文化の違い、言葉の壁もありコミュニケーションでの解釈や意思疎通で若干苦勞している。色々な研修を受講していきたい。 < 24 >
新規利用者の確保 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 安定した事業所運営には新規利用者が欠かせないが、問い合わせが少ない。 < 1, 15, 18, 32 > ▪ 新規利用者が確保できず、存続が危うくなっているため。 < 15, 18, 19 > ▪ 登録している利用者数は横ばいだが、安定して通所する利用者が年々少なくなっている。 < 32 > ▪ 利用者を増やして空きクールを埋めていきたい。 < 22 > ▪ 職員確保ができないので新規利用者確保も難しい。 < 1, 2 >



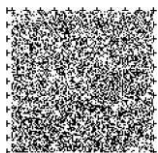
運営上の課題 (記載件数)	内容 (一部抜粋)
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ B型事業所の新規利用希望者がなく、定員を下回っているため。 < 8, 17, 19 > ▪ 都度、就職して契約解除となるため、常に周知活動が必要。 <15, 18 > ▪ 児童発達支援や放課後等デイサービスは就学前までのサービスであるため、利用期間が短いところが難しい。 <22, 24 > ▪ 一昔前に比べ勤怠不安定な人が、週5日通所されないかたが増えている。 <15, 18 > ▪ 生産量が減少してしまい、プログラムが成立しなくなってしまう。 <17 > ▪ 年々利用者減状態が続いている。 <17 >
利用者の重度化・高齡化への対応 (18件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ グループホームでの支援には限界がある。 <11 > ▪ 知的障害者の高齡化による新たな課題への対応等。 <11 > ▪ 加齡により ADL が低下するご利用者に対し適切なケアを提供できるようにする。 < 1, 2, 3 > ▪ 介護保険制度への移行、併用など、利用するサービスの整合性精査。 < 8, 19 > ▪ 高齡の利用者、保護者が多いため。 <19 > ▪ 重度化や高齡化によるニーズの変化や、介護者の高齡化も伴ってくるから。 <19 > ▪ 年齢による体力の衰えや内科疾患などへの対応の難しさ。 <17 > ▪ 利用者・保護者の高齡化により、サービス移行者が続き登録者が年々減っている。 <17 > ▪ 利用者やその家族の高齡化により、一事業所だけでは対応が困難な事例が増加している。 <32 >
施設・設備の改善 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 建物の老朽化、家賃の値上がり。 <11 > ▪ 基本的には会社の方針で全障害対象受け入れとしているが、施設が完全なバリアフリー対応ではないため。車椅子利用者も通所しているが、トイレまで行くのに自立歩行が可能なかたに限られる。 <15, 18 > ▪ 経年劣化による頻繁な修繕。 <11 > ▪ 災害時の備蓄品などを充実させたいが費用面で難しい。 <15, 18 >
利用者・家族とのコミュニケーション (苦情対応等) (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 意思疎通が難しい利用者が多いため。 < 1, 2 > ▪ 障害特性により、コミュニケーションが苦手で相談することができないことやトラブルにつながるケースがあり、ご家族や関係機関との連携が課題。 <15, 18 >



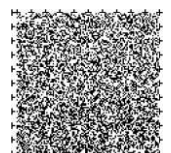
運営上の課題 (記載件数)	内容 (一部抜粋)
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 面談等、お誘いはしているが、なかなかお越しいただけないため、コミュニケーション不足。 <22, 24, 26> ▪ 利用者によるカスタマーハラスメント。 <11> ▪ 利用者・ご家族のニーズにベストマッチする支援がない時のぶつけどころのない思いを引き受けることが多いため。 <19, 29>
制度改正等への対応(9件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 3年に1度の法改正が売上に大きく影響する業務のため、正しい解釈と対応はとても重要であるとする。 <22, 24> ▪ こちらは課題というより、いかに迅速に対応できるかが大事。 <16> ▪ 委員会、研修、会議など実施を求められるものの増加。 <11> ▪ 解釈が難しく、見落としがちになる。 <24> ▪ 最新の制度や規則などに対応できていない部分がある。 <17> ▪ 利用希望者のサービスの利用申請を受け付けてもらえない。また利用申請が降りるまで時間がかかる。人員上の問題で管理者やスタッフの業務負担が多い。全体的に現状の制度設計が現実に追いついておらず、現場が疲弊をしている。 <15, 18>
収益の改善(確保) (32件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ガソリン代や光熱費、食料品の高騰及び最低賃金の大幅な上昇により経営を圧迫している。駐車場代も値上がっており、送迎加算ではまかないきれない。 <24> ▪ 法人運営維持のため。 <17> ▪ 給付金が物価高騰、人件費増に追いついていない。 <15> ▪ 業務の効率化が難しく、コストがかかってしまうため。 <11> ▪ 空室の状態と入居希望が出てくるタイミングのズレ、退居時の修繕費の未収金が発生してしまう。 <11> ▪ 雑多な相談業務が加算につながらないため。 <19> ▪ 児童欠席時に、収益が0円になるので、改善してほしい。 <22, 24, 29> ▪ 組織化を安定させるために、今より余裕が必要なため。 <1, 2> ▪ 報酬改定で倒産する事業所が増えているというニュースを見る。利用者に迷惑をかけないように事業所の運営が継続していく必要があるため。 <1, 2, 30> ▪ 利用者に安定した給与と工賃を支払うための安定した仕事(作業)の確保が課題である。 <16, 17> ▪ 利用者の増加があまりない割に、人件費が高く、収益が上がらないため。 <22>
他の事業所との連携(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 常に必要と考えているため。 <1, 2>



運営上の課題 (記載件数)	内容 (一部抜粋)
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 他の事業所の考え方やスケジュールが合わないことなど様々な理由で連携が難しい場合がある。 <15, 18> ▪ 利用者の高齢化に伴う介護分野（地域包括・ケアマネ等）との連携の必要性。 <11>
行政との連携 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 強権的スタンスなので連携が取りづらい。 <15> ▪ 各自治体によって、方針や考え方がバラバラで不一致。こちらからの相談を拒むような姿勢を見せる自治体もある。 <15, 18> ▪ 現状の心身状況に即した区分の変更相談や高齢サービスへの移行が望ましいかたへの連携。 <11>
医療機関との連携 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 医療機関の考え方や方針によって連携が出来ない場合がある。 <15, 18> ▪ 医療的ケア児等コーディネーターの存在を知らないことが多く、介入が遅れてしまうことで、適切なサービスが受けられていないケースが多い。医ケアの場合は迅速に、また医療機関から在宅移行へのスムーズな移行が重要であるので、退院したら終わりといった、医療機関側との温度差を早期介入によって解消したい。 <19> ▪ 知的障害者でも、内臓やホルモンバランスで、健常者とは異なる部分があり、ご家族に正しく状態を教えて頂き連携が取れる体制は必要と考える。 <1, 2> ▪ 認知症の検査や医学的な観点での対応方法の助言。 <11>
地域の理解 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 住み慣れた場所で安定して過ごすためには、相互に理解の努力は必要と考える。 <1, 2> ▪ 地域との連携をもっとしたいと考えているが、なかなか進まない。 <1, 2, 3, 4>
障害や疾病の多様化による支援の難しさ(8件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ サービスと他のサービスとの間に隙間が多くなっているため。 <19, 29> ▪ 利用者一人ひとりに対して、丁寧な支援が必要となっている。 <19, 20> ▪ 行動障害等、障害も難しくなっているため、専門知識を一人ひとりが学び、深めないと、対応に困ることがあるため。 <8> ▪ 障害特性の個性化が強くなってきているように感じる。現状の法律や制度が追いついておらず、決められた法制度範囲では対応しきれない。 <15, 18> ▪ 精神疾患といっても幅広く、障害特性によって支援の在り方が全く変わってくるため。 <17> ▪ 訪問対象になった精神障害（知的障害も含め）また他障害も注意すべきところは個々に違う。また一定のヘルパー継続が望ましいので、長期間の支援も課題になる。 <1, 2>



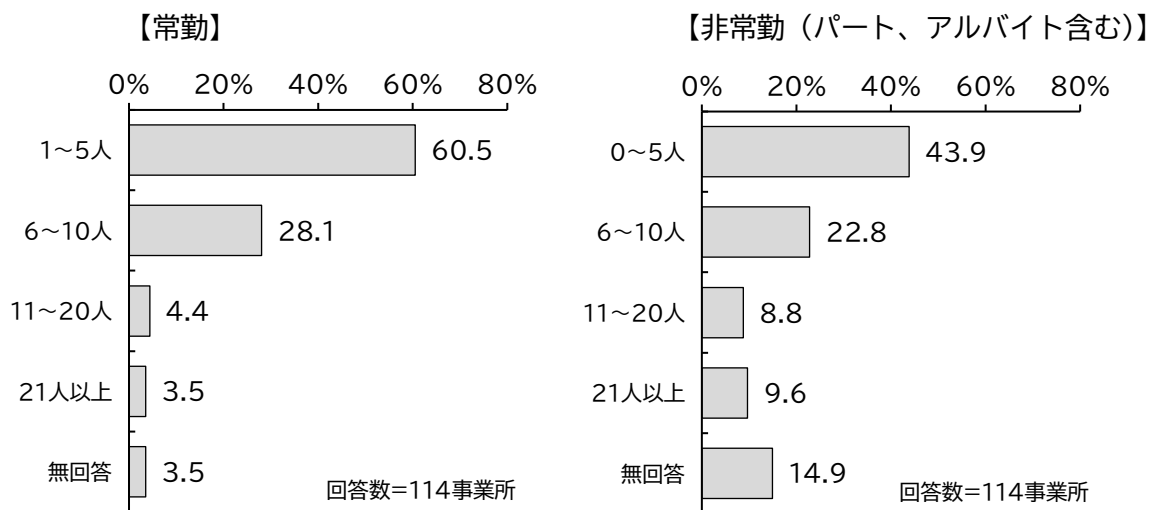
運営上の課題 (記載件数)	内容 (一部抜粋)
若年利用者の増加による支援の難しさ(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 家族と離れて暮らしているかたなどが何の生活サポートも受けずに来られる場合も多々あり、通所施設である分、ある程度の生活状況を整えてから通っていただく必要があるため、前準備も含めて受け入れ対応することがある。家族のサポートがある・なしによって、ご本人の生活制限度が変わってくるため、通所訓練生活に大いに影響があると考えている。<15,18> ▪ 生まれ育ってきた時代背景によって大きく価値観などが変わっており、福祉の支援というより、教育分野(心理教育を含む)のサポートのかたが有効と感じることが多い。<15,18>
請求業務や報告業務等の事務作業の煩雑化による支援時間の不足(14件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 国保連請求の仕組みが複雑すぎる。<1,3> ▪ 請求業務や報告業務、研修等の事務作業に追われている。個別支援計画、モニタリング、面談、人事考課等の業務を数名のスタッフが業務負担と感じている。<24> ▪ 業務量が多く、複雑すぎて著しく効率化を欠いている。<15,18> ▪ 事務が煩雑で無駄が多い。行政側でも効率化を目指してほしい。また無駄なアンケートが大量に送られてくる。<1,2> ▪ 処遇改善加算や補助金の申請が煩雑。<15> ▪ 制度改定にともない書類業務が増えており、利用者への支援にあてる時間が減ってきているため。<1,25,26,32>
その他(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域活動支援センターの補助金が少なく、計画相談の報酬も少なく、専従職員を配置できない。<19,20> ▪ より高単価な作業を開拓することで、利用者に工賃として還元ができることから、既存取引先への交渉や、新規開拓先を見つけているため。<17> ▪ 障害者手帳を持っていないかたで介護サービスにもあてはまらないかたに対して、支援提供の難しさや限界を感じている。<8,11,13,16,17,18,19,20,29>



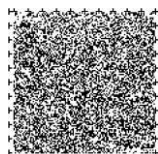
2 職員について

(1) 事業所の職員数（実人数）

問2-1 貴事業所の職員数について（ ）内に数値をご記入ください。

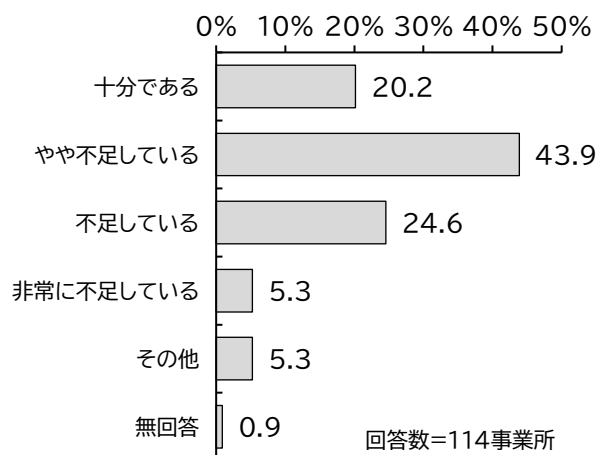


- 事業所の職員数は、常勤は、「1～5人」が60.5%と最も多く、次いで「6～10人」が28.1%となっています。
- 非常勤（パート、アルバイト含む）は、「0～5人」が43.9%と最も多く、次いで「6～10人」が22.8%となっています。



(2) 職員の充足状況

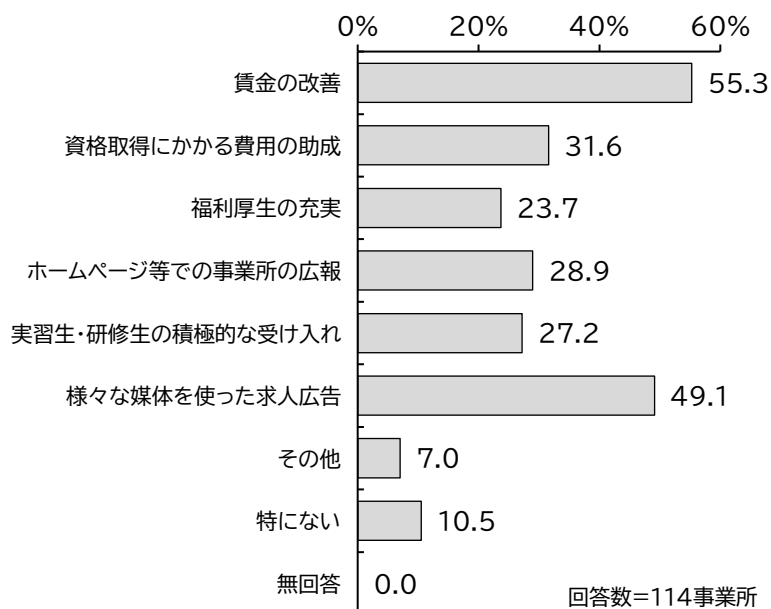
問2-2 貴事業所では職員は充足している状況にありますか。(○は1つ)



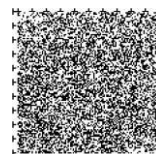
- 職員の充足状況は、「やや不足している」が43.9%と最も多く、次いで「不足している」が24.6%となっています。

(3) 人材確保のための取り組み

問2-3 貴事業所では人材確保のためにどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

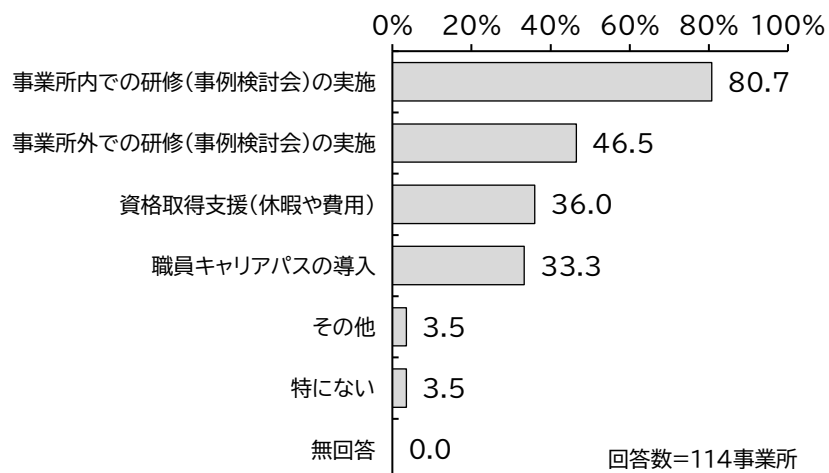


- 人材確保のための取り組みは、「賃金の改善」が55.3%と最も多く、次いで「様々な媒体を使った求人広告」が49.1%となっています。

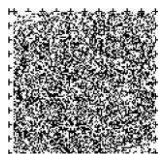


(4) 人材育成のための取り組み

問2-4 貴事業所の人材育成のためにどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)



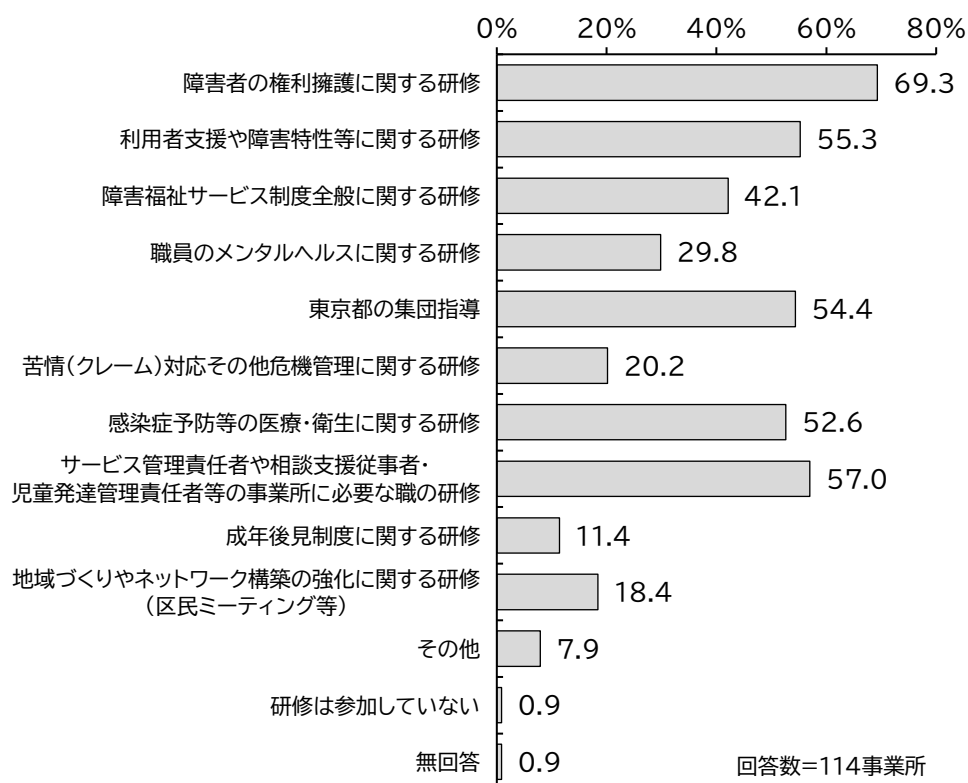
- 人材育成のための取り組みは、「事業所内での研修（事例検討会）の実施」が80.7%と最も多く、次いで「事業所外での研修（事例検討会）の実施」が46.5%となっています。



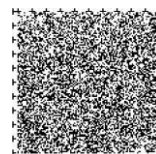
(5) 研修の参加状況

問2-5 過去1年間に、貴事業所の職員が事業所内外を問わず参加した研修はありますか。

(〇はいくつでも)



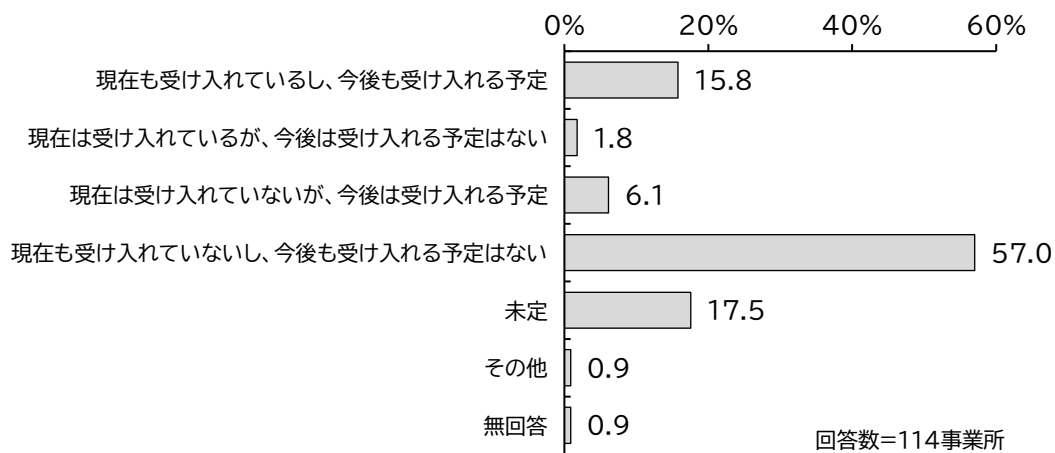
- 職員が事業所内外を問わず参加した研修の参加状況は、「障害者の権利擁護に関する研修」が69.3%と最も多く、次いで「サービス管理責任者や相談支援従事者・児童発達管理責任者等の事業所に必要な職の研修」が57.0%となっています。



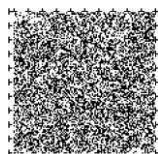
3 今後のサービス向上について

(1) 医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れ状況

問3-1 貴事業所では、現在医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れをしていますか。また、今後受け入れを予定していますか。（〇は1つ）



- 医療的ケアの必要な障害者（児）の受け入れ状況は、「現在も受け入れていないし、今後も受け入れる予定はない」が57.0%と最も多く、次いで「未定」が17.5%となっています。

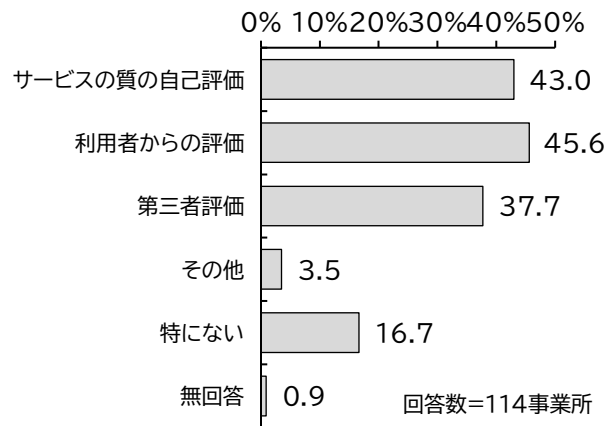


(2) サービス評価に関する取り組み

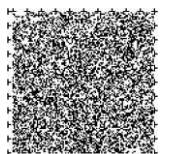
① 取り組んでいるサービス評価

問3-2-1 貴事業所で過去に実施したサービス評価に関する取り組みはありますか。

(○はい/□いいえ)



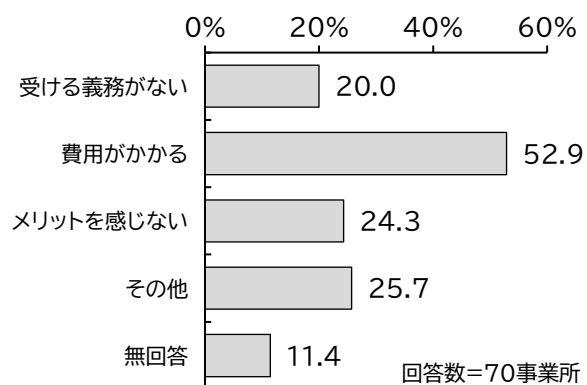
- 取り組んでいるサービス評価は、「利用者からの評価」が45.6%と最も多く、次いで「サービスの質の自己評価」が43.0%となっています。



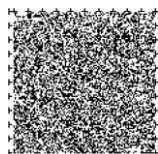
② 第三者評価を受けたことがない理由

【問3-2-1で「第三者評価」に〇のないかたのみにおうかがいします。】

問3-2-2 第三者評価を受けたことがない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)



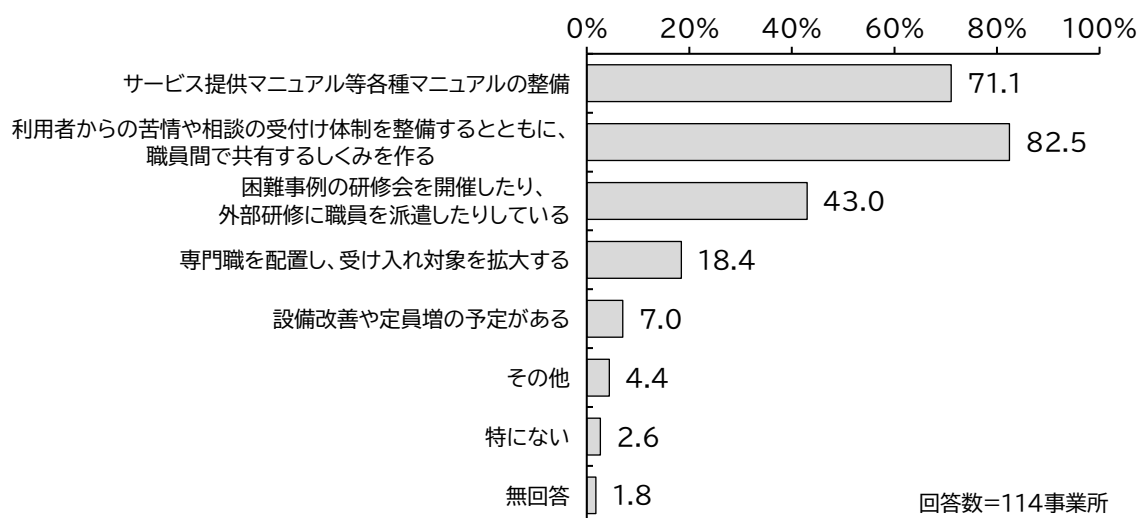
- 第三者評価を受けたことがない理由は、「費用がかかる」が52.9%と最も多く、次いで「その他」が25.7%となっています。



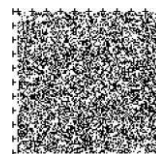
(3) サービス向上に関する取り組み

問3-3 貴事業所ではどのようなサービス向上に関する取り組みを行っていますか。

(○はいくつでも)



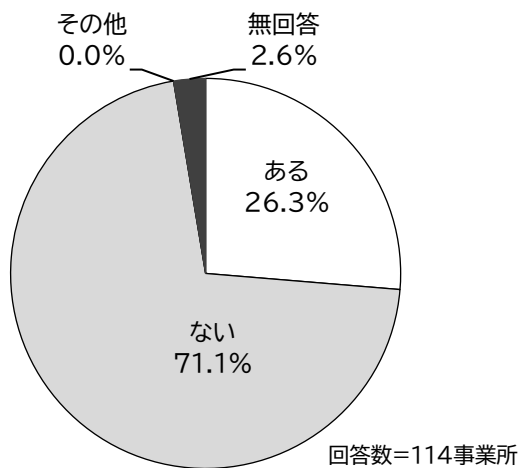
- サービス向上に関する取り組みは、「利用者からの苦情や相談の受付け体制を整備するとともに、職員間で共有するしくみを作る」が82.5%と最も多く、次いで「サービス提供マニュアル等各種マニュアルの整備」が71.1%となっています。



(4) 虐待防止

① 虐待（疑いを含む）対応の有無

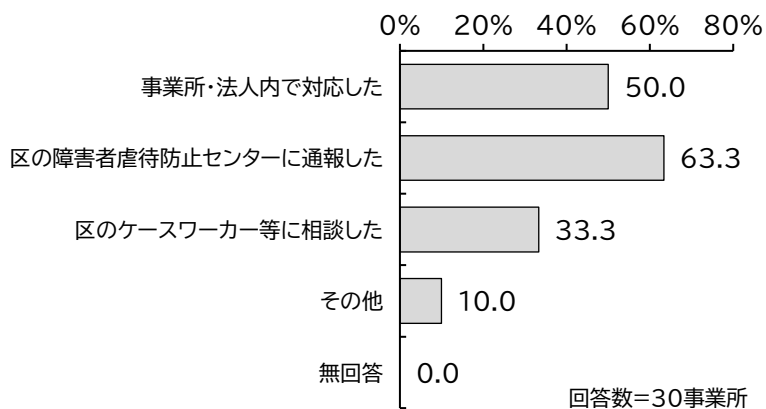
問3-4-1 過去3年間で、貴事業所でこれまでに虐待（疑いを含む）に対応したことはありますか。
（事業所内外を問わず）（○は1つ）



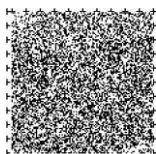
- 虐待（疑いを含む）対応は、「ない」が71.1%、「ある」が26.3%となっています。

② 虐待（疑いを含む）への具体的対応

【問3-4-1で「ある」と答えたかたのみにおうかがいします。】
問3-4-2 どのような対応をしましたか。（○はいくつでも）

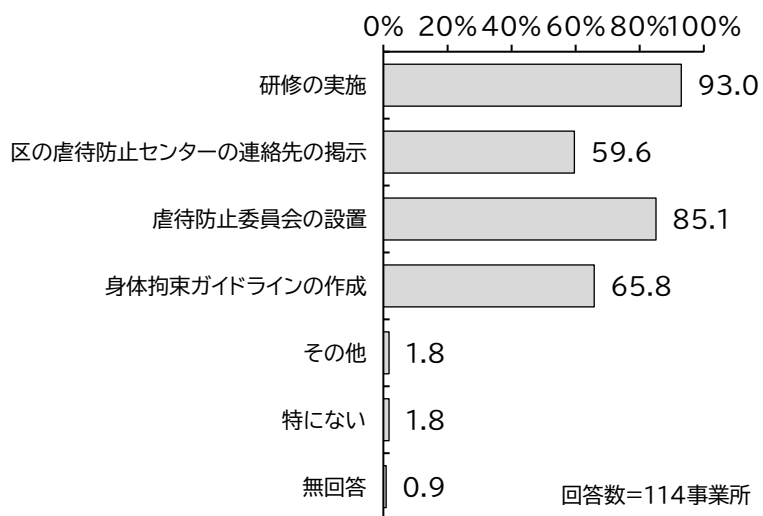


- 虐待（疑いを含む）への具体的対応は、「区の障害者虐待防止センターに通報した」が63.3%と最も多く、次いで「事業所・法人内で対応した」が50.0%となっています。

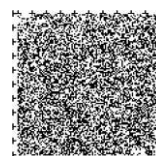


③ 現在の虐待防止の取り組み

問3-4-3 貴事業所では、虐待防止に向けて、どのような取り組みをしていますか。(○は1つ)

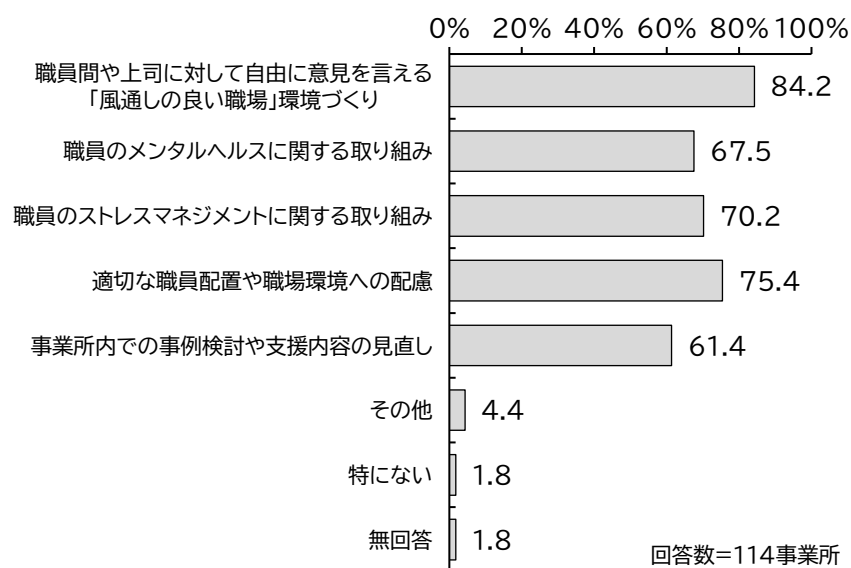


- 現在の虐待防止の取り組みは、「研修の実施」が93.0%と最も多く、次いで「虐待防止委員会の設置」が85.1%となっています。

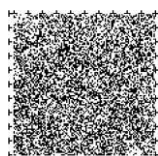


④ 今後必要な虐待防止の取り組み

問3-4-4 貴事業所の中で、障害者虐待を起こさないために、今必要な取り組みはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

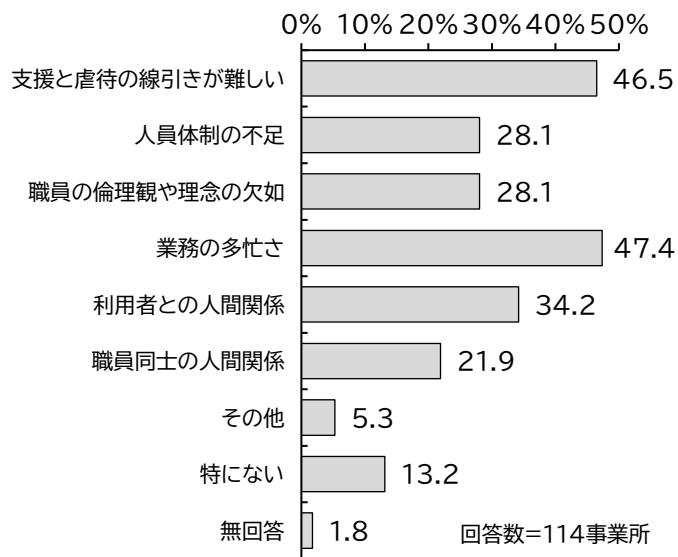


- 今後必要な虐待防止の取り組みは、「職員間や上司に対して自由に意見を言える「風通しの良い職場」環境づくり」が84.2%と最も多く、次いで「適切な職員配置や職場環境への配慮」が75.4%となっています。

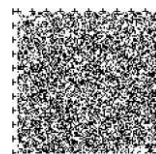


⑤ 虐待防止対策の課題

問3-4-5 虐待防止対策をする上で、どのような課題がありますか。(〇はいくつでも)



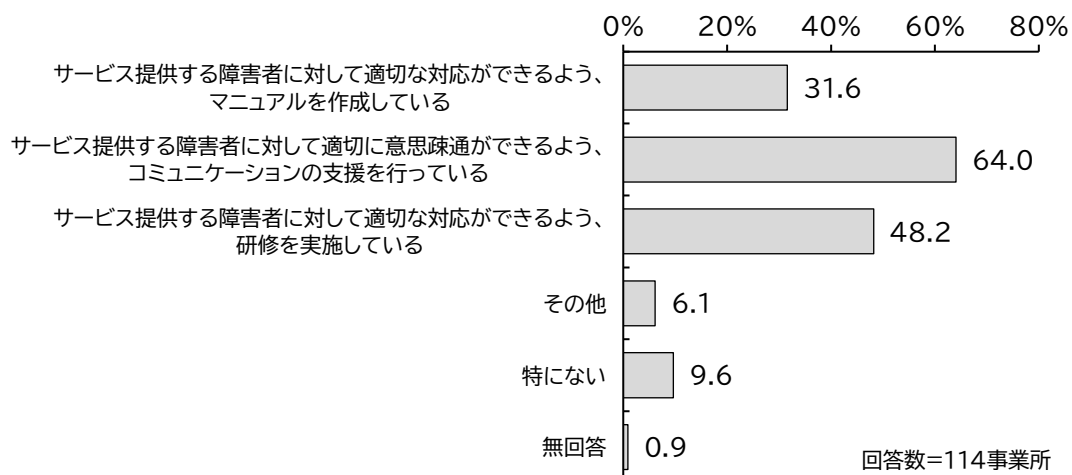
- 虐待防止対策の課題は、「業務の多忙さ」が47.4%と最も多く、次いで「支援と虐待の線引きが難しい」が46.5%となっています。



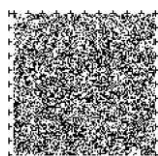
(5) 合理的配慮

① 合理的配慮提供のための取り組み

問3-5-1 貴事業所では障害者差別解消法による「合理的配慮」の提供について、どのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)



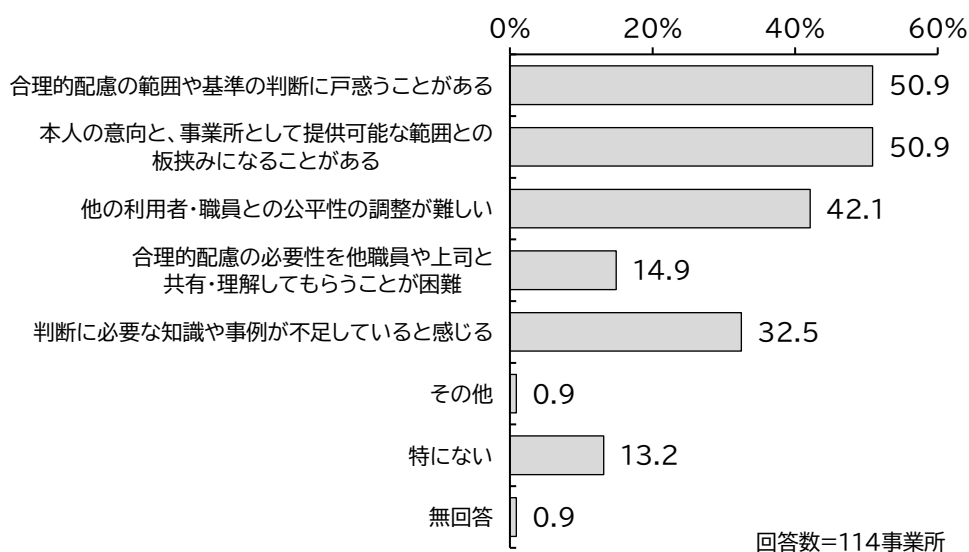
- 合理的配慮提供のための取り組みは、「サービス提供する障害者に対して適切に意思疎通ができるよう、コミュニケーションの支援を行っている」が64.0%と最も多く、次いで「サービス提供する障害者に対して適切な対応ができるよう、研修を実施している」が48.2%となっています。



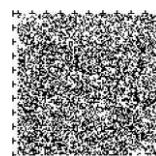
② 合理的配慮提供の課題

問3-5-2 支援者が合理的配慮を提供するにあたり、どのような課題がありますか。

(〇はいくつでも)



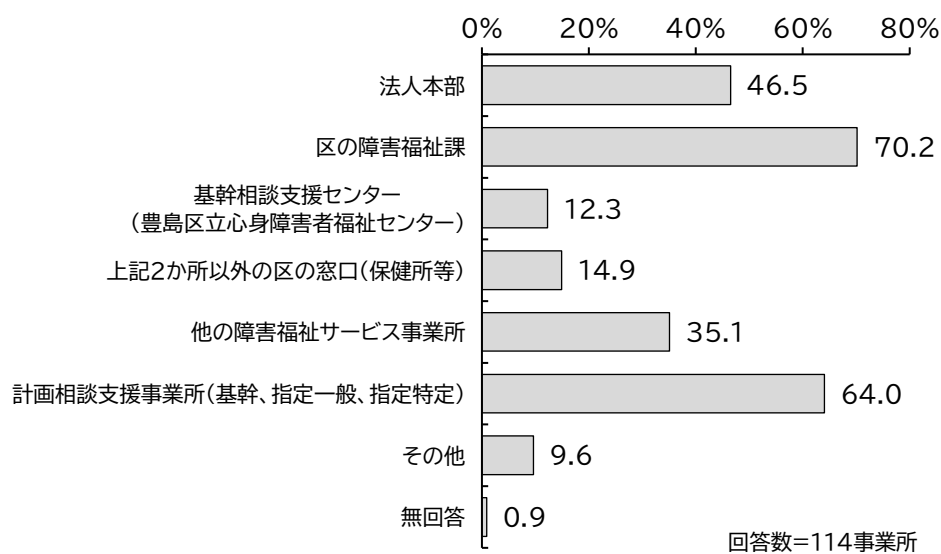
- 合理的配慮提供の課題は、「合理的配慮の範囲や基準の判断に戸惑うことがある」「本人の意向と、事業所として提供可能な範囲との板挟みになることがある」がともに50.9%と最も多く、次いで「他の利用者・職員との公平性の調整が難しい」が42.1%となっています。



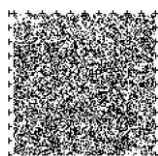
(6) 利用者支援やサービス提供で困った時の相談先

問3-6 貴事業所では利用者支援やサービス提供で困った時、どこに相談しますか。

(〇はいくつでも)



- 困った時の相談先は、「区の障害福祉課」が70.2%と最も多く、次いで「計画相談支援事業所（基幹、指定一般、指定特定）」が64.0%となっています。

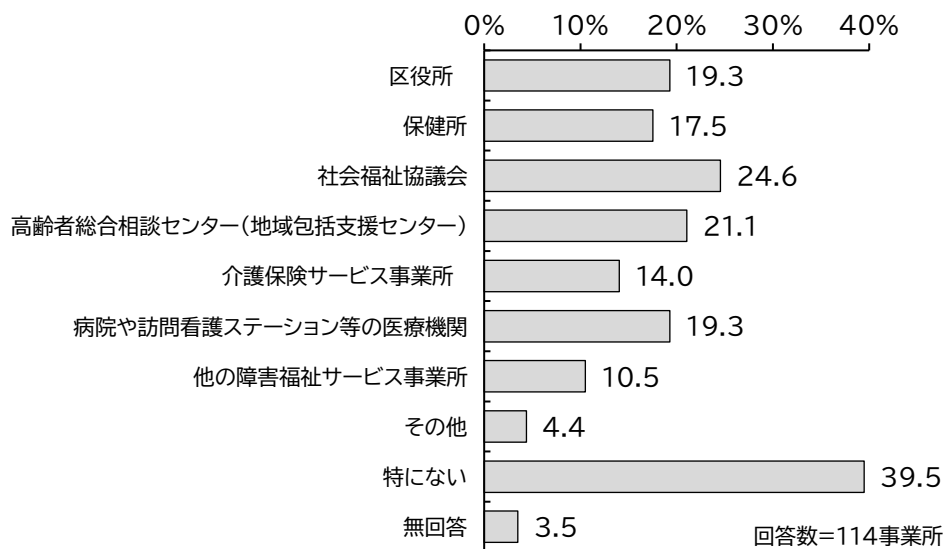


(7) 事業所等との連携

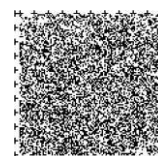
① 連携したい事業所等

問3-7-1 現時点で連携できていないが、連携したいと考える事業所等がありますか。

(○はいくつでも)



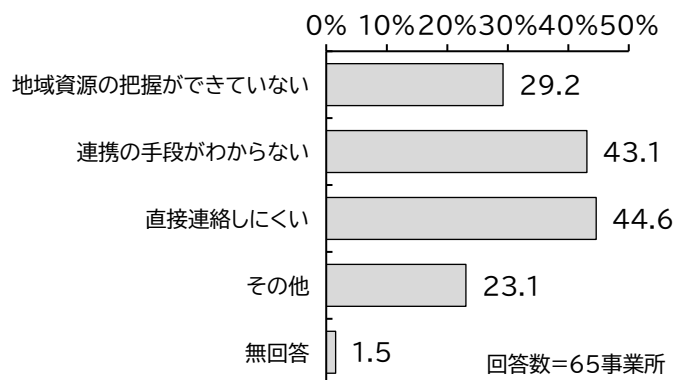
- 連携したい事業所等は、「特にない」が39.5%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が24.6%となっています。



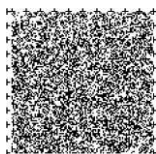
② 現時点で連携できていない理由

【問3-7-1で「連携したいと考える事業所等がある」と答えたかたにおうかがいします。】

問3-7-2 連携したいと考える事業所等と、現時点で連携できていない理由をお聞かせください。
(〇はいくつでも)



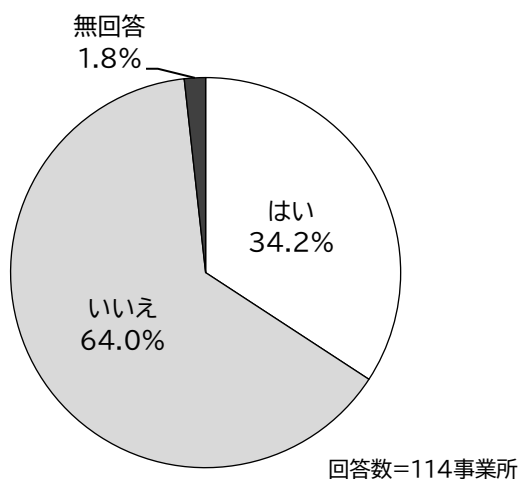
- 現時点で連携できていない理由は、「直接連絡しにくい」が44.6%と最も多く、次いで「連携の手段がわからない」が43.1%となっています。



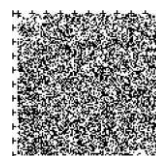
(8) オンライン申請

① オンライン申請利用の有無

問3-8-1 豊島区役所での手続きでオンライン申請を利用したことはありますか。(○は1つ)



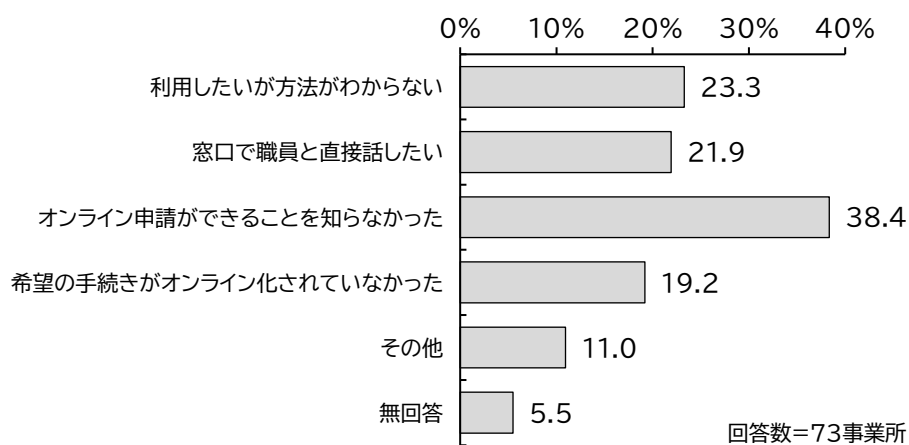
- オンライン申請利用は、「いいえ」が64.0%、「はい」が34.2%となっています。



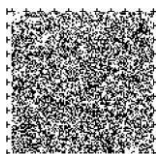
② 利用したことがない理由

【問3-8-1で「いいえ」と答えたかたのみにおうかがいします。】

問3-8-2 利用したことがない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)



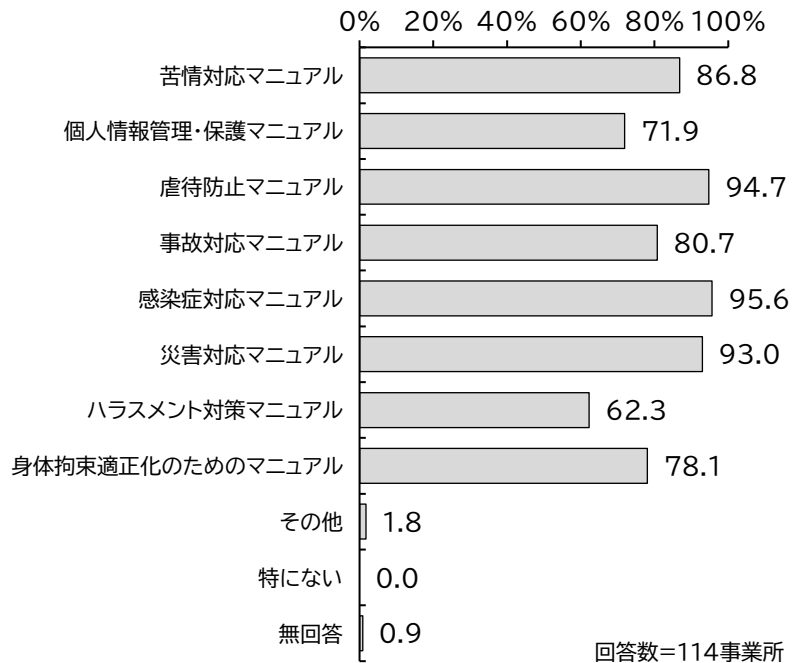
- 利用したことがない理由は、「オンライン申請ができることを知らなかった」が38.4%と最も多く、次いで「利用したいが方法がわからない」が23.3%となっています。



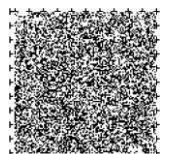
4 危機管理について

(1) 各種マニュアルの整備

問4-1 貴事業所では危機管理に対するマニュアルを整備していますか。(〇はいくつでも)



- 整備しているマニュアルは、「感染症対応マニュアル」が 95.6%と最も多く、次いで「虐待防止マニュアル」が 94.7%となっています。

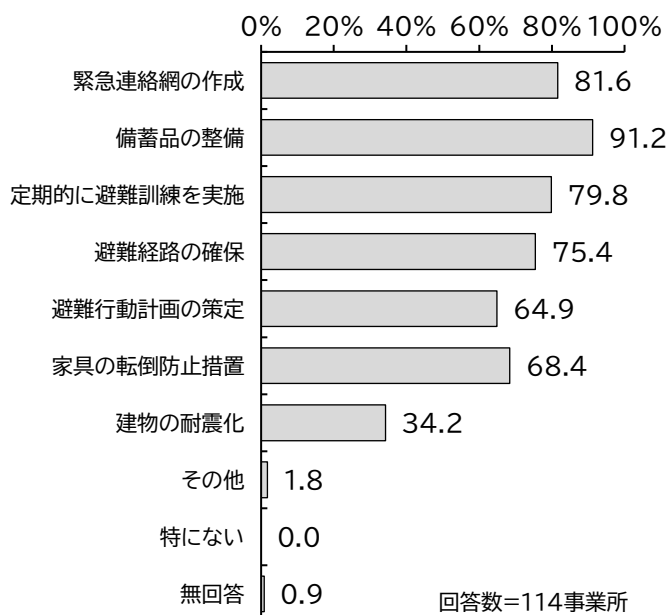


(2) 災害時の対策

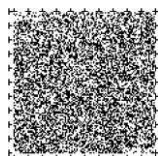
① 取り組んでいる災害時対策

問4-2-1 貴事業所では、災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。

(○はいくつでも) ※災害対応マニュアルの整備は除く。



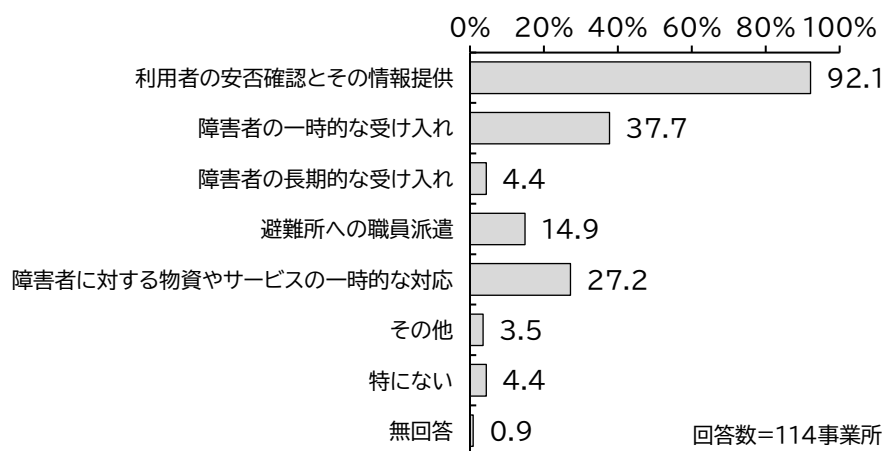
- 取り組んでいる災害時対策は、「備蓄品の整備」が91.2%と最も多く、次いで「緊急連絡網の作成」が81.6%となっています。



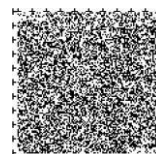
② 災害時、事業所が協力できること

問4-2-2 貴事業所では、災害発生時の障害者の安全確保にどのような協力が可能ですか。

(○はいくつでも)



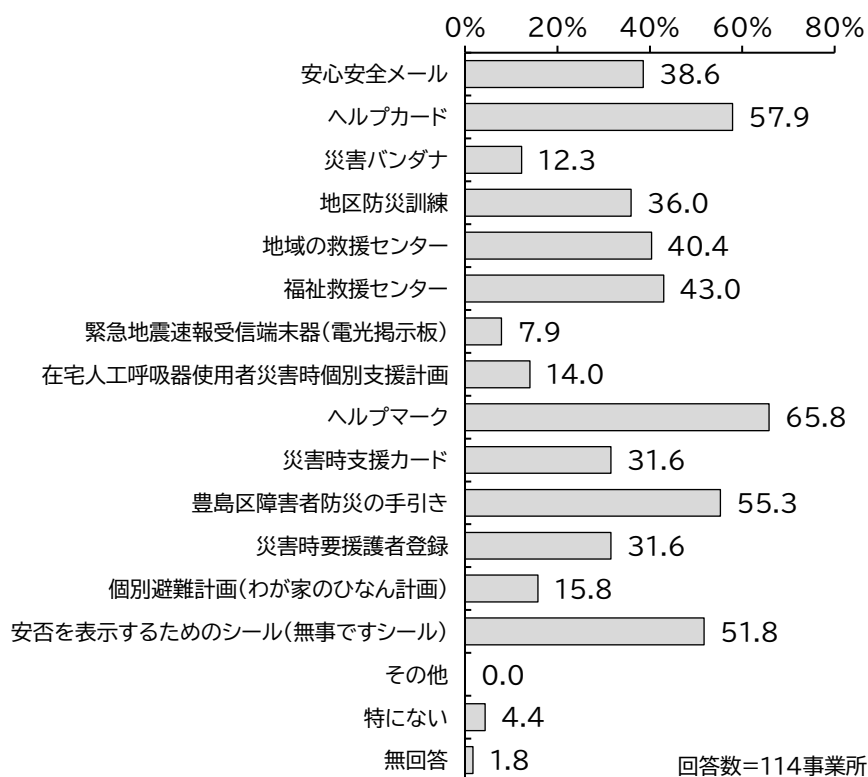
- 災害時、事業所が協力できることは、「利用者の安否確認とその情報提供」が92.1%と最も多く、次いで「障害者の一時的な受け入れ」が37.7%となっています。



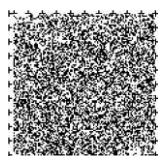
③ 区の防災対策で知っていること、場所等

問4-2-3 豊島区が行っている以下の防災対策で知っていること、場所等がありますか。

(○はいくつでも)

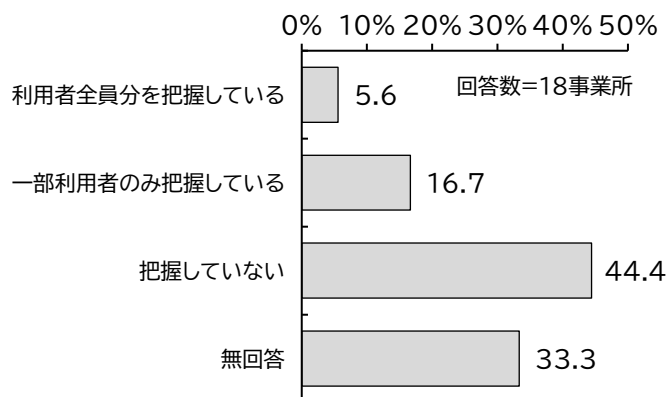


- 区の防災対策で知っていること、場所等は、「ヘルプマーク」が65.8%と最も多く、次いで「ヘルプカード」が57.9%となっています。

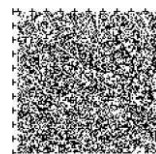


④ 個別避難計画（わが家のひなん計画）の認知度

【問4-2-3で「個別避難計画（わが家のひなん計画）」と答えたかたのみにおうかがいします。】
問4-2-4 貴事業所利用者の個別避難計画（わが家のひなん計画）についてどの程度知っていますか。（○は1つ）



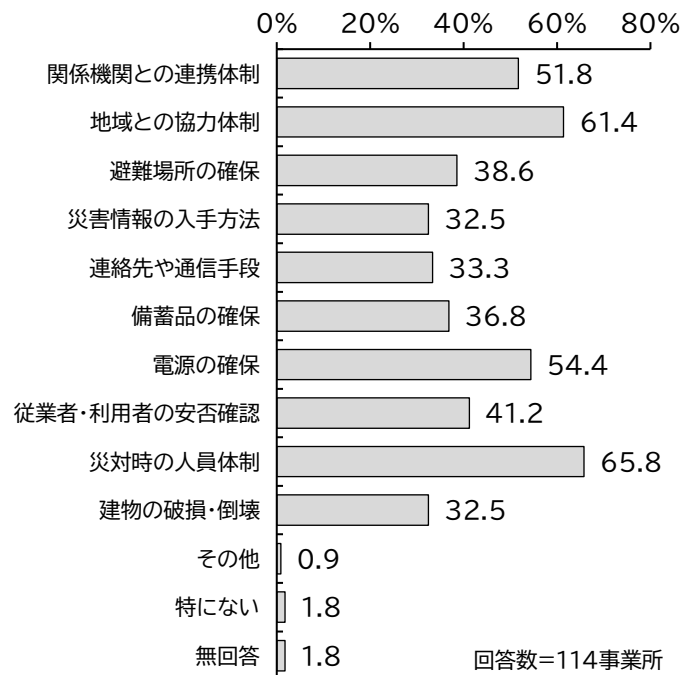
- 個別避難計画（わが家のひなん計画）の認知度は、「把握していない」が44.4%と最も多く、次いで「一部利用者のみ把握している」が16.7%となっています。
- 「一部利用者のみ把握している」と回答した3事業所について、その割合は、それぞれ1割、2割、6割となっています。



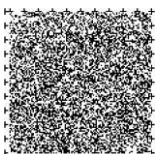
⑤ 災害時対策の課題

問4-2-5 貴事業所において、災害時の対策をする上で、どのような課題がありますか。

(〇はいくつでも)



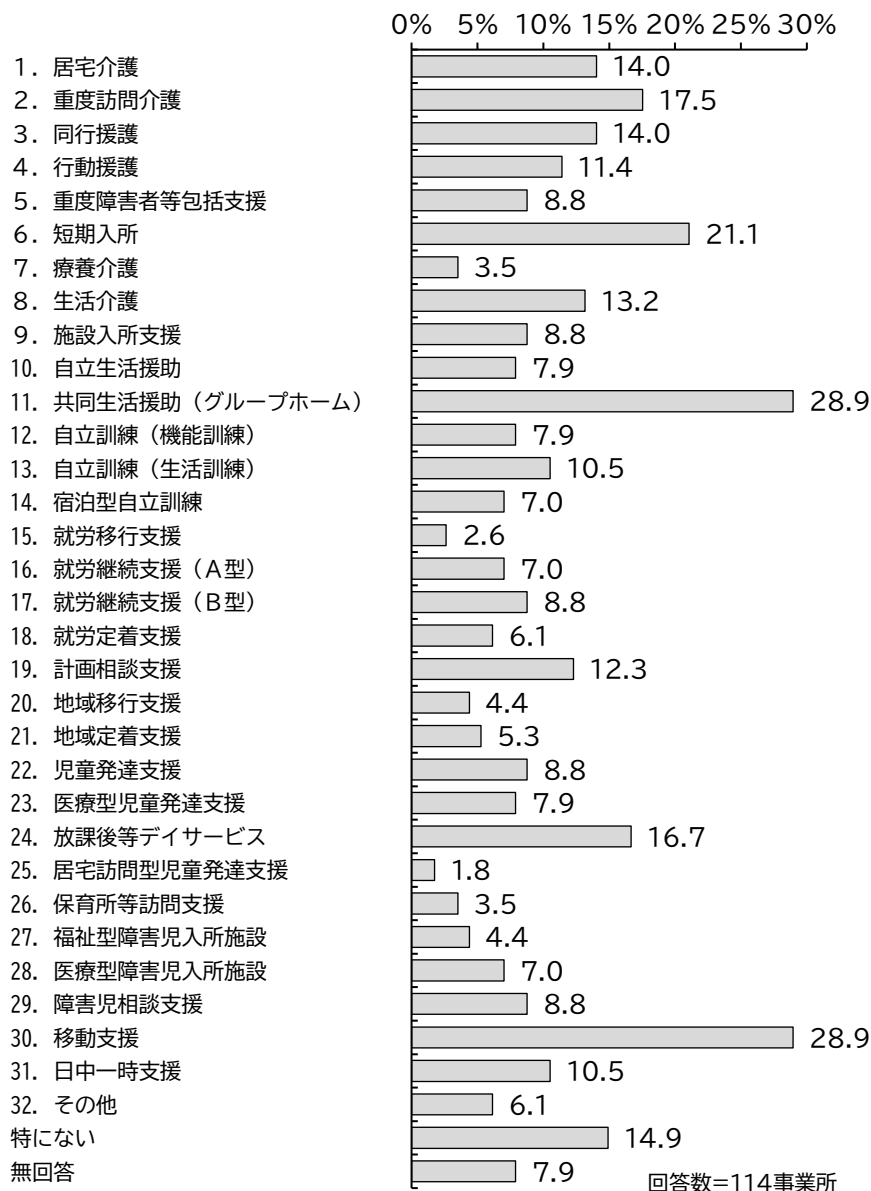
- 災害時対策の課題は、「災害時の人員体制」が 65.8%と最も多く、次いで「地域との協力体制」が 61.4%となっています。



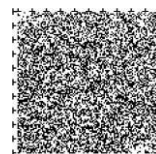
5 区の障害者施策について

(1) 不足していると思う障害福祉サービス

問5-1 貴事業所においてサービスを利用しているかたが、豊島区で長く生活を続けるために、不足していると思われる障害福祉サービスはありますか。(〇はいくつでも)

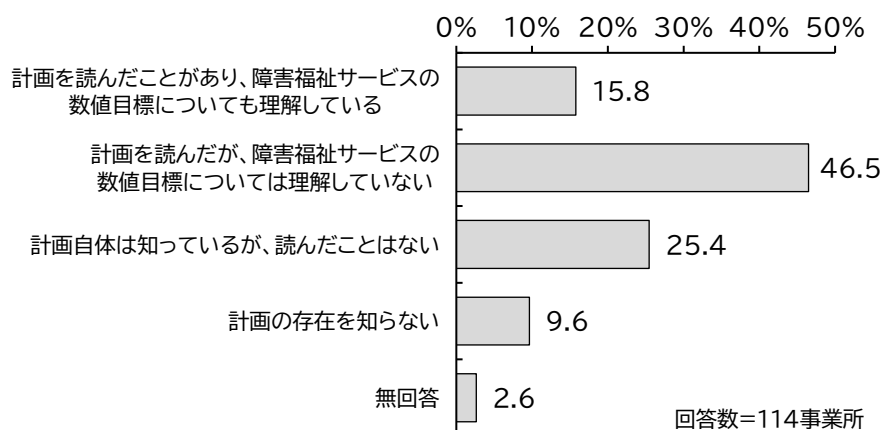


- 不足していると思う障害福祉サービスは、「共同生活援助 (グループホーム)」、「移動支援」がともに 28.9%と最も多く、次いで「短期入所」が 21.1%となっています。

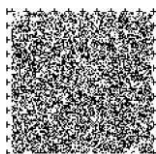


(2) 「障害者・障害福祉・障害児福祉計画」の認知度

問5-2 貴事業所は区の「障害者・障害福祉・障害児福祉計画」を知っていますか。(○は1つ)



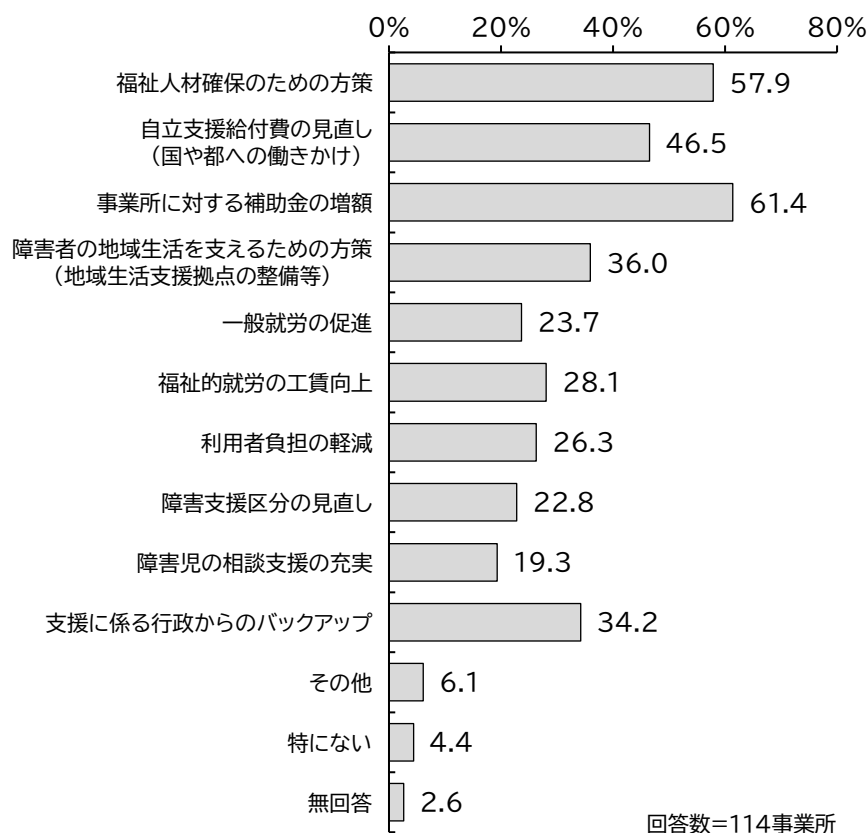
- 「障害者・障害福祉・障害児福祉計画」の認知度は、「計画を読んだが、障害福祉サービスの数値目標については理解していない」が46.5%と最も多く、次いで「計画自体は知っているが、読んだことはない」が25.4%となっています。



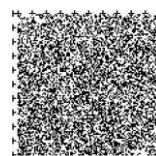
(3) 今後の障害者施策に期待すること

問5-3 貴事業所は区に対し、今後の障害者施策にどのようなことを期待しますか。

(○はいくつでも)



- 今後の障害者施策に期待することは、「事業所に対する補助金の増額」が61.4%と最も多く、次いで「福祉人材確保のための方策」が57.9%となっています。



6 自由意見

10 件のご意見等をいただきました。一部抜粋・要約等をして記載しています。文末の番号は 318 ページの提供しているサービスの番号を指しています。

(1) アンケート (1 件)

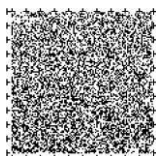
- 「特にない」ではなく、「判断できない」という項目がほしい。 < 1, 3 >

(2) 感謝 (3 件)

- 事業所からのニーズを受け取り、対策を立てていただき感謝している。年々、連携が良くなっており業務の遂行に役立っている。 < 16, 17, 19 >

(3) 要望など (6 件)

- ①中途障害のかたで、その主たる障害プラス心の病気があったり、年齢が重なり認知や歩行に問題を抱えたりするが、障害区分がないかたがいる一方、健常者と同様に仕事をされているかたに区分があることがあり、不思議である。
②ケアマネと相談員、当事者、事業所の連携が取れていると良いと思うことが多々ある。利用者への説明を事業所がするのではなく、相談する窓口がいていねいに制度の説明をしてくれることが望ましい。
③ヘルパーが働き続けられるようにすることが、皆が自由に生活できることにつながる。 < 3 >
- 区の指示で BCP に「災害発生時、利用者の安否確認を行う」旨、追記することとなったが、安否確認時に不幸にして負傷・障害を負う、死亡となった場合、区が保障していただけるという認識で良いのか。今後、移民受け入れが進むと、災害時は暴動・略奪が起こる。こうした環境で安否確認に行かせることは使用者としては避けたいと考える。 < 1 >
- ①防犯対策として室内カメラ設置無償化 (虐待)。
②ノート PC の支給。
③保育所等訪問支援の実現のため、行政指示のもと、学校・園への働きかけ。
< 22, 24, 26 >
- 一般の小学校のように隣に学童を付けたほうが良いと思う。支援に関わる人が多い家庭はその分、保護者が働きかけなければならず、連携も難しくなる。(例) ①学校→②移動支援→③放課後等デイサービス (④複数利用) →移動支援→家+⑤相談員。
< 24 >



- 送迎をしてくれる事業所が少なすぎるという声が多い。保護者にとって、家族への送迎がない事はとても負担である。一度、仕事場から送迎のために抜けて、再び戻り、夕方にも迎えに行くという現状である。放課後等デイサービスが送迎できないのであれば、移動支援事業所を積極的に増やす施策をお願いしたい。放課後等デイサービスが送迎できない原因は、豊島区の家賃の高さ、駐車場代の高さである。例：豊島区家賃 285,000～350,000 円 駐車場 22,000～28,000 円 練馬区家賃 200,000～250,000 円 駐車場 8,000～15,000 円。 <24>
- 一般就労可能な利用者はB型作業所にも沢山いると感じる。しかし、レベルの高い利用者を就労させてしまうと工賃が上がらなくなってしまふ。例えば、就労させるとインセンティブがもらえるようなシステムの導入などがあれば、工賃を上げなくても運営しやすくなるのではないか。 <32>

